

**平成 24 年度  
石川県廃棄物排出量実態調査報告書  
(平成 23 年度実績)**

**平成 25 年 3 月**

**石川県環境部**



# 目次

総論	1
第1章 調査の概要	3
第1節 調査の目的	3
第2節 調査に関する基本的事項	3
第3節 調査の方法	9
第4節 調査結果の利用上の留意事項	13
第5節 標本抽出・回収結果	14
第2章 調査結果	16
第1節 結果の概要	16
第2節 廃棄物の排出・処理状況	17
第3章 業種別の調査結果	28
第1節 農業	28
第2節 鉱業	31
第3節 建設業	34
第4節 製造業	37
第5節 電気・水道業	40
第6節 その他	43
第4章 目標達成状況の点検・評価	48
第1節 産業廃棄物の推移	48
第2節 目標達成状況の点検・評価	51
参考資料1 特別管理産業廃棄物の排出・処理状況	53
参考資料2 広域移動状況	56
参考資料3 産業廃棄物処分業者の実績	60
参考資料4 一般廃棄物実態調査	62
統計表	65
表1 業種別・種類別の結果表	65
表2 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）（業種別）	88
表3 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）	110
表4 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）（地域別）	114
表5 発生量及び処理・処分量（業種別）（地域別）	126
表6 発生量及び処理・処分量（業種別）（種類別）	140

表 7 産業廃棄物処分業者の実績集計結果 .....176

調査票一式 .....193

# 総論

## 1. 調査の目的

本調査は、石川県内の産業廃棄物の発生及び処理の状況を詳細に把握し、産業廃棄物の適正処理の確保に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

## 2. 調査の概要

- (1) 調査対象期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日
- (2) 調査対象廃棄物 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び同法施行令に定める産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物
- (3) 調査対象業種 農業、鉱業、建設業、製造業、電気・水道業など
- (4) 調査方法 調査は、既存資料を入手し推計する資料調査と郵送によるアンケート調査により行い、回答を得た産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量を説明する指標（製造品出荷額等）を基に石川県内の産業廃棄物の量を推計した。

## 3. 結果の概要

平成23年度の排出量は、3,115千トであり、再生利用量は1,595千ト(排出量の51%)、減量化量は1,374千ト(同44%)、最終処分量は146千ト(同5%)となっている。

平成22年度と比較すると、排出量が134千ト増加しており、再生利用量が210千ト増加、減量化量が43千ト増加、最終処分量が117千ト減少となっている。処分比率を平成22年度と比較すると、再生利用率は46%から51%と5ポイント増加し、減量化率は45%から44%と1ポイント減少、最終処分率は9%から5%と4ポイント減少となっている。

表1 発生量及び処理処分量の推移

(単位:千t/年)

	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量
平成9年度	2,632	219	2,413 (100%)	1,257 (52%)	862 (36%)	267 (11%)	27 (1%)
平成11年度	3,167	96	3,072 (100%)	1,809 (59%)	1,001 (33%)	257 (8%)	4 (0%)
平成15年度	3,546	160	3,386 (100%)	1,854 (55%)	1,305 (39%)	218 (6%)	9 (0%)
平成16年度	3,637	188	3,449 (100%)	1,888 (55%)	1,380 (40%)	179 (5%)	1 (0%)
平成17年度	3,504	163	3,341 (100%)	1,781 (53%)	1,378 (41%)	181 (5%)	0 (0%)
平成18年度	3,613	191	3,422 (100%)	1,849 (54%)	1,339 (39%)	232 (7%)	1 (0%)
平成19年度	3,620	211	3,409 (100%)	1,706 (50%)	1,404 (41%)	293 (9%)	5 (0%)
平成20年度	3,291	181	3,110 (100%)	1,508 (48%)	1,367 (44%)	235 (8%)	0 (0%)
平成21年度	3,221	152	3,069 (100%)	1,503 (49%)	1,358 (44%)	208 (7%)	1 (0%)
平成22年度	3,153	172	2,981 (100%)	1,385 (46%)	1,331 (45%)	263 (9%)	2 (0%)
平成23年度	3,291	176	3,115 (100%)	1,595 (51%)	1,374 (44%)	146 (5%)	0 (0%)
増減	138	4	134	210	43	△117	△2

注)増減は平成23年度から平成22年度の差分

排出量等の増減の理由は次のとおりである。

(1) 排出量の増加

電気・水道業から排出されるばいじんが増加している。原子力発電所の運転停止に伴い、石炭火力発電所の発電電力量が増加したため、石炭灰の排出量が増えたと推測される。

また、建設業から排出されるがれき類が増加しており、解体工事や道路工事が増えたためと推測される。

(2) 再生利用量の増加

電気・水道業（石炭火力発電所）から排出されるばいじんの再生利用量が大きく増加しており、セメント原材料等として再生利用されている。

(3) 最終処分量の減少

最終処分量の減少は、電気・水道業（石炭火力発電所）から排出されるばいじん等の埋立処分が減少したことが大きく影響している。

表2 種類別の排出量及び処理処分量

(単位:千t/年)

種類	項目			排出量			再生利用量			最終処分量		
	H22	H23	増減	H22	H23	増減	H22	H23	増減	H22	H23	増減
合計	2,981	3,115	134	1,385	1,595	210	263	146	-117			
汚泥	1,343	1,371	27	73	81	8	19	21	2			
がれき類	816	844	29	804	826	23	12	18	6			
ばいじん	255	316	61	113	278	166	173	44	-129			
動物のふん尿	241	238	-3	191	189	-2	0	0	0			
木くず	65	76	12	36	48	12	2	2	0			
廃プラスチック類	42	41	0	27	27	-1	5	5	0			
金属くず	42	40	-2	41	39	-2	1	1	0			
その他	178	189	11	101	107	7	51	56	4			

注)増減は平成23年度から平成22年度の差分

表3 業種別の排出量及び処理処分量

(単位:千t/年)

業種	項目			排出量			再生利用量			最終処分量		
	H22	H23	増減	H22	H23	増減	H22	H23	増減	H22	H23	増減
合計	2,981	3,115	134	1,385	1,595	210	263	146	-117			
農業	241	239	-3	192	190	-2	0	0	0			
鉱業	206	206	0	38	38	0	0	0	0			
建設業	930	974	44	883	924	41	29	32	3			
製造業	402	396	-6	106	105	-1	23	26	3			
電気・水道業	1,142	1,249	107	122	300	178	208	85	-123			
その他	59	52	-7	44	39	-6	3	3	0			

注)増減は平成23年度から平成22年度の差分

# 第 1 章 調査の概要

## 第 1 節 調査の目的

本調査業務は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年 12 月 25 日法律第 137 号、以下「廃棄物処理法」という。）第 5 条の 5 第 1 項に規定する「廃棄物処理計画」として位置付けられた、ふるさと石川の環境を守り育てる条例（平成 16 年 3 月 23 日条例第 16 号）第 21 条第 2 項第 2 号に定められた、石川県環境総合計画（平成 17 年 3 月策定）「第 2 編第 2 章循環型社会の形成」の点検・対処と、経済的、社会的情勢の変動に的確に対応した見直しのため、石川県内の廃棄物の発生及び処理処分、減量化及び再生利用等の状況を実施年度において業種別、種類別、地域別等に詳細に把握し、その現状分析と解析等を行い、もって廃棄物の適正処理の確保に資する基礎資料を得ることを目的とする。

## 第 2 節 調査に関する基本的事項

### 1. 調査対象期間

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 1 年間

### 2 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物処理法」及び同法施行令に定める以下の産業廃棄物とした。また、これらのうち、本報告書では②汚泥、③廃油、⑥廃プラスチック類、⑩がれき類については、廃棄物の性状に応じて更に区分した。

調査対象廃棄物	
① 燃え殻	⑩ がれき類（コンクリート片、廃アスファルト及びその他）
② 汚泥（有機性汚泥及び無機性汚泥）	⑪ ばいじん
③ 廃油（一般廃油、廃溶剤及びその他）	⑫ 動物のふん尿
④ 廃酸	⑬ 動物の死体
⑤ 廃アルカリ	⑭ 産業廃棄物を処分するために処理したもの
⑥ 廃プラスチック類 （廃プラスチック類及び廃タイヤ）	
⑦ 紙くず	
⑧ 木くず	
⑨ 繊維くず	
⑩ 動植物性残さ	
⑪ 動物系固形不要物	
⑫ ゴムくず	
⑬ 金属くず	
⑭ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
〔注、本報告書における図表では、「ガラス陶磁器くず」と略した〕	
⑮ 鋳さい	

また、次に示す有償物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

- (1) 専ら再生利用の目的となる産業廃棄物（古紙、くず鉄、空き瓶類及び古繊維）及び法令上廃棄物に区分されない有償物（以下「有償物」という。）も今回の調査対象に含めた。
- (2) ⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑬動物のふん尿及び⑭動物の死体については、「廃棄物処理法」で産業廃棄物となる業種が指定されているため、指定された業種以外の事業所から発生したこれらの廃棄物は、調査対象から除外した。  
ただし、廃棄物処理法施行令の一部改正により、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、平成 20 年 4 月から産業廃棄物として取り扱われることになったため、パレットに係る木くずはすべての業種で産業廃棄物として集計した。
- (3) 酸性又はアルカリ性の排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を対象とし、脱水前の量を発生量とした。
- (4) 自らの事業所の施設にて、廃棄物を焼却処理した後に燃え殻が発生する場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

特別管理産業廃棄物については、以下に示す区分とした。

特別管理産業廃棄物
① 引火性廃油（揮発油類、灯油類、軽油類） ② 腐食性廃酸（pH が 2.0 以下の廃酸） ③ 腐食性廃アルカリ（pH が 12.5 以上の廃アルカリ） ④ 感染性産業廃棄物 ⑤ 特定有害産業廃棄物 （特定有害燃え殻、特定有害汚泥、特定有害廃油、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ、特定有害廃石綿等、特定有害鉱さい、特定有害ばいじん、廃 PCB）

### 3. 調査対象業種

調査対象業種は、表 1-2-1 及び表 1-2-2 のとおり、日本標準産業分類（[平成 19 年 11 月改訂] 総務省）に記載された分類を基本に、産業廃棄物の排出量等を勘案し、なおかつ、その他に分類される業種を除く県内の代表的な業種とした。



表 1-2-1 調査対象業種（その 1）

日本標準産業分類		略 称
A 011 012	農業，林業 耕種農業 畜産農業	農業 耕種農業 畜産農業
B	漁業	漁業
C	鉱業，採石業，砂利採取業	鉱業
D	建設業	建設業
E 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他
F 33 361 363	電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 上水道業 下水道業	電気・水道業 電気業 上水道業 下水道業
G 413 414	情報通信業 新聞業 出版業	情報通信業 新聞業 出版業
H 42 43 44	運輸業，郵便業 鉄道業 道路旅客運送業 道路貨物運送業	運輸業 鉄道業 道路旅客運送業 道路貨物運送業

表 1-2-2 調査対象業種（その2）

日本標準産業分類		略 称
I 50 56 591 605	卸売業，小売業 各種商品卸売業 各種商品小売業 自動車小売業 燃料小売業	卸・小売業 各種商品卸売業 各種商品小売業 自動車小売業 燃料小売業
L 71 746	学術研究，専門・技術サービス業 学術・開発研究機関 写真業	学術研究・専門サービス業 学術・開発研究機関 写真業
M 75 76	宿泊業，飲食サービス業 宿泊業 飲食店	宿泊業・飲食業 宿泊業 飲食店
N 781	生活関連サービス業，娯楽業 洗濯業	生活関連サービス業 洗濯業
O 81	教育，学習支援業 学校教育	教育 学校教育
P 831 832	医療，福祉 病院 一般診療所	医療・福祉 病院 一般診療所
R 88 89 95 (1542)	サービス業（他に分類されないもの） 産業廃棄物処分業 自動車整備業 と畜場 自動車解体業・破砕前処理業	サービス業 産業廃棄物処理業 自動車整備業 と畜場 解体・破砕前処理業

※産業廃棄物処分業は、石川県知事及び金沢市長の許可に係る中間処理業及び最終処分業。

#### 4. 調査対象地域

本調査では、石川県内全域を調査対象とし、次の構成市町により6地域とした。

表 1-2-3 地域区分

地 区 名		構 成 市 町
南加賀地域		小松市、加賀市、能美市、（能美郡）川北町
石川中央地域	南部区	白山市、野々市市
	北部区	かほく市、（河北郡）津幡町、内灘町
金沢市		金沢市
能登中部地域		七尾市、羽咋市、（羽咋郡）志賀町、宝達志水町、 （鹿島郡）中能登町
能登北部地域		輪島市、珠洲市、（鳳珠郡）穴水町、能登町

## 5. 発生量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 1-2-1 の発生量及び処理状況の流れ図に示した項目により、取りまとめた。

なお、図 1-2-1 における各項目の用語の定義は、表 1-2-4 のとおりである。

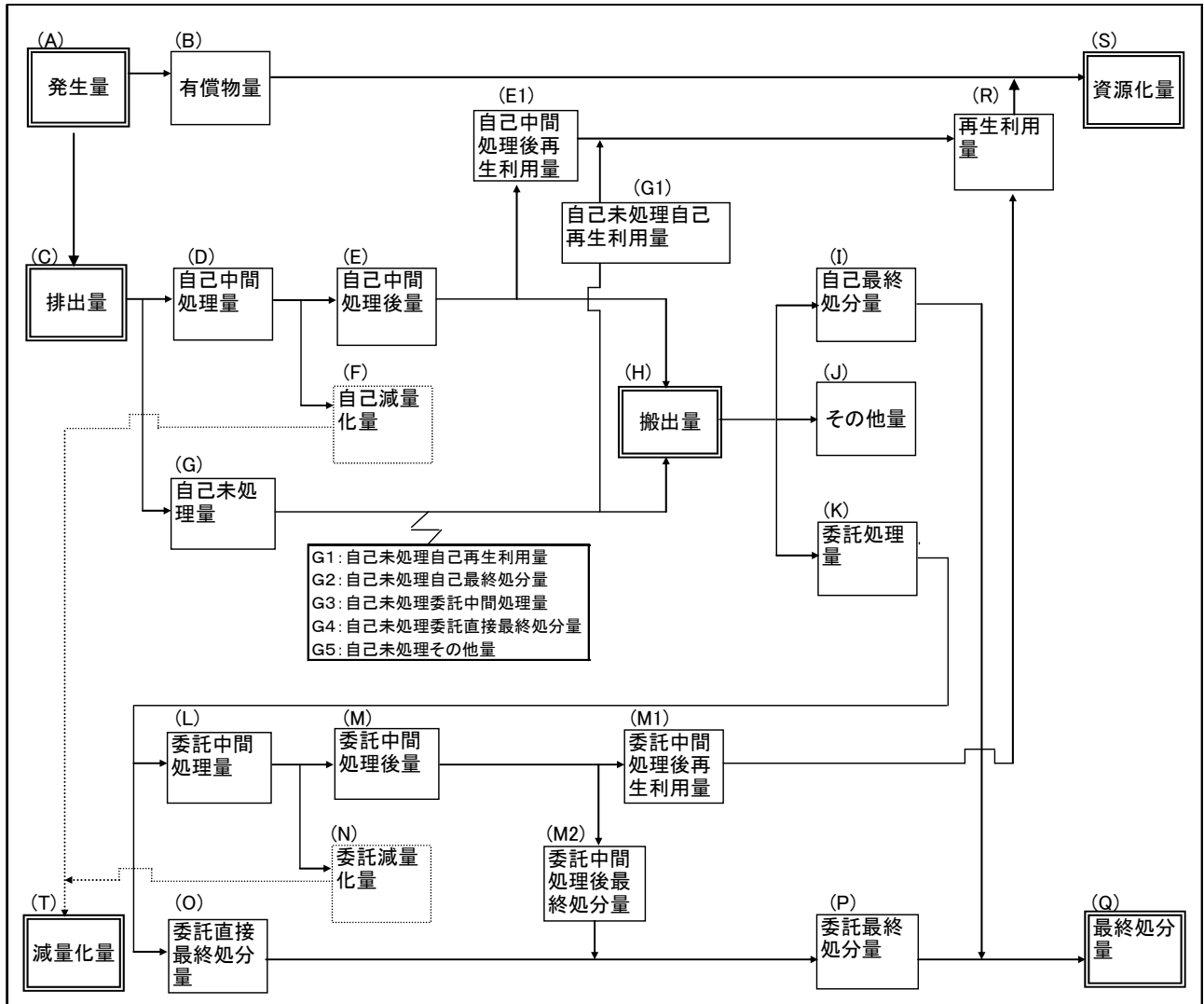


図 1-2-1 発生量及び処理状況の流れ図

表 1-2-4 発生量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量。
(B) 有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量。(他者に有償売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C) 排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量。
(D) 自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量。
(G) 自己未処理量	(C)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量。
(G1) 自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量。
(G2) 自己未処理自己最終処分量	(I)の自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量。
(G3) 自己未処理委託中間処理量	(L)の委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理された量。
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	(O)の委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量。
(G5) 自己未処理その他量	(J)のその他量のうち、自己未処理でその他となった量。
(E) 自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量。
(E1) 自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量。
(F) 自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量。
(H) 搬出量	(I)の自己最終処分量、(J)のその他、(K)の委託処理量の合計。
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量。
(J) その他量	保管されている量、又は、それ以外の量。
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量。
(L) 委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量。
(O) 委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量。
(M) 委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量。
(M1) 委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量。
(M2) 委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量。
(N) 委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量。
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量。
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計。
(R) 再生利用量	排出事業者又は、処理業者等で再生利用された量。
(S) 資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計。
(T) 減量化量	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量。

### 第3節 調査の方法

#### 1. 調査方法の概要

平成22年度の「石川県廃棄物排出量実態調査（平成21年度実績）」において標本調査を実施した業種については、21年度実績の標本データを23年度実績に更新した上で、原単位法により県内全域の発生量を推計した。なお、標本の更新に当たっては、排出事業者及び処分業者からの回答のあった産業廃棄物実態調査票の集計結果、製造品出荷額や元請完成工事高などの活動量指標を活用した。

本調査においては、発生業種の特性等を勘案し、業種毎に次に示す調査方法を基本とした。

表 1-3-1 調査方法

業種	調査方法			推計方法等
	標本調査	補正調査	資料調査	
農業		○	○	・家畜の飼養頭羽数から平成23年度値を推計した。
漁業		○		
鉱業		○		・アンケート調査事業所分については21年度実績を23年度実績に置き換え、原単位法を用いて23年度の産業廃棄物の発生量及び処理状況を推計した。
建設業	○	○		
製造業	○	○		
電気・水道業	○		○	・アンケート調査事業所分を21年度実績から23年度実績に置き換えた。 ※電気・水道業は、21年度実績は全数調査であり、原単位法による推計をしていない。
情報通信業		○		・アンケート調査事業所分については21年度実績を23年度実績に置き換え、原単位法を用いて23年度の産業廃棄物の発生量及び処理状況を推計した。
運輸業		○		
卸・小売業		○		
学術研究・専門サービス業		○		
宿泊業・飲食業		○		
生活関連サービス業		○		
教育		○		
医療・福祉	○	○		
サービス業		○		
解体・破砕前処理業		○	○	・県内での年間解体台数から推計した。
産業廃棄物処分業者	○			・アンケート調査（金沢市）及び実績報告書（県所管）から平成23年度の処分状況を集計した。

注1 標本調査とは、アンケート調査票から産業廃棄物の実態を把握する方法。

注2 補正調査とは、平成22年度に実施した「石川県廃棄物排出量実態調査」のデータ（平成21年度実績）を活用し、平成23年度の活動量指標を使用して、原単位法により平成23年度の産業廃棄物の発生量及び処理状況を推計する方法。

注3 資料調査とは、県保有の資料等を用いて発生量等の実績量を把握する方法。

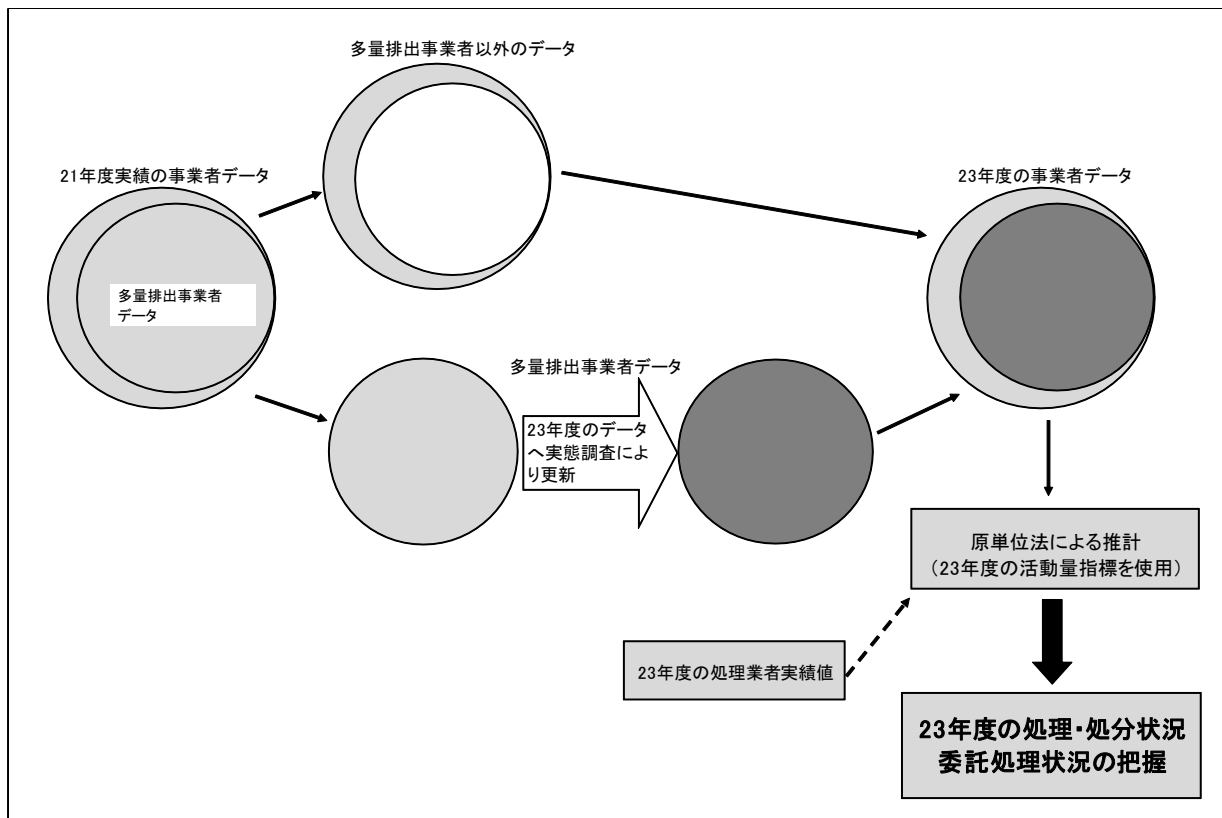


図 1-3-1 調査方法の概要

## 2. 標本調査について

標本調査は、郵便配布、郵便回収によるアンケート調査を実施した。

回答を得た産業廃棄物の発生量及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量を説明する活動量指標（製造品出荷額等）を基に、県内の産業廃棄物の排出量等を推定した。

### (1) 標本抽出方法

アンケート調査対象者は、多量排出事業所及び平成 22 年度に実施した「産業廃棄物排出実態調査（平成 21 年度実績）」において排出量等が多量であった事業所、産業廃棄物処分業者等とした。

#### 1) 多量排出事業者

廃棄物処理法に定める多量排出事業者（産業廃棄物排出量 1 千トン以上、特別管理産業廃棄物 50 トン以上）をすべて抽出した。

#### 2) 「廃棄物排出実態調査（平成 21 年度実績）」を考慮した抽出

廃棄物排出量実態調査（平成 21 年度実績）において排出量が 100 トン以上の事業所、発生原単位が特異的な事業所を抽出した。

#### 3) 産業廃棄物処分業者

最新の産業廃棄物処理業者名簿よりすべて抽出した。

#### 4) その他

上記 1) から 3) で抽出されなかった大手企業等を抽出した。

## (2) アンケート調査項目

アンケート調査の項目は、活動量指標（製造品出荷額等）と廃棄物の発生量及び処理状況に関するものとし、調査票の形式は、各業種の発生廃棄物や処理状況の特性を考慮して、次の4種類の調査票を作成した。

- 建設業（形式2）
- 医療・福祉（形式4）
- 産業廃棄物処分業（形式7）
- 製造業等（上記以外の業種：形式1）

各調査票の調査項目の詳細は、本報告書の巻末の調査票のとおりである。

## (3) 排出原単位の算出と調査対象全体の排出量の推定方法

### 1) 排出原単位の算出

排出原単位は、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、種類別の集計産業廃棄物量と、業種別の集計活動量指標から、図1-3-2のA式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物排出量（排出原単位）を算出した。

### 2) 調査対象全体の排出量の推定方法

1) で算出された排出原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図1-3-2のB式によって調査対象全体の産業廃棄物の排出量を推定した。

○排出原単位の算出		
A式	$\alpha = W / O$	$\alpha$ : 産業廃棄物の排出原単位 $W$ : 標本に基づく集計産業廃棄物排出量 $O$ : 標本に基づく集計活動量指標
○調査対象全体の排出量の推定方法		
B式	$w' = \alpha \times O'$	$w'$ : 調査当該年度の推定産業廃棄物排出量 $O'$ : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図1-3-2 排出原単位の算出と排出量の推定計算の概念図

### 3) 活動量指標

本調査で推計に用いた活動量指標及び原単位の区分は、次のとおりである。

表 1-3-2 推計の区分と活動量指標

業種	活動量指標	出典
漁業	従業者数	経済センサス（総務省統計局）
鉱業		
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告（国土交通省総合政策局）
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査結果（経済産業省経済産業政策局）
情報通信業	従業者数	経済センサス（総務省統計局）
運輸業		
卸・小売業		
学術研究・ 専門サービス業		
宿泊業・飲食業		
生活関連サービス業		
教育		
医療・福祉	病床数	医療施設（静態・動態）調査・病院報告の概況 （厚生労働省統計情報部）
	従業者数	経済センサス（総務省統計局）
サービス業	従業者数	経済センサス（総務省統計局）

※電気・水道業は、全数調査のため推定していない



## 第4節 調査結果の利用上の留意事項

### 1. 産業廃棄物の種類の区分

本報告書では、産業廃棄物の種類を3段階で設定した。

1段階	発生時点の種類
2段階	排出事業者の中間処理により、変化した処理後の種類。 例；木くず→（焼却）→〔燃え殻〕 注）1段階時点の種類と事業者の中間処理方法を用いて推定した。
3段階	委託中間処理により、変化した処理後の種類。 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合があります。この場合において、中間処理後の変化した廃棄物の種類で記載した場合には（種類別：変換）と記載し、変化する前（発生時）の廃棄物の種類で記載した場合には（種類別：無変換）と表現した。

### 2. 建設業の地域別発生量等の推計方法

建設業は他の業種と違い、事業所のある場所が廃棄物の発生場所ではなく、工事現場が廃棄物の発生場所となっている。本調査では、建設業の各地域別の量を算出するため、建設業の全体量を地域別の人口数の割合で按分して算出した。

### 3. 単位と数値に関する処理

#### （1）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述した。

#### （2）数値の処理

本報告書に記載されている千トン表示及び構成比（%）の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。

なお、表中の空欄は、1トン以上の該当値がなかったもの、「0」表示は、1t以上で500t/年未満であることを示している。

## 第5節 標本抽出・回収結果

石川県内に所在する総事業所数 67,482 件（平成 21 年経済センサス）のうち、調査の対象となったのは 29,146 事業所である。

このうち、本調査では、多量排出事業者等を 639 事業所（抽出率 2.2%）を抽出して調査を実施した。

回収された調査票は、569 事業所（回収率 89.0%）であり、推計の基となった有効調査票数は、2,389 事業所（平成 21 年度実績の回答データを含む）であった。

なお、本調査では、石川県管轄地域で処分業の許可を持っている産業廃棄物処理業者については、処分実績報告書を使用して集計した。

標本抽出及び回収結果は、表 1-5-1 のとおりであり、表中の項目の説明は次のとおりである。

総事業所数	: 67,482 事業所（平成 21 年経済センサスより）
調査対象事業所数	: 29,146 事業所
抽出事業所数	: 639 事業所（抽出率 2.2%）
回答数	: 569 事業所
回収率	: 89.0 %
有効調査票数	: 2,389 事業所

- A 調査対象事業所数 : 調査の対象とした業種の県内全体の事業所数
- B 抽出事業所数 : 調査対象事業所より調査の対象として抽出した事業所数  
(標本抽出方法：第 1 章 3 節 2. (1))
- C 抽出率 :  $B \div A \times 100$
- D 回収事業所数 : 調査票が回収（返送）された事業所数
- E 回収率 :  $D \div B \times 100$
- F 有効調査票数 : 事業所の転・廃業、又は建設業において「県内元請工事の実績無し」等の理由により無効となった調査票を除いた数
- G 集計活動量指標値 : 有効調査票より入力した各業種の活動量指標値（従業者数、元請完成工事高、製造品出荷額等）の集計値
- H 母集団の活動量指標値 : 各業種の活動量指標値の県全体値（母集団値）
- I 指標カバー率 : 県全体（母集団）の活動量指標値に対する有効調査票による集計活動量指標値の割合  $G \div H \times 100$
- J 集計廃棄物量 : 有効調査票より入力した各業種の廃棄物の発生量の集計値
- K 推定廃棄物量 : 第 1 章 3 節 2. (3) に基づき推定した各業種の廃棄物の発生量の推定値
- L 捕捉率 : 推定した廃棄物量に対する集計廃棄物計量の割合  
 $J \div K \times 100$

表 1-5-1 標本抽出・回収結果

	(A) 調査対象 事業所数	(B) 抽出事業 所数	(C) 抽出率 (B)÷(A)	(D) 回収事業 所数	(E) 回収率 (D)÷(B)	(F) 有効調査 票数	(G) 集計活動量 指標値	(H) 母集団の活 動量指標値	(I) 指標力 パー率 (G)÷(H)	(J) 集計廃棄物 発生量 <千 t>	(K) 推定廃棄物 発生量 <千 t>	(L) 捕捉率 (J)÷(K)
合計	29,146	639	2.2%	569	89.0%	2,389	--	--	--	2,872	3,291	87.3%
農業	--	--	--	--	--	--	--	--	--	239	239	100.0%
漁業	70	0	0.0%	0	--	29	387	1,410	27.4%	0	1	59.5%
鉱業	40	0	0.0%	0	--	21	170	277	61.4%	205	206	99.4%
建設業	7,500	309	4.1%	268	86.7%	459	24,602	40,562	60.7%	639	975	65.5%
製造業	8,048	211	2.6%	186	88.2%	879	174,744	248,430	70.3%	423	488	86.6%
食料品	676	23	3.4%	18	78.3%	82	6,881	11,179	61.6%	17	20	81.6%
飲料・飼料	73	2	2.7%	1	50.0%	16	1,002	1,002	100.0%	0	0	100.0%
繊維	1,890	19	1.0%	18	94.7%	150	9,659	19,415	49.7%	64	69	91.9%
木材	197	7	3.6%	6	85.7%	26	1,386	2,272	61.0%	18	21	86.4%
家具	437	5	1.1%	5	100.0%	18	2,875	6,393	45.0%	1	3	37.6%
パルプ・紙	127	11	8.7%	9	81.8%	23	2,106	2,254	93.4%	91	91	99.6%
印刷	372	12	3.2%	10	83.3%	42	3,099	7,310	42.4%	8	15	52.6%
化学	61	9	14.8%	9	100.0%	13	9,440	10,213	92.4%	33	34	98.8%
石油・石炭	10	0	0.0%	0	--	8	209	424	49.4%	0	0	50.8%
プラスチック	213	8	3.8%	8	100.0%	32	3,772	6,034	62.5%	4	5	66.2%
ゴム	35	0	0.0%	0	--	10	182	314	57.8%	0	0	60.2%
皮革	6	0	0.0%	0	--	0	0	31	0.0%	0	0	--
窯業・土石	458	26	5.7%	26	100.0%	49	2,753	5,623	49.0%	24	33	73.5%
鉄鋼	92	8	8.7%	5	62.5%	21	2,048	4,125	49.6%	23	31	74.4%
非鉄金属	42	3	7.1%	3	100.0%	10	1,692	4,119	41.1%	9	10	87.1%
金属	750	21	2.8%	19	90.5%	84	9,270	11,992	77.3%	30	35	86.0%
はん用機器	333	11	3.3%	9	81.8%	46	8,784	10,377	84.6%	31	32	96.2%
生産用機器	765	12	1.6%	11	91.7%	113	41,628	57,367	72.6%	24	32	74.0%
業務用機器	46	3	6.5%	3	100.0%	12	2,117	3,482	60.8%	1	2	61.2%
電子部品	87	14	16.1%	12	85.7%	35	37,920	46,009	82.4%	31	34	92.7%
電気機器	267	1	0.4%	0	0.0%	31	3,922	8,067	48.6%	1	2	50.1%
情報通信機器	33	4	12.1%	4	100.0%	8	15,034	17,381	86.5%	1	1	87.2%
輸送機器	119	10	8.4%	9	90.0%	19	6,759	9,920	68.1%	11	15	71.6%
その他	959	2	0.2%	1	50.0%	31	2,208	3,128	70.6%	1	2	70.5%
電気・水道業	129	65	50.4%	65	100.0%	129	--	--	--	1,326	1,326	100.0%
電気業	11	5	45.5%	5	100.0%	11	--	--	--	462	462	100.0%
上水道業	63	9	14.3%	9	100.0%	63	--	--	--	27	27	100.0%
下水道業	55	51	92.7%	51	100.0%	55	--	--	--	838	838	100.0%
情報通信業	49	0	0.0%	0	--	13	905	1,216	74.4%	0	0	99.3%
新聞業	12	0	0.0%	0	--	6	800	800	100.0%	0	0	98.9%
出版業	37	0	0.0%	0	--	7	105	416	25.2%	0	0	100.0%
運輸業	1,257	0	0.0%	0	--	186	10,463	24,411	42.9%	2	3	65.4%
鉄道業	36	0	0.0%	0	--	17	1,151	1,965	58.6%	0	0	75.8%
道路旅客運送業	366	0	0.0%	0	--	31	2,195	5,426	40.5%	1	1	95.3%
道路貨物運送業	855	0	0.0%	0	--	138	7,117	17,020	41.8%	1	1	45.1%
卸・小売業	1,812	0	0.0%	0	--	111	5,194	18,646	27.9%	2	8	30.6%
各種商品卸売業	4	0	0.0%	0	--	1	5	11	45.5%	0	0	100.0%
各種商品小売業	36	0	0.0%	0	--	17	2,982	6,152	48.5%	1	1	72.4%
自動車小売業	1,061	0	0.0%	0	--	60	1,549	7,834	19.8%	1	5	23.4%
燃料小売業	711	0	0.0%	0	--	33	658	4,649	14.2%	0	2	23.7%
学術研究・専門サービス業	200	0	0.0%	0	--	13	515	1,609	32.0%	0	0	81.0%
学術研究機関	74	0	0.0%	0	--	6	362	1,068	33.9%	0	0	37.7%
写真業	126	0	0.0%	0	--	7	153	541	28.3%	0	0	83.6%
宿泊業・飲食業	7,321	0	0.0%	0	--	196	8,966	51,850	17.3%	1	4	25.0%
宿泊業	789	0	0.0%	0	--	74	5,346	11,583	46.2%	1	1	61.0%
飲食店	6,532	0	0.0%	0	--	122	3,620	40,267	9.0%	0	3	9.8%
生活関連サービス業	747	0	0.0%	0	--	27	929	3,418	27.2%	1	2	27.2%
教育	543	0	0.0%	0	--	49	8,247	22,369	36.9%	1	2	37.0%
医療・福祉	771	23	3.0%	22	95.7%	184	--	--	--	4	5	87.9%
病院	107	23	21.5%	22	95.7%	97	18,398	19,060	96.5%	4	4	99.1%
一般診療所	664	0	0.0%	0	--	87	1,623	6,642	24.4%	0	1	25.1%
サービス業	579	0	0.0%	0	--	25	363	2,553	14.2%	1	4	32.6%
自動車整備業	577	0	0.0%	0	--	23	282	2,472	11.4%	1	4	21.1%
と畜場	2	0	0.0%	0	--	2	81	81	100.0%	1	1	100.0%
解体・破砕前処理業	49	0	0.0%	0	--	40	--	--	--	28	28	100.0%
産業廃棄物処理業（県所管）※	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
産業廃棄物処理業（金沢市所管）	31	31	100.0%	28	90.3%	28	--	--	--	--	--	--

（活動量指標の内容）建設業：元請完成工事高等（千万円） 製造業：製造品出荷額（千万円） 病院：病床数（床） その他の業種：従業者数（人）

※処分実績報告書を使用

## 第2章 調査結果

### 第1節 結果の概要

平成23年度の1年間に石川県内で発生した産業廃棄物の発生量は3,291千トンで、有償物量は176千トン（発生量の5.3%）、排出量は3,115千トン（同94.7%）となっている。

排出量3,115千トンのうち、排出事業者自らの中間処理による減量化量（1,299千トン）及び再生利用量（289千トン）を除いた搬出量は1,527千トン（排出量の49.0%）となっている。搬出量1,527千トンは、自己最終処分量（76千トン）及び委託処理量（1,451千トン）、その他量（0千トン）に区分される。委託処理量1,451千トンのうち、委託中間処理による減量化量が75千トン、再生利用量が1,306千トン、最終処分量が70千トンとなっている。

県内で発生した産業廃棄物の流れをまとめると、再生利用量が1,595千トン（排出量の51.2%）、減量化量が1,374千トン（同44.1%）、最終処分量が146千トン（同4.7%）となっている。

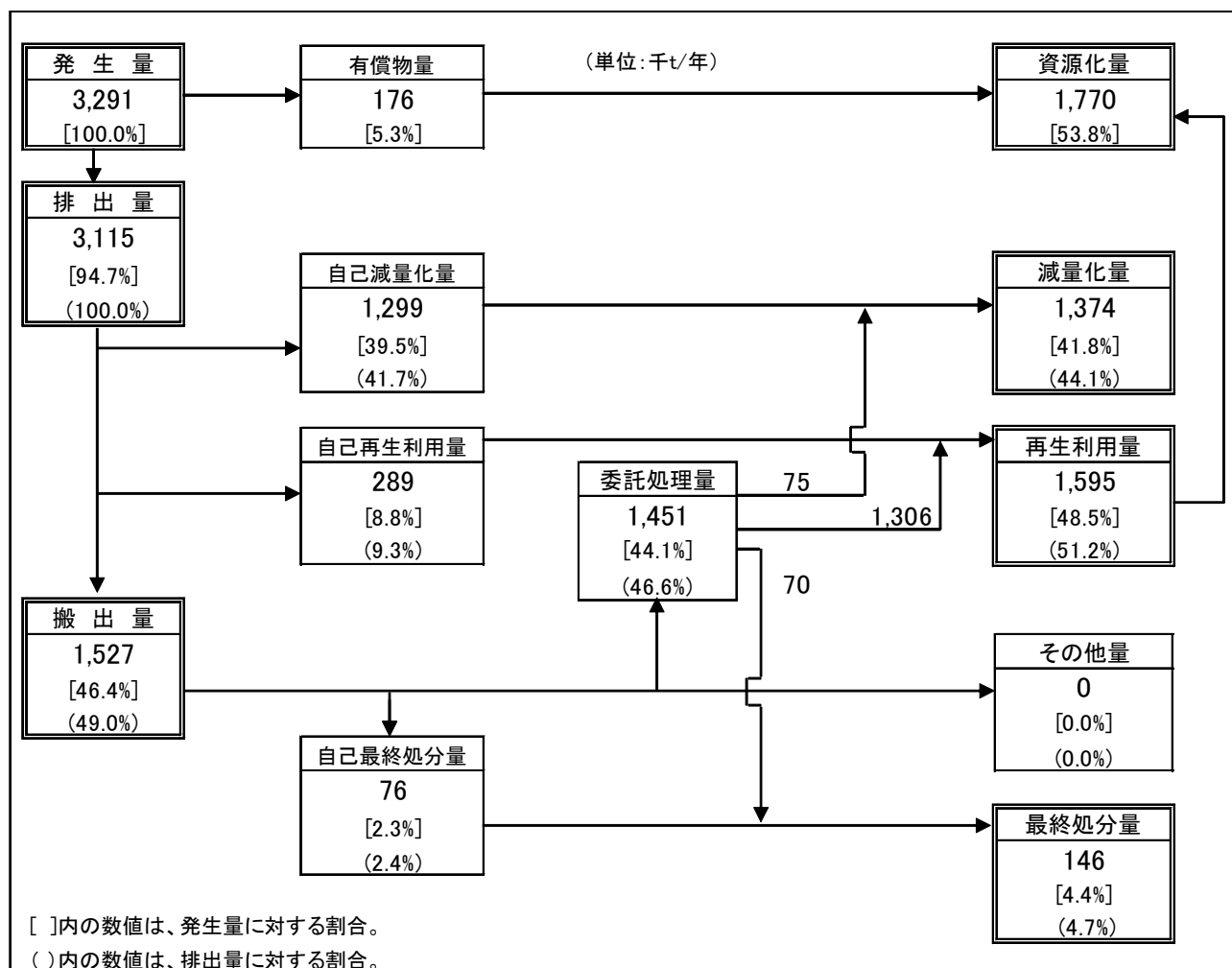


図 2-1-1 発生及び処理状況の概要

## 第2節 廃棄物の排出・処理状況

### 1. 発生から処理・処分までの流れ

#### (1) 発生量及び排出量

平成23年度の1年間に県内で発生した産業廃棄物の発生量は3,291千トであり、有償物量は176千ト、排出量は3,115千トとなっている。排出量を種類別にみると、汚泥が1,371千トと最も多く、次いで、がれき類が844千ト、ばいじんが316千ト、動物のふん尿が238千ト等となっている。

#### (2) 再生利用量

再生利用量は、1,595千トとなっており、再生利用率(排出量に対する割合)は51.2%である。種類別にみると、がれき類が826千トで最も多く、次いで、ばいじんが278千ト、動物のふん尿が189千ト等となっている。

#### (3) 最終処分量

最終処分量は、146千トとなっており、最終処分率(排出量に対する割合)は4.7%である。種類別にみると、ばいじんが44千トで最も多く、次いで、燃え殻が37千ト、汚泥が21千ト、がれき類が18千ト等となっている。

なお、汚泥は排出事業者による脱水や乾燥等の中間処理により大幅に減量化され、がれき類やばいじんは再生利用が図られているものの、これらの排出量自体が多量なため、最終処分量の多い廃棄物となっている。

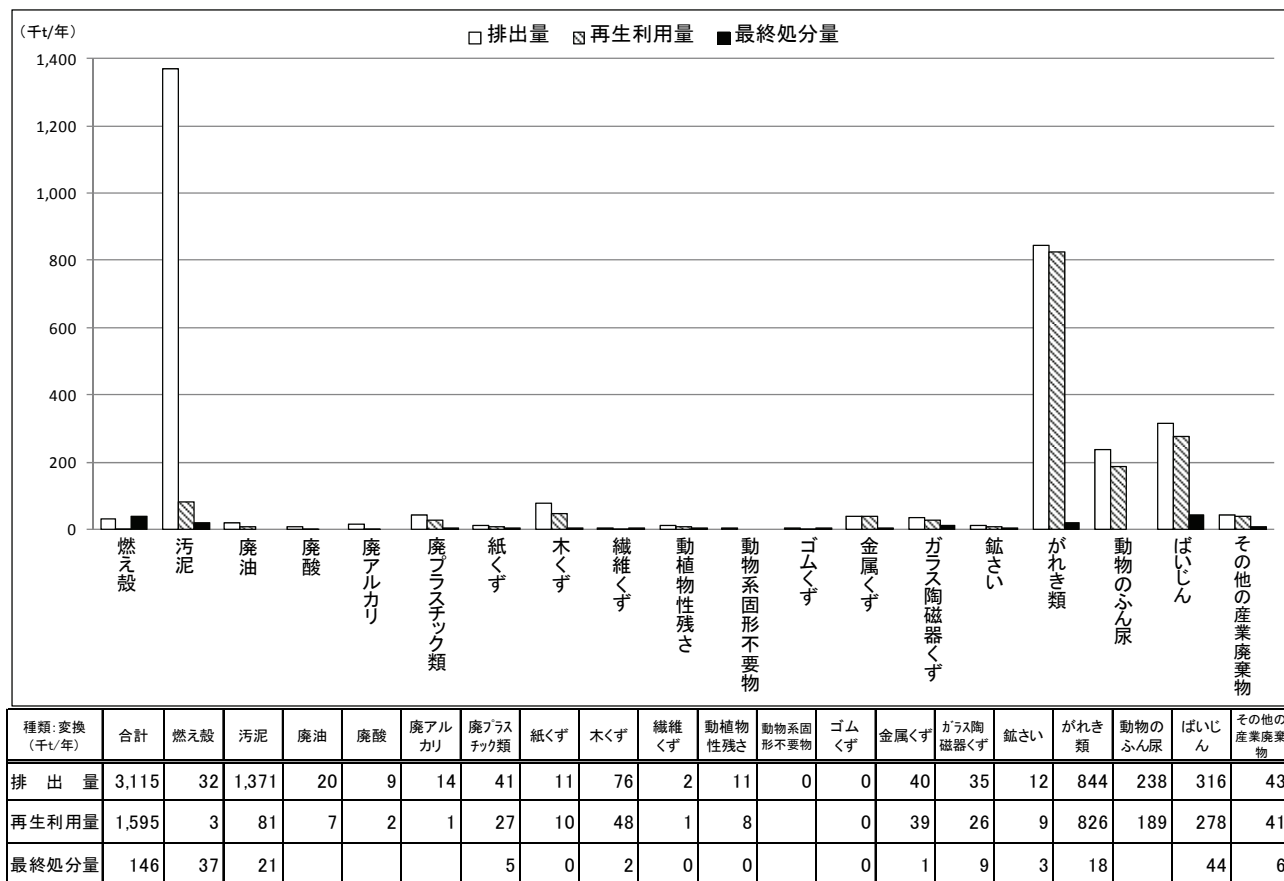


図 2-2-1 産業廃棄物の種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

産業廃棄物の発生から処理・処分の流れをまとめると、図 2-2-2 のとおりである。

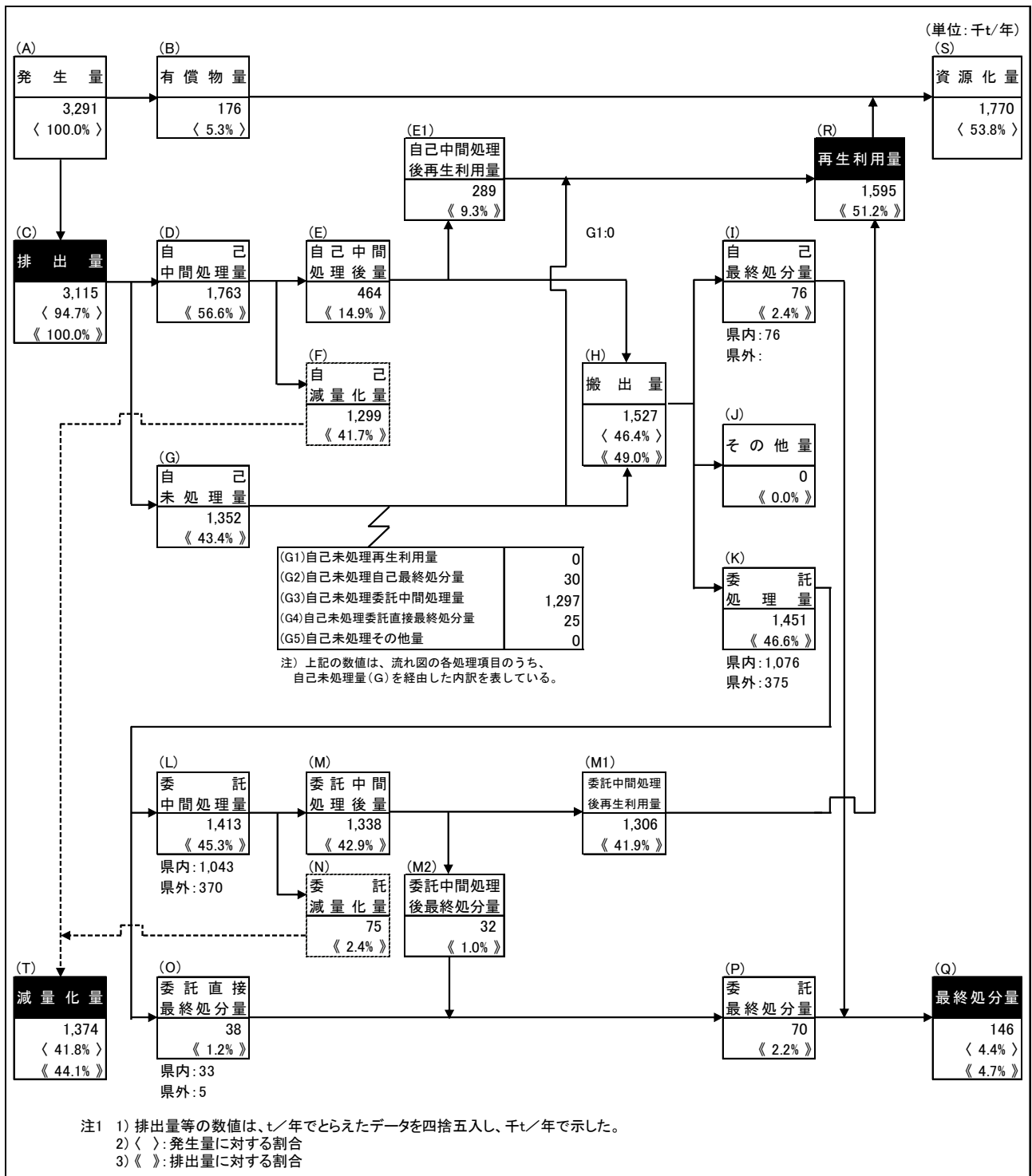


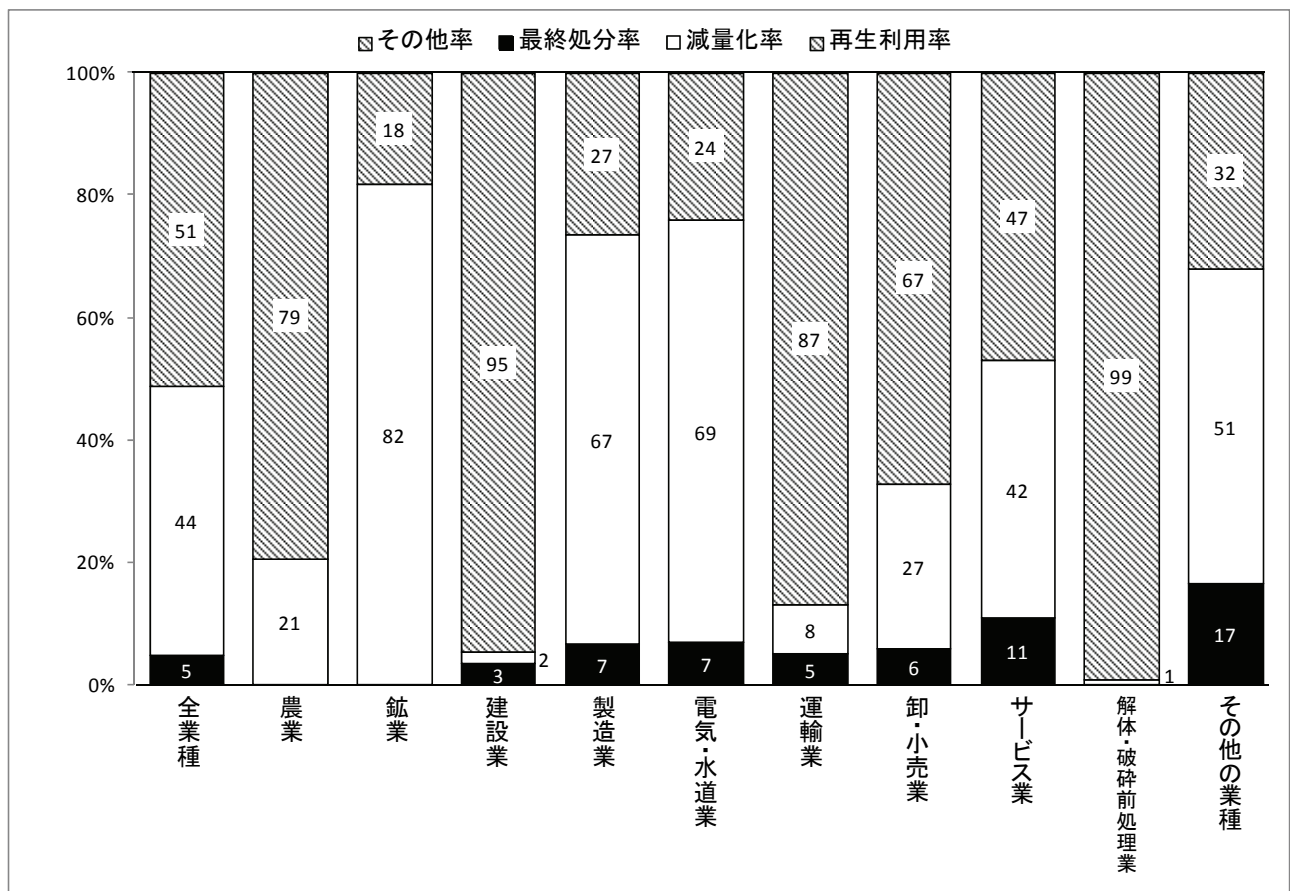
図 2-2-2 発生から処理・処分までの流れ

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を業種別、種類別にみると、図 2-2-3 及び図 2-2-4 のとおりである。

最終処分量の多い業種について最終処分率をみると、電気・水道業が 7%、建設業が 3%、製造業が 7%となっている。

電気・水道業が排出する廃棄物は、下水道汚泥及びばいじんの占める割合が高い。そのうち下水道汚泥は自社内での脱水や焼却により大幅に減量化されるものの、ばいじんにより最終処分率が高くなっている。

建設業が排出する廃棄物は、がれき類が大部分を占めている。がれき類は土木・建設資材として再生利用されるため、再生利用率が高くなり、最終処分率は低くなっている。

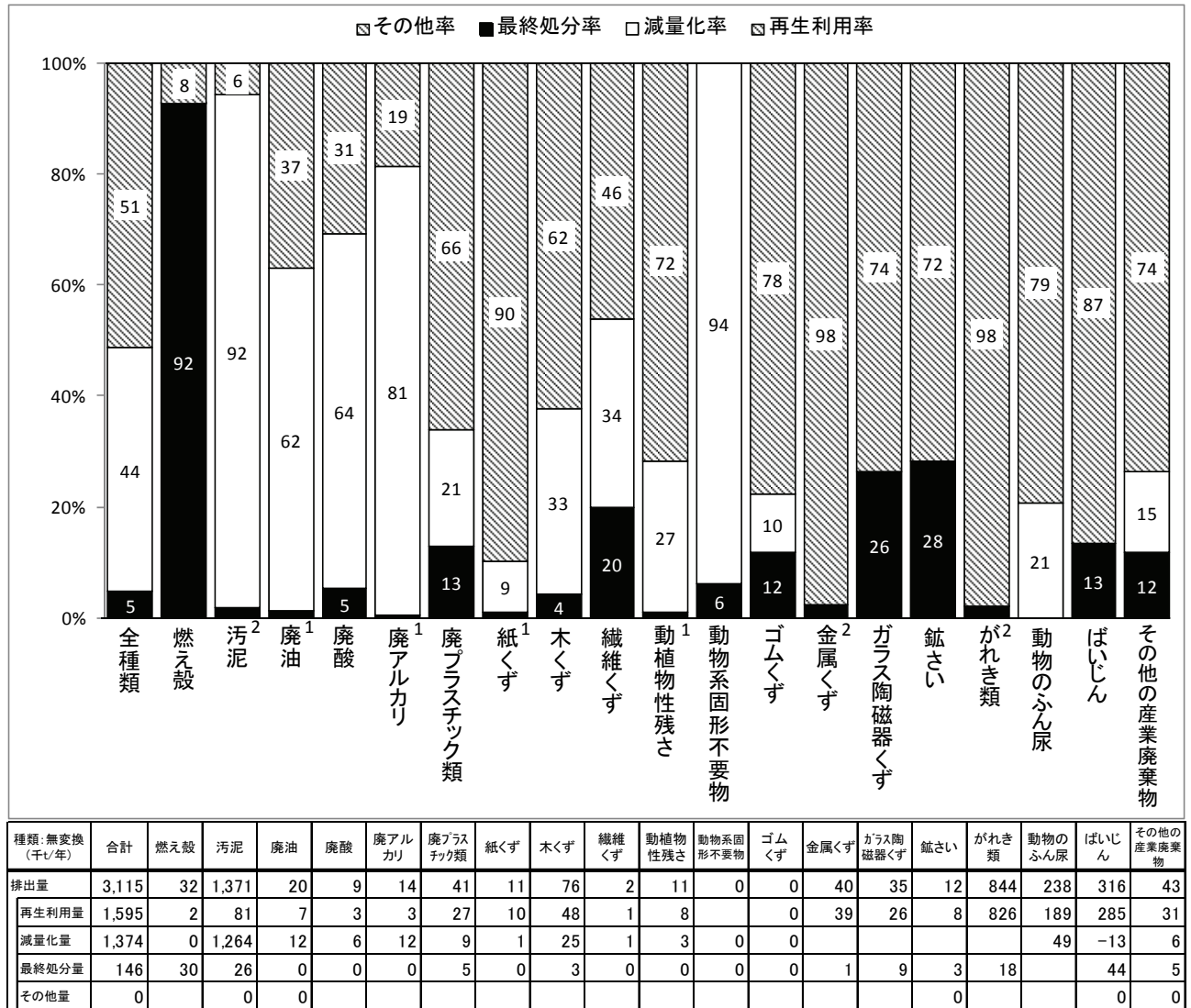


業種 (千t/年)	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	サービス業	解体・破砕前処理業	その他の業種
排出量	3,115	239	206	974	396	1,249	2	8	6	25	11
再生利用量	1,595	190	38	924	105	300	2	5	3	25	4
減量化量	1,374	49	168	18	264	864	0	2	3	0	6
最終処分量	146			32	26	85	0	0	1	0	2
その他量	0				0	0					0

図 2-2-3 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

排出量が 10 千ト以上の種類をみると、燃え殻、ガラス陶磁器くず、鋳さいの最終処分率が 20%以上と高くなっており、燃え殻は約 9 割が最終処分されている。

ガラス陶磁器くずや鋳さいは、再生利用率が比較的高くなっているが、中間処理により減量化されにくいもの、再生利用されないものは最終処分されることになる。



注1) 廃油、廃酸、廃アルカリに最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。  
注2) ばいじんについて、排出時は乾式であるが、搬出時は加水により増加している。そのため減量化量がマイナスとなるが図中では再生利用と最終処分量の割合で表記している。

図 2-2-4 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比



## 2. 排出の状況

### (1) 業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、電気・水道業が 1,249 千トン（40.1%）で最も多く、次いで、建設業が 974 千トン（31.3%）、製造業が 396 千トン（12.7%）、農業が 239 千トン（7.7%）となっており、この 4 業種で全体の 91.8%を占めている。（図 2-2-5）

建設業は、排出量の大部分をがれき類が占めている。がれき類は基本的に中間処理による減量はしないため、排出量では全体の 31.3%であるが、搬出量では全体の 58.7%を占めている。

電気・水道業は、下水道汚泥の占める割合が高い。下水道汚泥は自己中間処理（脱水、焼却等）により大幅に減量される。そのため、電気・水道業の排出量は全体の 40.1%を占めているが、搬出量では全体の 26.0%となっている。（図 2-2-6）

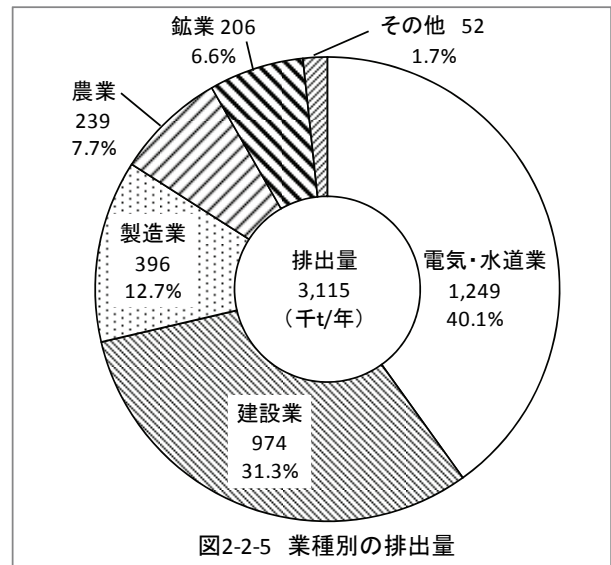


図2-2-5 業種別の排出量

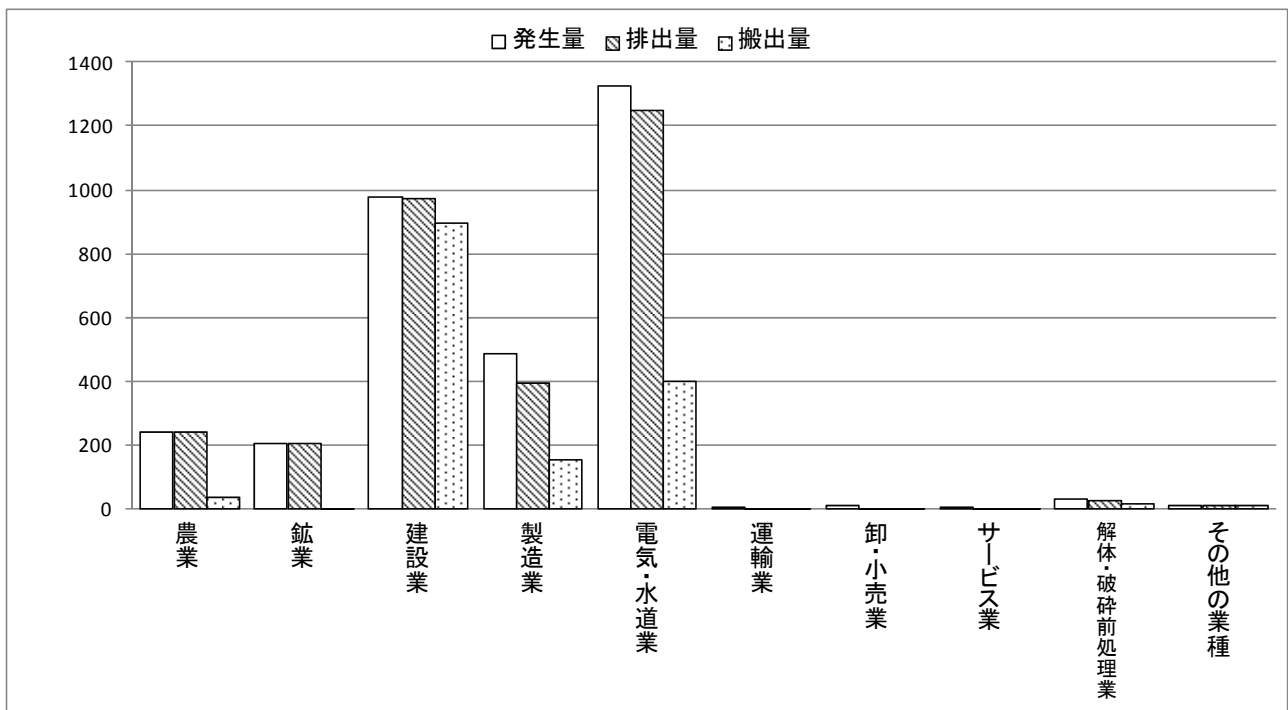


図 2-2-6 業種別の発生量、排出量、搬出量

## (2) 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると汚泥が 1,371 千ト (44.0%) で最も多く、次いで、がれき類が 844 千ト (27.1%)、ばいじんが 316 千ト (10.1%)、動物のふん尿が 238 千ト (7.6%)、木くずが 76 千ト (2.5%) 等となっている。(図 2-2-7)

汚泥は排出量に占める割合が 44.0% と高いが、排出事業者自らによる脱水、乾燥、焼却等の処理により、大幅に減量されて事業所外に搬出される。このため、搬出量全体の割合でみると 6.0% となる。(図 2-2-8)

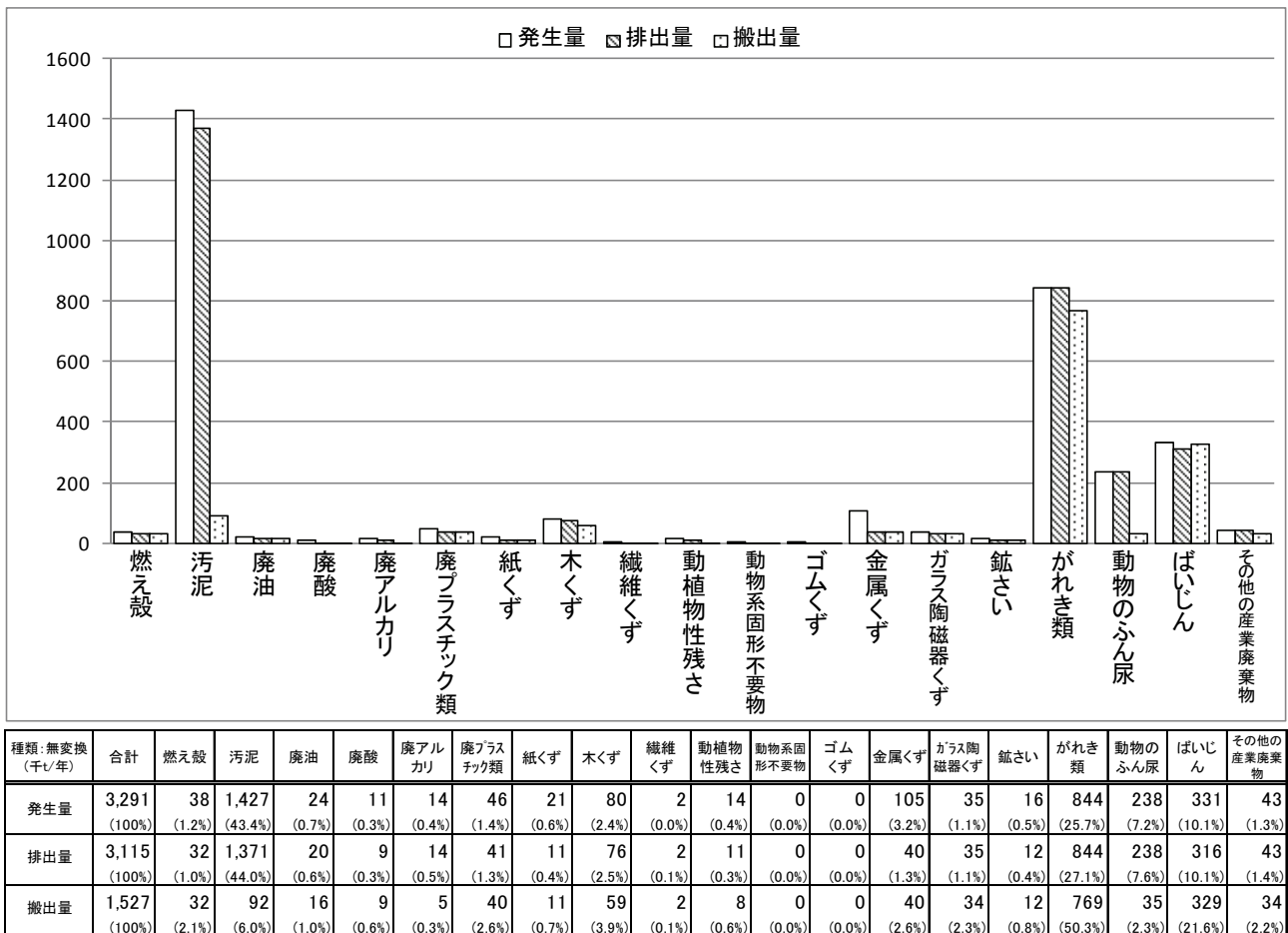
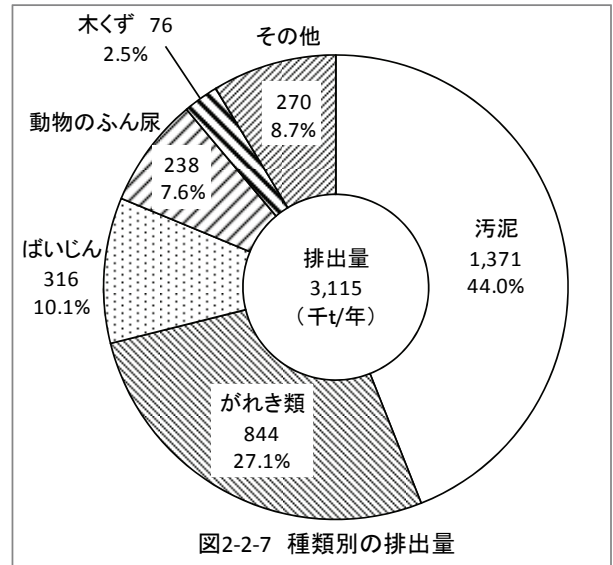


図 2-2-8 種類別の発生量、排出量、搬出量

業種別・種類別の排出量は表 2-2-1 のとおりであり、特徴は次のとおりである。

- ・汚泥の排出量は 1,371 千トで、そのうち電気・水道業から 900 千トが排出されており、これは主に下水道処理に伴う有機性汚泥である。その他、生産活動に伴い製造業から 246 千ト、砂利採取に伴い鉱業から 206 千トが排出されている。
- ・がれき類の排出量は 844 千トで、建築物の新築や解体、道路工事の際に排出されるコンクリート片や廃アスファルトなど、建設業から 841 千トが排出されている。
- ・ばいじんの排出量は 316 千トで、ほぼ全量が電気・水道業から排出されており、これは石炭火力発電所が排出する石炭灰である。
- ・動物のふん尿の排出量は 238 千トで、すべて農業から排出されており、畜産に伴う家畜のふん尿である。

表 2-2-1 業種別・種類別の排出量

(単位:千t/年)

種 類	業 種										
	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	サービス業	解体・破碎前処理業	その他の業種
合計	3,115	239	206	974	396	1,249	2	8	6	25	11
燃え殻	32				0	32					
汚泥	1,371		206	16	246	900	1	1	1		1
廃油	20		0	0	14	0	0	2	2	0	1
廃酸	9				9	0			0		0
廃アルカリ	14			0	14	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	41	0	0	9	22	0	1	2	2	1	3
紙くず	11			3	9						0
木くず	76			56	20	0	0	0			0
繊維くず	2			0	1						
動植物性残さ	11				11						
動物系固形不要物	0								0		
ゴムくず	0			0	0			0			0
金属くず	40		0	15	20	0	0	2	1	1	1
ガラス陶磁器くず	35			21	13	0	0	0	0	0	1
鉱さい	12				12	0					
がれき類	844			841	1	2		0			0
動物のふん尿	238	238									
ばいじん	316				1	315					
その他の産業廃棄物	43			13	3	0	0	0	0	22	4
感染性廃棄物	3				0						3
混合物等	40			13	3	0	0	0	0	22	1

(注 1) 表中の「0」は 1 t 以上 500 t 未満で、空欄は 1 t 未満。

(注 2) 千 t 未満を四捨五入したため、内訳の計が合計に一致しないものがある。

### (3) 地域区別の排出状況

排出量を地域別にみると、金沢市が994千トン（31.9%）で最も多く、能登中部地域が897千トン（28.8%）、南加賀地域が452千トン（14.5%）、石川中央地域南部区が343千トン（11.0%）、石川中央地域北部区が240千トン（7.7%）、能登北部地域が189千トン（6.1%）となっている。（図2-2-9、図2-2-10）

金沢市は人口が多いため、下水道汚泥や建築・道路工事に伴うがれき類など、日常生活に密着した産業廃棄物が多くなっており、能登中部地域は石炭火力発電所から発生する産業廃棄物が多くなっている。

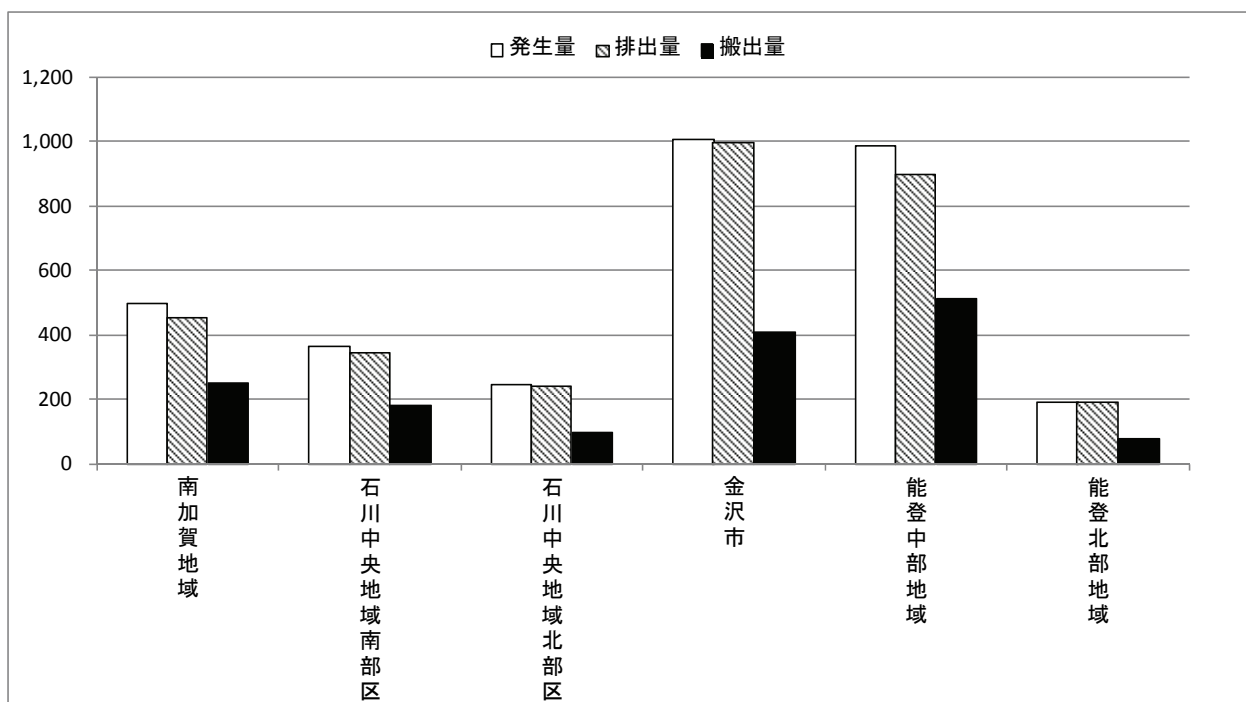
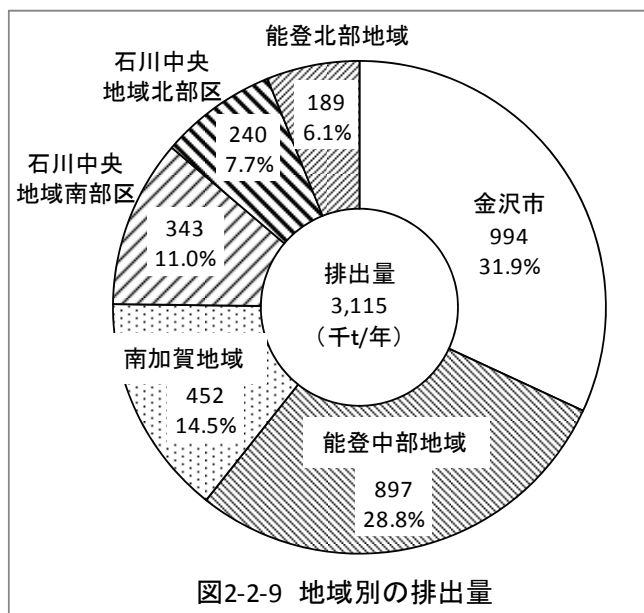


図2-2-10 地域別の発生量、排出量、搬出量

### 3. 再生利用の状況

#### (1) 種類別の再生利用状況

再生利用量は 1,595 千トであり、排出量に対する割合は 51.2% である。

種類別にみると、がれき類が 826 千ト (51.8%) で最も多く、次いで、ばいじんが 278 千ト (17.5%)、動物のふん尿が 189 千ト (11.9%)、汚泥が 81 千ト (5.1%) 等となっている。

有償物量は 176 千トであり、金属くずと汚泥の量が多くなっている。有償物の汚泥の大部分は、石炭火力発電所から排出される脱硫石膏である。(図

2-2-11、図 2-2-12)

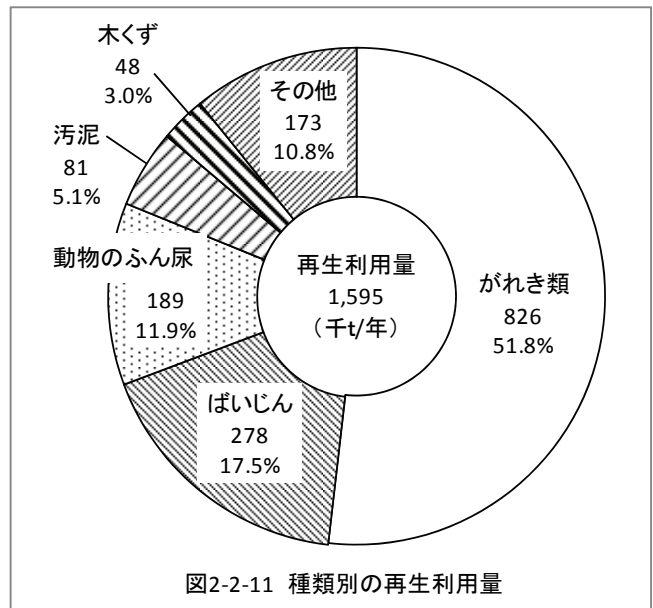
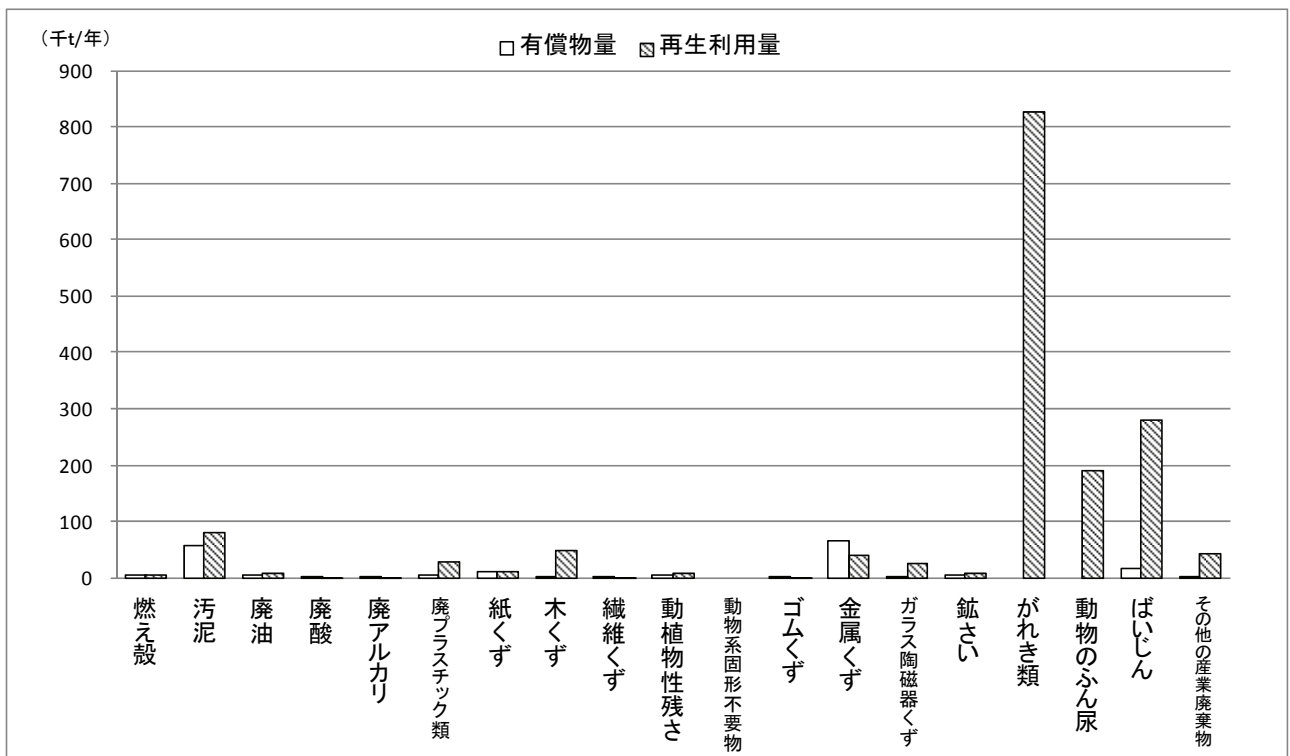


図2-2-11 種類別の再生利用量



種類:変換 (千ト/年)	計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物
資源化量	1,770 (100%)	9 (0.5%)	137 (7.7%)	11 (0.6%)	3 (0.2%)	1 (0.1%)	32 (1.8%)	20 (1.1%)	51 (2.9%)	1 (0.0%)	11 (0.6%)		0 (0.0%)	104 (5.9%)	26 (1.5%)	13 (0.8%)	826 (46.7%)	189 (10.7%)	294 (16.6%)	41 (2.3%)
有償物量	176 (100%)	6 (3.3%)	56 (32.2%)	4 (2.2%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	5 (3.1%)	9 (5.4%)	3 (2.0%)	0 (0.0%)	4 (2.1%)		0 (0.0%)	65 (37.1%)	0 (0.1%)	5 (2.7%)			15 (8.7%)	0 (0.3%)
再生利用量	1,595 (100%)	3 (0.2%)	81 (5.1%)	7 (0.4%)	2 (0.1%)	1 (0.1%)	27 (1.7%)	10 (0.6%)	48 (3.0%)	1 (0.0%)	8 (0.5%)		0 (0.0%)	39 (2.4%)	26 (1.6%)	9 (0.5%)	826 (51.8%)	189 (11.9%)	278 (17.5%)	41 (2.6%)

図 2-2-12 再生利用の状況

(2) 利用用途別の再生利用状況

再生利用量を利用用途別にみると、土木・建設資材が 871 千ト(再生利用量の 54.6%)と最も多く、次いで、セメント原材料が 300 千ト (同 18.8%)、肥料・土壌改良材が 212 ト(同 13.3%)、以下、金属原材料が 64 千ト(同 4.0%)、燃料が 42 千ト(同 2.7%)等となっている。

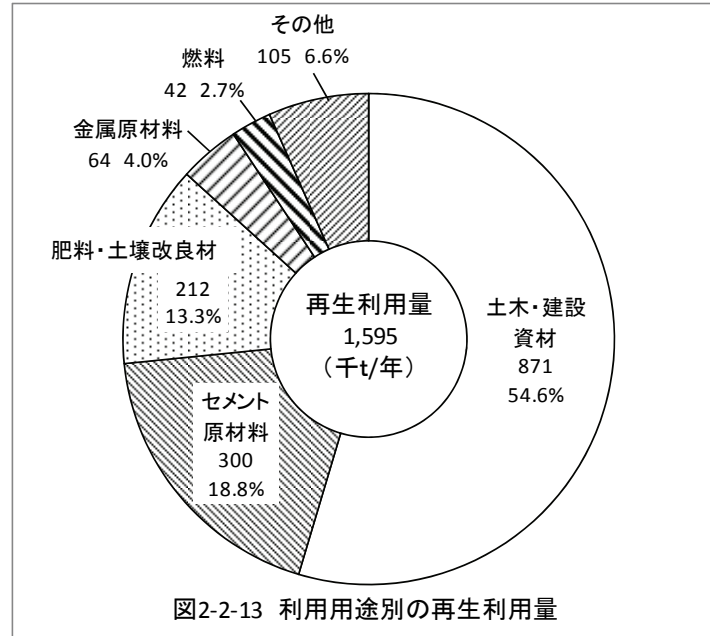


表 2-2-2 種類別・再生利用用途別の再生利用量

(単位：千 t/年)

種類：変換	合計	土木・建設資材	セメント原材料	肥料・土壌改良材	金属原材料	燃料	パルプ・紙原材料	その他の用途
合計	1,595	871	300	212	64	42	13	93
燃え殻	3	0	2	0				1
汚泥	81	11	11	11	1	2		44
廃油	7					4		3
廃酸	2		1		1			0
廃アルカリ	1		1		0			0
廃プラスチック類	27	1	2			9		15
紙くず	10					0	9	1
木くず	48	5	1	4		25	4	9
繊維くず	1		0			0		1
動植物性残さ	8			4		0		3
動物系固形不要物								
ゴムくず	0					0		0
金属くず	39				38			0
ガラス陶磁器くず	26	15	1	3				8
鋳さい	9	2	3	1	0			2
がれき類	826	825						1
動物のふん尿	189			189				
ばいじん	278		278		0			
その他の産業廃棄物	41	11	0		23	1		5

#### 4. 最終処分状況

最終処分量は 146 千トンとなっており、排出量に対する割合は 4.7% である。

種類別にみると、ばいじんが 44 千トン (29.9%) と最も多く、次いで、燃え殻が 37 千トン (25.5%)、汚泥が 21 千トン (14.3%)、がれき類が 18 千トン (12.3%) 等となっている。

最終処分先を主体別にみると、自己最終処分量が 76 千トン (最終処分量の 52.1%)、処理業者等への委託最終処分量が 70 千トン

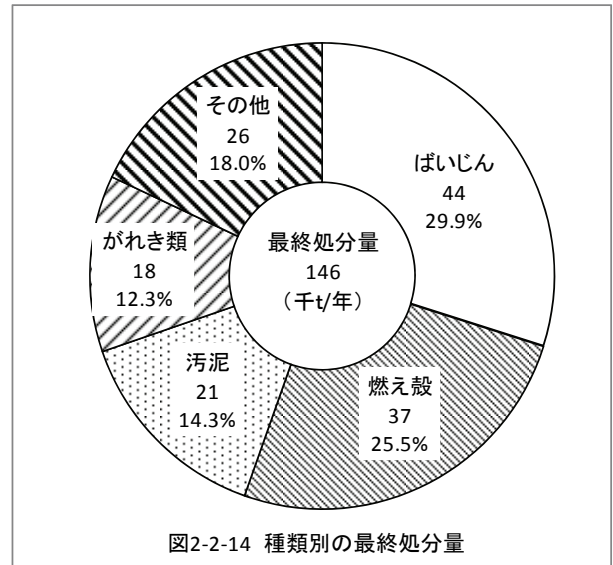


図2-2-14 種類別の最終処分量

(同 47.9%) となっている (図 2-2-14、2-2-15)。自己最終処分量は、全量が石炭火力発電所で排出、処分された産業廃棄物である。

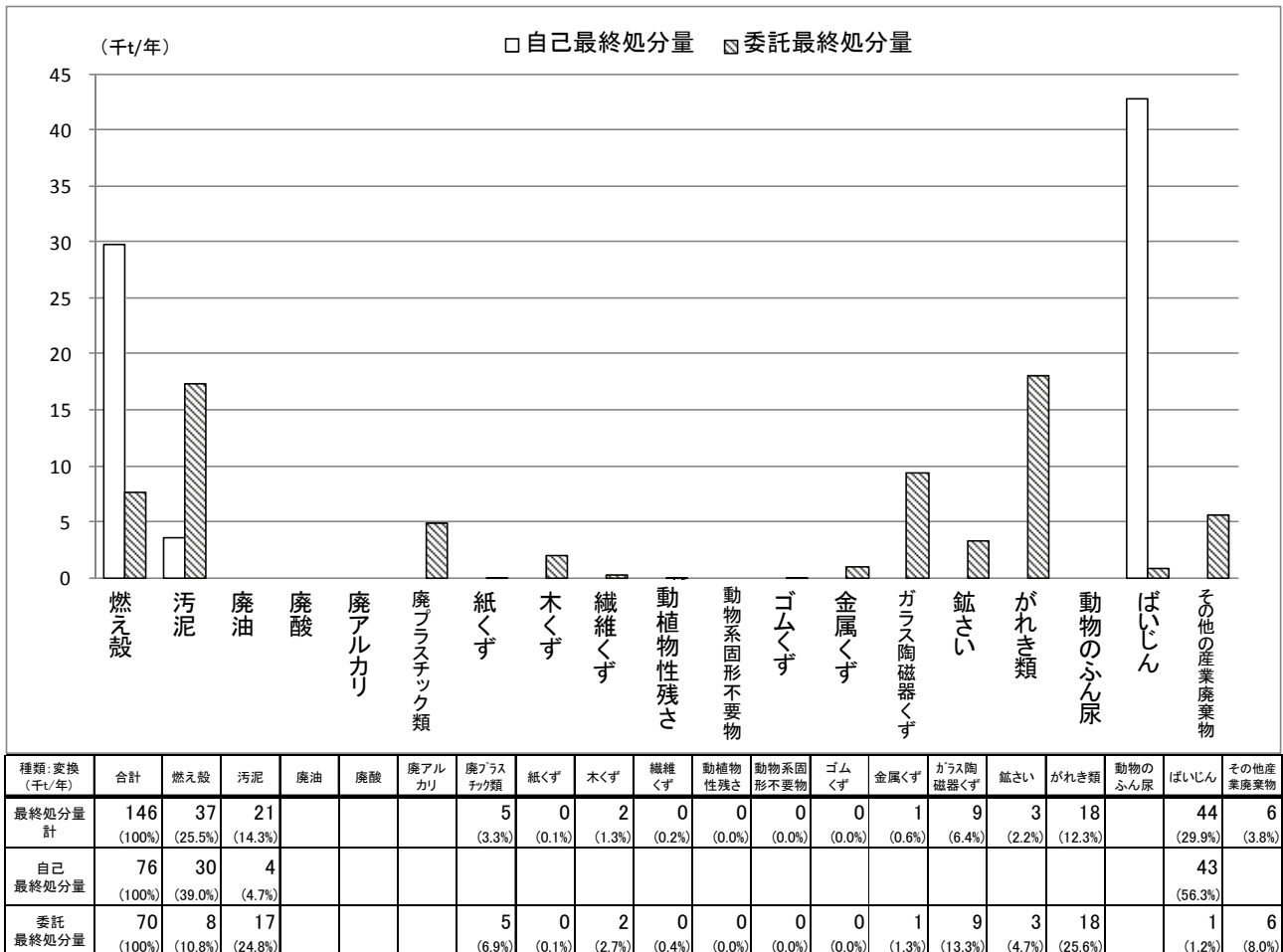


図 2-2-15 最終処分の状況

燃え殻とばいじんは、ほぼ全量が石炭火力発電所から排出される石炭灰である。これらは土木・建設資材やセメント原材料として再生利用されているが、最終処分されるものもある。ただし、これらの石炭灰は港湾計画に位置付けられた港湾用地の土地造成材として利用されている側面もある。

### 第3章 業種別の調査結果

#### 第1節 農業

農業からの排出量は 239 千トで、県全体の 7.7%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 3-1-1 のとおりである。

なお、農業は資料調査とし、動物のふん尿については、平成 21 年度実績値と家畜の飼養頭羽数の推移等から平成 23 年度値を推計した。また、動物のふん尿の委託処理状況については、産業廃棄物処理業者の処分実績から推計した。

廃プラスチックは、平成 21 年度値を平成 23 年度実績とした。

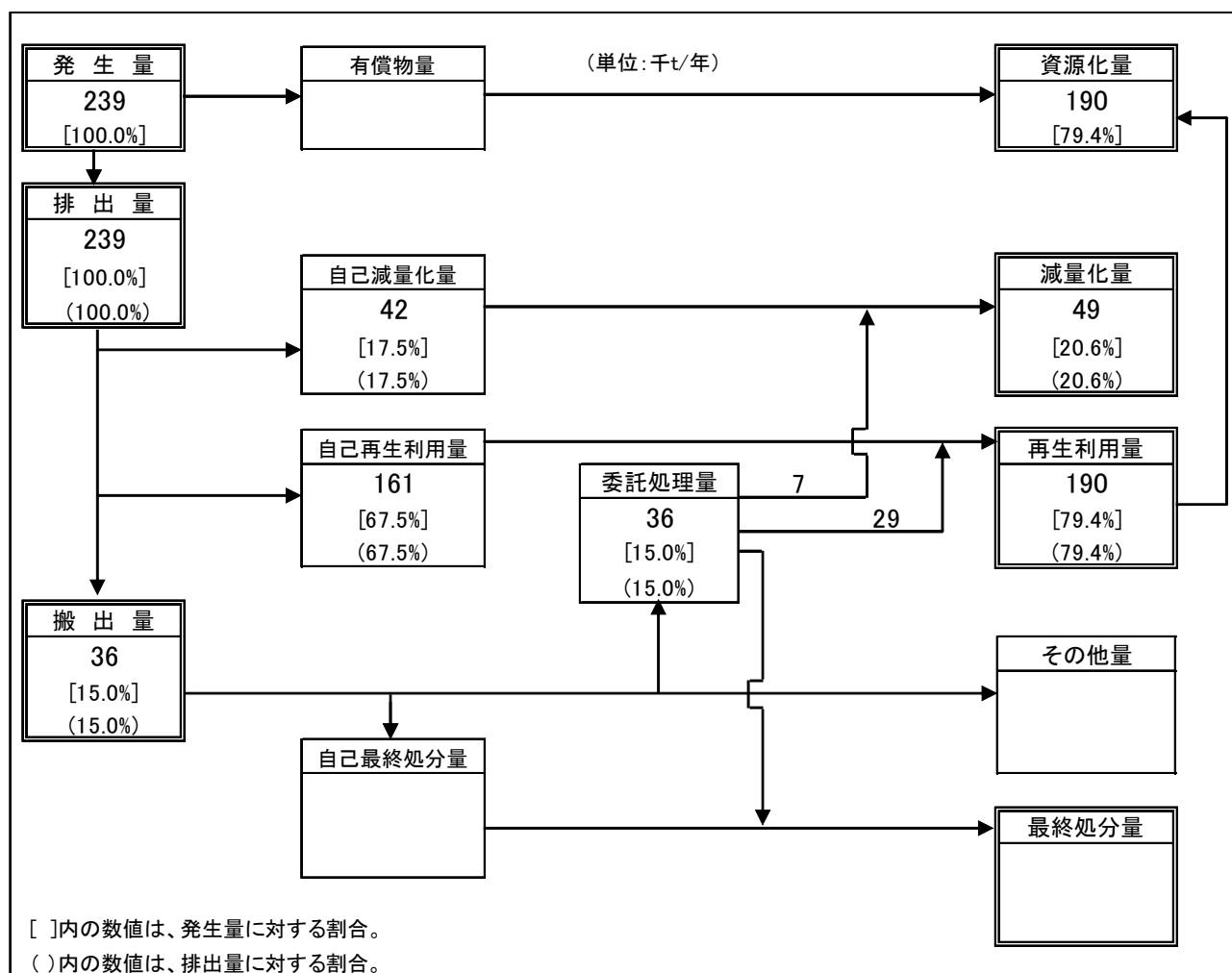


図 3-1-1 農業の排出及び処理状況の概要

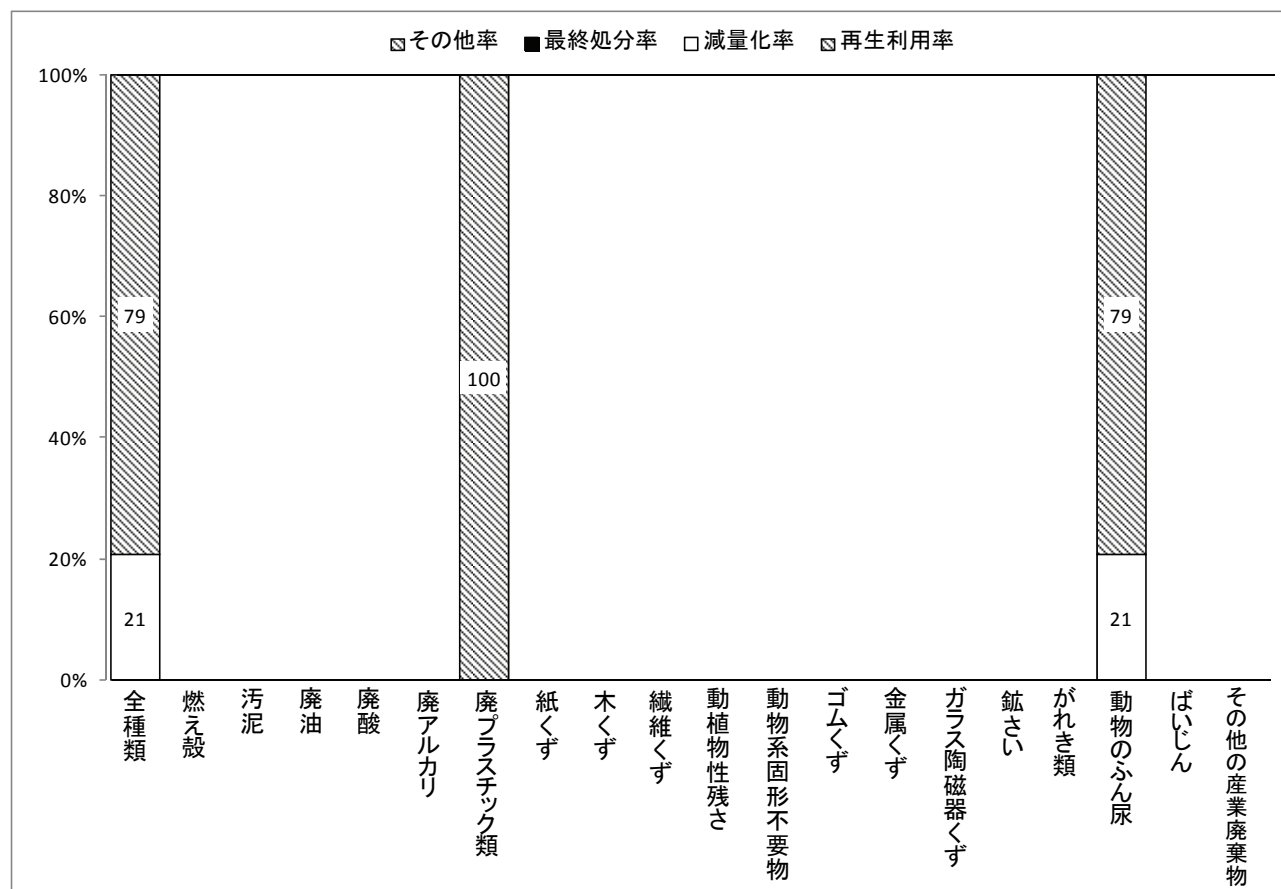


種類別にみると、動物のふん尿の排出量は 238 千トン（農業の排出量の 99.8%）で、このうち 189 千トンは再生利用されている。（図 3-1-2）



図 3-1-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、次のとおりである。



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	239						0											238		
再生利用量	190						0											189		
減量化量	49																	49		
最終処分量																				
その他量																				

注1) 廃油、廃酸、廃アルカリに最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-1-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

## 第2節 鉱業

鉱業からの排出量は206千トで、県全体の6.6%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図3-2-1のとおりである。

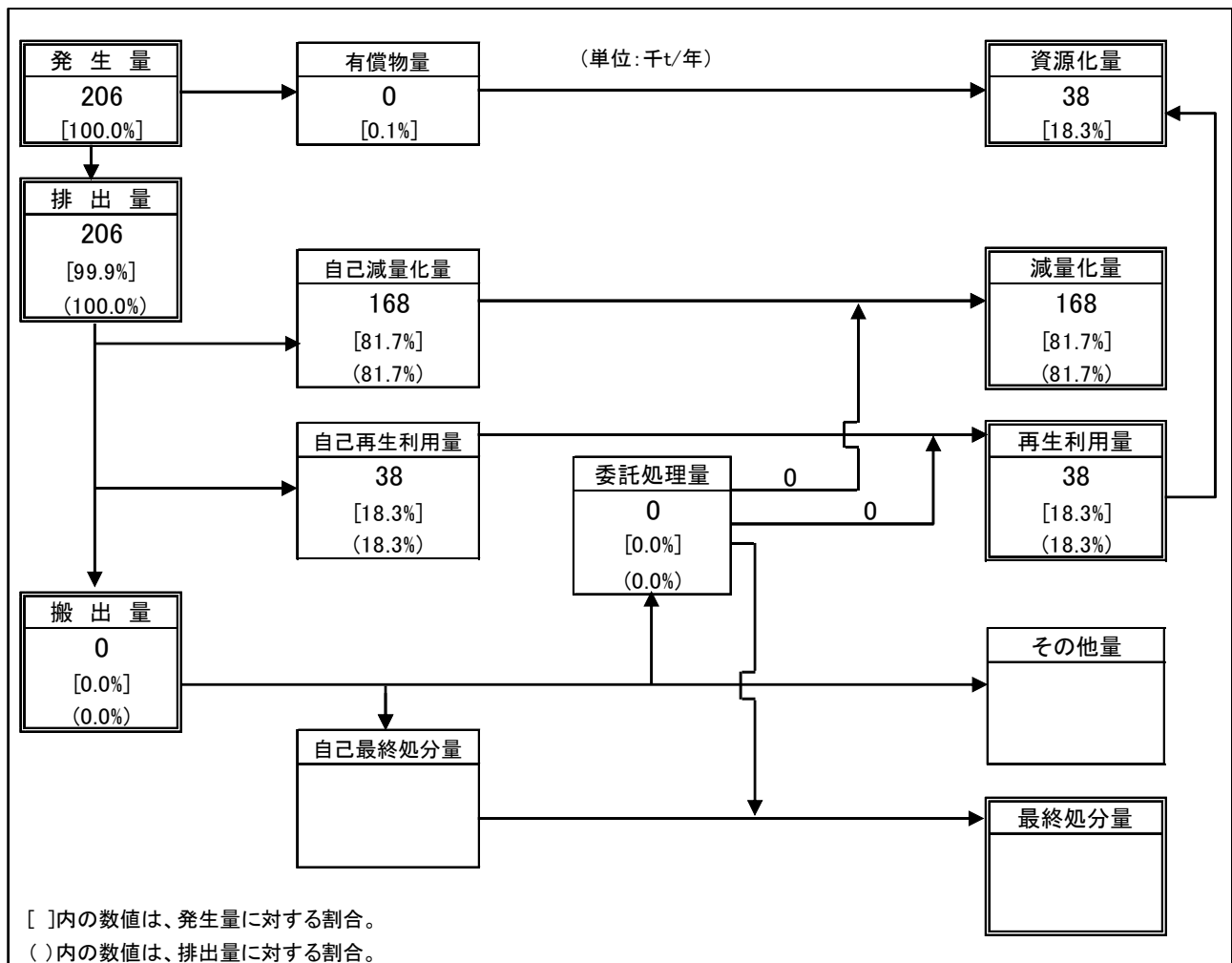


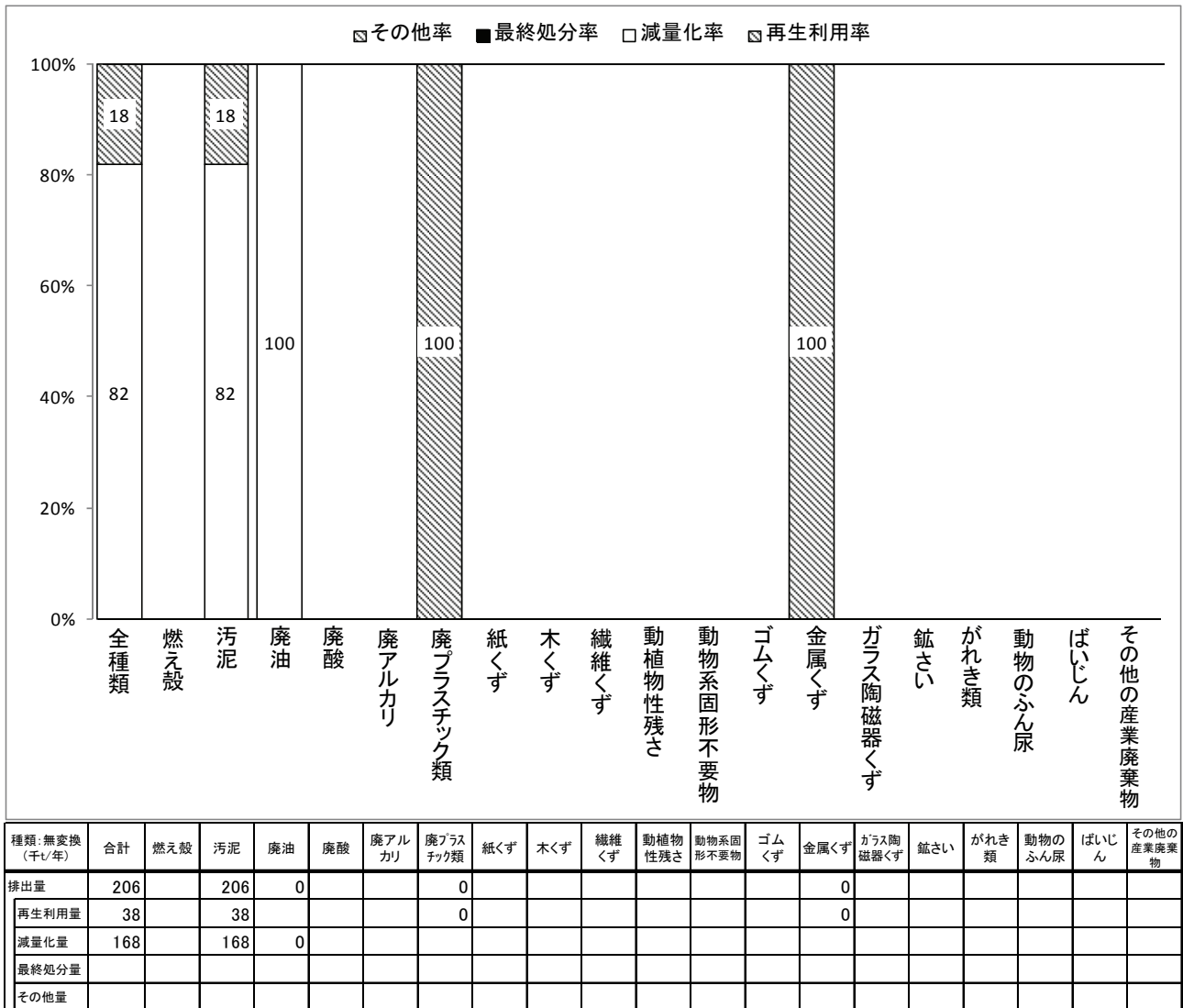
図3-2-1 鉱業の排出及び処理状況の概要

種類別にみると、汚泥の排出量は 206 千トン（鉱業の排出量の 100.0%）で、このうち 38 千トンは再生利用されている。（図 3-2-2）



図 3-2-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、次のとおりである。



注1) 廃油、廃酸、廃アルカリに最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-2-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

### 第3節 建設業

建設業からの排出量は974千トで、県全体の31.3%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図3-3-1のとおりである。

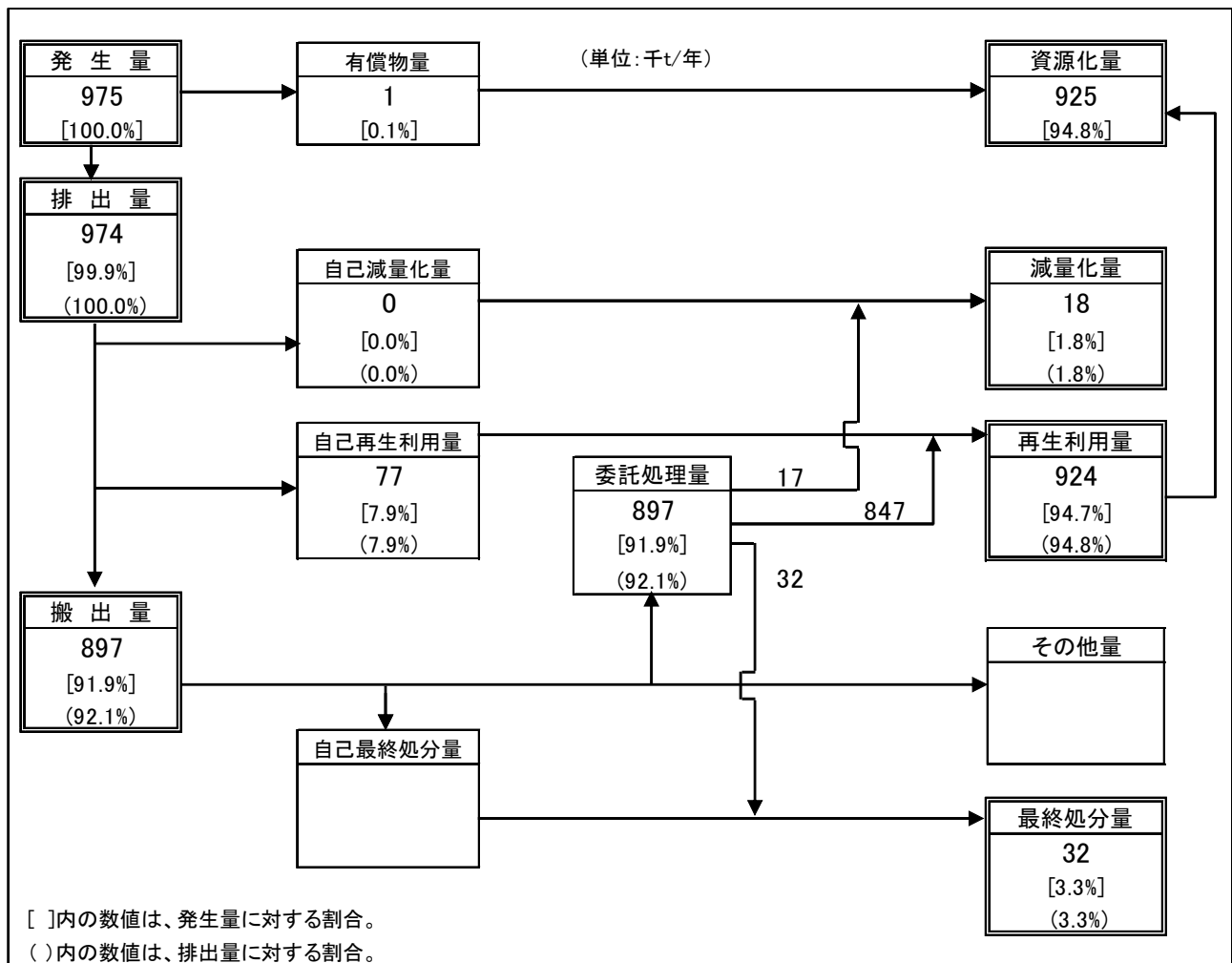


図 3-3-1 建設業の排出及び処理状況の概要

種類別にみると、がれき類の排出量は 841 千トン（建設業の排出量の 86.4%）で、このうち 823 千トンは再生利用されており、最終処分量は排出量の 1 割に満たない 18 千トンとなっている。

また、木くずの排出量は 56 千トン（同 5.7%）であるが、再生利用や減量化により最終処分量は 2 千トンとなっている。（図 3-3-2）

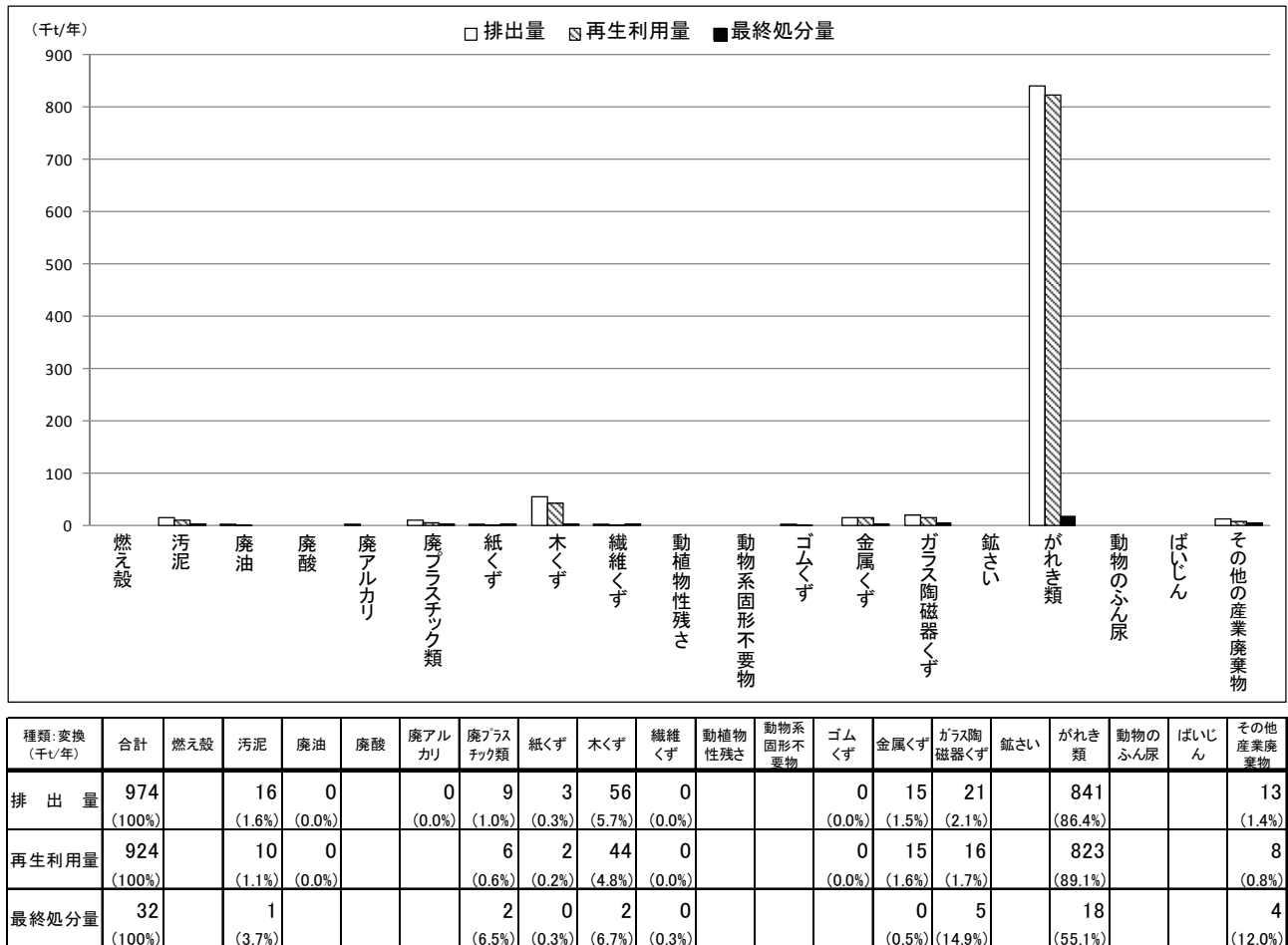
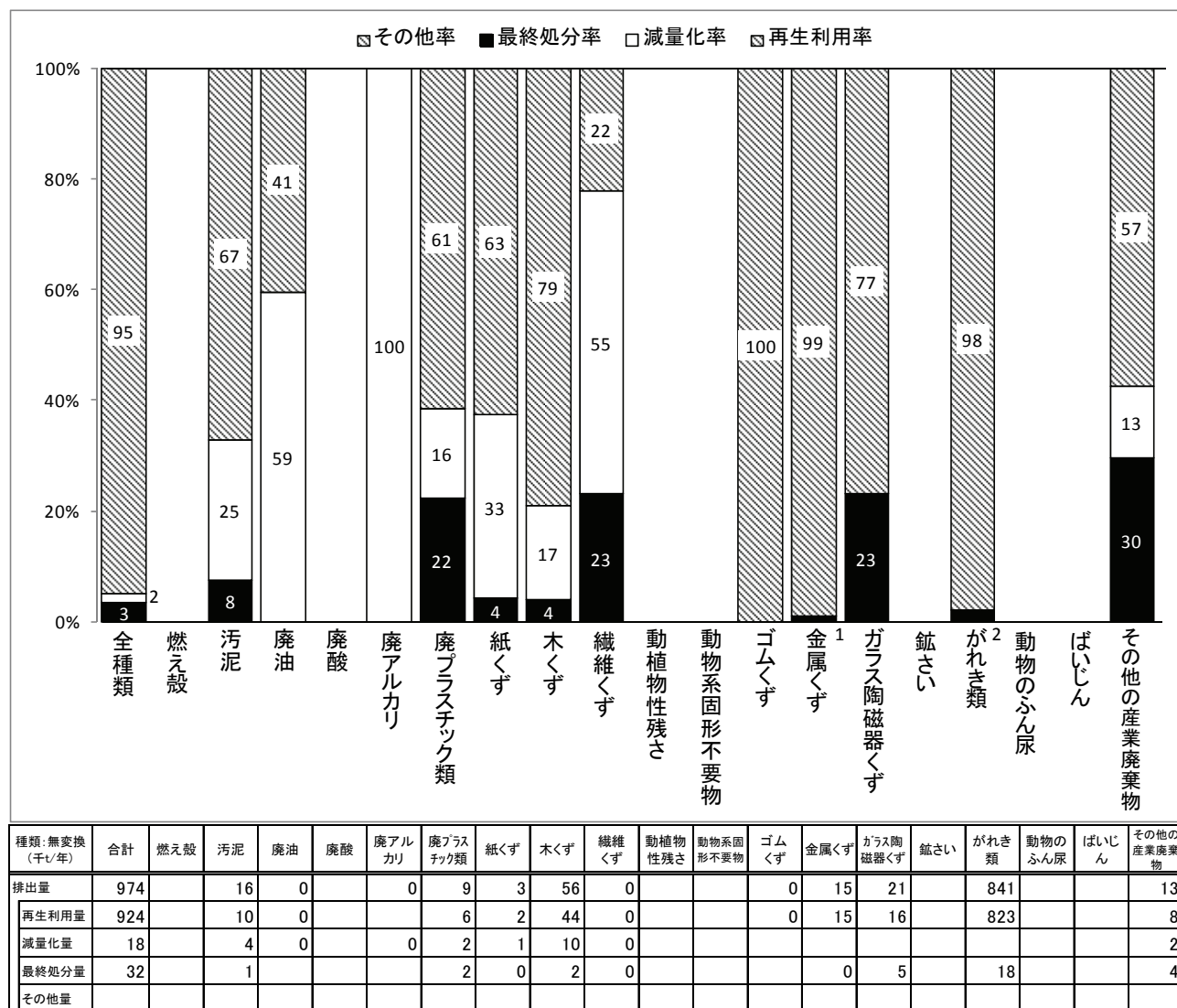


図 3-3-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、次のとおりである。



注1) 廃油、廃酸、廃アルカリに最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-3-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比



## 第4節 製造業

製造業からの排出量は 396 千トで、県全体の 12.7%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 3-4-1 のとおりである。

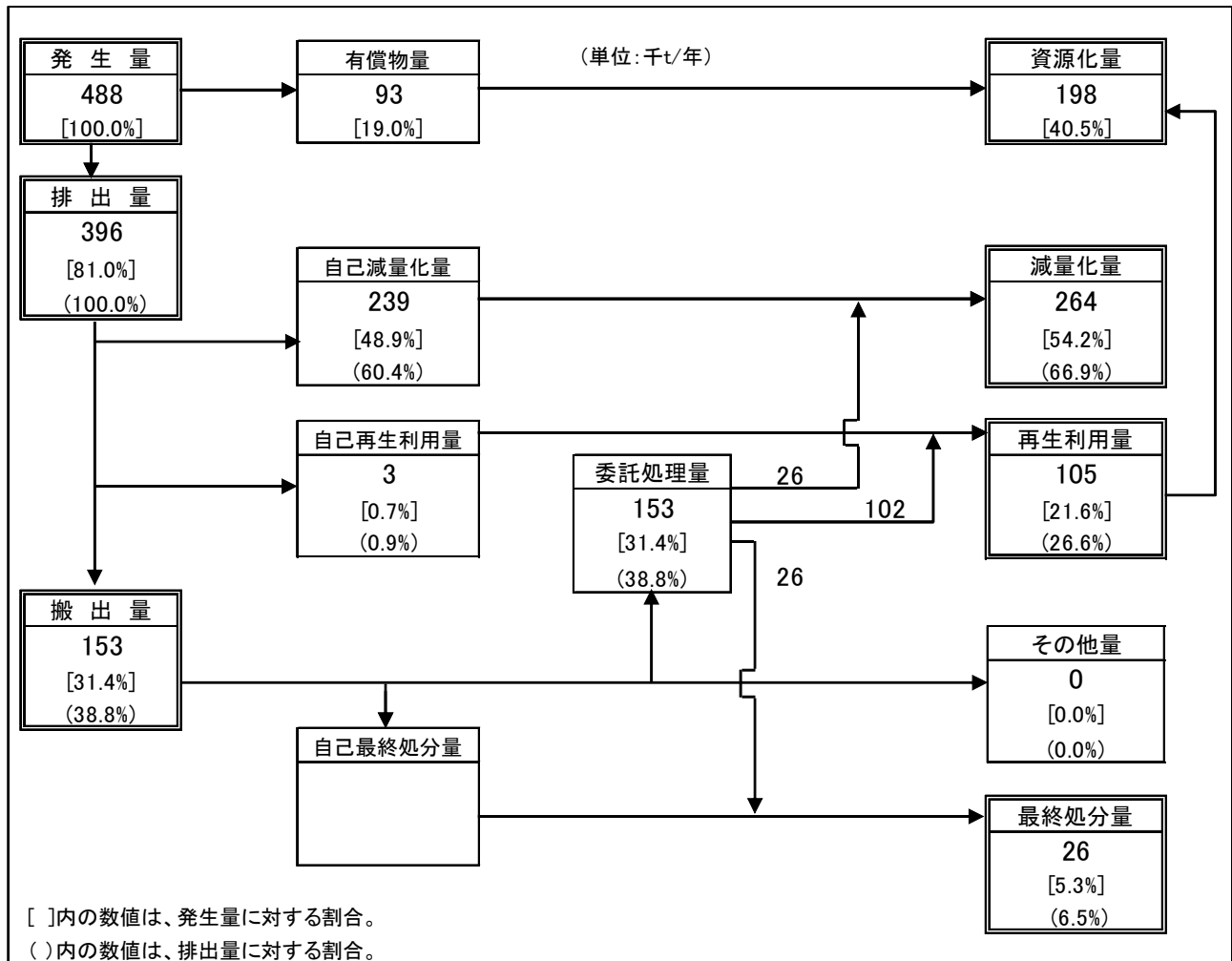


図 3-4-1 製造業の排出及び処理状況の概要

製造業の産業廃棄物を種類別にみると、汚泥の排出量が 246 千トン（製造業の排出量の 62.1%）と最も多く、次いで、廃プラスチック類の 22 千トン（同 5.6%）、木くずの 20 千トン（同 5.2%）、金属くずの 20 千トン（同 5.0%）等となっている。

汚泥は脱水等による減量化が図られているため、最終処分量に占める割合は低くなっている。（図 3-4-2）

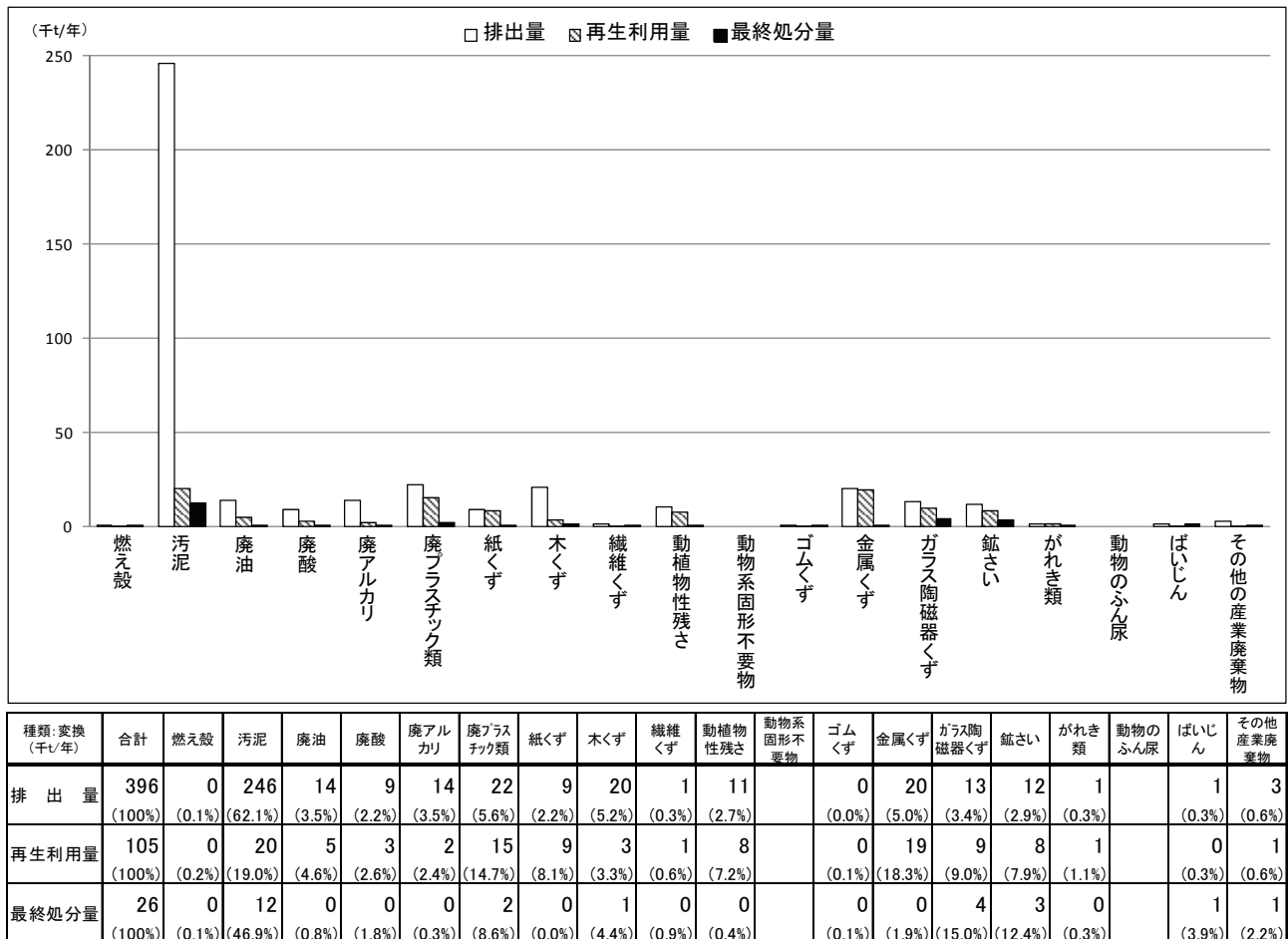
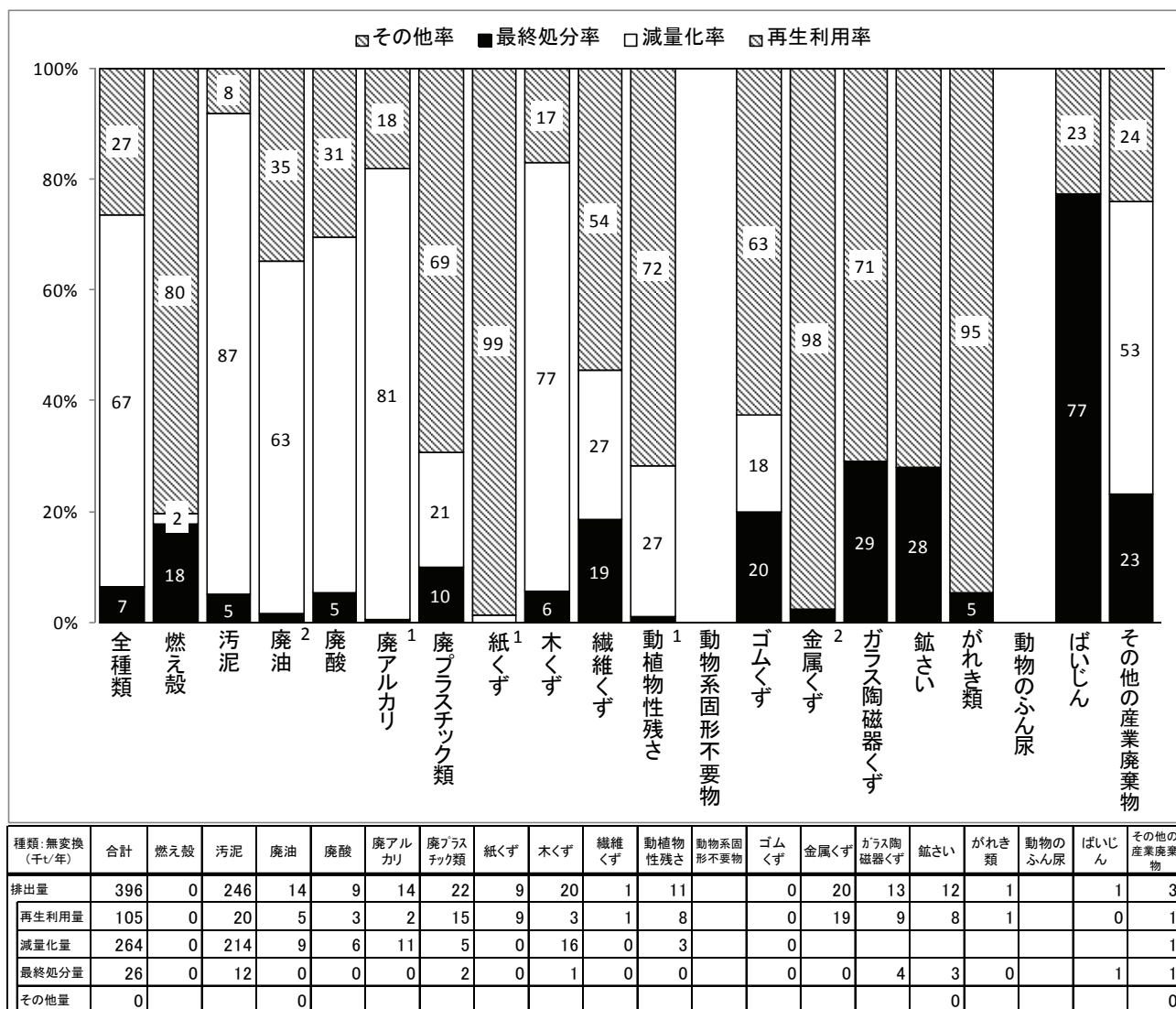


図 3-4-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、次のとおりである。



注1) 廃油、廃酸、廃アルカリに最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-4-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

## 第5節 電気・水道業

電気・水道業からの排出量は1,249千トで、県全体の40.1%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図3-5-1のとおりである。

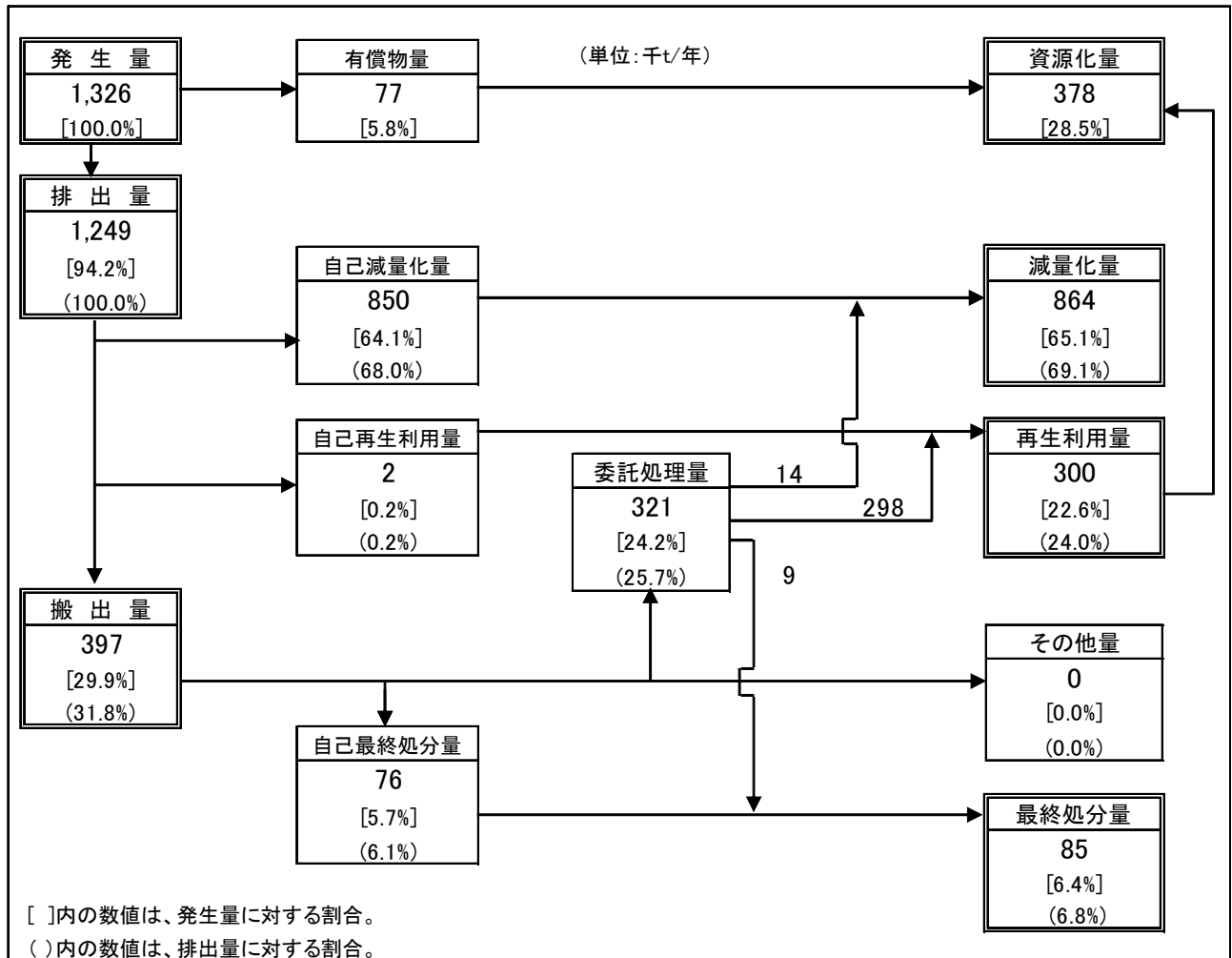


図3-5-1 電気・水道業の排出及び処理状況の概要

種類別にみると、排出量では汚泥が 900 千トン（電気・水道業の排出量の 72.1%）を占めて最も多く、次いで、ばいじんが 315 千トン（同 25.2%）等となっている。

汚泥は主に自己中間処理（脱水・焼却等）により減量化されるため、最終処分量では 12 千トン（最終処分量の 14.1%）となっている。

ばいじんは、再生利用が図られているが、最終処分に占める割合は 50.5%と高くなっている。（図 3-5-2）

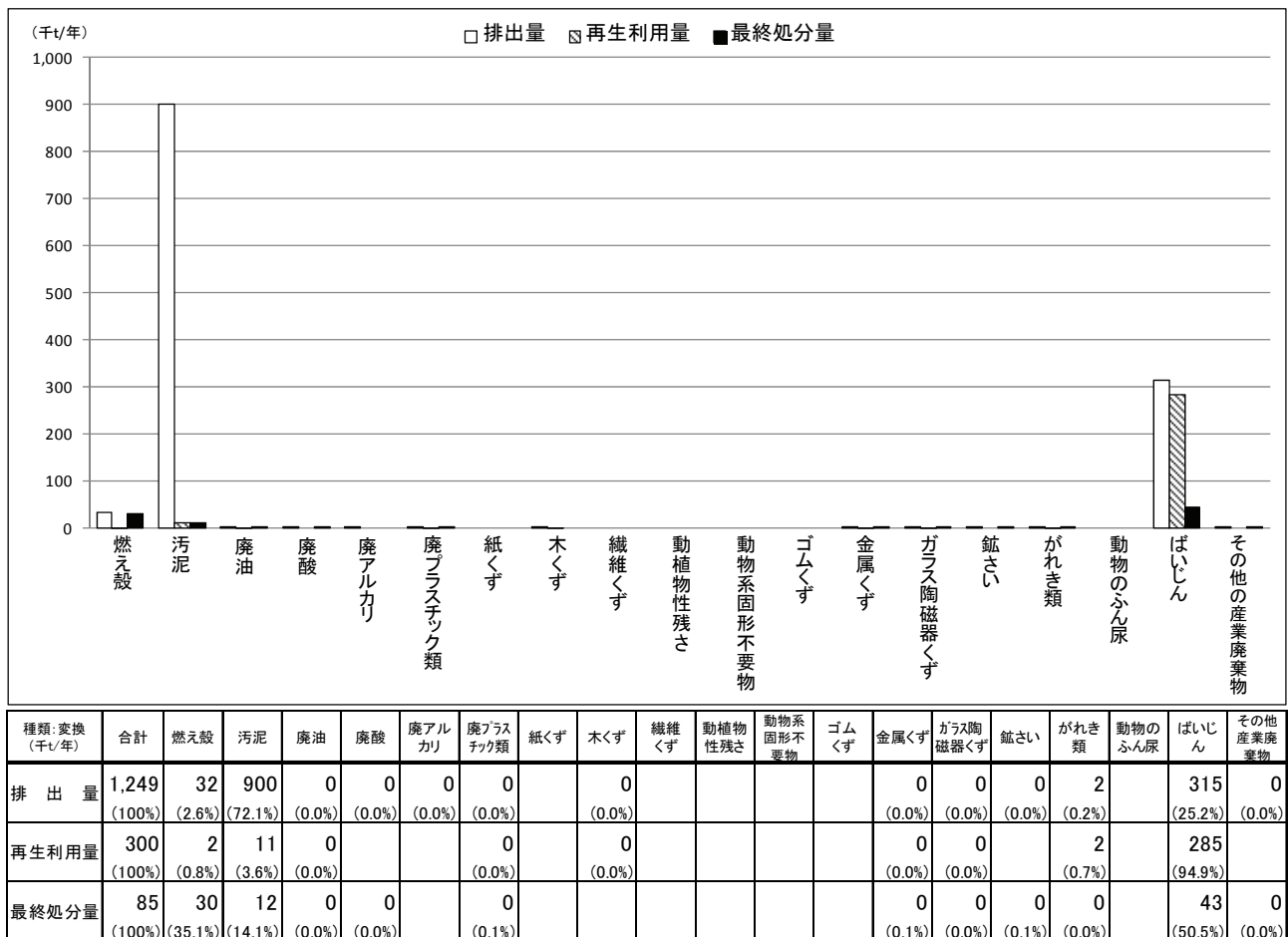
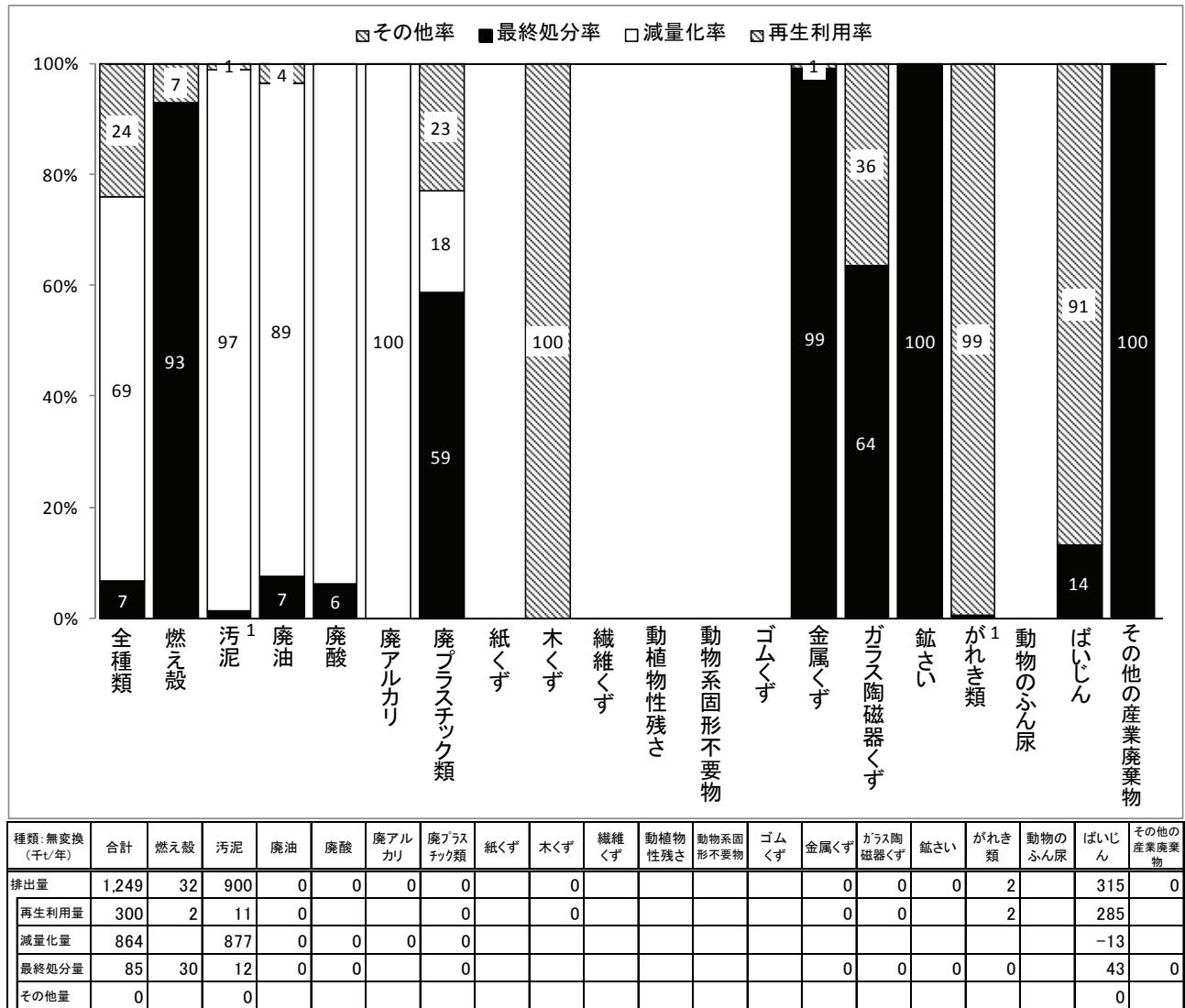


図 3-5-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、次のとおりである。



注1) 廃油、廃酸、廃アルカリに最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。  
注2) ばいじんについて、排出時は乾式であるが、搬出時は加水により増加している。そのため減量化量がマイナスとなるが図中では再生利用と最終処分量の割合で表記している。

図 3-5-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

## 第6節 その他

その他（運輸業、卸・小売業、サービス業、解体・破砕前処理業、その他の業種）からの排出量は52.4千トで、県全体の1.7%である。

各業種の排出量は、表3-6-1のとおりであり、自動車の整備に係る業種から排出される廃油や廃プラスチック類（廃タイヤ）及び混合物等（使用済自動車）、医療・福祉から排出される感染性廃棄物などが含まれている。

表3-6-1 その他の排出量

(単位：千t/年)

業種 種類	合計	運輸業	卸・小売業	サービス業	解体・破砕前 処理業	その他の業種
合計	52.4	2.5	7.8	6.1	24.9	11.1
燃え殻						
汚泥	3.5	1.0	0.7	0.9		0.9
廃油	5.8	0.2	2.4	1.6	0.2	1.4
廃酸	0.1			0.0		0.1
廃アルカリ	0.6	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0
廃プラスチック類	9.0	0.9	2.2	2.3	0.7	2.9
紙くず	0.1					0.1
木くず	0.4	0.2	0.0			0.2
繊維くず						
動植物性残さ						
動物系固形不要物	0.3			0.3		
ゴムくず	0.0		0.0			0.0
金属くず	4.7	0.1	1.5	0.6	1.5	1.0
ガラス陶磁器くず	1.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.8
鉱さい						
がれき類	0.1		0.1			0.0
動物のふん尿						
ばいじん						
その他の産業廃棄物	26.8	0.1	0.4	0.2	22.4	3.7
感染性産業廃棄物	2.5					2.5
混合物等	24.2	0.1	0.4	0.2	22.4	1.2

※「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業が含まれる。

「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業・飲食業、教育、医療・福祉が含まれる。

なお、各業種の産業廃棄物の処理の流れを示すと、図 3-6-1～図 3-6-5 のとおりである。

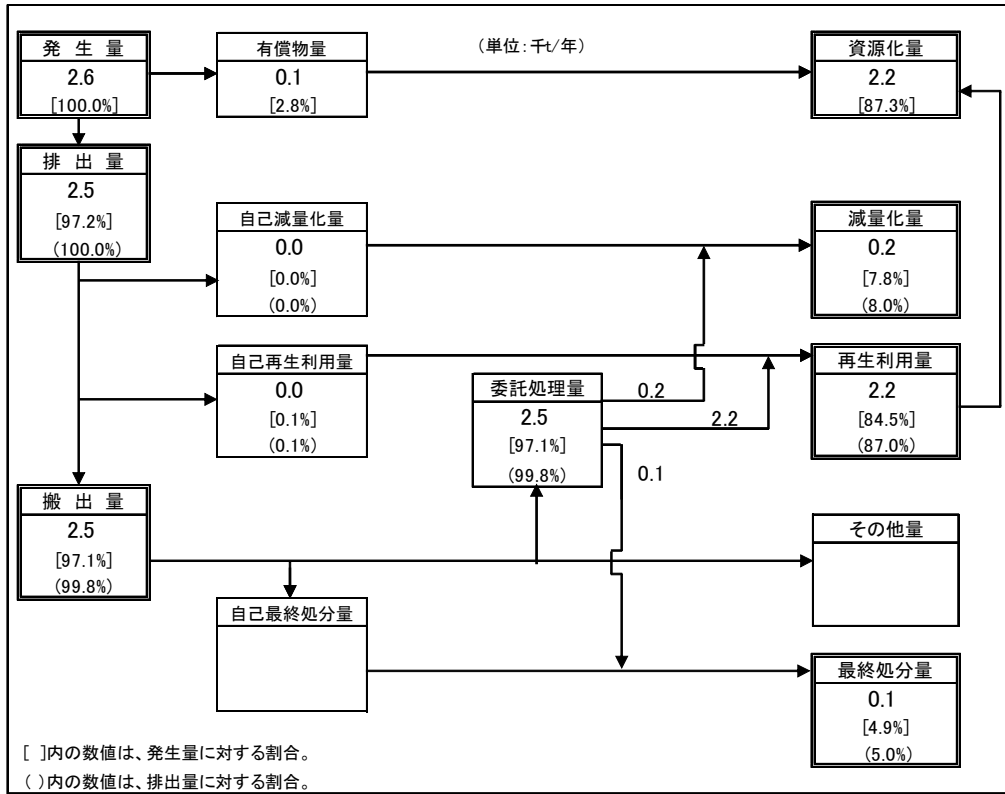


図 3-6-1 運輸業の排出及び処理状況の概要

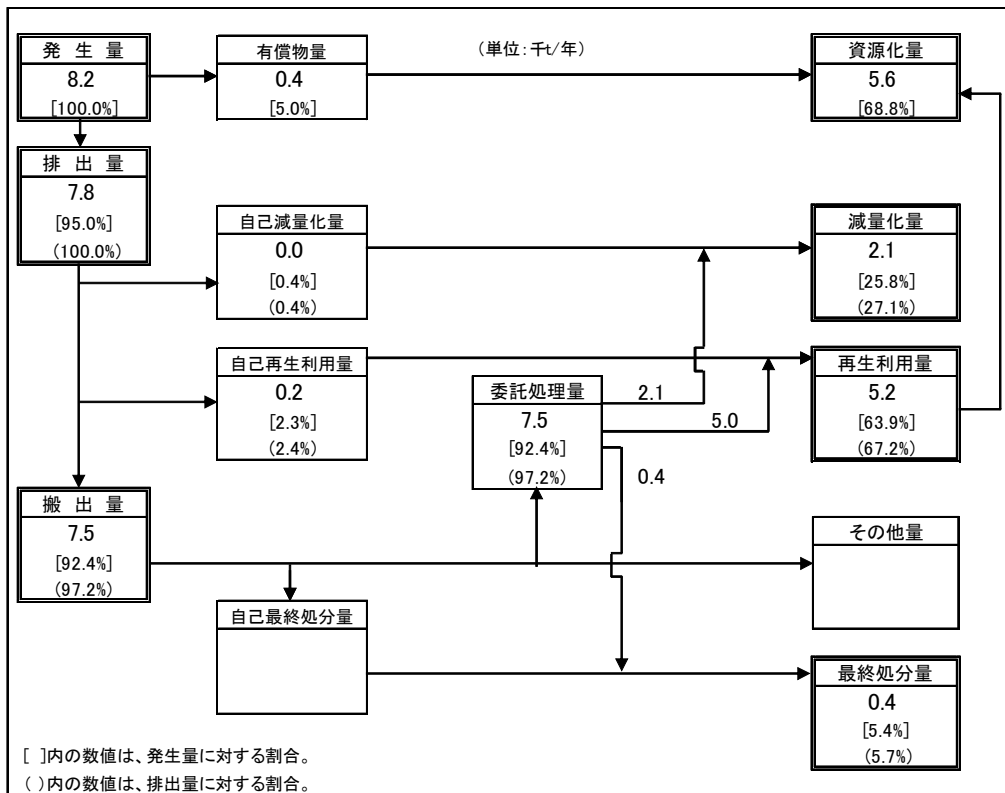


図 3-6-2 卸・小売業の排出及び処理状況の概要



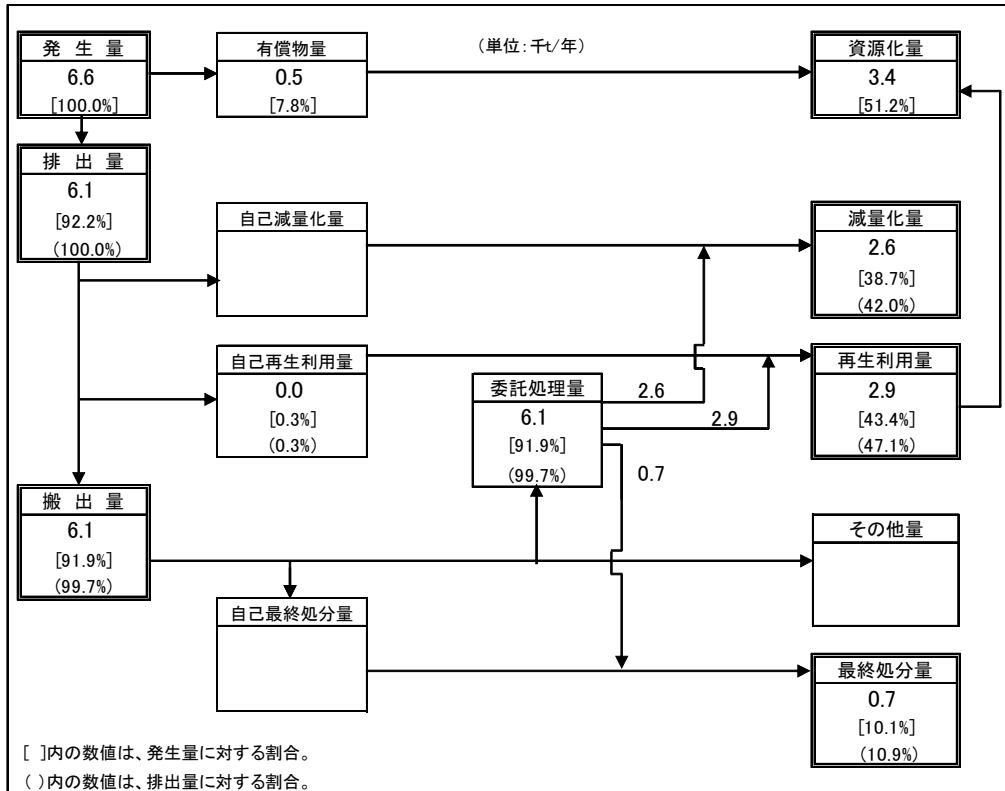


図 3-6-3 サービス業の排出及び処理状況の概要

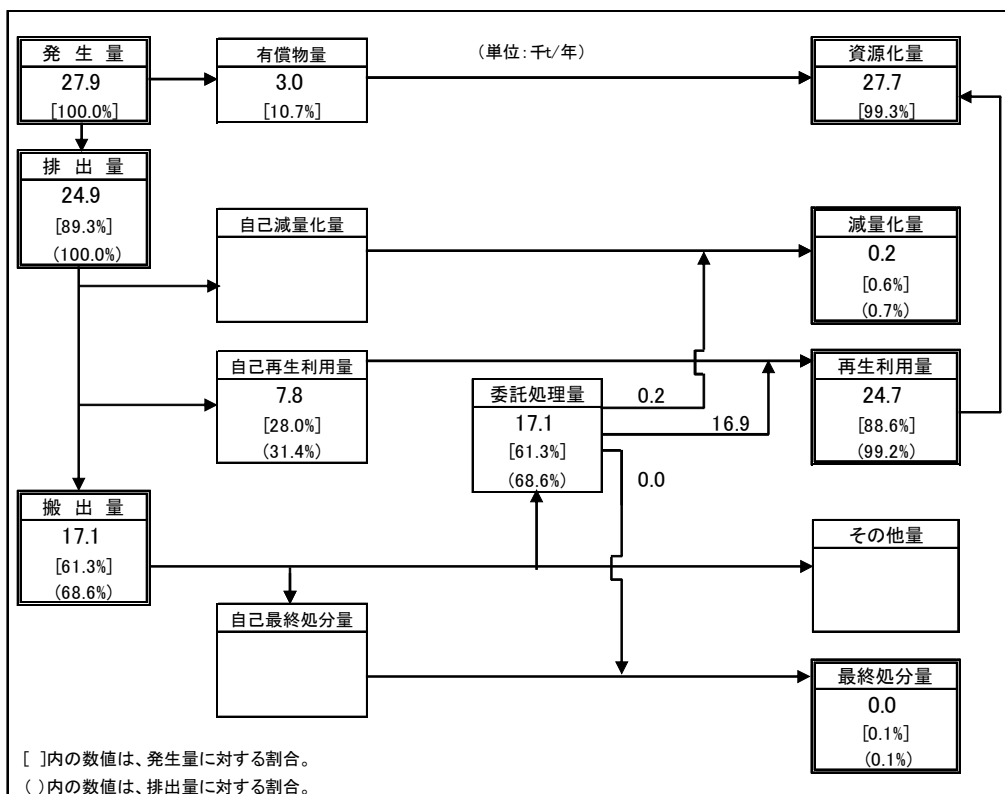


図 3-6-4 解体・破砕前処理業の排出及び処理状況の概要

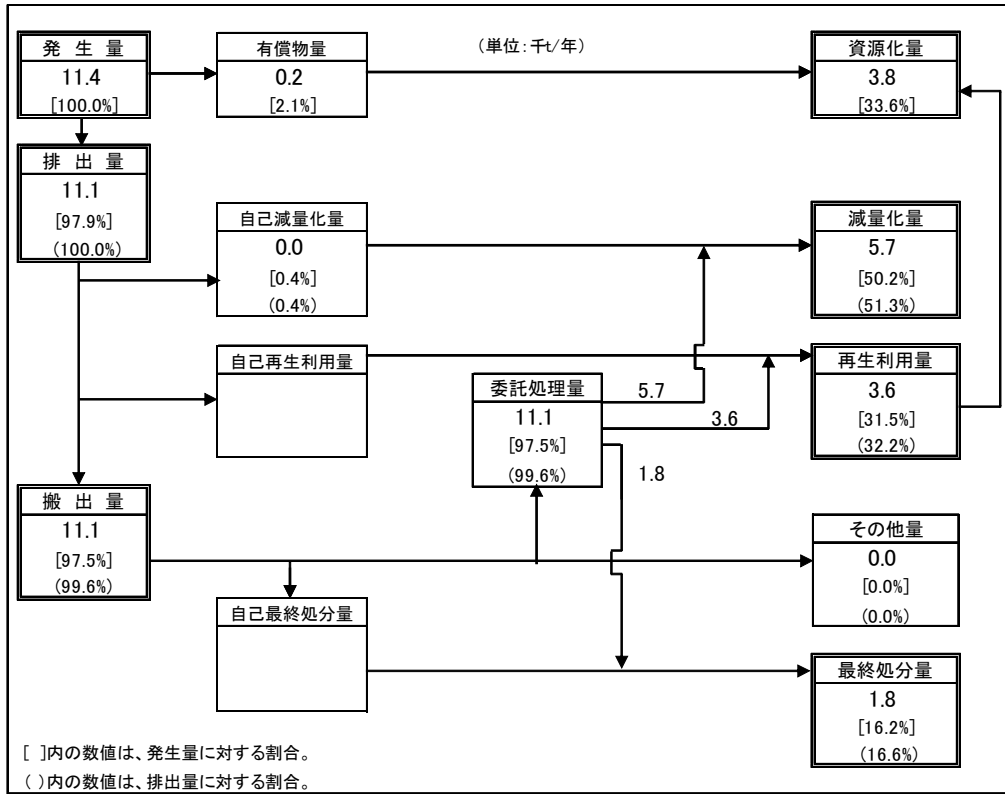
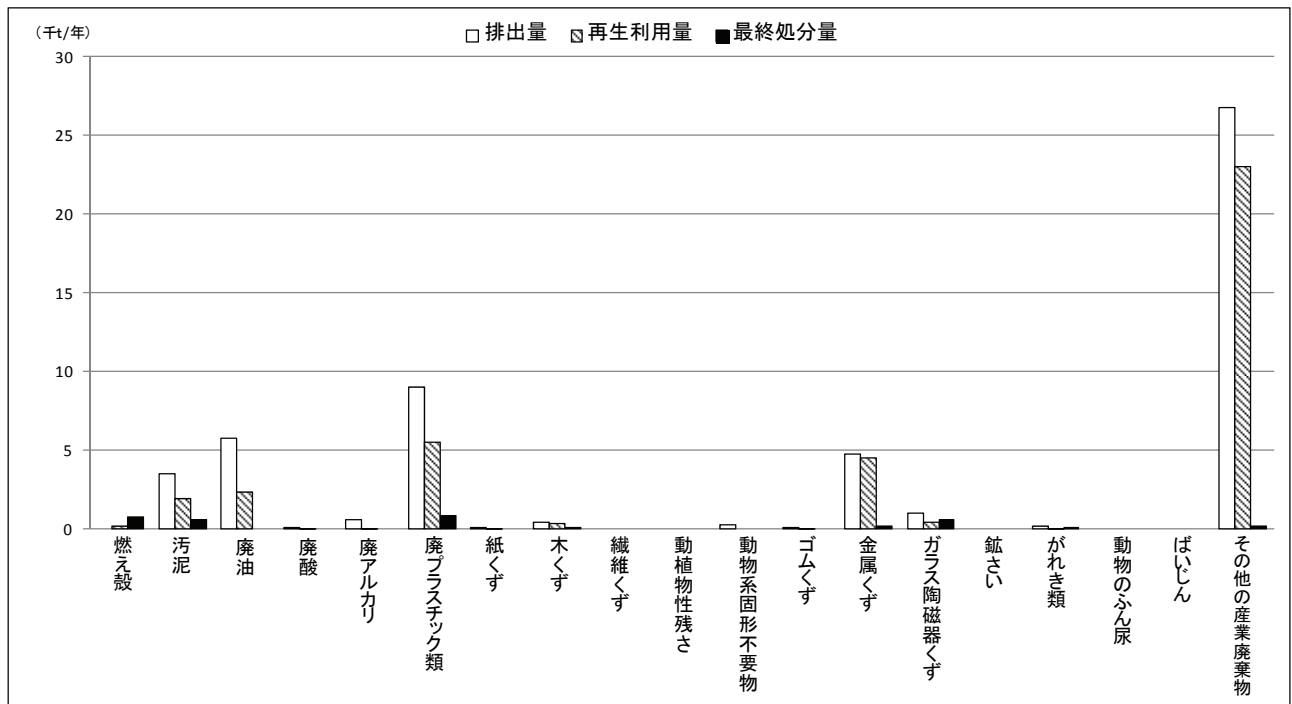


図 3-6-5 その他の業種の排出及び処理状況の概要

種類別にみると、排出量ではその他産業廃棄物が 27 千トン（その他の排出量の 51.2%）を占めて最も多く、次いで、廃プラスチック類が 9 千トン（同 17.2%）、廃油が 6 千トン（同 11.0%）、金属くずが 5 千トン（9.0%）、汚泥が 3 千トン（同 6.6%）等となっている。

再生利用量ではその他産業廃棄物が 23 千トン（その他再生利用量の同 59.9%）、次いで廃プラスチック類が 5 千トン（同 14.2%）、金属くずが 5 千トン（同 11.8%）等となっている。

その他産業廃棄物における排出量（27 千トン）の大部分は、解体・破砕前処理業から排出される使用済自動車であり、23 千トンが再生利用されている。（図 3-6-6）



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他産業廃棄物
排出量	52 (100%)		3 (6.6%)	6 (11.0%)	0 (0.2%)	1 (1.1%)	9 (17.2%)	0 (0.2%)	0 (0.7%)			0 (0.5%)	0 (0.0%)	5 (9.0%)	1 (1.9%)		0 (0.2%)			27 (51.2%)
再生利用量	39 (100%)	0 (0.4%)	2 (5.1%)	2 (6.1%)	0 (0.1%)	0 (0.1%)	5 (14.2%)	0 (0.0%)	0 (0.9%)				0 (0.0%)	5 (11.8%)	0 (1.1%)		0 (0.2%)			23 (59.9%)
最終処分量	3 (100%)	1 (24.5%)	1 (18.0%)				1 (25.9%)		0 (0.0%)					0 (6.1%)	1 (19.3%)		0 (1.4%)			0 (4.8%)

図 3-6-6 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

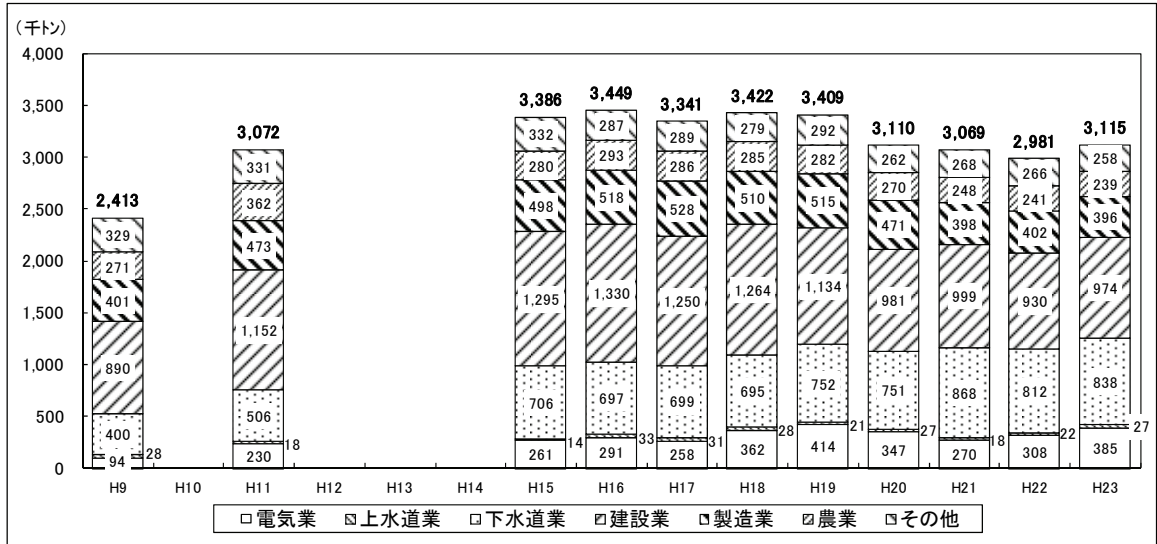
# 第4章 目標達成状況の点検・評価

## 第1節 産業廃棄物の推移

### 1. 排出量

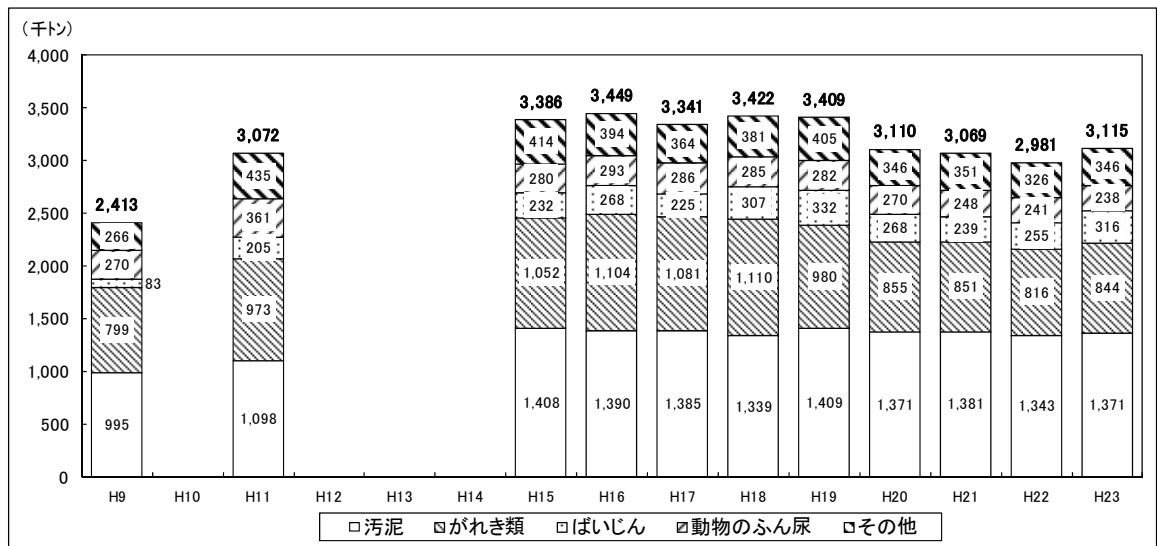
排出量の過去からの推移は、図4-1-1、図4-1-2のとおりである。

平成23年度と平成22年度を比較すると、業種では電気業や建設業等が増加しており、種類ではばいじんやがれき類等が増加している。



	平成9年度	平成11年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
合計	2,413	3,072	3,386	3,449	3,341	3,422	3,409	3,110	3,069	2,981	3,115
電気業	94	230	261	291	258	362	414	347	270	308	385
上水道業	28	18	14	33	31	28	21	27	18	22	27
下水道業	400	506	706	697	699	695	752	751	868	812	838
建設業	890	1,152	1,295	1,330	1,250	1,264	1,134	981	999	930	974
製造業	401	473	498	518	528	510	515	471	398	402	396
農業	271	362	280	293	286	285	282	270	248	241	239
その他	329	331	332	287	289	279	292	262	268	266	258

図4-1-1 排出量の推移（業種別）



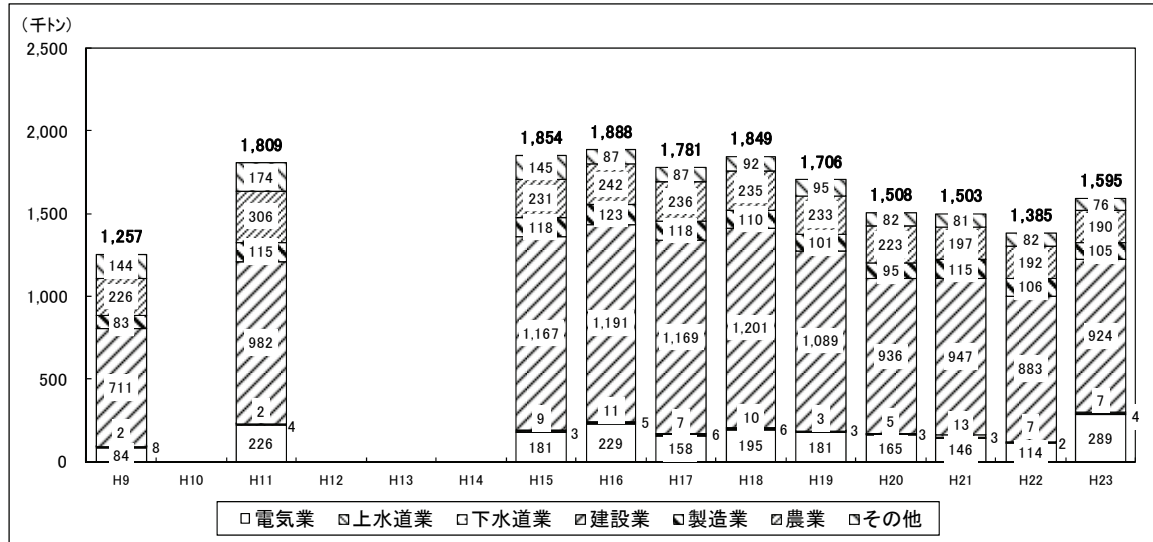
	平成9年度	平成11年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
合計	2,413	3,072	3,386	3,449	3,341	3,422	3,409	3,110	3,069	2,981	3,115
汚泥	995	1,098	1,408	1,390	1,385	1,339	1,409	1,371	1,381	1,343	1,371
がれき類	799	973	1,052	1,104	1,081	1,110	980	855	851	816	844
ばいじん	83	205	232	268	225	307	332	268	239	255	316
動物のふん尿	270	361	280	293	286	285	282	270	248	241	238
その他	266	435	414	394	364	381	405	346	351	326	346

図4-1-2 排出量の推移（種類別）

## 2. 再生利用量

再生利用量の過去からの推移は、図 4-1-3、図 4-1-4 のとおりである。

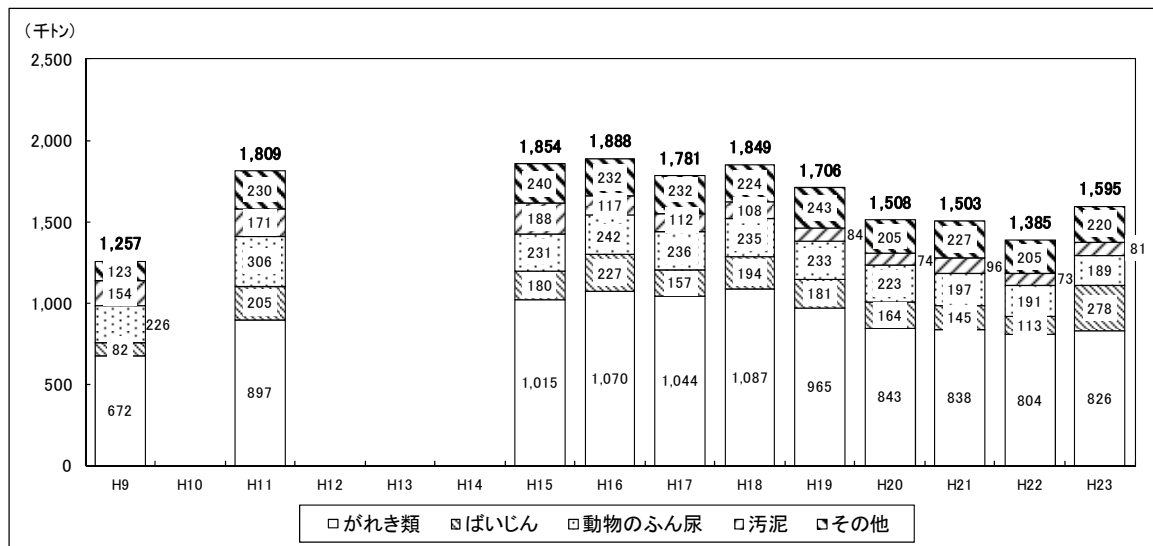
平成 23 年度と平成 22 年度を比較すると、業種では電気業や建設業が増加しており、種類ではばいじんやがれき類等が増加している。



(単位:千t/年)

	平成9年度	平成11年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
合計	1,257	1,809	1,854	1,888	1,781	1,849	1,706	1,508	1,503	1,385	1,595
電気業	84	226	181	229	158	195	181	165	146	114	289
上水道業	8	4	3	5	6	6	3	3	3	2	4
下水道業	2	2	9	11	7	10	3	5	13	7	7
建設業	711	982	1,167	1,191	1,169	1,201	1,089	936	947	883	924
製造業	83	115	118	123	118	110	101	95	115	106	105
農業	226	306	231	242	236	235	233	223	197	192	190
その他	144	174	145	87	87	92	95	82	97	82	76

図 4-1-3 再生利用量の推移（業種別）



(単位:千t/年)

種類・変換	平成9年度	平成11年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
合計	1,257	1,809	1,854	1,888	1,781	1,849	1,706	1,508	1,503	1,385	1,595
がれき類	672	897	1,015	1,070	1,044	1,087	965	843	838	804	826
ばいじん	82	205	180	227	157	194	181	164	145	113	278
動物のふん尿	226	306	231	242	236	235	233	223	197	191	189
汚泥	154	171	188	117	112	108	84	74	96	73	81
その他	123	230	240	232	232	224	243	205	227	205	220

図 4-1-4 再生利用量の推移（種類別）

### 3. 最終処分量

最終処分量の過去からの推移は、図 4-1-5、図 4-1-6 のとおりである。

平成 23 年度と平成 22 年度を比較すると、業種では電気業等が減少しており、種類では、ばいじん等が減少している。

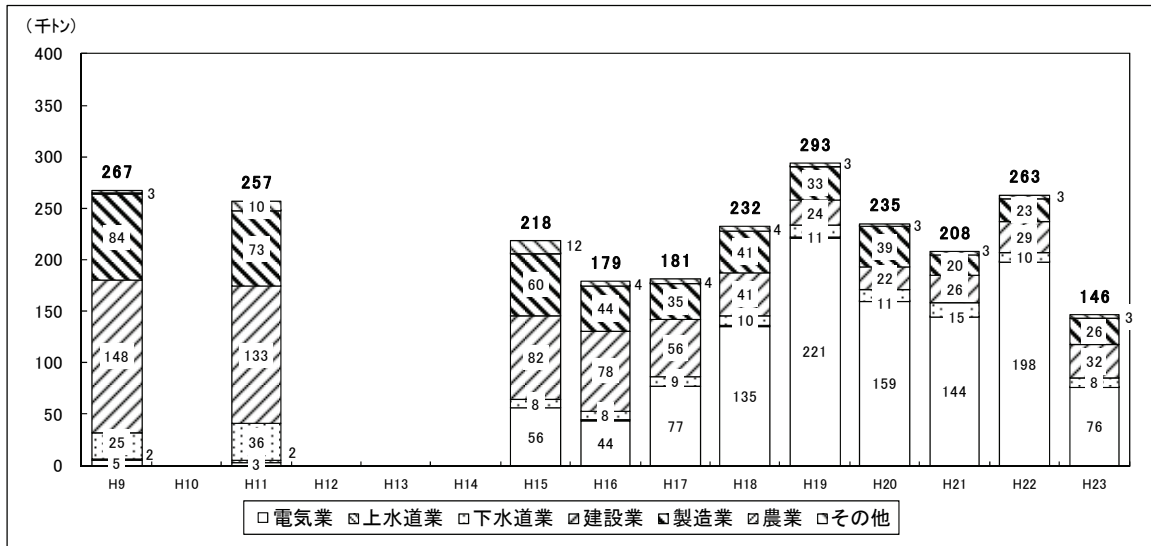


図 4-1-5 最終処分量の推移 (業種別)

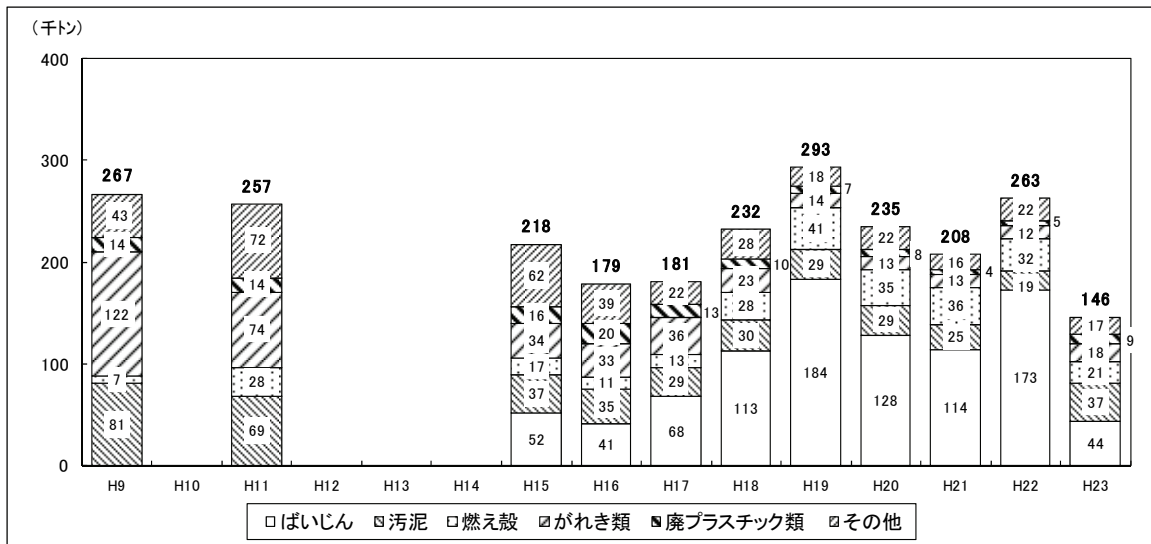


図 4-1-6 最終処分量の推移 (種類別)

## 第2節 目標達成状況の点検・評価

平成17年3月に策定された石川県環境総合計画（以下、環境総合計画という）では、平成22年度を目標年次として、「循環資源の再使用、再生利用・熱回収」を産業廃棄物の行動目標に設定している。本調査結果から、行動目標の進捗状況は以下のようになっている。

表4-2-1 環境総合計画における行動目標の達成状況

産業廃棄物の行動目標項目		目標値又は目指す方向	平成23年度値		(参考)
			達成状況		
産業廃棄物の最終処分量		約134千トン以下 (平成9年度の1/2)	146千トン	×	267千トン (平成9年度値)
建設副産物の再資源化率	コンクリート	97%以上維持	99.2%	○	98% (平成14年度値)
	アスファルト	97%以上	99.8%	○	96% (平成14年度値)
	建設発生木材※	95%以上	96.4%	○	89% (平成14年度値)

※建設発生木材の再資源化率には縮減を含む。

産業廃棄物の最終処分量は、環境総合計画における行動目標より12千トン多くなっている。平成23年度では、最終処分量146千トンのうち、52.1%にあたる76千トンが電気業から排出されており、それ以外の業種では70千トンとなっている。

なお、電気業の76千トンは、ほぼ全量が自社の最終処分場で埋立処分されている。

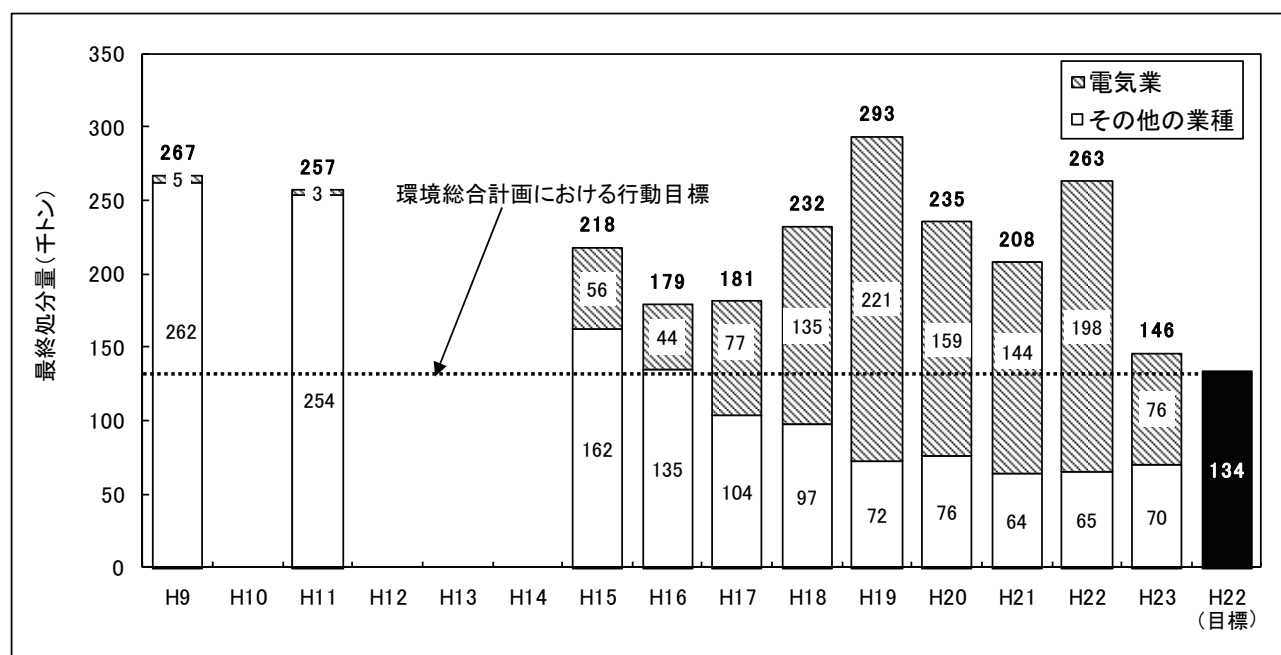


図4-2-1 産業廃棄物の最終処分量の推移

電気業（石炭火力発電所）に関しては、公共性が高く電力需要により産業廃棄物の発生量が増減するため、排出抑制は困難であると思われる。また、発生する産業廃棄物について再生利用以外は自社処分のため、仮に、環境総合計画の目標値の条件に電気業から発生する燃え殻、ばいじんを除くと、目標値が131千トン（平成9年度が262千トン）となり、平成23年度が70千トンであるため目標値の約1／2（平成9年度の約1／4）となり最終処分量の削減は進んでいるものと考えられる。

環境総合計画における産業廃棄物の計画目標（最終処分量）の達成状況は次のとおりであり、汚泥、木くず、金属くず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿が目標を達成している。

表 4-2-2 環境総合計画における産業廃棄物の計画目標（最終処分量）の達成状況

（単位：千t/年）

種類：無変換	平成22年度 目標値	平成23年度 実績	達成状況
汚泥	40	26	○
廃プラスチック類	4	5	×
木くず	8	3	○
金属くず	1	1	○
鉱さい	7	3	○
がれき類	54	18	○
ばいじん	0	44	×
動物のふん尿	0	0	○
その他の種類	20	46	×
合計	134	146	×

※中間処理による廃棄物の種類の変化は考慮していない。



## 参考資料 1 特別管理産業廃棄物の排出・処理状況

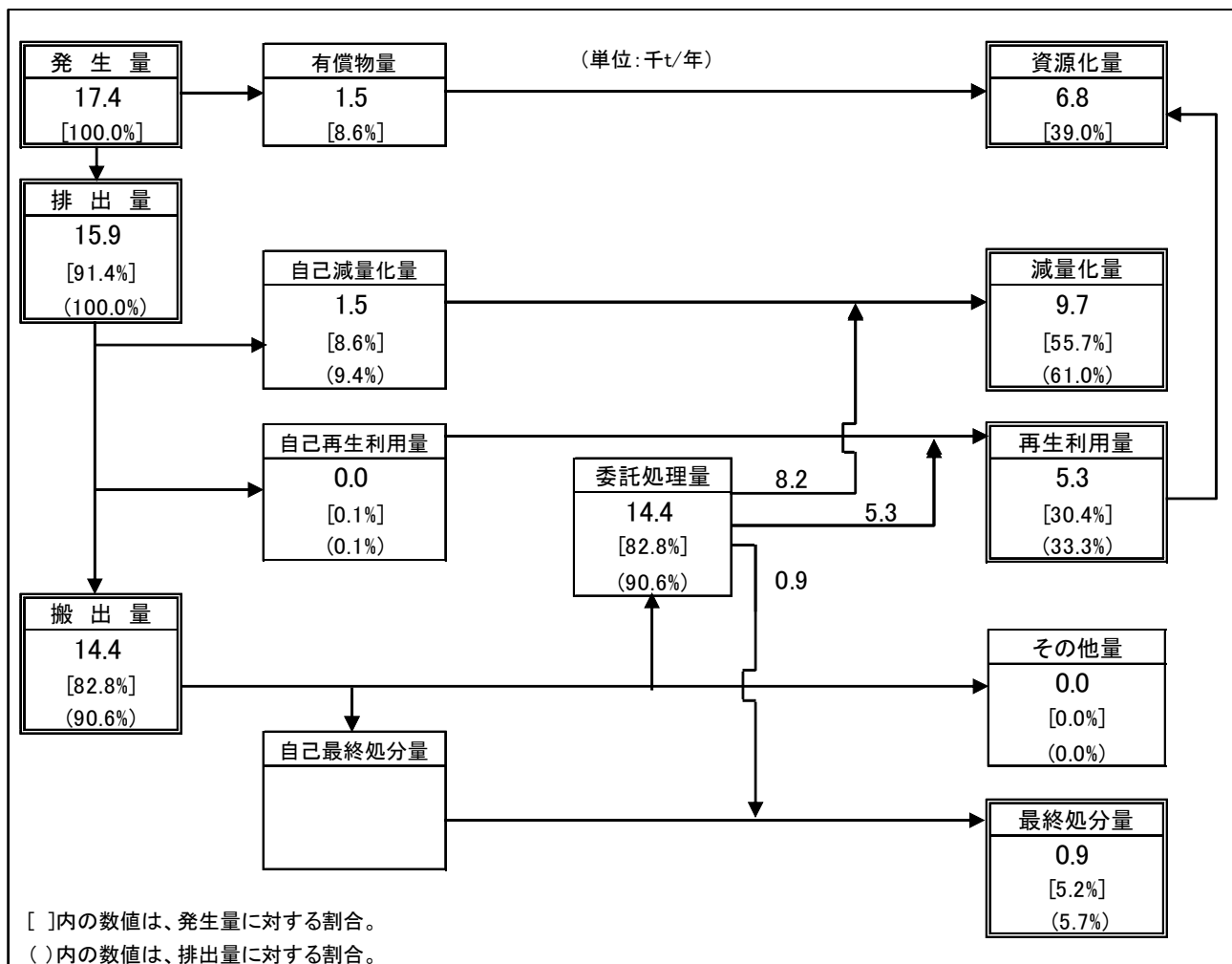
特別管理産業廃棄物（引火性廃油、腐食性廃酸（pH2.0 以下）、腐食性廃アルカリ（pH12.5 以上）、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物、廃石綿等）については、他の産業廃棄物と同様にアンケート調査の回答を基に推定した。

なお、参考資料 1 以外については、特別管理産業廃棄物を含めた結果を「産業廃棄物」として記載している。

### 1. 排出及び処理状況の概要

平成 23 年度の 1 年間に石川県内で排出された特別管理産業廃棄物の排出量は 15.9 千トンとなっている。

再生利用量は 5.3 千トン（排出量に対して 33.3%）であり、減量化量が 9.7 千トン（同 61.0%）、最終処分量が 0.9 千トン（同 5.7%）となっている。

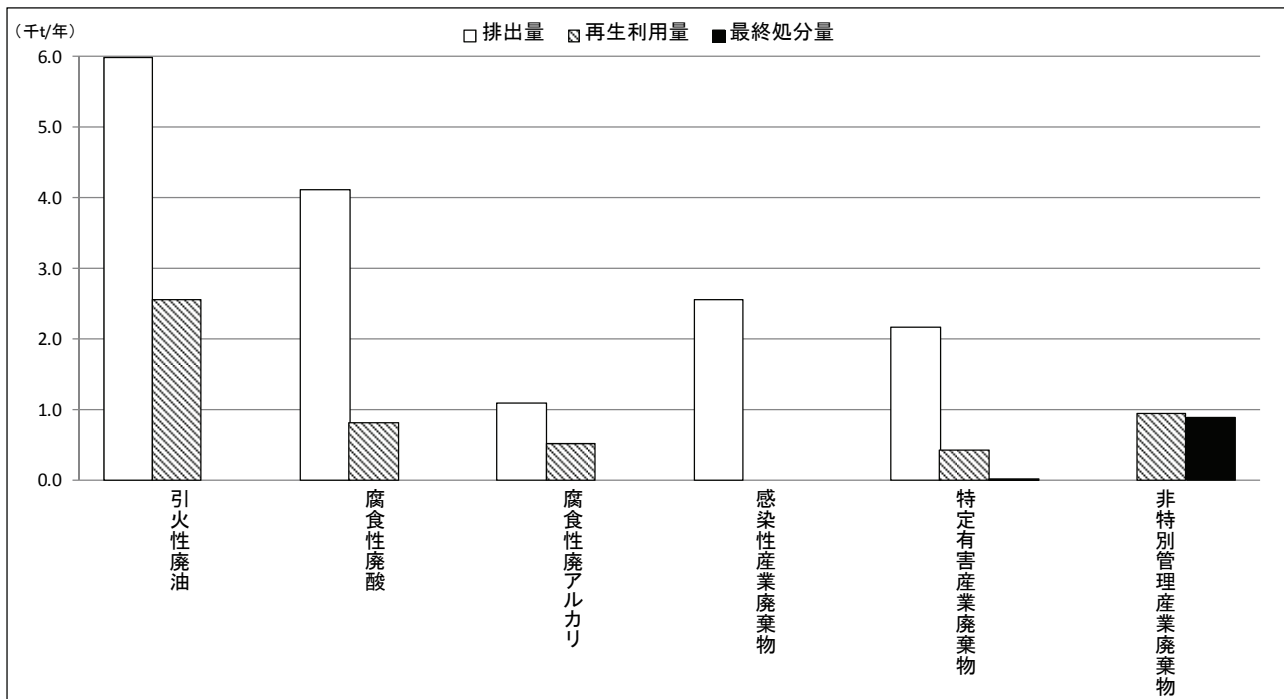


図参 1-1 特別管理産業廃棄物の排出及び処理状況の概要

## 2. 種類別

特別管理産業廃棄物の種類別にみると、排出量では、引火性廃油が 6.0 千トン（排出量の 37.6%）と最も多く、次いで、腐食性廃酸が 4.1 千トン（同 25.9%）、感染性産業廃棄物が 2.6 千トン（同 16.1%）、特定有害産業廃棄物が 2.2 千トン（同 13.6%）、腐食性廃アルカリが 1.1 千トン（同 6.8%）となっている。

最終処分量では、特定有害産業廃棄物（廃石綿）が 0.02 千トン（最終処分量の 2.2%）となっており、焼却等の中間処理により特別管理産業廃棄物ではなくなった産業廃棄物が 0.9 千トン（同 97.8%）となっている。（図参 1-2）



※非特別管理廃棄物とは、焼却等の中間処理により特別管理産業廃棄物ではなくなった産業廃棄物

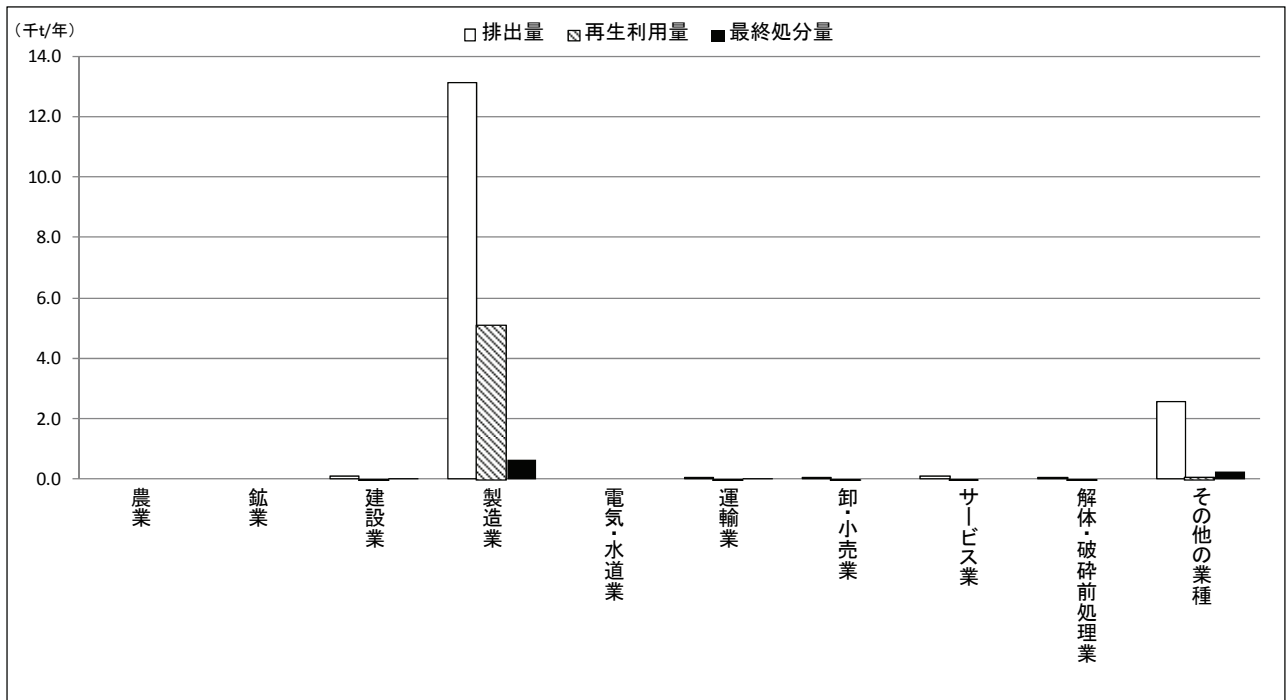
種類:変換 (千t/年)	合計	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	感染性産業 廃棄物	特定有害産 業廃棄物	非特別管理 廃棄物
排 出 量	15.9 (100%)	6.0 (37.6%)	4.1 (25.9%)	1.1 (6.8%)	2.6 (16.1%)	2.2 (13.6%)	
再 生 利 用 量	5.3 (100%)	2.6 (48.5%)	0.8 (15.4%)	0.5 (9.9%)		0.4 (8.2%)	0.9 (17.9%)
最 終 処 分 量	0.9 (100%)					0.02 (2.2%)	0.9 (97.8%)

図参 1-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

### 3. 業種別

業種別にみると、排出量では、製造業が 13.1 千トン（排出量の 82.4%）と最も多く、次いで、その他の業種が 2.6 千トン（同 16.2%）、建設業が 0.1 千トン（同 0.6%）等となっている。

最終処分量では、製造業が 0.6 千トン（最終処分量の 70.4%）と最も多く、次いで、その他の業種が 0.3 千トン（同 27.5%）、建設業が 0.02 千トン（同 2.0%）等となっている。（図参 1-3）



業種 (千t/年)	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	サービス業	解体・破砕前処理業	その他の業種
排出量	15.9 (100%)			0.1 (0.6%)	13.1 (82.4%)		0.0 (0.2%)	0.0 (0.1%)	0.1 (0.5%)	0.0 (0.0%)	2.6 (16.2%)
再生利用量	5.3 (100%)			0.0 (0.5%)	5.1 (96.7%)		0.0 (0.4%)	0.0 (0.1%)	0.0 (0.1%)	0.0 (0.1%)	0.1 (2.0%)
最終処分量	0.9 (100%)			0.02 (2.0%)	0.6 (70.4%)		0.0 (0.1%)				0.3 (27.5%)

図参 1-3 業種別の排出量、再生利用量、最終処分量

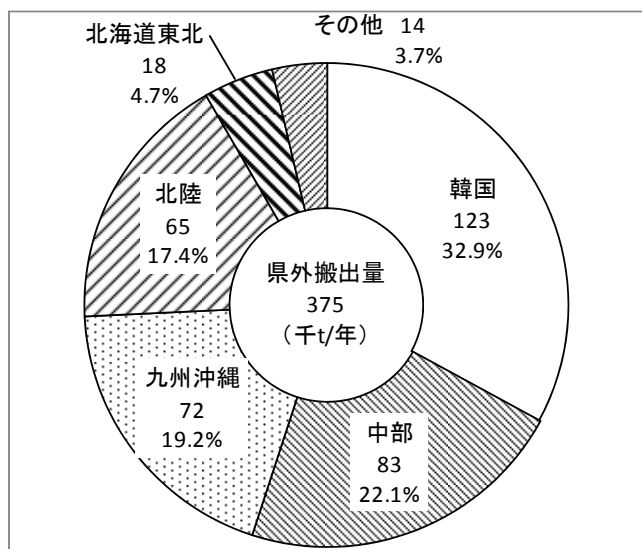
## 参考資料 2 広域移動状況

### 1. 県外への搬出状況

搬出量1,527千トのうち、県外に搬出した量は375千トとなっている。

搬出した地方ブロック別にみると、韓国が123千ト(県外搬出量の32.9%)と最も多く、次いで、中部地方が83千ト(同22.1%)となっており、以下、九州沖縄地方が72千ト(同19.2%)、北陸地方が65千ト(同17.4%)等となっている。

県外への搬出量は、石炭火力発電所から排出されるばいじんが多くを占めており、セメント原材料として再生利用されている。



図参 2-1 県外への搬出量

表参 2-1 県外への搬出量

(単位：千 t/年)

	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	韓国
合計	375	18	1	83	65	9	4	72	123
燃え殻	2	0		2	0				
汚泥	22	0	0	3	17	1	1	0	
廃油	8	0	0	2	3	2	0	0	
廃酸	6		0	1	4	1		0	
廃アルカリ	2		0	1	1	0			
廃プラスチック類	11	0	0	2	8	1	0	0	
紙くず	0			0	0	0			
木くず	4			1	2	0			
繊維くず	0				0	0			
動植物性残さ	3			1	2				
動物系固形不要物									
ゴムくず	0		0						
金属くず	11		0	0	10	0	0		
ガラス陶磁器くず	4		0	2	2	1			
鋳さい	11			3	5	1	2	0	
がれき類	4			0	4	0			
ばいじん	279	17		66	0			72	123
その他の産業廃棄物	9	0	0	0	6	2	0		

北海道東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県  
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
 中部：新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県  
 北陸：富山県、福井県  
 近畿：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県  
 中国四国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県  
 九州沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

県外への搬出量を処理目的別にみると、中間処理が 370 千ト、直接最終処分が 5 千トとなっている。中間処理された廃棄物は、処理後に大部分が再生利用されている。

表参 2-2 県外への搬出量（中間処理）

（単位：千 t /年）

	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	韓国
合計	370	18	1	82	61	9	4	72	123
燃え殻	2	0		2	0				
汚泥	20	0	0	3	15	1	1	0	
廃油	8	0	0	2	3	2	0	0	
廃酸	6		0	1	4	1		0	
廃アルカリ	2		0	1	1	0			
廃プラスチック類	11	0	0	2	8	1	0	0	
紙くず	0			0	0	0			
木くず	4			1	2	0			
繊維くず	0				0	0			
動植物性残さ	3			1	2				
動物系固形不要物									
ゴムくず	0		0						
金属くず	10		0	0	10	0	0		
ガラス陶磁器くず	4		0	2	1	1			
鋳さい	9			3	3	1	2	0	
がれき類	4			0	4	0			
ばいじん	279	17		66	0			72	123
その他の産業廃棄物	8	0	0	0	6	2	0		

表参 2-3 県外への搬出量（直接最終処分）

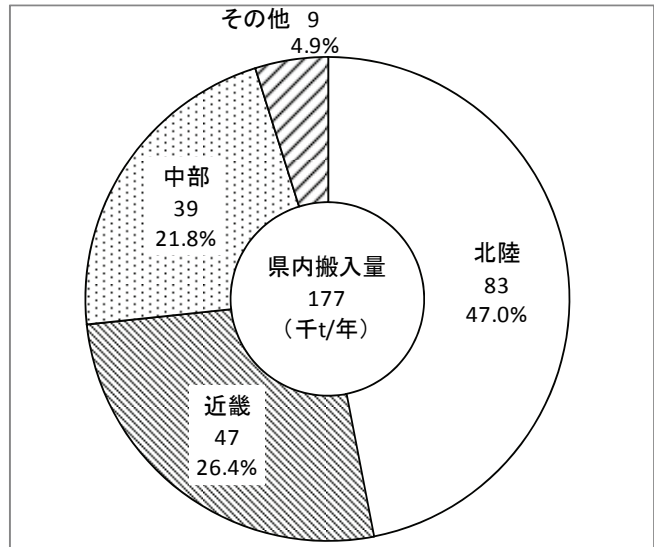
（単位：千 t /年）

	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	韓国
合計	5		0	0	5	0			
燃え殻									
汚泥	2			0	2	0			
廃油									
廃酸									
廃アルカリ									
廃プラスチック類	1				1				
紙くず	0				0				
木くず									
繊維くず									
動植物性残さ									
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず	0				0				
ガラス陶磁器くず	0		0		0	0			
鋳さい	2			0	2				
がれき類	0			0	0	0			
ばいじん									
その他の産業廃棄物	0			0	0	0			

## 2. 県内への搬入状況

県内への搬入量については、産業廃棄物処理業者の処分実績報告書を用いて集計を行った。

県内への搬入量は 177 千トであり、地方ブロック別にみると、北陸地方が 83 千ト（県内搬入量の 47.0%）と最も多く、次いで、近畿地方が 47 千ト（同 26.4%）となっており、以下、中部地方が 39 千ト（同 21.8%）等となっている。



図参 2-2 県内への搬入量

県内への搬入量を処理目的別にみると、中間処理が 113 千ト、直接最終処分が 64 千トとなっている。

表参 2-4 県内への搬入量

(単位：千 t / 年)

	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国四国	九州沖縄
<b>総計</b>	<b>177</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>39</b>	<b>83</b>	<b>47</b>	<b>0</b>	
<b>産業廃棄物 計</b>	<b>158</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>37</b>	<b>77</b>	<b>35</b>		
燃え殻	4	0	0	0	4	0		
汚泥	31	0	3	3	22	3		
廃油	18	0	0	3	7	8		
廃酸	6	0	0	1	4	1		
廃アルカリ	22	0	0	1	3	18		
廃プラスチック類	21	0	1	5	11	3		
紙くず	0	0	0	0	0	0		
木くず	2	0	0	0	2	0		
繊維くず	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	1	0	0	0	1	0		
ゴムくず	0	0	0	0	0	0		
金属くず	2	0	0	0	2	0		
ガラス陶磁器くず	12	0	1	8	2	1		
鉱さい	2	0	0	1	0	1		
がれき類	18	0	0	3	15	0		
ばいじん	2	0	0	0	2	0		
混合廃棄物	17	0	2	13	1	0		
<b>特別管理産業廃棄物 計</b>	<b>19</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	<b>11</b>	<b>0</b>	
引火性廃油	5	0	0	1	4	1		
腐食性廃酸	5	0	0	0	1	4		
腐食性廃アルカリ	6	0	0	0	0	5		
感染性産業廃棄物	0	0	0	0	0	0		
特定有害廃油	0	0	0	0	0	0		
特定有害汚泥	0	0	0	0	0	0	0	
特定有害廃酸	1	0	0	0	0	1		
特定有害廃アルカリ	1	0	0	0	0	1		

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表参 2-5 県内への搬入量（中間処理）

(単位：千 t/年)

	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国四国	九州沖縄
総計	113	0	0	12	59	42	0	
産業廃棄物 計	94	0	0	11	53	30		
燃え殻	0				0	0		
汚泥	18	0		3	12	3		
廃油	18			3	7	8		
廃酸	6			1	4	1		
廃アルカリ	22	0		1	3	18		
廃プラスチック類	13			3	10	0		
紙くず	0			0	0			
木くず	2				2			
繊維くず	0				0			
動植物性残さ	1				0	0		
ゴムくず								
金属くず	2			0	2	0		
ガラス陶磁器くず	1		0	0	1			
鉱さい	0				0			
がれき類	11				11			
ばいじん	0				0			
混合廃棄物	1			0	1			
特別管理産業廃棄物 計	19			1	6	11	0	
引火性廃油	5			1	4	1		
腐食性廃酸	5			0	1	4		
腐食性廃アルカリ	6			0	0	5		
感染性産業廃棄物	0			0	0	0		
特定有害廃油	0			0	0			
特定有害汚泥	0			0	0	0	0	
特定有害廃酸	1			0	0	1		
特定有害廃アルカリ	1				0	1		

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表参 2-6 県内への搬入量（直接最終処分）

(単位：千 t/年)

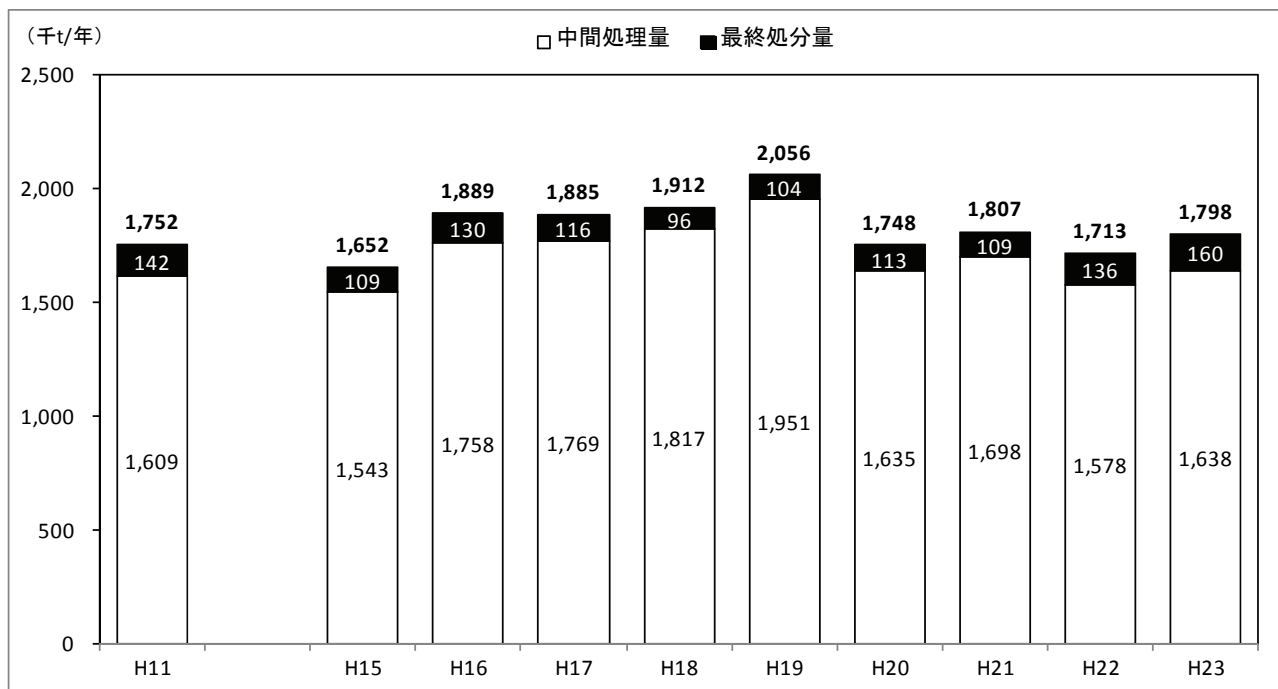
	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国四国	九州沖縄
総計	64		8	27	24	5		
産業廃棄物 計	64		8	27	24	5		
燃え殻	3			0	3			
汚泥	13		3	0	10			
廃油								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類	8		1	2	2	3		
紙くず	0		0	0	0			
木くず	0		0	0	0			
繊維くず	0		0	0	0			
動植物性残さ	0				0			
ゴムくず	0		0		0			
金属くず	0		0	0	0	0		
ガラス陶磁器くず	11		1	7	2	1		
鉱さい	2			1	0	1		
がれき類	7			3	4			
ばいじん	1			0	1			
混合廃棄物	16		2	13	1	0		
特別管理産業廃棄物 計								
引火性廃油								
腐食性廃酸								
腐食性廃アルカリ								
感染性産業廃棄物								
特定有害廃油								
特定有害汚泥								
特定有害廃酸								
特定有害廃アルカリ								

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

### 参考資料3 産業廃棄物処分業者の実績

#### 1. 処分量の推移

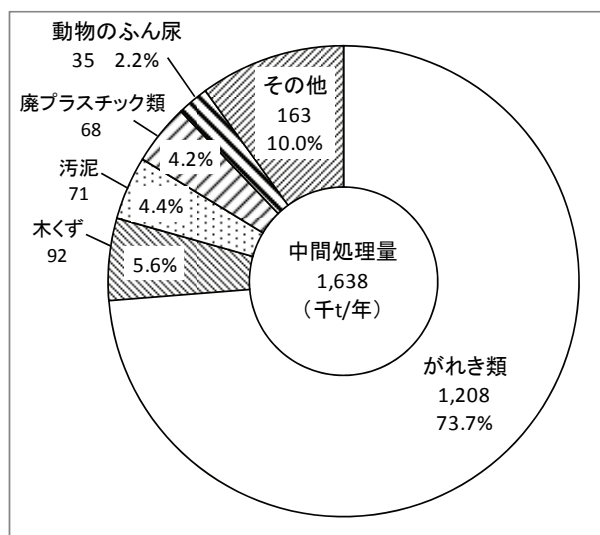
平成23年度の産業廃棄物処理業者の処分量は1,798千トである。このうち、中間処理量が1,638千ト、最終処分量が160千トとなっている。平成22年度と比較すると中間処理量が60千ト増加し、最終処分量が24千ト増加している。



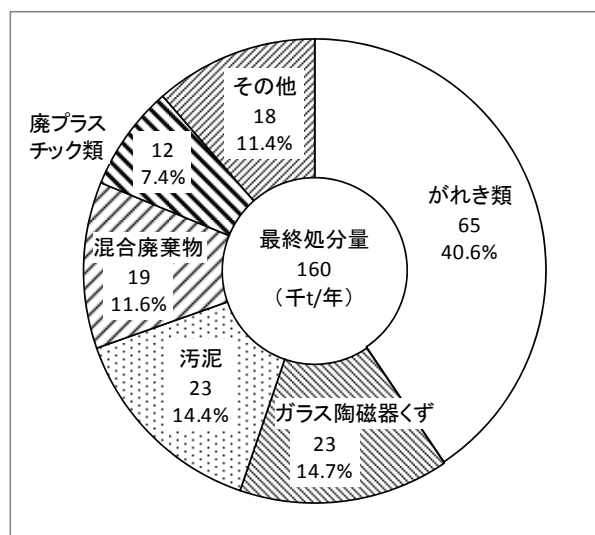
図参 3-1 処分量の推移

#### 2. 種類別の処分量

処分量を種類別にみると、中間処理量では、がれき類が1,208千ト（73.7%）で最も多く、次いで、木くずが92千ト（5.6%）、汚泥が71千ト（4.4%）等となっている。最終処分量では、がれき類が65千ト（40.6%）で最も多く、次いで、ガラス陶磁器くずが23千ト（14.7%）、汚泥が23千ト（14.4%）等となっている。



図参 3-2 種類別の中間処理量



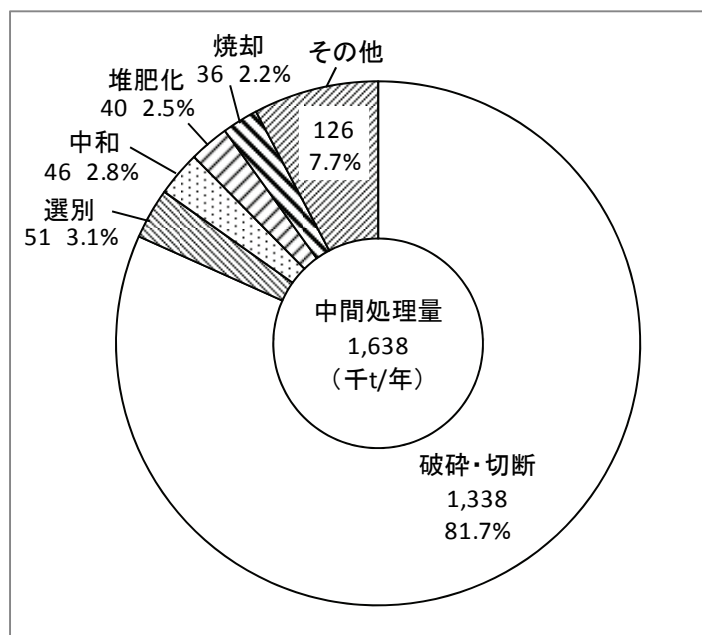
図参 3-3 種類別の最終処分量



### 3. 処理方法別の中間処理量

中間処理量を処理方法別にみると、破碎・切断が 1,338 千ト (81.7%) で最も多く、次いで、選別が 51 千ト (3.1%)、中和が 46 千ト (2.8%)、堆肥化が 40 千ト (2.5%) 等となっている。

種類ごとの処理方法については、統計表の「表 7-2 種類別、処理方法別の中間処理量(石川県全体)」を参照。



図参 3-4 処理方法別の中間処理量

## 参考資料 4 一般廃棄物実態調査

### 1. 調査の方法

調査は、平成 24 年度一般廃棄物処理事業実態調査及び平成 22 年度石川県廃棄物排出量実態調査のデータを用いて、県内の一般廃棄物の総量を推計した。

- 集団回収量、自治体施設で処理される生活系・事業系ごみの排出量については、一般廃棄物処理事業実態調査の実績値（平成 23 年度実績）を用いた。
- 民間施設で処理される事業系ごみ排出量については、平成 22 年度石川県廃棄物排出量実態調査（平成 21 年度実績）のデータから推計した。排出量は、産業廃棄物の増減と同じ割合で推移すると仮定して、業種別に推計した。

### 2. 調査結果

#### (1) 一般廃棄物の総量

平成 23 年度に石川県内で排出された一般廃棄物の総量は 588 千トンである。

市民団体等による集団回収量が 13 千トン、生活系ごみの量が 265 千トン、事業系ごみの量が 147 千トンとなっている。これらは、石川県で毎年実施している一般廃棄物処理事業実態調査の調査結果である。一般廃棄物処理事業実態調査は、排出事業者が民間施設に処理を直接委託したものは調査対象外のため、民間施設で処理された量については、平成 22 年度石川県廃棄物排出量実態調査で事業所にアンケート調査した結果から推計し、163 千トンとした。

平成 22 年度と比較すると、1 千トン増加している。

表参 4-1 石川県の一般廃棄物の総量

(単位:千トン)

	排出量	出典
集団回収量	13 (14)	一般廃棄物処理事業実態調査 (石川県の廃棄物処理(一般廃棄物))  ※災害廃棄物を除く
生活系ごみ排出量(自治体で把握)	265 (263)	
事業系ごみ排出量(自治体で把握)	147 (147)	
事業系ごみ排出量(民間施設で処理)	163 (163)	H22廃棄物排出量実態調査を基に推計
計	588 (587)	

( )内は、平成22年度値

## (2) あわせ産廃

廃棄物処理法第 11 条第 2 項では、「市町村は、単独に又は共同して、一般廃棄物とあわせて処理することができる産業廃棄物その他市町村が処理することが必要であると認める産業廃棄物の処理をその事務として行なうことができる」となっており、市町村が必要性を認めた場合は、産業廃棄物を一般廃棄物と併せて処理することが認められている。これは通称「あわせ産廃」と呼ばれている。

平成 23 年度のあわせ産廃の量は 29 千トンであり、焼却処理が 9 千トン、最終処分が 20 千トンとなっている。この量は、一般廃棄物処理事業実態調査のごみ排出量には含まれていないが、第 2 章の産業廃棄物実態調査の結果には含まれている。

表参 4-2 あわせ産廃の量 (単位：千 t/年)

施設種類	市町村名	施設名	処理量
焼却	金沢市	西部クリーンセンター	9
最終処分	金沢市	戸室新保埋立場	20
	珠洲市	珠洲市一般廃棄物埋立処分場	0
	能登町	能登町能都埋立処分場	0
計			29

※金沢市は、市が発行する清掃事業概要に記載された下水道汚泥焼却量、下水道汚泥及び事業系産廃の最終処分量を計上した。

※珠洲市及び能登町は、一般廃棄物処理事業実態調査の最終処分場における産業廃棄物の搬入割合から推計した。



# 統計表



## 統計表目次

### 産業廃棄物の発生・排出等推計結果

表1 業種別・種類別の結果表<平成23年度>

表1-1	発生量	65
表1-2	有償物量	66
表1-3	排出量	67
表1-4	搬出量	68
表1-5	自己最終処分量	69
表1-6	委託処理量	70
表1-7	委託中間処理量	71
表1-8	委託直接最終処分量	72
表1-9	委託最終処分量	73
表1-10	最終処分量	74
表1-11	再生利用量	75
表1-12	資源化量	76
表1-13	排出量 [南加賀地域]	77
表1-14	排出量 [石川中央地域南部区 (金沢市を除く)]	78
表1-15	排出量 [石川中央地域北部区 (金沢市を除く)]	79
表1-16	排出量 [金沢市]	80
表1-17	排出量 [能登中部地域]	81
表1-18	排出量 [能登北部地域]	82
表1-19	自己最終処分量 (無変換)	83
表1-20	委託直接最終処分量 (無変換)	84
表1-21	委託最終処分量 (無変換)	85
表1-22	最終処分量 (無変換)	86

表2 発生量及び処理・処分量 (種類別:変換) (業種別) <平成23年度>

表2-1	全業種	88
表2-2	農業	90
表2-3	鉱業	92
表2-4	建設業	94
表2-5	製造業	96
表2-6	電気・水道業	98
表2-7	運輸業	100
表2-8	卸・小売業	102
表2-9	サービス業	104
表2-10	解体・破砕前処理業	106
表2-11	その他の業種	108

表3 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）＜平成23年度＞

表3-1 全業種	110
表3-2 特別管理産業廃棄物（産業廃棄物全体の内数）	112

表4 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）（地域別）＜平成23年度＞

表4-1 南加賀地域	114
表4-2 石川中央地域南部区（金沢市を除く）	116
表4-3 石川中央地域北部区（金沢市を除く）	118
表4-4 金沢市	120
表4-5 能登中部地域	122
表4-6 能登北部地域	124

表5 発生量及び処理・処分量（業種別）（地域別）＜平成23年度＞

表5-1 全業種	126
表5-2 南加賀地域	128
表5-3 石川中央地域南部区（金沢市を除く）	130
表5-4 石川中央地域北部区（金沢市を除く）	132
表5-5 金沢市	134
表5-6 能登中部地域	136
表5-7 能登北部地域	138

表6 発生量及び処理・処分量（業種別）（種類別）＜平成23年度＞

表6-1 燃え殻	140
表6-2 汚泥	142
表6-3 廃油	144
表6-4 廃酸	146
表6-5 廃アルカリ	148
表6-6 廃プラスチック	150
表6-7 紙くず	152
表6-8 木くず	154
表6-9 繊維くず	156
表6-10 動植物性残さ	158
表6-11 動物系固形不要物	160
表6-12 ゴムくず	162
表6-13 金属くず	164
表6-14 ガラス陶磁器くず	166
表6-15 鋳さい	168
表6-16 がれき類	170
表6-17 動物のふん尿	172
表6-18 ばいじん	174



## 産業廃棄物処分業者の実績集計結果

### 表 7 産業廃棄物処分業者の実績集計結果＜平成 23 年度＞

表 7 - 1	種類別の中間処理・最終処分量	176
表 7 - 2	種類別、処理方法別の中間処理量	177
表 7 - 3	産業廃棄物の処理状況（種類別、県内地域別の処分量）	178
表 7 - 4	産業廃棄物の処理状況（種類別、県内地域別の中間処理量）	179
表 7 - 5	産業廃棄物の処理状況（種類別、県内地域別の最終処分量）	180
表 7 - 6	産業廃棄物の県内搬入状況（種類別、都道府県別の処分量）	181
表 7 - 7	産業廃棄物の県内搬入状況（種類別、都道府県別の中間処理量）	185
表 7 - 8	産業廃棄物の県内搬入状況（種類別、都道府県別の最終処分量）	189





表1-2 有償物量（業種別・種類別）＜平成23年度＞

業種	合計	農	鉢	建	製	製造業										その他	サ	解																					
						食品	飲料	繊維	木	家具	ハ	印	化	石油	プラスチック				皮革	窯業	鉄	非鉄	金	はん	生産	業務	電子	電気	水道	電	上	下	運輸	卸	サ	解			
種類	176	0	1	93	4	2	3	0	3	7	1	2	0	10	3	20	13	15	1	4	1	0	3	0	77	77	6	6	0	0	0	1	3	0					
燃え殻	6																								6	6													
汚泥	56			1						0						1			0						56	56													
有機性汚泥																																							
無機性汚泥	56			1												1			0						56	56													
廃油	4			3	1	0				1		0				0			0						0	0													
一般廃油	3			2	1	0				1		0				0			0						0	0													
廃溶剤	1			1		0				0						0			1																				
その他																																							
廃酸	2			2															0																				
廃アルカリ	0																																						
廃プラスチック類	5			5		2			0	0	0	1				0			0																				
廃プラスチック	5			5		2			0	0	0	1				0			0																				
廃タイヤ	0																																						
紙くず	9			0	9																																		
木くず	3			0	3																																		
繊維くず	0			0		0																																	
動植物性残さ	4			4																																			
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	0			0																																			
金属くず	65			0	61	0			0	0	0	0		0	9	0	18	13	15	0	1	0	3	0	0	0													
ガラス陶磁器くず	0			0		0																																	
鋳さい	5			5																																			
がれき類																																							
コンクリート片																																							
廃アスファルト																																							
その他																																							
動物のふん尿																																							
ばいじん	15																																						
その他の産業廃棄物	0			0																																			
感染性廃棄物																																							
混合物等	0			0																																			

注1) 「サービスマ」は、学術研究・専門サービスマ、生活関連サービスマ、サービスマの合計値であり、「その他の業種」は、海業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。  
 注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上で500t未満であることを示す。











表1-7 委託中間処理量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

業種	合計	業	農	鉢	建設	製造	製					輸送機	その他	電気水道業	上下水道業	運輸業	卸	サ	解体・破砕前処理業	その他																			
							飲料	食品	飼料	繊維	木										家具	パルプ	印刷	化学	石油	石炭	窯業・土石	鉄	非鉄	金	はん	生産	業務	電子	電気	情報			
合計	1,413	36	0	883	135	10	14	2	2	7	10	3	0	14	9	7	9	6	12	1	12	1	6	2	315	289	2	24	2	7	6	17	11	11					
燃え殻	3				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0											
汚泥	71			15	28	2	0	5	0	4	0	2	0	3	0	0	3	2	2	0	3	0	0	1	0	26	0	2	24	1	1	1	1	1					
有機性汚泥	40			2	13	2	0	5		3	0	2		1	0	0	0	0	0	0	1		0	0	24		24	0	0	0	0	0	0	0	0				
無機性汚泥	31			13	14	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	3	2	1	0	3	0	0	1	1	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃油	16			0	10	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	0			
一般廃油	13			0	8	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	0		
廃溶剤	2			2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0														
その他	1			0	1																																		
廃酸	9			9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	5			0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	38			0	20	1	0	5	0	0	2	0	3	1	0	0	0	1	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	2	1	2	2	1	3	3		
廃プラスチック	35			0	20	1	0	5	0	0	2	0	3	1	0	0	0	1	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	3	3			
廃タイヤ	3			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1			
紐くず	11			3	8					2	6																												
木くず	57			52	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず	2			0	1			1																															
動植物性残さ	8			8	7	0					2																												
動物系固形不要物	0			0																																			
ゴムくず	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	39			0	15	20	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	2	2	3	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
ガラス陶磁器くず	30			20	10	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鋳さい	9			9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	760			757	1		0						0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート片	461			458	1								0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アスファルト	282			282																																			
その他	17			17	0		0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
動物のふん尿	35			35																																			
ばいじん	286			286	0		0																																
その他の産業廃棄物	33			12	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
感染性廃棄物	3			3	0																																		
混合物等	30			12	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															

注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマスク業の合計値であり、「その他の業種」は、海産物・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。  
 注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上500t未満であることを示す。

表1-8 委託直接最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 類	合 計	農 業	建 築	製 造	食 料 ・ 飼 料	飲 料 ・ 飼 料	織 物	木 材	家 具	ハ ル ブ ・ 紙	印 刷	化 学	石 油 ・ 石 炭	コ ム	皮 革	窯 業 ・ 土 石 業	鉄	非 鉄 金 属	金 属	は ん 用 機 器	生 産 用 機 器	業 務 用 機 器	電 子 部 品	電 気 機 器	情 報 通 信 機 器	輸 送 機 器	そ の 他	電 気 ・ 水 道 業		上 水 道 業	下 水 道 業	運 輸 業	卸 売 業	サ ー ビ ス 業	そ の 他 の 業 種						
																												電	水												
種類合計	38		14	18	0	0	1	1	0	4	0	0	0	0	0	6	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0							
燃え殻	2		0	1			0	1		0											0						1							1							
汚泥	16		1	10	0	0	0	0	0	3	0					3	2	0	0	1	0	0				4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
有機性汚泥	8			4	0	0	0			3	0																4								4						
無機性汚泥	7		1	6			0			0						3	2	0	0	1	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃油																																									
一般廃油																																									
廃溶剤																																									
その他																																									
廃酸																																									
廃アルカリ																																									
廃プラスチック類	2		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃プラスチック	2		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃タイヤ																																									
紙くず	0		0																																						
木くず	2		1	0			0	0		0																															
繊維くず	0		0																																						
動物性残渣																																									
動物系固形不要物																																									
ゴムくず																																									
金属くず	0		0	0																								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	4		1	3	0	0	0	0				0				3							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鋳さい	2			2																						1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	9		9	0			0	0	0																		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片	0		0	0			0																				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト	0		0																																						
その他	8		8	0			0																																		
動物のふん尿																																									
ばいじん	1			1			0																																		
その他の産業廃棄物	1		1	0			0																				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物																																									
混合物等	1		1	0			0																				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

注1) 「サービシ業」は、学術研究・専門サービシ業、生活関連サービシ業、サービシ業の合計値であり、「その他の業種」は、海業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。  
注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上で500t未満であることを示す。

表1-9 委託最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

業種	業種別	合計	製			食品	飲料	繊維	木	家具	印刷	化学	石油	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	金	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機	その他	電				ガス	廃棄物	その他	
			食品	飲料	繊維																							電気	水道	ガス	ガス				ガス
業種別	建設業	70	26	1	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	6	4	0	1	1	1	0	0	9	0	0	8	0	0	0	0	0	1	0	2	
種類	燃え殻	8	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	
	汚泥	17	12	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	有機性汚泥	8	4	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	無機性汚泥	9	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	廃油																																		
	一般廃油																																		
	廃溶剤																																		
	その他																																		
	廃酸																																		
	廃アルカリ																																		
	廃プラスチック類	5	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	廃プラスチック	5	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	廃タイヤ	0	0																																
	紙くず	0	0																																
	木くず	2	0																																
	繊維くず	0	0																																
	動植物性残さ	0	0																																
	動物系固形不要物																																		
	ゴムくず	0	0											0																					
	金属くず	1	0																																
	ガラス陶磁器くず	9	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	鉱さい	3	3																																
	がれき類	18	0																																
	コンクリート片	4	0																																
	廃アスファルト	1	1																																
	その他	13	0																																
	動物のふん尿																																		
	ばいじん	1	1																																
	その他の産業廃棄物	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性廃棄物																																		
	混合物等	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、「その他の業種」は、海業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。  
 注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上で500t未満であることを示す。

表1-10 最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

業種	業種別	製			建設業	業	合	農		鉢	製	業種																										
		食料	飲料	織				木	家具			印刷	化学	石油	プラスチック	皮革	窯業	鉄	非金属	金	はん用	生産用	業務用	電子部	電気機	情報通信機	輸送機	その他	電気水道業	上水道業	下水道業	運輸業	小売業	サピス業	解体・破砕前処理業	その他	業種	
合計		146				32	26	1	0	2	1	1	4	0	0	0	0	0	6	4	0	1	1	0	0	1	0	85	76	0	8	0	0	1	0	2		
燃え殻		37				1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	30	4	0	0	0	0	0	1			
汚泥		21				1	12	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	8	4	0	4	0	0	0	0	0			
有機性汚泥		8					4	0	0	1		3	0	0													4											
無機性汚泥		12				1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0			
廃油																																						
一般廃油																																						
廃溶剤																																						
その他																																						
廃酸																																						
廃アルカリ																																						
廃プラスチック類		5				2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック		5				2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ		0				0	0																															
紙くず		0				0	0																															
木くず		2				2	0	0		0	0																											
繊維くず		0				0	0			0																												
動植物性残さ		0				0	0																															
動物系固形不要物																																						
ゴムくず		0				0	0																															
金属くず		1				0	0																															
ガラス陶磁器くず		9				5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
銅さい		3				3	3																															
がれき類		18				18	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片		4				4	0			0																		0	0									
廃アスファルト		1				1																																
その他		13				13	0			0																												0
動物のふん尿																																						
ばいじん		44				1	1	0																			43	43										
その他の産業廃棄物		6				4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物																																						
混合物等		6				4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 「サービスマ」は、学術研究・専門サービスマ、生活関連サービスマ、サービスマの合計値であり、「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
 注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上で500t未満であることを示す。

表1-11 再生利用量(業種別・種類別：変換) <平成23年度>

業種	合計			建設業	製造業			業種別															その他	解體・破砕前処理業																
	業	農	鉢		食品料	飲料・飼料	繊維	木材	家具	ハルブ	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄	金	はん用	生産用	業務用			電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他											
種類	業	農	鉢	建設業	食品料	飲料・飼料	繊維	木材	家具	ハルブ	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄	金	はん用	生産用	業務用	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電	上水道	下水道	運輸	卸	サ	解						
合計	1,595	190	38	924	105	8	0	9	2	1	8	6	6	0	3	0	15	4	6	6	4	8	1	11	0	0	5	2	300	289	4	7	2	5	3	25				
燃え殻	3			0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
汚泥	81		38	8	22	1	0	3	4	0	1	1				3	0	2	1	0	0	4	11				1	1	4	7	1	1	0	0	0	0				
有機性汚泥	18			1	10	1	0	3	3		3	1				1	0	0	0	0	0	0	7							7		0	0	0	0	0				
無機性汚泥	62		38	7	12	0	0	0	2	0	0					3	2	1	0	0	4	4							4	1	0	0	0	0	0	0				
廃油	7			0	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1			
一般廃油	6			0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1			
廃溶剤	1				1							0							0																					
その他	0			0	0						0								0																					
廃酸	2			2															0			2													0		0	0		
廃アルカリ	1			1															0			1														0	0	0		
廃プラスチック類	27		0	6	15	0	0	4	0	0	0	1	3	0		1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
廃プラスチック	24			6	15	0	0	4	0	0	0	1	3	0		1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	
廃タイヤ	3		0	0	0														0			0											1	1	1	1	1	1	1	
紙くず	10			2	9						3	6																											0	0
木くず	48			44	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	1			0	1		1																																	
動物性残渣	8				8	6	0					2																												
動物系固形不燃物																																								
ゴムくず	0			0	0			0					0																											
金属くず	39		0	15	19	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	2	3	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1
ガラス陶磁器くず	26			16	9	0	0	0	0	0		0				8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鋳さい	9		0		8		0									4	1	0	0	3																				
がれき類	826			823	1											1	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	2	2			0	0	0	0	0	0		
コンクリート片	477			474	1											1	2	0					0	0	0	0	0	0	2	2			0	0	0	0	0	0		
廃アスファルト	337			337	0											0																								
その他	13			13	0											0			0																					
動物のふん尿	189		189					0																																
ばいじん	278							0																					278	278										
その他の産業廃棄物	41			10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7			0	0	0	0	22	0	0		
感染性廃棄物																																								
混合物等	41			10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7			0	0	0	0	22	0	0		

注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、「その他の業種」は、漁業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。

注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上で500t未満であることを示す。



表1-13 排出量（業種別・種類別）〔南加賀地域〕＜平成23年度＞

業種	合計	建設業	製造業	食品飲料・飼料	繊維	木材	家具	印刷	化学	石油	プラスチック	ガラス	窯業・土石	鉄	非鉄金	金	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	電			その他の業種									
																								水道業	電気業	下水道業		運	卸	サイピス						
合計	452	13	198	129	1	0	36	0	2	1	3	4	0	1	0	0	4	16	11	22	0	0	0	0	107	0	4	103	0	2	0	2	2			
燃え殻	0			0																																
汚泥	195		3	85	0	31	0	0	1	3				5	3	1	14	6	16	0	107	0	5			4	103	0	0	0	0	0	0			
有機性汚泥	141		0	38	0	31		0	1	3				0	0	0	0	0	3		103						103	0	0	0	0	0	0			
無機性汚泥	54		3	47		0				0				5	3	1	14	6	13	0	4	0	5			4		0	0	0	0	0	0			
廃油	6		0	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0		0	0						0	0	0	0	0			
一般廃油	6		0	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0		0	0						0	0	0	0	0			
廃溶剤	0		0	0	0									0	0	0	0	0	0	0		0	0													
その他	0		0	0										0	0	0	0	0	0	0		0	0													
廃酸	7		7		1	1	0	0	0	0				3	0	0	0	0	2	0		0	0													
廃アルカリ	3		3		0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	1	0		0	0													
廃プラスチック類	10		2	7	0	2	0	0	0	0	1	0		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
廃プラスチック	9		2	7	0	2	0	0	0	0	1	0		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃タイヤ	1		0	0														0	0																	
紙くず	4		1	3							1	2																								
木くず	13		11	2	0	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0													
繊維くず	1		0	1	1																															
動物性残渣	1		1	1	0																															
動物系固形不燃物																																				
ゴムくず	0		0	0																																
金属くず	9		3	5	0	0	0	0	0	0				0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	12		4	7	0	0	0	0	0	0				6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	2		2											0	0	0	0	0	0				1													
がれき類	172		171	1	0	0	0							1			0	0	0		0					0										
コンクリート片	98		97	1	0									1							0					0										
廃アスファルト	69		69																																	
その他	5		5	0		0											0																			
動物のふん尿	12		12																																	
ばいじん	0		0																																	
その他の産業廃棄物	6		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1		
感染性廃棄物	1		1																																	
混合物等	5		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	

注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、「その他の業種」は、漁業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。

注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上500t未満であることを示す。

表1-14 排出量（業種別・種類別） [石川中央地域南部区（金沢市を除く）] <平成23年度>

業種	合計	農業	建設	製造	業																						その他	その他						
					食品	飲料	繊維	木材	家具	ハル	印刷	化学	石油	プラスチック	ガラス	窯業・土石	鉄業	鋼業	鉄業	非鉄	金業	はん	生産	業務	電子	電気			電気	水道	電気	上水道	下水道	運輸
合計	343	15	136	81	3	0	17	1	0	2	3	27	1	0	7	6	1	2	5	0	1	0	4	0	97	19	78	0	2	1	10	1		
燃え殻	0			0			0								0																			
汚泥	132		2	33	2	0	16		0	1	0	9		4	0	0	0	0	0	1		0		97	19	78	0	0	0	0	0	0		
有機性汚泥	106		0	27	2	0	16		0	0	0	9		0	0				0			0		78		78	0					0		
無機性汚泥	26		2	6	0	0	0		0	0	0	0		4	0	0	0	0	0	1		0		19	19	0	0	0	0	0	0	0		
廃油	9		0	7	0	0	0		0	0	0	6		0	0	0	0	0	0	0		0					0	1	1	0	0	0		
一般廃油	5		0	3	0	0	0		0	0	0	2		0	0	0	0	0	0	0		0					0	1	1	0	0	0		
廃溶剤	4			4							0	4								0														
その他	0		0	0					0	0	0											0												
廃酸	0		0	0	0				0	0	0	0								0							0						0	
廃アルカリ	10		10	0	0				0	0	0	9								0							0						0	
廃プラスチック類	7		1	5	1	0	1		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			1				0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック	7		1	5	1	0	1		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			1				0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ	1																																	
紙くず	5		0	4							2	3																						
木くず	9		8	1	0	0	1		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0		0	0			0																											
動植物性残さ	3		3	1	0						2																							
動物系固形不要物																																		
ゴムくず	0		0	0																														
金属くず	13		2	10	0	0	0		0	0	0	0		0	4	0	1	1	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	6		3	3	0	0	0		0	0	0	0		3													0	0	0	0	0	0	0	0
鋳さい	4		4	4											1	0	3	0																
がれき類	117		117	0																								0						
コンクリート片	67		67	0																								0						
廃アスファルト	47		47																									0						
その他	4		4																															
動物のふん尿	15		15																															
ばいじん	0		0																															
その他の産業廃棄物	12		2	0			0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	9	0	
感染性廃棄物	0																																	
混合物等	12		2	0			0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	

注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスの合計値であり、「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。

注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上500t未満であることを示す。





表1-16 排出量（業種別・種類別）〔金沢市〕＜平成23年度＞

業種	業種別	業種別											業種別						その他	その他																					
		合計	農業	畜産	建設	製造業	食品	飲料	繊維	木材	家具	印刷	化学	石油	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄			非鉄金属	金	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電気水道業	上下水道業	運輸業	卸売業	サービス業	解体・破砕前処理業					
合計	994	2	0	375	117	5	0	10	0	85	2	1	0	1	0	9	0	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	477	1	3	473	1	3	4	9	6					
燃え殻																																									
汚泥	584			6	100	1	0	9		84	0					6		0									476		3	473	0	0	1			1					
有機性汚泥	566			1	92	1	0	9		82	0																473			473						1					
無機性汚泥	18			5	9			0		2	0					6		0									3		3							0		0			
廃油	3			0	0	0	0	0		0	0					0		0									0		0							1		0	1		
一般廃油	3			0	0	0	0	0		0	0					0		0									0		0							1		0	1		
廃溶剤	0			0	0	0	0	0		0	0					0		0									0		0												
その他	0			0	0	0	0	0		0	0					0		0									0		0												
廃酸	1			1	0					0	0					0		1																							
廃アルカリ	1			0	0	0	0			0	0					0		0																							
廃プラスチック類	13			4	4	0	0	1		0	0					0		0									0		0												
廃プラスチック	12			4	4	0	0	1		0	0					0		0									0		0												
廃タイヤ	1			0	0											0																									
紙くず	2			1	1					0	1																														
木くず	22			21	1			0		0	0					0		0																							
繊維くず	0			0	0											0																									
動植物性残さ	2			2	2	0																																			
動物系固形不要物	0			0	0																																				
ゴムくず	0			0	0											0																									
金属くず	11			6	2	0	0	0		0	0					1		0									0		0												
ガラス陶磁器くず	11			8	2	0	0	0		0	0					2		0																							
鉱さい	0			0	0											0																									
がれき類	325			324	0			0																				1		1											
コンクリート片	185			184	0																							1		1											
廃アスファルト	130			130																																					
その他	10			10	0			0								0																									
動物のふん尿	2			2																																					
ばいじん	1			1						1																															
その他の産業廃棄物	15			5	1	0	0	0		0	0					0		0									0		0												
感染性廃棄物	1			0																																					
混合物等	14			5	1	0	0	0		0	0					0		0									0		0												

注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、「その他の業種」は、漁業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。  
 注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上で500t未満であることを示す。



表1-18 排出量（業種別・種類別）〔能登北部地域〕＜平成23年度＞

業種	業種別計	業種	建設	製造	飲料・飼料	織物	木材	家具	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	金	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電気水道業					ガス水道業	下水	下水道	運輸業	小売業	サービス業	解体・破砕前処理業	その他	業種
																										業	業	業	業	業									
合計	189	89	7	65	4	0	0	1							0	0	0	0	0	2	24	0	0	23	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	1		
燃え殻																																							
汚泥	32		7	1	0										0					0	23							23	0	0	0	0	0	0	0				
有機性汚泥	23			0	0															0	23							23	0	0	0	0	0	0	0				
無機性汚泥	9		7	1	1										0					0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃油	0			0	0										0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
一般廃油	0			0	0										0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃溶剤	0			0	0										0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
その他	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃酸	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃アルカリ	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃プラスチック類	2	0		1	1										0					1	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃プラスチック	2	0		1	1										0					1	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃タイヤ	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
紙くず	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
木くず	5			4	1		1								0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
繊維くず	0			0	0		0								0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
動物性残渣	0			0	0		0								0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
動物系固形不燃物	0			0	0		0								0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
ゴムくず	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
金属くず	2	0		1	0										0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
ガラス陶磁器くず	1			1	0										0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
鉱さい	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
がれき類	57			56											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
コンクリート片	32			32											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃アスファルト	23			23											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
その他	2			2											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
動物のふん尿	89			89											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
ばいじん	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
その他の産業廃棄物	1			1	0										0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性廃棄物	0			0											0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
混合物等	1			1	0										0					0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				

注1)「サービスマ」は、学術研究・専門サービスマ、生活関連サービスマ、サービスマの合計値であり、「その他の業種」は、漁業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
 注2)本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上で500t未満であることを示す。



表1-20 委託直接最終処分量（業種別・種類別：無変換）＜平成23年度＞

業種	業種別	建設業	製造業	食品飲料	繊維	木材	家具	印刷	化学	石油	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	金	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機	その他	電気水道業				下水道業	運輸業	廃棄物処理業	その他				
																									電気	水道	ガス	熱								
種類	合計	14	18	0	0	1	0	4	0	0	0	0	6	3	0	0	1	0	0	0	5	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0			
	燃え殻		0		0													0																		
	汚泥	1	10	0	0	0	0	3	0		0		3	2	0	0	1	0	0				0			5	0	0	0	0	0	0	0			
	有機性汚泥		4	0	0			3	0																	5										
	無機性汚泥	1	6		0						0		3	2	0	0	1	0	0							0		0	0	0	0	0				
	廃油																																			
	一般廃油																																			
	廃溶剤																																			
	その他																																			
	廃酸																																			
	廃アルカリ																																			
	廃プラスチック類	1	1	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0				0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	廃プラスチック	1	1	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0				0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	廃タイヤ																																			
	紙くず	0																																		
	木くず	1	1			1		0																												
	繊維くず	0	0			0																														
	動植物性残さ																																			
	動物系固形不燃物																																			
	ゴムくず																																			
	金属くず	0	0																									0	0	0	0	0	0	0	0	
	ガラス陶磁器くず	1	3	0	0	0			0				3									0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鋳さい	2	2												1	0							1				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	がれき類	9	0		0	0	0	0									0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	コンクリート片	0	0		0																						0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	廃アスファルト	0																																		
	その他	8	0		0																															
	動物のふん尿																																			
	ばいじん	1	1		0																															
	その他の産業廃棄物	1	0		0								0										0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性廃棄物	0																																		
	混合物等	1	0		0																							0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 「サービスマン」は、学術研究・専門サービスマン、生活関連サービスマン、サービスマンの合計値であり、「その他の業種」は、海業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。  
 注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上で500t未満であることを示す。

表1-21 委託最終処分量（業種別・種類別・種類別：無変換）＜平成23年度＞

業種	合計	農	業	鉢	建	製	製造業															その他	業種															
							食料	飲料	繊維	木	家具	ハル	印刷	化学	石油	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属			金	はん	生産	業務	電子	電気機器	情報	通信	機器	その他	電気水道	上水道	下水道	運輸	卸
合計	70				32	26	1	0	2	1	4	0	0	0	0	0	6	4	0	1	1	1	0	0	1	0	9	0	0	8	0	0	0	0	1	0	2	
燃え殻	0					0			0								0		0								0											
汚泥	22				1	12	0	0	1		3	0	0	0		3	2	0	1	1	1	0	0	0	0	8	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有機性汚泥	13				0	4	0	0	1		3	0	0													8												
無機性汚泥	9				1	8	0	0	0		0	0	0			3	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0					0			0		0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般廃油	0					0			0		0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃溶剤	0					0			0																													
その他	0					0			0		0	0																										
廃酸	0					0			0		0	0																										
廃アルカリ	0					0			0		0	0																										
廃プラスチック類	5				2	2	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック	5				2	2	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃タイヤ	0				0	0																																
紙くず	0				0	0																																
木くず	3				2	1			0		1	0	0																									
繊維くず	0				0	0			0																													
動植物性残さ	0				0	0			0																													
動物系固形不要物	0				0	0			0																													
ゴムくず	0				0	0																																
金属くず	1				0	0																																
ガラス陶磁器くず	9				5	4	0	0	0		0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銅さい	3				3	0																																
がれき類	18				18	0			0		0	0																										
コンクリート片	4				4	0			0																													
廃アスファルト	1				1	0																																
その他	13				13	0			0		0	0																										
動物のふん尿																																						
ばいじん	1				1	0			0		1																											
その他の産業廃棄物	5				4	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物	0				0																																	
混合物等	5				4	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスの合計値であり、「その他の業種」は、漁業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。  
 注2) 本表は千t表示で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないものがある。また、「0」表示は1t以上500t未満であることを示す。







表2-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量			
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)		再生利用量 (H) (I+K+J)	自己最終 処分量 (E2+G2)	(1)	(処理先地域の内訳)				
						自己最終 処分量 (E3)	委託中間 処理量 最終処分量 (E4)			委託中間 処理量 最終処分量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)				その他量 (G5)	県内	県外		
																		(E)	(D)
合計	3,291	176	3,115	1,763	464	289	46	116	13	0	1,352	0	30	1,297	25	0	1,527	76	76
燃え殻	38	6	32	0	2	0	0	0	2	0	32	0	30	2	0	0	34	30	30
汚泥	1,427	56	1,371	1,336	96	40	4	41	11	0	35	0	30	30	4	0	90	4	4
有機性汚泥	1,003		1,003	994	39	0	0	32	7	0	9	0	0	8	1	0	48		
無機性汚泥	424	56	368	342	57	40	4	9	4	0	26	0	22	3	0	42	4	4	4
廃油	24	4	20	4	0	0	0	0	0	0	16	0	16	0	0	16	0	16	0
一般廃油	18	3	15	1	0	0	0	0	0	0	13	0	13	0	0	13	0	13	0
廃溶剤	5	1	4	3							2		2			2		2	
その他	1		1								1		1			1		1	
廃酸	11	2	9	0							9		9			9		9	
廃アルカリ	14	0	14	9	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	5	0	5	0
廃プラスチック類	46	5	41	2	1	0	0	0	0	0	39	0	38	2	0	40	0	40	0
廃プラスチック	43	5	38	2	1	0	0	0	0	0	36	0	35	2	0	37	0	37	0
廃タイヤ	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3	0	3	0
紙くず	21	9	11	1	1	1	0	0	0	0	11	0	11	0	0	11	0	11	0
木くず	80	3	76	19	3	2	1	1	0	0	57	0	56	2	0	58	0	58	0
繊維くず	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0
動植物性残さ	14	4	11	2	1	0	0	0	0	0	8	0	8	0	0	8	0	8	0
動物系固形不要物	0	0	0								0		0			0		0	
ゴムくず	0	0	0								0		0			0		0	
金属くず	105	65	40	0	0	0	0	0	0	0	39	0	39	0	0	40	0	40	0
ガラス陶磁器くず	35	0	35	2	2	1					33		29	4		34		34	
鉱さい	16	5	12	0	0	0	0	0	0	0	11	0	9	2	0	12	0	12	0
がれき類	844		844	92	92	76	16	16			753		744	9		769		769	
コンクリート片	481		481	31	31	20	11	11			451		450	0		461		461	
廃アスファルト	337		337	61	61	55	5	5			277		277	0		282		282	
その他	26		26	0	0	0	0	0			25		17	8		26		26	
動物のふん尿	238		238	203	161	161	43	41			35		35			35		35	
ばいじん	331	15	316	70	84	8	43	41			246		245	1	0	329		43	43
その他の産業廃棄物	43	0	43	23	22	8	14	14	0	0	20		18	1	0	34		34	
燃焼性廃棄物	3		3	0							3		3			3		3	
混合物等	40	0	40	23	22	8	14	14	0	0	17		16	1	0	32		32	

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分 種類	委託処理量											委託中間処理量				委託直接最終処分量				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	(K) (O-L)			(O)			(L)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+H1)	(O) (I+O+H2)	処理主体の内訳		(S) (B+R)												
	(K)	(O)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(O1) (01)	(O2) (02)																				
		業者	自治体		県内	県外	業者	自治体	県内	県外			再生利用量	最終処分量	自己処分	委託処分																
合計	1,451	38	29	9	33	5	1,413	1,388	25	1,043	370	1,338	1,306	32	1,595	146	76	70	0	1,770												
燃え殻	5	2	1	1	2		3	3		0	2	9	3	6	3	30	8			9												
汚泥	86	16	8	8	14	2	71	55	15	51	20	42	40	2	81	21	4	17	0	137												
有機性汚泥	48	8	1	7	8	0	40	24	15	27	12	18	18	0	18	8	8			18												
無機性汚泥	38	7	7	0	6	2	31	31	0	23	8	24	22	2	62	12	4	9	0	119												
廃油	16						16	16	0	8	8	7	7		7					11												
一般廃油	13						13	13	0	7	7	6	6		6					10												
溶剤	2						2	2		1	1	1	1		1					1												
その他	1						1	1		1	0	0	0		0					0												
廃酸	9						9	9		3	6	2	2		2					3												
廃アルカリ	5						5	5		3	2	1	1		1					1												
廃プラスチック類	40	2	2	0	1	1	38	37	1	27	11	29	26	3	27	5	5	5	32													
廃プラスチック	37	2	2	0	1	1	35	34	1	25	10	26	23	3	24	5	5	5	29													
廃タイヤ	3						3	3		2	1	3	3	0	3	0	0	0	3													
紙くず	11	0	0	0	0	0	11	11	0	10	0	10	10	0	10	0	0	0	20													
木くず	58	2	1	0	2		57	56	1	53	4	46	46	0	48	2	2	2	51													
繊維くず	2	0	0	0	0		2	2	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1													
動植物性残さ	8						8	6	2	5	3	7	7	0	8	0	0	0	11													
動物系固形不要物	0						0	0		0	0																					
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
金属くず	40	0	0	0	0	0	39	39	0	29	10	39	39	1	39	1	1	1	104													
ガラス陶磁器くず	34	4	4	0	4	0	30	30	0	27	4	30	25	5	26	9	9	9	26													
鉱さい	12	2	2	0	2	0	9	9		0	9	10	9	1	9	3	3	3	13													
がれき類	769	9	9	9	0	0	760	757	3	756	4	760	751	9	826	18	18	18	826													
コンクリート片	461	0	0	0	0		461	458	3	459	2	461	457	4	477	4	4	4	477													
廃アスファルト	282	0	0	0	0		282	282	0	281	1	282	282	0	337	1	1	1	337													
その他	26	8	8	8	0	0	17	17		17	1	17	13	5	13	13	13	13	13													
動物のふん尿	35						35	35		35		28	28		189				189													
ばいじん	286	1	1	1	1		286	286		7	279	278	278		278	44	43	1	294													
その他の産業廃棄物	34	1	1	0	1	0	33	31	2	24	8	37	33	4	41	6	6	6	41													
感染性廃棄物	3						3	3		2	0																					
混合物等	32	1	1	0	1	0	30	29	2	22	8	37	33	4	41	6	6	6	41													

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-2 発生量及び処理・処分量（農業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己未処理量			自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己中間 処理後 処理量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)	委託最終 処分量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託最終 処分量 (G4)	その他 (G5)		(I)	(E2+G2)
合計	239		239	203	161	161			36				36	36		
燃え殻																
汚泥																
有機性汚泥																
無機性汚泥																
廃油																
一般廃油																
廃溶剤																
その他																
廃酸																
廃アルカリ																
廃プラスチック類	0		0							0			0			
廃プラスチック	0		0							0			0			
廃タイヤ																
紙くず																
木くず																
繊維くず																
動植物性残さ																
動物系固形不要物																
ゴムくず																
金属くず																
ガラス陶磁器くず																
鉱さい																
がれき類																
コンクリート片																
廃アスファルト																
その他																
動物のふん尿	238		238	203	161	161			35				35	35		
ばいじん																
その他の産業廃棄物																
感染性廃棄物																
混合物等																

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-2 発生量及び処理・処分量（農業 種類別：変換）＜平成23年度＞  
 (その2)

区分 種類	委託処理量										委託中間処理量				委託直接最終処分量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	(K) (O+L)		(O)		業者 自治体		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(L)		業者 自治体		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(M)		再生利用量 (M1)		(R) (E1+G+H1)		(O) (I+O+H2)		(J) (E5+G5)		(S) (B+R)				
	36		36		36		36		29		29		29		29		190		190										
燃え殻																													
汚泥																													
有機性汚泥																													
無機性汚泥																													
廃油																													
一般廃油																													
廃溶剤																													
その他																													
廃酸																													
廃アルカリ																													
廃プラスチック類	0					0					0					0													
廃プラスチック	0					0					0					0													
廃タイヤ																													
紙くず																													
木くず																													
繊維くず																													
動植物性残さ																													
動物系固形不要物																													
ゴムくず																													
金属くず																													
ガラス陶磁器くず																													
鉱さい																													
がれき類																													
コンクリート片																													
廃アスファルト																													
その他																													
動物のふん尿	35					35					35					28												189	
ばいじん																													
その他の産業廃棄物																													
感染性廃棄物																													
混合物等																													

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-3 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己未処理量			自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己中間 委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)		(I)	(E2+G2)
合計	206	0	206	38	38	206	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻																
汚泥	206		206	38	38	206	38	38								
有機性汚泥																
無機性汚泥	206		206	38	38	206	38	38								
廃油	0		0													
一般廃油	0		0													
廃溶剤																
その他																
廃酸																
廃アルカリ																
廃プラスチック類	0		0													
廃プラスチック																
廃タイヤ	0		0													
紙くず																
木くず																
繊維くず																
動植物性残さ																
動物系固形不要物																
ゴムくず																
金属くず	0		0													
ガラス陶磁器くず																
鉱さい																
がれき類																
コンクリート片																
廃アスファルト																
その他																
動物のふん尿																
ばいじん																
その他の産業廃棄物																
感染性廃棄物																
混合物等																

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-3 発生量及び処理・処分量（鉱業 種別別：変換）＜平成23年度＞  
（その2）

（単位：千t/年）

区分 種類	委託処理量										委託中間処分量					委託最終処分量				委託処理後の処理内訳		再生利用量 (E+G+M1) (R)	最終処分量 (I+O+M2) (O)	処理主体の内訳		その他量	
	(K) (O+L)	(O)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)		委託中間処分量		(L)	委託中間処分量 (処理主体の内訳)		(M)	(M1)	委託最終処分量 (M2)		(01)	(02)	資源化量											
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体			県内	県外			再生利用量	最終処分量	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)								
																				(E1+G1+M1)	(H+R)						
			(O+L)	(O)	(L)	(M)		(M1)	(M2)			(R)	(O)			(01)	(02)	(J)	(S)								
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38		38								
燃え殻																			38								
汚泥																				38							
有機性汚泥																											
無機性汚泥																				38							
廃油	0						0																				
一般廃油	0						0																				
廃溶剤																											
その他																											
廃酸																											
廃アルカリ																											
廃プラスチック類	0						0													0							
廃プラスチック																											
廃タイヤ	0						0													0							
紙くず																											
木くず																											
繊維くず																											
動植物性残さ																											
動物系固形不要物																											
ゴムくず																											
金属くず	0						0													0							
ガラス陶磁器くず																											
鉱さい																											
がれき類																											
コンクリート片																											
廃アスファルト																											
その他																											
動物のふん尿																											
ばいじん																											
その他の産業廃棄物																											
感染性廃棄物																											
混合物等																											

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-4 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量					
				自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		再生利用量		自己最終処分量		自己未処理の処理内訳		再生利用量		自己最終処分量	
				(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(H1)
合計	975	1	974	94	77	17	0	880	0	866	14	897					
燃え殻				0	0												
汚泥	16		16					16		15	1	16					
有機性汚泥	2		2					2		2		2					
無機性汚泥	14		14					14		13	1	14					
廃油	0		0					0		0		0					
一般廃油	0		0					0		0		0					
廃溶剤																	
その他	0		0					0		0		0					
廃酸																	
廃アルカリ	0		0					0		0		0					
廃プラスチック類	9		9	0	0		0	9		9	1	9					
廃プラスチック	9		9	0	0		0	9		9	1	9					
廃タイヤ	0		0					0		0		0					
紙くず	3	0	3	0				3		3	0	3					
木くず	56	0	56	3	2	1		53	0	52	1	54					
繊維くず	0		0	0				0		0		0					
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず	0		0					0		0		0					
金属くず	16	1	15	0	0		0	15		15	0	15					
ガラス陶磁器くず	21	0	21	0	0		0	21		20	1	21					
鉱さい																	
がれき類	841		841	91	75	16		750		741	9	766					
コンクリート片	478		478	30	20	11		448		447	0	458					
廃アスファルト	337		337	61	55	5		277		277	0	282					
その他	25		25	0	0	0		25		17	8	25					
動物のふん尿																	
ばいじん																	
その他の産業廃棄物	13		13					13		12	1	13					
感染性廃棄物																	
混合物等	13		13					13		12	1	13					

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表2-4 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分	委託処理量	委託中間処理量										再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量
		委託直接最終処分量					委託中間処理後量					(R) (E1+G+M1)	(O) (1+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
		(K) (O+L)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)					(委託処理後の処理内訳) 再生利用量 最終処分量 (M1) (M2)			
		(0)	業者	自治体	県内		県外	業者	自治体	県内		県外							
合計	897	14	14	0	13	0	883	879	4	867	16	865	847	19	924	32	32	925	
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	
汚泥	16	1	1	0	1	0	15	15	0	14	0	9	8	0	8	1	1	8	
有機性汚泥	2				2		2	2		2		1	1		1			1	
無機性汚泥	14	1	1	0	1	0	13	13	0	13	0	7	7	0	7	1	1	7	
廃油	0				0		0	0		0		0	0		0			0	
一般廃油	0				0		0	0		0		0	0		0			0	
廃溶剤																			
その他	0				0		0	0		0		0	0		0			0	
廃酸																			
廃アルカリ	0						0	0		0									
廃プラスチック類	9	1	1	0	1	0	9	9	0	7	1	7	6	1	6	2	2	6	
廃プラスチック	9	1	1	0	1	0	9	9	0	7	1	7	6	1	6	2	2	6	
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0		0			0	
紙くず	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	0	2	2	0	2	0	0	2	
木くず	54	1	1	1	1	1	52	51	1	49	3	42	42	0	44	2	2	44	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0						0	0		0		0	0		0			0	
金属くず	15	0	0	0	0	0	15	15	0	10	5	15	15	0	15	0	0	16	
ガラス陶磁器くず	21	1	1	0	1	0	20	20	0	18	2	20	16	4	16	5	5	16	
鉱さい																			
がれき類	766	9	9	0	9	0	757	754	3	753	4	757	748	9	823	18	18	823	
コンクリート片	458	0	0	0	0	0	458	455	3	456	2	458	454	4	474	4	4	474	
廃アスファルト	282	0	0	0	0	0	282	282	0	281	1	282	282	0	337	1	1	337	
その他	25	8	8	0	8	0	17	17	0	17	0	17	13	5	13	13	13	13	
動物のふん尿																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	13	1	1	0	1	0	12	12	0	12	0	12	10	3	10	4	4	10	
感染性廃棄物																			
混合物等	13	1	1	0	1	0	12	12	0	12	0	12	10	3	10	4	4	10	

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-5 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量					
				再生利用量 (E1)	自己中間処理後量 (E)			再生利用量 (G1)	自己未処理量 (G)			再生利用量 (G2)	自己未処理の処理内訳 (H)			自己最終処分量 (I) (E2+G2)	
					自己最終 処分量 (E2)	自己中間 処理後 の処理 内訳 (E3)			自己最終 処分量 (G2)	自己未処理 の処理 内訳 (G3)			自己最終 処分量 (H) (I+K+J)	自己最終 処分量 の処理 内訳 (I)			
						再生利用量 (E4)	委託中間 処理量 (E5)			その他 (E6)	再生利用量 (G4)			委託中間 処理量 (G5)	その他 (G6)		県内
合計	488	93	396	269	31	3	19	8	0	126	0	116	10	0	153		
燃え殻	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
汚泥	247	1	246	232	24	0	16	7	0	14	0	11	3	0	38		
有機性汚泥	162		162	158	13		10	3		4	0	4	1		17		
無機性汚泥	84	1	84	74	11	0	7	4	0	10	0	8	2	0	21		
廃油	17	3	14	4	0	0				10	0	10	0	0	10		
一般廃油	11	2	9	1	0	0				8	0	8	0	0	8		
廃溶剤	5	1	4	3						2	0	2	0	0	2		
その他	1		1							1	0	1	0	0	1		
廃酸	11	2	9	0						9	0	9	0	0	9		
廃アルカリ	14		14	9						5	0	5	0	0	5		
廃プラスチック類	28	5	22	2	1	0	0			21	0	20	1	0	21		
廃プラスチック	28	5	22	2	1	0	0			21	0	20	1	0	21		
廃タイヤ	0		0							0	0	0	0	0	0		
紙くず	18	9	9	1	1	1				8	0	8	0	0	8		
木くず	24	3	20	16	1	0	0			4	0	4	0	0	4		
繊維くず	1	0	1	0	0	0				1	0	1	0	0	1		
動植物性残さ	14	4	11	2	1	0	0			8	0	8	0	0	8		
動物系固形不要物																	
ゴムくず	0	0	0							0	0	0	0	0	0		
金属くず	80	61	20	0	0	0	0			20	0	20	0	0	20		
ガラス陶磁器くず	13	0	13	2	2	1				11	0	8	3	0	13		
鉱さい	16	5	12	0	0	0				11	0	9	2	0	12		
がれき類	1		1	0	0	0				1	0	1	0	0	1		
コンクリート片	1		1	0	0	0				1	0	1	0	0	1		
廃アスファルト	0		0	0	0	0											
その他	0		0							0	0	0	0	0	0		
動物のふん尿																	
ばいじん	1		1							1	0	1	0	0	1		
その他の産業廃棄物	3	0	3	0	0	0				2	0	2	0	0	2		
燃焼性廃棄物	0		0							0	0	0	0	0	0		
混合物等	3	0	3	0	0	0				2	0	2	0	0	2		

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-5 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分	委託処理量												委託中間処理量				委託最終処分量				委託最終処分量			再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	委託直接最終処分量						委託中間処理後量						委託最終処分量				再生利用量		最終処分量		その他量		(S) (B+R)							
	(K) (O+L)			(O)			(L)			(M)			(M1) (委託処理後の処理内訳) 再生利用量 最終処分量 (M2)			(R) (E1+G+H1)		(0) (1+O+M2)		(J) (E5+G5)										
	(処理主体の内訳) 業者		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(処理主体の内訳) 業者		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(処理主体の内訳) 業者		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(処理主体の内訳) 業者		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(処理主体の内訳) 業者		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(処理主体の内訳) 自己処分 (O1)			(処理主体の内訳) 委託処分 (O2)						
(K)	(O+L)	(O)	(L)	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(0)	(J)	(S)	(B+R)																			
合計	153	18	15	3	14	4	135	4	80	55	109	102	7	105	26	26	0	198												
燃え殻	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	2	0	1												
汚泥	38	10	7	3	8	2	28	0	12	16	23	22	1	22	12	12	0	23												
有機性汚泥	17	4	1	3	4	0	13	0	4	9	10	10	0	10	4	4	0	10												
無機性汚泥	21	6	6	0	5	2	14	0	7	7	13	12	1	12	7	7	0	13												
廃油	10	0	0	0	0	0	10	0	6	4	5	5	0	5	0	0	0	8												
一般廃油	8	0	0	0	0	0	8	0	5	3	4	4	0	4	0	0	0	6												
廃溶剤	2	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1												
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
廃酸	9	0	0	0	0	0	9	0	3	6	2	2	0	2	0	0	0	3												
廃アルカリ	5	0	0	0	0	0	5	0	3	1	1	1	0	1	0	0	0	1												
廃プラスチック類	21	1	1	0	0	0	20	0	13	8	16	15	1	15	2	2	0	21												
廃プラスチック	21	1	1	0	0	0	20	0	13	8	16	15	1	15	2	2	0	21												
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
紙くず	8	0	0	0	0	0	8	0	8	0	8	8	0	9	0	0	0	18												
木くず	4	0	0	0	0	0	4	0	4	0	3	3	0	3	0	0	0	7												
繊維くず	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1												
動植物性残さ	8	0	0	0	0	0	8	2	5	3	7	7	0	8	0	0	0	11												
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
金属くず	20	0	0	0	0	0	20	0	14	6	20	19	0	19	0	0	0	80												
ガラス陶磁器くず	13	3	3	0	3	0	10	10	8	1	10	9	1	9	4	4	0	10												
鉱さい	12	2	2	0	2	0	9	9	0	9	9	8	1	8	3	3	0	13												
がれき類	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1												
コンクリート片	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1												
廃アスファルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
動物のふん尿	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0												
ばいじん	2	0	0	0	0	0	2	1	2	0	2	1	1	1	2	2	0	1												
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
混合物等	2	0	0	0	0	0	2	1	2	0	2	1	1	1	2	2	0	1												

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-6 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量		
				再生利用量 (E1)	自己中間処理後量 (E)			再生利用量 (G1)	自己未処理の処理内訳 (G2)			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	自己最終処分量 (処理先地域の内訳)	
					自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他 (E5)	県内	県外							
																	自己最終 処分量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)
合計	1,326	77	1,249	969	119	2	46	65	5	0	280	30	250	0	397	76	76	
燃え殻	38	6	32		1			0	1		32		2		33	30	30	
汚泥	956	56	900	898	34	2	4	24	4	0	2		1	0	34	4	4	
有機性汚泥	838		838	836	26	0		22	4		2		1	0	27			
無機性汚泥	118	56	62	62	8	2	4	2	0	0	0		0		6	4	4	
廃油	0	0	0								0		0		0			
一般廃油	0	0	0								0		0		0			
廃溶剤																		
その他	0	0	0								0		0		0			
廃酸	0	0	0								0		0		0			
廃アルカリ	0	0	0								0		0		0			
廃プラスチック類	0	0	0								0		0	0	0			
廃プラスチック	0	0	0								0		0	0	0			
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0	0	0								0		0		0			
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0								0		0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0		0		0			
鉱さい	0		0								0		0		0			
がれき類	2		2								2		2	0	2			
コンクリート片	2		2								2		2	0	2			
廃アスファルト																		
その他																		
動物のふん尿																		
ばいじん	330	15	315	70	84		43	41			244		244	0	328	43	43	
その他の産業廃棄物	0	0	0								0		0	0	0			
感染性廃棄物																		
混合物等	0	0	0								0		0	0	0			

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-6 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千t/年）

区分	委託処理量 (K) (O-L)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)						委託中間処理量 (処理主体の内訳)						委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)			再生利用量 (R) (E1+G+H1)	最終処分量 (I+O+H2)	自己処分 (O1)	処理主体の内訳 委託処分 (O2)	その他量 (E5+G5) (J)	資源化量 (S) (B+R)	
		業者		自治体		県内 県外		(L)	業者		自治体		県内 県外		(M)	(M1)							(M2)
		(0)																					
		5	0	5	5	0	315		300	15	32	284	302	298									
合計	321	5	0	5	5	0	315	300	15	32	284	302	298	3	300	85	76	9	0	378			
燃え殻	4	1	0	1	1		2	2		0	2	6	2	3	2	34	30	4		8			
汚泥	30	4	0	4	4		26	10	15	22	3	9	9	0	11	8	4	4		66			
有機性汚泥	27	4	4	4	4		24	8	15	21	3	6	6		7	4	4			7			
無機性汚泥	2	0	0	0	0		2	2	2	2	0	2	2	0	4	4	4	0		60			
廃油	0						0	0		0		0	0		0					0			
一般廃油	0						0	0		0		0	0		0					0			
廃溶剤																							
その他	0						0	0		0													
廃酸	0						0	0		0													
廃アルカリ	0						0	0		0													
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
廃タイヤ																							
紙くず																							
木くず	0						0	0		0		0	0		0					0			
繊維くず																							
動植物性残さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
鉱さい	0	0	0	0	0	0																	
がれき類	2	0	0	0	0	2	2	2		2		2	2	0	2	0	0	0		2			
コンクリート片	2	0	0	0	0	2	2	2		2		2	2	0	2	0	0	0		2			
廃アスファルト																							
その他																							
動物のふん尿																							
ばいじん	285					285	285	285		7	278	278	278		278	43	43			293			
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0							7	7		7	0	0			7			
感染性廃棄物																							
混合物等	0	0	0	0	0							7	7		7	0	0			7			

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-7 発生量及び処理・処分量（運輸業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己中間処理量			自己未処理量				自己最終処分量			
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己中間 処理後 処理量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)	委託最終 処分量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託最終 処分量 (G4)	その他 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終 処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
																県内	県外
合計	3	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0		
燃え殻																	
汚泥	1		1	0													
有機性汚泥	0		0														
無機性汚泥	1		1	0													
廃油	0	0	0	0													
一般廃油	0	0	0	0													
廃溶剤																	
その他	0		0														
廃酸																	
廃アルカリ	0		0														
廃プラスチック類	1	0	1	0													
廃プラスチック	0		0	0													
廃タイヤ	1	0	1	0													
紙くず																	
木くず	0		0														
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	0	0	0	0													
ガラス陶磁器くず	0		0														
鉱さい																	
がれき類																	
コンクリート片																	
廃アスファルト																	
その他																	
動物のふん尿																	
ばいじん																	
その他の産業廃棄物	0		0														
感染性廃棄物																	
混合物等	0		0														

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-7 発生量及び処理・処分量（運輸業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分 種類	委託処理量				委託中間処理量				委託直接最終処分量				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量	
	(K)		(H-L)		(O)		(L)		(M)		(N)		(M1)		(M2)		(R)	(E1+G+H1)	(O)	(I+O+H2)	(J)	(E5+G5)	(S)		(B+R)
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量	自己処分	委託処分									
	(K)	(H-L)	(O)	(L)	(M)	(N)	(M1)	(M2)	(R)	(E1+G+H1)	(O)	(I+O+H2)	(J)	(E5+G5)	(S)	(B+R)									
合計	2	0	0	0	2	2	0	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	
燃え殻																									
汚泥	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
有機性汚泥	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
無機性汚泥	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
廃油	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般廃油	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃溶剤																									
その他	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸																									
廃アルカリ	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ	1				1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
紙くず																									
木くず	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず																									
動植物性残さ																									
動物系固形不要物																									
ゴムくず																									
金属くず	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱さい																									
がれき類																									
コンクリート片																									
廃アスファルト																									
その他																									
動物のふん尿																									
ばいじん																									
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物																									
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-8 発生量及び処理・処分量（卸・小売業 種類別：変換）＜平成23年度＞  
 (その1)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量			
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己中間処理後の処理内訳		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	自己未処理の処理内訳		再生利用量 (H)	自己最終 処分量 (I) (E2+G2)	自己最終処分量	
						自己最終 処分量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)			県内	県外
合計	8	0	8	0	0	8	0	7	0	8	0	8			
燃え殻															
汚泥	1		1			1		1		1		1			
有機性汚泥	0		0			0		0		0		0			
無機性汚泥	1		1			1		0		0		0			
廃油	3	0	2			2		2		2		2			
一般廃油	3	0	2			2		2		2		2			
廃溶剤															
その他	0		0			0		0		0		0			
廃酸															
廃アルカリ	0	0	0	0		0		0		0		0			
廃プラスチック類	2		2			2		2		2		2			
廃プラスチック	1		1			1		1		1		1			
廃タイヤ	1		1			1		1		1		1			
紙くず															
木くず	0		0	0		0		0		0		0			
繊維くず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴムくず	0		0			0		0		0		0			
金属くず	2	0	2			2		2		2		2			
ガラス陶磁器くず	0		0			0		0		0		0			
鉱さい															
がれき類	0		0			0		0		0		0			
コンクリート片	0		0			0		0		0		0			
廃アスファルト	0		0			0		0		0		0			
その他															
動物のふん尿															
ばいじん															
その他の産業廃棄物	0	0	0			0		0		0		0			
感染性廃棄物															
混合物等	0	0	0			0		0		0		0			

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表2-8 発生量及び処理・処分量（卸・小売業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分 種類	委託処理量										委託中間処理量				委託直接最終処分量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	(K) (O+L)		(O)		自治体		(処理先地域の内訳)		業者		(L)		自治体		(処理先地域の内訳)		(M)		(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G+H1)		(O) (I+O+H2)		(J) (E5+G5)		(S) (B+R)		
							県内		県外						県内		県外		再生利用量		最終処分量								
																			(M1)		(M2)								
合計	8	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	5	2	5	5	0	0	0	5	0	0	5	0	0	0	0	0	6	
燃え殻																													
汚泥	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
有機性汚泥	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無機性汚泥	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃油	2								2	2	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
一般廃油	2								2	2	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
廃溶剤																													
その他	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸																													
廃アルカリ	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	2								2	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	
廃プラスチック	1								1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	
廃タイヤ	1								1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	
紙くず																													
木くず	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず																													
動植物性残さ																													
動物系固形不要物																													
ゴムくず	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	2								2	2	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	
ガラス陶磁器くず	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱さい																													
がれき類	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他																													
動物のふん尿																													
ばいじん																													
その他の産業廃棄物	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物																													
混合物等	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-9 発生量及び処理・処分量（サービス業 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量			
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	（自己中間処理後の処理内訳）		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	（自己未処理の処理内訳）		再生利用量 (H)	自己最終 処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳）	
						自己中間 処理量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)			県内	県外
(D)	(E)	(E)	(E)	(G)	(H)	(I)	(I)	(I)	(I)	(I)	(I)				
合計	7	1	6	0	0	0	6	6	0	6	6	0	6		
燃え殻															
汚泥	1			0											
有機性汚泥	1			0											
無機性汚泥	0			0											
廃油	2	0	2												
一般廃油	2	0	2												
廃溶剤															
その他	0	0	0												
廃酸	0	0	0												
廃アルカリ	0	0	0												
廃プラスチック類	2		2												
廃プラスチック	2		2												
廃タイヤ	1		1												
紙くず															
木くず															
繊維くず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物	0		0												
ゴムくず															
金属くず	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1		
ガラス陶磁器くず	0		0												
鉱さい															
がれき類															
コンクリート片															
廃アスファルト															
その他															
動物のふん尿															
ばいじん															
その他の産業廃棄物	0	0	0										0	0	
感染性廃棄物															
混合物等	0	0	0										0	0	

（注1）本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

（注2）「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-9 発生量及び処理・処分量（サービス業 種類別：変換）＜平成23年度＞  
 (その2)

(単位：千t/年)

区分 種類	委託処理量										委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	委託直接最終処分量		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	(R) (E1+G+M1)	(O) (I+O+M2)	(O1) (01)	(O2) (02)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)					
	(K) (O+L)	(0)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M)														
	(L)	(0)	5	0	3	3	3	0	3	3	3														
合計	6	0	0	0	0	0	6	5	0	3	3	3	0	3	1	1	1	1	3	3					
燃え殻																									
汚泥	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
有機性汚泥	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃油	2						2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
一般廃油	2						2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
廃溶剤																									
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃酸	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃プラスチック類	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1					
廃プラスチック	2	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃タイヤ	1						1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
紙くず																									
木くず																									
繊維くず																									
動植物性残さ																									
動物系固形不要物	0						0	0	0	0															
ゴムくず																									
金属くず	1						1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1					
ガラス陶磁器くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
鉱さい																									
がれき類																									
コンクリート片																									
廃アスファルト																									
その他																									
動物のふん尿																									
ばいじん																									
その他の産業廃棄物	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性廃棄物																									
混合物等	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-10 発生量及び処理・処分量（解体・破砕前処理業 種類別：変換）＜平成23年度＞

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外												
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己中間 処理後の 処理量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)	委託最終 処分量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託最終 処分量 (G4)	その他 (G5)	再生利用量 (I)	自己最終 処分量 (E2+G2)					県内	県外									
																						自己中間 処理後量 (E)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託最終 処分量 (E4)	委託最終 処分量 (E5)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託最終 処分量 (G4)	その他 (G5)
合計	28	3	25	22	22	8	14	0	0	3	0	3	0	0	17															
燃え殻																														
汚泥																														
有機性汚泥																														
無機性汚泥																														
廃油	0	0	0								0	0		0																
一般廃油	0	0	0								0	0		0																
廃溶剤																														
その他																														
廃酸																														
廃アルカリ	0		0								0	0		0																
廃プラスチック類	1		1								1	1		1																
廃プラスチック	0		0								0	0		0																
廃タイヤ	1		1								1	1		1																
紙くず																														
木くず																														
繊維くず																														
動植物性残さ																														
動物系固形不要物																														
ゴムくず																														
金属くず	4		3	1	0	0					1	1		1																
ガラス陶磁器くず	0		0								0	0		0																
鉱さい																														
がれき類																														
コンクリート片																														
廃アスファルト																														
その他																														
動物のふん尿																														
ばいじん																														
その他の産業廃棄物	23	0	22	22	22	8	14	0	0	0	0	0		15																
燃焼性廃棄物																														
混合物等	23	0	22	22	22	8	14	0	0	0	0	0		15																

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-10 発生量及び処理・処分量（解体・破碎前処理業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

区分	委託処理量			委託中間処理量						委託最終処分量			再生利用量			最終処分量			その他量	資源化量
	(K) (O+L)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G+M1)	(O) (1+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)					
		業者	自治体		県内	県外	業者	自治体		県内	県外					再生利用量	最終処分量	自己処分		
合計	17	0	0	0	17	17	9	8	17	17	0	25	0	0	0	28				
燃え殻																				
汚泥																				
有機性汚泥																				
無機性汚泥																				
廃油	0				0	0	0	0	0	0		0				0				
一般廃油	0				0	0	0	0	0	0		0				0				
廃溶剤																				
その他																				
廃酸																				
廃アルカリ	0				0	0	0	0	0	0		0				0				
廃プラスチック類	1				1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1				
廃プラスチック	0				0	0	0	0	0	0		0				0				
廃タイヤ	1				1	1	1	0	1	1		1				1				
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	1				1	1	1		1	1		1				4				
ガラス陶磁器くず	0				0	0	0	0	0	0		0				0				
鉱さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他																				
動物のふん尿																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	15	0	0	0	15	15	7	8	15	15		22	0	0	0	23				
感染性廃棄物																				
混合物等	15	0	0	0	15	15	7	8	15	15		22	0	0	0	23				

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注2) 10 表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-11 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量		自己最終処分量	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己中間 処理後の 処理内訳 委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	(H) (I+K+J)	(I)	(E2+G2)	県内	県外	
																			(D)
合計	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	11	11	0	0	0	11	0	0	
燃え殻																			
汚泥	1		1								1	1	0	0	0	1	0	0	
有機性汚泥	1		1								1	1	0	0	0	1	0	0	
無機性汚泥	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
廃油	1	0	1								1	1	0	0	0	1	0	0	
一般廃油	1	0	1								1	1	0	0	0	1	0	0	
廃溶剤	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	3		3	0							3	3	0	0	0	3	0	0	
廃プラスチック	3		3	0							3	3	0	0	0	3	0	0	
廃タイヤ																			
紙くず	0	0	0								0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	1	0	1								1	1	0	0	0	1	0	0	
ガラス陶磁器くず	1		1								1	1	0	0	0	1	0	0	
鉱さい																			
がれき類	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト																			
その他	0		0								0	0	0	0	0	0	0	0	
動物のふん尿																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	4		4	0							4	4	0	0	0	4	0	0	
燃焼性廃棄物	3		3	0							3	3	0	0	0	3	0	0	
混合物等	1		1								1	1	0	0	0	1	0	0	

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表2-11 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：変換）＜平成23年度＞  
 (その2)

(単位：千t/年)

区分 種類	委託処理量										委託中間処理量				委託最終処分量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	(K) (O+L)		(O)		(L)		(業者)		(自治体)		(処理先地域の内訳)		(M)		(M1)		(M2)		(R) (E1+G+M1)		(O) (1+O+M2)		(J) (E5+G5)		(S) (B+R)				
	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(再生利用量)		(最終処分量)		(自己処分)		(処理主体の内訳)		(E5+G5)		(S)				
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量	業者	自治体	県内	県外	自己処分	委託処分	(E5+G5)	(S)			
合計	11	0	0	0	0	0	0	9	1	1	9	2	5	4	1	4	1	4	4	2	2	0	0	0	0	4			
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
汚泥	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
有機性汚泥	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃油	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
一般廃油	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃プラスチック類	3	0	0	0	3	0	0	2	0	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
廃プラスチック	3	0	0	0	3	0	0	2	0	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ゴムくず	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
金属くず	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ガラス陶磁器くず	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
コンクリート片	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃アスファルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
その他の産業廃棄物	4	0	0	0	4	0	0	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
燃焼性廃棄物	3	0	0	0	3	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
混合物等	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表3-1 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）＜平成23年度＞  
 (その1)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量						
				自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		自己最終 処分量 (E2)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外	(1)	76				
						自己最終 処分量 (E2)	再生利用量 (E1)				委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)							その他 (E5)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)
合計	3,291	176	3,115	1,763	464	289	46	116	13	0	1,352	0	30	1,297	25	0	1,527	76	76			
燃え殻	38	6	32	0	0	0			0		32		30	2	0		32	30	30			
汚泥	1,427	56	1,371	1,336	97	40	4	41	12	0	35	0	30	30	4		92	4	4			
有機性汚泥	1,003		1,003	994	40	0		32	8		9		8	8	1		49					
無機性汚泥	424	56	368	342	57	40	4	9	4	0	26	0	22	3			42	4	4			
廃油	24	4	20	4	0	0			0		16	0	16	0			16					
一般廃油	18	3	15	1	0	0					13	0	13				13					
廃溶剤	5	1	4	3	0	0					2		2				2					
その他	1		1								1		1				1					
廃酸	11	2	9	0	0	0					9		9				9					
廃アルカリ	14	0	14	9	0	0					5		5				5					
廃プラスチック類	46	5	41	2	1	0			0		39		38	2			40					
廃プラスチック	43	5	38	2	1	0			0		36		35	2			37					
廃タイヤ	3	0	3	0	0	0					3		3				3					
紙くず	21	9	11	1	1	1			0		11		11	0			11					
木くず	80	3	76	19	4	2			1		57		56	2			59					
繊維くず	2	0	2	0	0	0			0		2		2	0			2					
動植物性残さ	14	4	11	2	1	0			0		8		8	0			8					
動物系固形不要物	0		0								0		0				0					
ゴムくず	0	0	0								0		0				0					
金属くず	105	65	40	0	0	0			0		39		39	0			40					
ガラス陶磁器くず	35	0	35	2	2	1					33		29	4			34					
鉱さい	16	5	12	0	0	0			0		11		9	2			12					
がれき類	844		844	92	92	76		16			753		744	9			769					
コンクリート片	481		481	31	31	20		11			451		450	0			461					
廃アスファルト	337		337	61	61	55		5			277		277	0			282					
その他	26		26	0	0	0		0			25		17	8			26					
動物のふん尿	238		238	203	161	161					35		35				35					
ばいじん	331	15	316	70	84	84		41			246		245	1			329	43	43			
その他の産業廃棄物	43	0	43	23	22	8		14		0	20		18	1			34					
感染性廃棄物	3		3	0	0	0				0	3		3				3					
混合物等	40	0	40	23	22	8		14		0	17		16	1			32					

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表3-1 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分	委託処理量										委託中間処理量				委託最終処分量				委託最終処分量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	(K)		(O)		(L)		(M)		(N)		(M1)		(M2)		(R)		(O)		(J)		(S)								
	(O+L)		(O)		(L)		(M)		(N)		(M1)		(M2)		(R)		(O)		(J)		(S)								
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	委託処理後の処理内訳	再生利用量	最終処分量	自己処分	委託処分	再生利用量	最終処分量	委託処分	委託処分							
合計	1,451	38	29	9	33	5	1,413	1,388	25	1,043	370	1,338	1,306	32	1,595	146	76	70	0	1,770	0	0	1,770						
燃え殻	2	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	2	2	0	2	30	0	0	0	0	0	0	8						
汚泥	88	17	8	8	15	2	71	56	15	51	20	46	40	6	81	26	4	22	0	0	0	0	137						
有機性汚泥	49	9	1	8	9	0	40	25	15	28	12	22	19	4	19	13	13	13	0	0	0	0	19						
無機性汚泥	38	7	7	0	6	2	31	31	0	23	8	24	22	2	62	13	4	9	0	0	0	0	119						
廃油	16	0	0	0	0	0	16	16	0	8	8	8	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	11						
一般廃油	13	0	0	0	0	0	13	13	0	7	7	7	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	10						
廃溶剤	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1						
その他	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃酸	9	0	0	0	0	0	9	9	0	3	6	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5						
廃アルカリ	5	0	0	0	0	0	5	5	0	3	2	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3						
廃プラスチック類	40	2	2	0	1	1	38	37	1	27	11	30	27	4	27	5	5	5	0	0	0	0	33						
廃プラスチック	37	2	2	0	1	1	35	34	1	25	10	27	24	4	24	5	5	5	0	0	0	0	30						
廃タイヤ	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3						
紙くず	11	0	0	0	0	0	11	11	0	10	0	10	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	20						
木くず	59	2	2	0	2	0	57	56	1	53	4	47	46	1	48	3	3	3	0	0	0	0	51						
繊維くず	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1						
動植物性残さ	8	0	0	0	0	0	8	6	2	5	3	7	7	0	8	0	0	0	0	0	0	0	11						
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
金属くず	40	0	0	0	0	0	39	39	0	29	10	39	39	1	39	1	1	1	0	0	0	0	104						
ガラス陶磁器くず	34	4	4	0	4	0	30	30	0	27	4	30	25	5	26	9	9	9	0	0	0	0	26						
鉱さい	12	2	2	0	2	0	9	9	0	0	9	9	8	1	8	3	3	3	0	0	0	0	13						
がれき類	769	9	9	9	9	0	760	757	3	756	4	760	751	9	826	18	18	18	0	0	0	0	826						
コンクリート片	461	0	0	0	0	0	461	458	3	459	2	461	457	4	477	4	4	4	0	0	0	0	477						
廃アスファルト	282	0	0	0	0	0	282	282	0	281	1	282	282	0	337	1	1	1	0	0	0	0	337						
その他	26	8	8	8	8	0	17	17	0	17	0	17	13	5	13	13	13	13	0	0	0	0	13						
動物のふん尿	35	0	0	0	0	0	35	35	0	35	0	28	28	0	189	0	0	0	0	0	0	0	189						
ばいじん	286	1	1	1	1	0	286	286	0	7	279	286	285	0	285	44	43	1	0	0	0	0	301						
その他の産業廃棄物	34	1	1	0	1	0	33	31	2	24	8	27	23	4	31	5	5	5	0	0	0	0	32						
感染性廃棄物	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
混合物等	32	1	1	0	1	0	30	29	2	22	8	27	23	3	31	5	5	5	0	0	0	0	32						

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表3-2 特別管理産業廃棄物の発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区分 種類	発生量		有償物量	排出量	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
	(A)	(B)			(E)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(自己未処理の処理内訳)		(G1)	(G2)	(G3)	(自己未処理の処理内訳)		(H)
	(B+C)	(D+E)	再生利用量	自己最終処分量			委託中間処理量	委託最終処分量	委託最終処分量	委託最終処分量				委託最終処分量	委託最終処分量	
	(C)	(D)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(I+K+J)	(I)	
合計	17.4	1.5	15.9	1.5	0.0	0.0	0.0	14.4	0.0	14.4	0.0	0.0	0.0	14.4		
引火性廃油	7.5	1.5	6.0	1.5	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5				4.5		
腐食性廃酸	4.1		4.1					4.1		4.1				4.1		
腐食性廃アルカリ	1.1		1.1					1.1		1.1				1.1		
感染性廃棄物	2.6		2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5				2.5		
特定有害産業廃棄物	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2		2.1	0.0	0.0	0.0	2.2		
紙くず	0.0		0.0					0.0		0.0				0.0		
廃石綿等	0.1		0.1					0.1		0.1				0.1		
ばいじん																
燃え殻	0.1	0.0	0.1					0.1		0.1				0.1		
廃油	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4		0.4				0.4		
汚泥	1.4		1.4					1.4		1.4				1.4		
廃酸	0.1		0.1					0.1		0.1				0.1		
廃アルカリ	0.0		0.0					0.0		0.0				0.0		
廃PCB等																
非特別管理産業廃棄物																

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1以上、500未満であることを示す。

表3-2 特別管理産業廃棄物の発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）＜平成23年度＞

区分 種類	(単位：千t/年)																	
	委託処理量					委託中間処理量					再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量
	委託直接最終処分量		委託先地域の内訳			委託先地域の内訳		委託中間処理後量		再生利用量 (M1)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)			
	(K) (O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体				県内	県外		(M)	(M1)	
合計	14.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.4	14.4	6.2	5.3	0.9	5.3	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	
引火性廃油	4.5					4.5	4.5	2.6	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1
腐食性廃酸	4.1					4.1	4.1	1.5	1.2	0.3	1.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2
腐食性廃アルカリ	1.1					1.1	1.1	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
感染性廃棄物	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	0.4	0.1	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1
特定有害産業廃棄物	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	0.8	0.5	0.3	0.8	0.5	0.3	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5
硫黄酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
廃石綿等	0.1					0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
ばいじん																		
燃え殻																		
廃油	0.1					0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
汚泥	0.4					0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4
廃酸	1.4					1.4	1.4	0.2	0.0	0.2	0.1	1.3	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
廃アルカリ	0.1					0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃PCB等	0.0					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非特別管理産業廃棄物																		

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注2) 「0」表示は、1以上、500未満であることを示す。

表4-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔南加賀地域〕＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量									
				(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1)	(G2)	(自己未処理の処理内訳)			(H)	(I)				
							再生利用量	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)				委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量			自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)
合計	497	45	452	222	45	26	17	3	230	225	5	0	250								
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
汚泥	195	0	195	186	13	0	10	3	9	7	1		21								
有機性汚泥	141		141	140	7		5	1	1	1	0		7								
無機性汚泥	54	0	54	46	6	0	4	2	8	7	1		14								
廃油	8	1	6						6	6		0	6								
一般廃油	6	1	6						6	6		0	6								
廃溶剤	1	1	0						0	0			0								
その他	0	0	0						0	0			0								
廃紙	7	0	7						7	7			7								
廃アルカリ	3	0	3	0	0	0			3	3			3								
廃プラスチック類	13	3	10	0	0	0	0	0	10	10	0		10								
廃プラスチック	12	3	9	0	0	0			9	9	0		9								
廃タイヤ	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1			1								
紙くず	4	0	4	1	1	1			3	3	0		3								
木くず	14	1	13	1	0	0	0	0	12	12	0		12								
繊維くず	1	1	1	0	0	0			1	1			1								
動植物性残さ	1	1	1	0	0	0			1	1			1								
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0	0	0						0	0			0								
金属くず	45	37	9	0	0	0	0	0	9	9	0		9								
ガラス陶磁器くず	12	0	12	2	2	1	2		9	9	0		11								
鉱さい	5	3	2	0	0	0	0		2	2	1		2								
がれき類	172		172	19	19	15	3		154	152	2		157								
コンクリート片	98		98	6	6	4	2		92	92	0		94								
廃アスファルト	69		69	12	12	11	1		56	56	0		57								
その他	5	5	0	0	0	0	0		5	3	2		5								
動物のふん尿	12		12	11	8	8			2	2			2								
ばいじん	0		0						0	0			0								
その他の産業廃棄物	6	0	6	2	2	0	2		4	3	0		6								
感染性廃棄物	1		1						1	1			1								
混合物等	5	0	5	2	2	0	2		3	3	0		5								

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔南加賀地域〕＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分 種類	委託処理量											再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量			委託中間処理量				委託中間処理後量				(R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
	(K) (O+L)		(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)					(委託処理後の処理内訳)			
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量	自己処分	委託処分							
合計	250	8	7	1	5	3	242	241	1	215	26	224	217	8	243	16	0	287	
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	
汚泥	21	4	3	1	3	2	17	17	9	8	14	13	1	13	5	5	13	13	
有機性汚泥	7	1	0	1	1	0	6	6	3	3	5	5	0	1	1	1	5	5	
無機性汚泥	14	3	3	1	2	2	11	11	6	4	9	8	1	4	4	4	8	8	
廃油	6	6	6	6	4	2	4	4	4	2	4	4	4	4	4	0	0	5	
一般廃油	6	6	6	6	3	2	3	3	3	2	3	3	3	3	3	0	0	4	
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	7	7	7	7	3	4	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	
廃アルカリ	3	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
廃プラスチック類	10	0	0	0	0	0	10	10	7	3	8	7	1	7	1	1	10	10	
廃プラスチック	9	0	0	0	0	0	9	9	6	3	7	6	1	6	1	1	9	9	
廃タイヤ	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	
紙くず	3	0	0	0	0	0	3	3	3	0	3	3	0	4	0	0	4	4	
木くず	12	0	0	0	0	0	12	12	11	1	9	9	0	10	0	0	10	10	
繊維くず	1	1	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
動植物性残さ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	9	0	0	0	0	0	9	9	7	2	9	8	0	8	0	0	45	45	
金属くず	11	0	0	0	0	0	11	11	9	2	11	9	1	10	2	2	10	10	
ガラス陶磁器くず	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	
鉱さい	157	2	2	2	0	0	155	154	1	154	1	155	153	2	168	4	168	168	
がれき類	94	0	0	0	0	0	94	94	94	0	94	93	1	97	1	1	97	97	
コンクリート片	57	0	0	0	0	0	57	57	57	0	57	57	0	68	0	0	68	68	
廃アスファルト	5	2	2	2	0	0	3	3	3	0	3	3	1	3	3	3	3	3	
その他	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	6	0	0	0	0	0	5	5	4	2	5	4	1	4	1	1	5	5	
その他の産業廃棄物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
燃焼性廃棄物	5	0	0	0	0	0	5	5	3	2	5	4	1	4	1	1	5	5	
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-2 発生量及び処理・処分量（種類別：変換） [石川中央地域南部区（金沢市を除く）] <平成23年度>

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量									
				(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(H)	(自己未処理の処理内訳)		(I)	(J)	(処理先地域の内訳)							
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)			委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)			その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	県内 (I)	県外 (J)
(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)							
合計	365	21	343	175	40	28	11	1	0	168	0	162	6	179							
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
汚泥	132	0	132	126	7	2	4	1	0	6	0	5	1	11							
有機性汚泥	106	0	106	103	2	2	2	0	0	2	0	2	0	5							
無機性汚泥	26	0	26	23	4	2	2	1	0	3	0	3	1	6							
廃油	10	1	9	4	0	0	0	0	0	5	0	5	0	5							
一般廃油	6	1	5	1	0	0	0	0	0	4	0	4	0	4							
廃溶剤	4	0	4	3	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1							
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃アルカリ	10	0	10	9	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1							
廃プラスチック類	8	1	7	0	0	0	0	0	0	7	0	7	1	7							
廃プラスチック	7	1	6	0	0	0	0	0	0	6	0	6	1	7							
廃タイヤ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1							
紙くず	9	4	5	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	5							
木くず	11	2	9	1	0	0	0	0	0	9	0	9	0	9							
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
動植物性残さ	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3							
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
金属くず	26	13	13	0	0	0	0	0	0	12	0	12	0	12							
ガラス陶磁器くず	6	0	6	0	0	0	0	0	0	6	0	6	0	6							
鉱さい	4	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	4							
がれき類	117	0	117	13	13	10	2	0	0	104	0	103	1	107							
コンクリート片	67	0	67	4	4	3	1	0	0	62	0	62	0	64							
廃アスファルト	47	0	47	8	8	8	1	0	0	39	0	39	0	39							
その他	4	0	4	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1	4							
動物のふん尿	15	0	15	13	10	10	0	0	0	2	0	2	0	2							
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
その他の産業廃棄物	12	0	12	9	9	5	4	0	0	3	0	3	0	7							
燃焼性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
混合物等	12	0	12	9	9	5	4	0	0	3	0	2	0	6							

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-2 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔石川中央地域南部区（金沢市を除く）〕＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

区分	種類	委託処理量												再生利用量 (R) (E1+G+M1)	最終処分量 (O) (I+O+M2)	その他量		資源化量 (S) (B+R)		
		委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量						自己処分 (O1)	処理主体の内訳 委託処分 (O2)			
		(K) (O+L)		(L)		(M)		(M1)		(M2)		(J) (E5+G5)								
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量									
合計		179	7	7	0	6	1	173	171	2	149	24	162	158	4	186	11	11	0	207
	燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
	汚泥	11	2	2	1	0	0	9	8	1	6	3	7	6	0	8	2	2	0	8
	有機性汚泥	5	0	0	0	0	0	5	3	1	2	3	3	3	0	3	0	0	0	3
	無機性汚泥	6	1	1	1	0	0	5	5	1	4	1	4	4	0	5	2	2	0	5
	廃油	5						5	5		2	2	1	1	1	1				3
	一般廃油	4						4	4		2	2	1	1	1	1				2
	廃溶剤	1						1	1		0	0	0	0	0	0				0
	その他	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0
	廃酸	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0
	廃アルカリ	1						1	1		1	0	0	0	0	0				0
	廃プラスチック類	7	1	1	0	0	0	7	7	0	5	1	5	5	1	5	1	1	1	5
	廃プラスチック	7	1	1	0	0	0	6	6	0	5	1	4	4	0	4	1	1	1	5
	廃タイヤ	1						1	1		1	0	1	1	0	1	0	0	0	1
	紙くず	5	0	0	0	0	0	5	5	0	5	0	5	5	0	5	0	0	0	9
	木くず	9	0	0	0	0	0	9	8	0	8	1	7	7	0	7	0	0	0	9
	繊維くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動植物性残さ	3						3	3	0	1	2	3	3	0	3				3
	動物系固形不要物																			
	ゴムくず	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0
	金属くず	12	0	0	0	0	0	12	12	0	8	5	12	12	0	12	0	0	0	26
	ガラス陶磁器くず	6	3	3	0	3	0	3	3	3	3	1	3	3	1	3	3	3	3	3
	鉱さい	4	0	0	0	0	0	4	4		4	4	4	4	0	4	0	0	0	4
	がれき類	107	1	1	1	0	105	105	105	0	105	1	105	104	1	115	2	2	0	115
	コンクリート片	64	0	0	0	0	64	63	63	0	63	0	64	63	1	66	1	1	1	66
	廃アスファルト	39	0	0	0	0	39	39	39	0	39	0	39	39	0	47	0	0	0	47
	その他	4	1	1	1	0	2	2	2	2	2	0	2	2	1	2	2	2	2	2
	動物のふん尿	2					2	2	2		2	0	2	2	0	2				12
	ばいじん	0					0	0	0		0	0	0	0		0				0
	その他の産業廃棄物	7	0	0	0	0	6	6	6	0	2	4	6	6	1	11	1	1	1	11
	感染性廃棄物	0					0	0	0		0	0	0	0		0				0
	混合物等	6	0	0	0	0	6	6	6	0	2	4	6	6	1	11	1	1	1	11

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-3 発生量及び処理・処分量（種類別：変換） [石川中央地域北部区（金沢市を除く）] <平成23年度>

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量						
				(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(F)	(G)	(自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)	(自己最終処分の内訳)					
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)			委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)
(E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(I)	(J)				
合計	244	4	240	150	37	29	8	0	90	0	88	1	98					
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
汚泥	116	116	116	113	6	6	6	2	2	0	2	0	9					
有機性汚泥	112	112	112	112	6	6	6	0	0	0	0	0	7					
無機性汚泥	4	4	4	2	0	0	0	2	2	0	2	0	2					
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃プラスチック類	3	3	3	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3					
廃プラスチック	3	3	3	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3					
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
木くず	5	0	5	0	0	0	0	0	5	0	4	0	5					
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
金属くず	5	2	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2					
ガラス陶磁器くず	2	0	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2					
鉱さい	4	2	3	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3					
がれき類	73	73	73	8	8	7	1	65	64	1	64	1	66					
コンクリート片	41	41	41	3	3	2	1	39	39	0	39	0	40					
廃アスファルト	29	29	29	5	5	5	0	24	24	0	24	0	24					
その他	2	2	2	0	0	0	0	2	1	1	1	0	2					
動物のふん尿	33	33	33	28	23	23	5	5	5	0	5	0	5					
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他の産業廃棄物	2	0	2	0	0	0	0	2	1	0	1	0	2					
燃焼性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
混合物等	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1					

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表4-3 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔石川中央地域北部区（金沢市を除く）〕＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分	委託処理量														資源化量			
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託処理後の処理内訳				最終処分量					
	(K)		(O)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R)	その他量				
	(O+L)	(O)	業者	自治体		県内	県外	再生利用量	最終処分量		(E5+G5)	(S)						
(H+L)	(O)	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(E5+G5)	(S)			
合計	98	1	1	0	1	0	96	89	7	90	6	87	83	4	113	6	6	116
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0
汚泥	9	0	0	0	9	0	9	2	6	8	0	2	1	0	1	0	0	1
有機性汚泥	7	0	0	0	7	0	7	0	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0
無機性汚泥	2	0	0	0	2	0	2	2	0	2	0	1	1	0	1	0	0	1
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	3	0	0	0	3	0	3	3	0	2	1	3	2	0	2	0	0	2
廃プラスチック	3	0	0	0	3	0	3	3	0	2	1	2	2	0	2	0	0	2
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	5	0	0	0	5	0	5	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	4
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	2	0	0	0	2	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	5
ガラス陶磁器くず	2	0	0	0	2	0	2	2	0	2	0	2	1	0	1	0	0	1
鉱さい	3	0	0	0	3	0	3	3	0	3	3	3	2	1	2	1	1	4
がれき類	66	1	1	1	65	0	65	65	0	65	0	65	64	1	71	2	2	71
コンクリート片	40	0	0	0	40	0	40	39	0	39	0	40	39	0	41	0	0	41
廃アスファルト	24	0	0	0	24	0	24	24	0	24	0	24	24	0	29	0	0	29
その他	2	1	1	1	2	0	2	2	0	2	0	2	1	0	1	1	1	1
動物のふん尿	5	0	0	0	5	0	5	5	0	5	0	4	4	0	27	0	0	27
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の産業廃棄物	2	0	0	0	2	0	2	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合物等	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-4 発生量及び処理・処分量（種類別：変換） [金沢市] <平成23年度>

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量					
				(D)	(E)	再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
							委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)				委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)		
合計	1,008	15	994	620	66	32	26	7	374	0	366	8	0	407			
燃え殻					1	0	0	1						1			
汚泥	584		584	574	19	0	13	6	10		9	2		29			
有機性汚泥	566		566	562	17		11	6	4		3	1		21			
無機性汚泥	18		18	12	3	0	2	1	6		6	0		8			
廃油	4	1	3						3		3	0		3			
一般廃油	4	1	3						3		3	0		3			
廃溶剤	0	0	0						0		0	0		0			
その他	0	0	0						0		0	0		0			
廃紙	1		1	0					1		1			1			
廃アルカリ	1		1	0			0		1		1			1			
廃プラスチック類	13	0	13	1	0	0	0	0	12		12	1		12			
廃プラスチック	12	0	12	1	0	0	0	0	11		11	1		11			
廃タイヤ	1	0	1						1		1			1			
紙くず	7	5	2	0					2		2	0		2			
木くず	22	0	22	1	1	1	0	0	21	0	20	1		21			
繊維くず	0	0	0						0		0	0		0			
動植物性残さ	6	4	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0		2			
動物系固形不要物	0	0	0						0		0	0		0			
ゴムくず	0	0	0						0		0	0		0			
金属くず	16	5	11	0	0	0	0	0	11		11	0		11			
ガラス陶磁器くず	11	0	11	0	0	0	0		11		10	1		11			
鉱さい	0	0	0						0		0	0		0			
がれき類	325		325	35	35	29	6		290		286	3		296			
コンクリート片	185		185	12	12	8	4		173		173	0		177			
廃アスファルト	130		130	23	23	21	2		107		107	0		109			
その他	10		10	0	0	0	0		10		6	3		10			
動物のふん尿	2		2	2	1	1			0		0	0		0			
ばいじん	1		1						1		1			1			
その他の産業廃棄物	15	0	15	7	7	1	6		8		8	0		14			
感染性廃棄物	1		1						1		1			1			
混合物等	14	0	14	7	7	1	6		7		7	0		13			

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-4 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔金沢市〕＜平成23年度＞

(その2)

区分	種類	委託処理量												再生利用量				最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量			委託中間処理量			委託中間処理後量			(M)	(R) (E1+G1+M1)	(0) (1+O+M2)	(01) (02)	(J) (E5+G5)	0	404					
		(K) (O+L)	(0)	(L)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体								県内	県外	再生利用量 (M1)	委託処理後の処理内訳 最終処分量 (M2)	
	合計	407	15	8	7	15	1	392	380	11	374	17	368	357	11	389	26	26	0	0	404	
	燃え殻	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	4	4	0	0	0	
	汚泥	29	8	2	6	8	0	21	13	8	18	4	10	9	0	10	8	8	0	0	10	
	有機性汚泥	21	7	1	6	7	0	14	6	8	11	3	5	5	0	5	7	7	0	0	5	
	無機性汚泥	8	1	1	0	1	0	7	7	0	7	0	5	5	0	5	1	1	0	0	5	
	廃油	3	3	3	0	2	2	3	3	0	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	2	
	一般廃油	3	3	3	0	1	2	3	3	0	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	2	
	廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	廃酸	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	廃アルカリ	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	廃プラスチック類	12	1	1	0	1	0	12	12	0	8	3	8	7	1	7	2	2	0	0	8	
	廃プラスチック	11	1	1	0	1	0	11	11	0	8	3	7	6	1	6	2	2	0	0	6	
	廃タイヤ	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	
	紙くず	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	7	
	木くず	21	1	1	1	1	1	21	20	0	19	1	17	17	0	17	1	1	0	0	17	
	繊維くず	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	5	
	動植物性残さ	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5	
	動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	金属くず	11	0	0	0	0	0	11	11	0	8	2	11	11	0	11	0	0	0	0	15	
	ガラス陶磁器くず	11	1	0	0	0	0	10	10	0	9	1	10	9	2	9	2	2	0	0	9	
	鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	がれき類	296	3	3	3	3	0	292	291	1	291	1	292	289	4	318	7	7	0	0	318	
	コンクリート片	177	0	0	0	0	0	177	176	1	176	1	177	176	2	183	2	2	0	0	183	
	廃アスファルト	109	0	0	0	0	0	109	109	0	108	0	109	108	0	130	0	0	0	0	130	
	その他	10	3	3	3	3	0	7	7	0	6	0	7	5	2	5	5	5	0	0	5	
	動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	
	ばいじん	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の産業廃棄物	14	0	0	0	0	0	14	13	1	14	0	12	11	1	11	2	2	0	0	12	
	悪臭性廃棄物	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	混合物等	13	0	0	0	0	0	13	12	1	13	0	12	11	1	11	2	2	0	0	12	

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-5 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔能登中部地域〕＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量								
				(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1) 再生利用量	(自己未処理の処理内訳)			(H) 搬出量 (I+K+J)	(処理先地域の内訳)				
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量			(E5) その他	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量		(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他	(I) (E2+G2)	県内	県外
合計	987	90	897	483	206	106	46	52	2	0	414	0	30	381	3	0	514	76	76	
燃え殻	38	6	32	1	0	0	0	0	1	0	32	0	30	2	0	0	33	30	30	
汚泥	369	56	312	306	47	36	4	6	1	0	6	0	6	6	0	0	17	4	4	
有機性汚泥	55	55	55	54	6	6	6	6	0	0	1	0	1	1	0	0	7	4	4	
無機性汚泥	313	56	257	252	41	36	4	0	1	0	5	0	5	5	0	0	10	4	4	
廃油	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	
一般廃油	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	7	1	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	5	0	0	5	5	5	
廃プラスチック	6	1	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	5	0	0	5	5	5	
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず	23	1	22	15	1	0	1	1	0	0	7	0	7	6	0	0	7	7	7	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	4	0	4	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	2	2	2	
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	12	8	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	4	0	0	4	4	4	
ガラス陶磁器くず	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	1	0	3	3	3	
鉱さい	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	1	0	3	3	3	
がれき類	101	101	101	11	11	9	2	2	0	90	90	89	1	89	1	0	92	92	92	
コンクリート片	58	58	58	4	4	2	1	1	0	54	54	54	0	54	0	0	55	55	55	
廃アスファルト	40	40	40	7	7	7	1	1	0	33	33	33	0	33	0	0	34	34	34	
その他	3	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	2	1	2	0	0	3	3	3	
動物のふん尿	87	87	87	74	59	59	43	41	0	13	13	13	0	13	0	0	13	13	13	
ばいじん	330	15	315	70	84	4	43	41	0	244	244	244	0	244	0	0	328	43	43	
その他の産業廃棄物	7	0	7	4	4	2	2	2	0	3	3	3	0	3	0	0	5	5	5	
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
混合物等	7	0	7	4	4	2	2	2	0	2	2	2	0	2	0	0	5	5	5	

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-5 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔能登中部地域〕＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

区分 種類	委託処理量										委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	委託直接最終処分量			委託中間処理量			委託中間処理後量			再生利用量 (M1)	委託中間処理後量 最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G+M1)	最終処分量 (O) (I+O+M2)	自己処分 (O1)	委託処分 (O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)								
	(K) (O+L)		(O)	(L)	(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)									(委託処理後の処理内訳)							
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量	自己処分	委託処分									
合計	438	6	6	0	4	1	432	430	3	139	293	423	420	4	526	85	76	9	0	616					
燃え殻	3	1	1		1		2	2		0	2	3	2	0	2	31	30	1		8					
汚泥	13	2	2		2		12	12		7	4	8	8	0	44	5	4	2	0	100					
有機性汚泥	7	0	0		0		7	7		4	2	4	4	0	4	0	0	0		4					
無機性汚泥	6	2	2		2		5	5		3	2	4	4	0	40	5	4	2	0	96					
廃油	1						1	1		0	1	1	1		1					1					
一般廃油	1						1	1		0	0	0	0		1					1					
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0					0					
その他	0						0	0		0	0	0	0		0					0					
廃酸	0						0	0		0	0	0	0		0					2					
廃アルカリ	0						0	0		0	0	0	0		0					0					
廃プラスチック類	5	0	0		0		5	5		4	2	5	4	0	4	0	0	0	0	6					
廃プラスチック	5	0	0		0		5	5		3	2	4	4	0	4	0	0	0	0	5					
廃タイヤ	0						0	0		0	0	0	0		0					0					
紙くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0					0					
木くず	7	0	0		0		7	7		7	0	6	6	0	6	0	0	0	0	7					
繊維くず	0						0	0		0	0	0	0		0					0					
動植物性残さ	2						2	2		2	0	2	2		3					3					
動物系固形不要物																									
ゴムくず	0						0	0		0	0	0	0		0					0					
金属くず	4	0	0		0		4	3		3	1	4	3	0	4	0	0	0	0	12					
ガラス陶磁器くず	3	1	1		0		3	3		3	0	3	2	1	2	1	1	1		2					
鉱さい	3	1	1		0		1	1		0	1	1	1	0	1	1	1	1		1					
がれき類	92	1	1		1		91	91		91	0	91	90	1	99	2	2	2		99					
コンクリート片	55	0	0		0		55	55		55	0	55	55	0	57	1	1	1		57					
廃アスファルト	34	0	0		0		34	34		34	0	34	34	0	40	0	0	0		40					
その他	3	1	1		1		2	2		2	0	2	1	1	1	2	2	2		1					
動物のふん尿	13						13	13		13		10	10		69					69					
ばいじん	285						285	285		7	278	278	278		278	43	43		0	293					
その他の産業廃棄物	5	0	0		0		5	5		3	2	11	11	1	12	1	1	1	0	12					
感染性廃棄物	0						0	0		0	0	0	0		0					0					
混合物等	5	0	0		0		4	4		2	2	11	11	1	12	1	1	1	0	12					

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-6 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔能登北部地域〕＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量							
				(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1) 再生利用量	(G2) 自己最終 処分量	(自己未処理の処理内訳)			(H) 搬出量 (I+K+J)	(I) 県内 (E2+G2)	(J) 県外	
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量				(E5) その他	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量				(G5) その他
合計	190	1	189	113	70	67	3	0	0	76	75	1	79						
燃え殻				0			0	0											
汚泥	32		32	31	4	2	2	0	1		1	0	3						
有機性汚泥	23		23	23	2	0	2	0	0		0	0	2						
無機性汚泥	9		9	8	2	2	0	0	1		1	0	1						
廃油	0	0	0						0		0		0						
一般廃油	0	0	0						0		0		0						
廃溶剤	0	0	0						0		0		0						
その他	0	0	0						0		0		0						
廃酸	0	0	0						0		0		0						
廃アルカリ	0	0	0						0		0		0						
廃プラスチック類	2	0	2	0	0		0	0	2		2	0	2						
廃プラスチック	2		2	0	0		0	0	2		2	0	2						
廃タイヤ	0	0	0						0		0		0						
紙くず	0	0	0						0		0		0						
木くず	5	0	5	0	0	0	0	0	5		4	0	5						
繊維くず	0	0	0						0		0		0						
動植物性残さ	0	0	0						0		0		0						
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0	0	0						0		0		0						
金属くず	2	0	2						2		2	0	2						
ガラス陶磁器くず	1	0	1	0	0		0		1		1	0	1						
鉱さい																			
がれき類	57		57	6	6	5	1		51		50	1	52						
コンクリート片	32		32	2	2	1	1		30		30	0	31						
廃アスファルト	23		23	4	4	4	0		19		19	0	19						
その他	2		2	0	0		0		2		1	1	2						
動物のふん尿	89		89	75	60	60			13		13		13						
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	1		1	0	0		0		1		1	0	1						
燃焼性廃棄物	0		0	0					0		0		0						
混合物等	1		1	0	0		0		1		1	0	1						

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表4-6 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔能登北部地域〕＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

区分 種類	委託処理量		委託中間処理量										再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量
	(K) (O+L)	(O)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理量 (処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	再生利用後量 (委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G+H1)	(O) (I+O+H2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
			業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外		(M1)	(M2)							
																		(L)	(M)	
合計	79	1	1	0	1	0	78	77	1	75	3	73	72	1	139	2	2	139		
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
汚泥	3	0	0	0	3	0	3	3	0	2	1	2	2	0	4	0	0	4		
有機性汚泥	2	0	0	0	2	0	2	2	0	1	1	2	2	0	2	0	0	2		
無機性汚泥	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	3	0	0	3		
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック類	2	0	0	0	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1		
廃プラスチック	2	0	0	0	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1		
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	5	0	0	0	4	0	4	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	4		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属くず	2	0	0	0	2	0	2	2	0	1	0	2	2	0	2	0	0	2		
ガラス陶磁器くず	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1		
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
がれき類	52	1	1	1	51	0	51	51	0	51	0	51	50	1	55	1	1	55		
コンクリート片	31	0	0	0	31	0	31	31	0	31	0	31	31	0	32	0	0	32		
廃アスファルト	19	0	0	0	19	0	19	19	0	19	0	19	19	0	23	0	0	23		
その他	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1		
動物のふん尿	13	0	0	0	13	0	13	13	0	13	0	11	11	0	70	0	0	70		
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の産業廃棄物	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1		
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
混合物等	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1		

(注1) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注2) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-1 発生量及び処理・処分量（業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	自己中間処理量								自己未処理量						自己最終処分量				
				排出量	有償物量	自己中間処理後量				(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)		
						(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	再生利用量			自己最終処分量	(G2)	(G3)			(G4)	(G5)
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)					
合計	3,291	1,763	3,115	1,763	464	289	46	116	13	0	1,352	0	30	1,297	25	0	1,527	76	76			
農業	239	203	239	161	36						36						36					
畜産	206	206	206	38							0						0					
建設業	975	94	974	94	77		17		0		880	0		866	14		897					
製造業	488	93	396	269	31	3	19	8	0	126	0	0	0	116	10	0	153					
食品	20	4	16	6	1	0	1	0	0	10	0	0	0	10	0	0	11					
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
繊維	69	2	67	57	5		5	0	0	10	0			10	1		15					
木材	21	3	17	16	1	0	0	1		2	0			2	0		3					
家具	3	0	3	1	0	0	0	0		2	0			2	0		2					
パルプ・紙	91	3	89	85	8	1	4	3		4				3	1		11					
印刷	15	7	8	1	0	0	0	0		7	0			7	0		7					
化学	34	1	33	24	1	0	1			9	0			9	0		10					
石油・石炭	0	0	0							0	0			0	0		0					
プラスチック	5	2	4	1	0	0	0	0		3	0			3	0		3					
ゴム	0	0	0							0	0			0	0		0					
皮革																						
窯業・土石	33	0	33	17	5	2	2	2		16				12	4	0	20					
鉄鋼	31	10	21	11	2	0	2	2		10				9	1		12					
非鉄金属	10	3	7	0	0	0	0	0		7				7	0		7					
金属	35	20	15	7	1	1	0	0		8				8	0		9					
はん用機器	32	13	19	13	2	1	1	1		5				5	1		7					
生産用機器	32	15	18	5	0	0	0	0		12				12	0		13					
業務用機器	2	1	2	0	0	0	0	0		2				1	0		2					
電子部品	34	4	30	21	3	0	3			9				9	0		12					
電気機器	2	1	1	0	0	0	0	0		1				1	0		1					
情報通信機器	1	0	1	0	0	0	0	0		1				1	0		1					
輸送機器	15	3	12	5	1	1	1	0		7				6	1		7					
その他	2	0	2	0	0	0	0	0		2				2	0		2					
電気・水道業	1,326	77	1,249	969	119	2	46	65	5	0	280	0	30	250	0	0	397	76	76			
電気業	462	77	385	106	87	46	41			279		30	249	0	0	0	366	76	76			
下水道業	27	27	27	4	2	2	2	0	0	0				0	0		2					
下水道業	838	836	836	27	0	23	5			2				1	0		29					
運輸業	3	0	2	0	0	0	0	0		2				2	0		2					
卸・小売業	8	0	8	0	0	0	0	0		8				7	0		8					
サービス業	7	1	6	0	0	0	0	0		6				6	0		6					
解体・破砕前処理業	28	3	25	22	8	14	0	0		3				3	0		17					
その他の業種※	11	0	11	0	0	0	0	0		11				11	0	0	11					

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマンの合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。

(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注3) 10J表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表5-1 発生量及び処理・処分量（業種別）＜平成23年度＞  
 (その2)

業種	委託処理量														再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量						(R) (E1+G1+M1)	(0) (I+O+M2)	(01) (O1)	(02) (O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
	(K) (O-L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)								(R)		
	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外					
合計	1,451	38	29	9	33	5	1,413	1,388	25	1,043	370	1,338	1,306	32	1,595	146	76	70	0	1,770			
農業	36						36	36		36		29	29		190					190			
畜産業	0						0	0		0		0	0		38					38			
建設業	897	14	14	0	13	0	883	879	4	867	16	865	847	19	924	32		32		925			
製造業	153	18	15	3	14	4	135	131	4	80	55	109	102	7	105	26		26	0	198			
食品	11	0	0	0	0	0	10	7	3	7	4	7	7	0	8	1		1		12			
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0			
繊維	15	1	1	0	1	0	14	14	0	8	6	11	9	1	9	2		2		12			
木材	3	1	1	0	1		2	2	0	2	0	2	2	0	2	1		1		5			
家具	2	0	0	0	0		2	2	1	1	1	1	1	0	1	1		1		1			
パルプ・紙	11	4	1	3	4		7	7	0	5	2	7	7	0	8	4		4		10			
印刷	7	0	0	0	0		7	7	0	6	0	6	6	0	6	0		0		13			
化学	10	0	0	0	0		10	10	0	5	5	7	6	0	6	0		0		7			
石油・石炭	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0			
プラスチック	3	0	0	0	0		3	3	1	2	3	3	3	0	3	0		0		5			
ゴム	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0			
皮革	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0			
窯業・土石	20	6	6	0	6	0	14	14	13	1	14	14	14	1	15	6		6	0	15			
鉄鋼	12	3	3	1	2	1	9	9	0	0	8	6	6	4	4	4		4		14			
非鉄金属	7	0	0	0	0		7	7	0	1	6	6	6	0	6	0		0		10			
金属	9	0	0	0	0		9	9	0	4	5	7	6	1	6	1		1		26			
はん用機器	7	1	1	1	6	0	6	6	0	4	2	4	4	0	4	4		4		17			
生産用機器	13	0	0	0	0		12	12	8	4	9	8	8	1	8	1		1		22			
業務用機器	2	0	0	0	0		1	1	1	1	1	1	1	0	1	0		0		1			
電子部品	12	0	0	0	0		12	12	0	6	6	11	11	0	11	0		0		14			
電気機器	1	0	0	0	0		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0		1			
情報通信機器	1	0	0	0	0		1	1	1	1	0	0	0	0	0	0		0		0			
輸送機器	7	1	1	1	6	0	6	6	6	1	5	5	5	1	5	1		1		8			
その他	2	0	0	0	0		2	2	0	1	1	2	2	0	2	0		0		2			
電気・水道業	321	5	0	5	5	0	315	300	15	32	284	302	298	3	300	85	76	9	0	378			
電気業	290	0	0	0	0		289	289	0	9	280	289	289	0	289	76	76	0	0	367			
上水道業	2	0	0	0	0		2	2	2	2	0	2	2	0	2	0		0		4			
下水道業	29	5	0	5	5		24	9	15	21	3	10	7	3	7	8		8		7			
運輸業	2	0	0	0	0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0		2			
卸・小売業	8	0	0	0	0		7	7	0	5	2	5	5	0	5	0		0		6			
サービス業	6	0	0	0	0		6	5	0	3	3	3	3	0	3	1		1		3			
解体・破砕前処理業	17	0	0	0	0		17	17	9	8	17	17	17	0	25	0		0		28			
その他の業種※	11	0	0	0	0		11	9	1	9	2	5	4	1	4	2		2		4			

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-2 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔南加賀地域〕＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B-C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D-G)	自己中間処理後量						自己未処理量						搬出量			自己最終処分量					
				自己中間処理量		自己中間処理後の処理内訳				自己未処理量		自己未処理の処理内訳				再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外
				(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)									
				(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)			
合計	497	45	452	222	45	26	17	3		230	225	5	0	250										
農業	13	0	13	11	8	8				2	2													
建設業	198	0	198	19	16	16	3	0		179	176	3		182										
製造業	172	44	129	84	12	2	9	2		45	43	2		56										
食品	1	1	0	0	0	0	0	0		1	1	0		1										
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
繊維	37	1	36	31	2	2	2	0		5	5	0		7										
木材	1	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
家具	3	0	2	1	0	0	0	0		2	1	0		2										
パルプ・紙	1	0	1	1	1	1	0	0		1	1	0		1										
印刷	3	0	3	1	0	0	0	0		2	2	0		2										
化学	5	0	4	3	0	0	0	0		2	2	0		2										
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
プラスチック	2	1	1	0	0	0	0	0		1	1	0		1										
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
窯業・土石	12	12	0	5	3	1	2	0		6	6	0		9										
鉄鋼	13	6	6	2	1	1	1	1		4	4	0		5										
非鉄金属	3	3	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
金属	14	10	4	1	0	0	0	0		3	3	0		3										
はん用機器	25	9	16	13	2	0	1	0		3	2	1		4										
生産用機器	19	8	11	5	0	0	0	0		6	6	0		6										
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
電子部品	24	2	22	15	3	3	3	0		6	6	0		9										
電気機器	1	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
輸送機器	8	1	7	5	1	1	1	0		2	1	1		3										
その他	1	0	1	1	0	0	0	0		1	1	0		1										
電気・水道業	107	0	107	107	4	0	2	1		0	0	0		4										
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
下水道業	4	4	0	4	0	0	0	0		0	0	0		0										
下水道業	103	103	0	103	3	3	2	1		0	0	0		3										
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
卸・小売業	2	0	2	0	0	0	0	0		2	2	0		2										
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0										
解体・破砕前処理業	3	1	2	2	2	0	2	0		0	0	0		2										
その他の業種*	2	0	2	0	0	0	0	0		2	2	0		2										

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-2 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔南加賀地域〕＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量												再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託処理後の処理内訳				(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	(01) 自己処分	(02) 委託処分	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
	(K) (O-L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)										
	(K) (O-L)	(0)	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	(M1) 再生利用量	(M2) 最終処分量	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)		
合計	250	8	7	1	5	3	242	241	1	215	26	224	217	8	16	16	0	243	0	287	
農業	2						2	2		2		2						10		10	
畜産業																				0	
建設業	182	3	3	0	3	0	179	179	1	176	3	176	172	4	7	7		188		188	
製造業	56	4	4	1	3	0	52	52	0	32	20	39	36	4	8	8		38		81	
食品	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0		1		1	
飲料・飼料	0						0	0		0		0									
繊維	7	0	0	0	0	0	7	7	4	3		4	4	1	1	1		4		5	
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		1	
家具	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1		1		1	
パルプ・紙	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0		1		1	
印刷	2	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	2	0	0	0		2		2	
化学	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0		0		0	
石油・石炭	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0	
プラスチック	1						1	1	0	0		0	0	0	0	0		1		2	
ゴム	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0	
皮革																					
窯業・土石	9	1	1	1	1	0	8	8	8	0	4	8	7	0	1	1		8		8	
鉄鋼	5	1	1	0	0	0	4	4	0	0	4	4	4	1	1	1		1		7	
非鉄金属	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0	
金属	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	3	2	0	0	0		2		3	
はん用機器	4	1	1	1	1	0	3	3	2	2	1	2	2	0	1	1		2		11	
生産用機器	6	0	0	0	0	0	6	6	5	1	4	4	3	1	1	1		3		11	
業務用機器																					
電子部品	9	0	0	0	0	0	9	9	4	5	8	8	8	0	0	0		8		10	
電気機器	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		1	
情報通信機器	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0	
輸送機器	3	1	1	1	1	0	2	2	1	1	2	2	1	0	1	1		1		3	
その他	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0		1		1	
電気・水道業	4	1	1	1	1	0	3	3	2	1	3	3	3	0	1	1		3		3	
電気業	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0	
上下水道業																					
下水道業	3	1	1	1	1	0	2	2	1	1	2	2	2	1	1	1		2		2	
運輸業	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0	
卸・小売業	2						2	2	1	1	1	1	1	0	0	0		1		1	
サービス業	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0	
解体・破砕前処理業	2						2	2	1	1	2	2	2	0	0	0		2		3	
その他の業種※	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	1	1	0	0	0		1		1	

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-3 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔石川中央地域南部区（金沢市を除く）〕＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

区 業 種	発生量 (A) (B+C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量						自己未処理量				自己最終処分量						
				自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己未処理量			自己最終処分量				
				(D)	(E)		(E1)	(E2)		(E3)	(E4)		(E5)	(G)	(G1)	(G2)		(H) (I+K+J)	(I)	
					(E)	(E2)		(E3)	(E4)		(E5)	(G2)				(G3)	(G4)		(G5)	(H)
				(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(I)	(I)	
合計	365	21	343	175	40	28	11	1	0	168	0	6	162	179						
農業	15		15	13	10	10				2			2	2						
建設業	136	0	136	13	13	11	2	0	0	122			121	125						
製造業	101	20	81	44	4	1	2	1	0	37			33	40						
食品	3	0	3	2	0	0	0	0	0	2			2	2						
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
繊維	17	0	17	16	1		1			1			1	3						
木材	2	2	1	0	0		0			0			0	0						
家具	0	0	0	0	0		0			0			0	0						
パルプ・紙	4	2	2	0	0		0	0		2			2	2						
印刷	6	3	3	0	0		3	0		3			3	3						
化学	28	1	27	21	1	0	1			5			5	6						
石油・石炭																				
プラスチック	1	0	1	0	0		0			1			1	1						
ゴム	0	0	0							0			0	0						
皮革																				
窯業・土石	7	7	7	3	1	0		1		4			1	5						
鉄鋼	2	2	6										6	6						
非鉄金属	4	4	1							1			1	1						
金属	4	4	2	0	0		0	0		1			1	2						
はん用機器	4	2	2	0	0		0	0		5			5	5						
生産用機器	9	4	5	0	0		0	0		0			0	0						
業務用機器	0	0	0	0	0		0	0		0			0	0						
電子部品	2	1	1	1	0	0	0	0		0			0	0						
電気機器	0	0	0	0	0		0	0		0			0	0						
情報通信機器	0	0	0	0	0		0	0		0			0	0						
輸送機器	4	0	4	4	0		4	0		4			4	4						
その他	0	0	0	0	0		0	0		0			0	0						
電気・水道業	97	97	97	96	4	1	2	0		1			1	3						
電気業																				
下水道業	19	19	19	19	3	1	2	0		0			0	2						
下水道業	78	78	78	77	0		1	0		1			1	1						
下水道業																				
運輸業	0	0	0	0	0		0	0		0			0	0						
卸・小売業	2	2	2	2	0		2	0		2			2	2						
サービス業	1	1	1	1	0	0	0	0		1			1	1						
解体・破砕前処理業	11	1	10	9	9	5	4	0		1	0		1	5						
その他の業種*	1	0	1							1			1	1						

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマスター業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 10J 表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-3 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔石川中央地域南部区（金沢市を除く）〕＜平成23年度＞  
 (その2)

(単位：千t/年)

区 業 種	委託処理量												資源化量					
	委託直接最終処分量			委託中間処理量					最終処分量									
	(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)			(処理地域の内訳)		再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	処理主体の内訳		その他量 (J) (E5+G5)				
	業者	自治体	(0)	県内	県外	業者	自治体	(L)	(M)	(N1)		(M2)			(0)	(01)	(02)	
(K) (0+L)	7	7	0	6	1	173	171	2	149	24	162	158	4	186	11	11	207	
合計	179	7	7	0	6	1	173	171	2	149	24	162	158	4	186	11	11	207
農業	2						2	2	2			2			12			12
鉱業																		
建設業	125	2	2	0	2	0	123	122	1	121	2	120	118	3	129	5	5	129
製造業	40	5	5	0	4	0	36	36	0	19	16	30	29	1	30	6	6	50
食品	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維	3	0	0	0	0	0	3	3	0	1	2	3	2	0	2	0	0	3
木材	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家具	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルプ・紙	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	3
印刷	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	0	6
化学	6	0	0	0	0	0	6	6	0	3	3	3	3	0	3	0	0	4
石油・石炭																		
プラスチック	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1
ゴム	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
皮革																		
窯業・土石	5	4	4	0	4	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	4	4	1
鉄鋼																		
非鉄金属	6	0	0	0	0	0	6	6	0	0	5	6	5	0	5	0	0	6
金属	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
はん用機器	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	3
生産用機器	5	0	0	0	0	0	5	5	2	3	4	4	4	0	4	0	0	8
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送機器	4	0	0	0	0	0	4	4	4	4	0	3	3	0	3	0	0	4
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気・水道業	3	0	0	0	0	0	3	2	1	3	0	2	2	0	3	0	0	3
電気業																		
上下水道業	2						2	2	2	2	0	2	2	0	3	0	0	3
下水道業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
運輸業	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸・小売業	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1
サービス業	1						1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
解体・破砕前処理業	5	0	0	0	0	0	5	5	1	4	4	4	4	0	10	0	0	11
その他の業種*	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマスターの合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-4 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔石川中央地域北部区（金沢市を除く）〕＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量						自己未処理量						自己最終処分量			
				自己中間処理後量		(自己中間処理後の処理内訳)		自己未処理量		(自己未処理の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)	
				(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)							(G2)	(G3)
				(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(I)	(J)	
合計	244	4	240	150	37	29	8	0	90	0	88	1	98						
農業	33		33	28	23	23			5		5		5						
建設業	84	0	84	8	8	7	1	0	76		74	1	77						
製造業	14	4	10	2	1	0	0	0	8	0	8	0	8						
食品	0	0	0						0	0	0	0	0						
飲料・飼料	0	0	0						0	0	0	0	0						
繊維	2	0	2						2	0	1	0	2						
木材																			
家具																			
パルプ・紙																			
印刷																			
化学																			
石油・石炭																			
プラスチック	0	0	0						0	0	0	0	0						
ゴム	0	0	0						0	0	0	0	0						
皮革																			
窯業・土石	1	1	0	0	0	0			1		1		1						
鉄鋼	4	2	3						3		3		3						
非鉄金属	0	0	0						0		0		0						
金属	3	1	2	2	0	0	0		1		1		1						
はん用機器	0	0	0						0		0		0						
生産用機器	1	0	0	0	0	0			0		0		0						
業務用機器																			
電子部品	0	0	0						0		0		0						
電気機器	0	0	0						0		0		0						
情報通信機器	0	0	0	0	0	0			0		0		0						
輸送機器	1	1	0						0		0		0						
その他	1		1						1		1		1						
電気・水道業	112		112	112	6	6	6						6						
電気業																			
上下水道業																			
下水道業	112		112	112	6	6	6						6						
運輸業	0	0	0						0		0		0						
卸・小売業	0	0	0						0		0		0						
サービス業	0	0	0						0		0		0						
解体・破砕前処理業																			
その他の業種*	1	0	1						1		1		1						

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。

(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-4 発生量及び処理・処分量(種類別:変換) [石川中央地域北部区(金沢市を除く)] <平成23年度>  
(その2)

(単位:千t/年)

業種	委託処理量		委託直接最終処分量				委託中間処分量				委託中間処理後量				最終処分量		再生利用量		その他量			資源化量		
	(K) (0-L)	(0)	(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)			
			(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)																		(委託処理後の処理内訳)	
			県内	県外	自治体	事業者																	自治体	事業者
合計	98	1	1	0	1	0	96	89	7	90	6	87	83	4	113	6	6	6	6	116	16			
農業	5						5	5	5			4	4		27					27				
建設業	77	1	1	0	1	0	76	76	0	74	1	74	73	2	79	3	3	3	3	79	79			
製造業	8	0	0	0	0	0	8	8	0	4	5	7	6	1	6	1	1	1	1	10	10			
食品	0						0	0	0	0	0													
飲料・飼料	0						0	0	0	0	0													
繊維	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1			
木材																								
家具																								
パルプ・紙																								
印刷																								
化学																								
石油・石炭																								
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ゴム	0						0	0	0	0	0													
皮革																								
窯業・土石	1						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
鉄鋼	3						3	3	0	3	3	3	2	1	2	1	1	1	1	4	4			
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金属	1						1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1			
はん用機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
生産用機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
業務用機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
電子部品	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
電気機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
情報通信機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1			
電気・水道業	6						6	6	6	6	6	6	6	1	6	1	1	1	1	6	6			
電気業																								
上下水道業																								
下水道業	6						6	6	6	6	6	6	1	1	6	1	1	1	1	6	6			
運輸業	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
卸・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
サービス業	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
解体・破碎前処理業																								
その他の業種※	1						1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-5 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔金沢市〕＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 業 種	発生量 (A) (B+C) (B+C) (D+G)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量						
				(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)					
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(I)	県外
合計	1,008	15	994	620	66	32	26	7	374	0	366	8	0	407				
農業	2		2		1				0		0			0				
畜産	0		0						0		0			0				
建設業	376	0	375	36	36	30	6	0	339	0	334	5		345				
製造業	130	13	117	99	9	0	5	4	18	0	16	2	0	27				
食品	9	4	5	0	0	0	0		5	0	4	0	0	5				
飲料・飼料	0		0						0	0	0	0	0	0				
繊維	10	0	10	8	1		0	0	1	0	1	0		2				
木材	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				
パルプ・紙	86	1	85	84	8	0	4	3	1	0	0	1	9	9				
印刷	6	4	2	0	0	0	0		1	0	1	0	1	1				
化学																		
石油・石炭																		
プラスチック	1	0	1	0	0	0	0		1	0	1	0	1	1				
ゴム	0		0						0		0			0				
皮革																		
窯業・土石	9	0	9	6	1		0	1	3	0	3	0	0	4				
鉄鋼																		
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0		0		0			0				
金属	3	1	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	2				
はん用機器	0	0	0						0		0			0				
生産用機器	4	3	1						1		1	0	1	1				
業務用機器	1	0	1						1		1	0	1	1				
電子部品																		
電気機器	0	0	0						0		0			0				
情報通信機器	0	0	0						0		0			0				
輸送機器	0	0	0						0		0			0				
その他	0	0	0	0	0	0	0		0		0			0				
電気・水道業	477	0	477	476	12	0	8	3	2	0	1	0	13	13				
電気業	1	0	1						1		1	0	1	1				
下水道業	3		3	3	0	0			1		1	0	1	1				
下水道業	473		473	472	11		8	3	1		0	0	12	12				
運輸業	1	0	1	0	0	0	0		1		1	0	1	1				
卸・小売業	3	0	3	0	0	0			3		3	0	3	3				
サービス業	5	0	4	0	0	0	0		4		4	0	4	4				
解体・破砕前処理業	9	0	9	7	1	1	6		2		2	0	8	8				
その他の業種*	6	0	6						6		6	0	6	6				

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表5-5 発生量及び処理・処分量(種類別：変換) [金沢市] <平成23年度>

(単位: 千t/年)

業種	委託処理量												最終処分量				その他量		資源化量
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		処理主体の内訳				
	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(E1+G1+M1)		(01)	(02)			
	(K)	(0)	(L)	(M)	(N1)	(M2)	(R)	(0)	(01)	(02)	(E5+G5)	(S)	(B+R)						
合計	407	15	8	7	15	1	392	380	11	374	17	368	357	11	389	26	26	0	404
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				2
畜産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
建設業	345	5	5	0	5	0	340	339	1	334	6	333	326	7	356	12	12		356
製造業	27	6	2	3	5	0	21	20	1	14	7	16	15	1	16	6	6	0	29
食品	5	0	0	0	0	0	4	4	1	3	1	2	2	0	2	1	1		6
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
繊維	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1		1
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
パルプ・紙	9	4	1	3	4		5	5	0	3	2	5	5	0	5	4	4		6
印刷	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0		5
化学																			
石油・石炭																			
プラスチック	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0		1
ゴム	0						0	0	0	0	0	0	0	0					
皮革																			
窯業・土石	4	1	1	0	1		3	3	3	3	0	3	3	0	3	1	1	0	3
鉄鋼																			
非鉄金属	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
金属	2	0	0	0	0	0	2	2	2	0	1	1	1	0	1	0	0		2
はん用機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
生産用機器	1	0	0	0	0		1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0		3
業務用機器	1	0	0	0	0		1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0		1
電子部品																			
電気機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
情報通信機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
輸送機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
電気・水道業	13	4	0	4	4	0	9	1	8	9	9	3	1	2	2	5	5		2
電気業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0		1
上下水道業																			
下水道業	12	4	4	4	4		8	0	8	8	8	2	0	2	0	5	5		0
運送業	1	0	0	0	0		1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0		1
卸・小売業	3	0	0	0	0		3	3	3	2	1	2	2	0	2	0	0		2
サービス業	4	0	0	0	0		4	4	4	2	2	2	2	0	2	1	1		2
解体・破砕前処理業	8						8	8	8	8	0	8	8	8	9				9
その他の業種*	6	0	0	0	0		6	5	1	5	1	3	2	1	2	1	1		2

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-6 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔能登中部地域〕＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B-C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量						自己未処理量						搬出量			自己最終処分量					
				自己中間処理量		自己中間処理後の処理内訳				自己未処理量		自己未処理の処理内訳				再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外
				(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)									
				(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(I+K+J)	(I)	(E2+G2)			
合計	987	90	897	483	206	106	46	52	2	0	414	0	30	381	3	0	514	76	76					
農業	87		87	74	59						13			13			13							
畜産	199		199	199	36						0			0			0							
建設業	116	0	116	11	11	9		2	0		105			103	2		107							
製造業	67	12	55	40	5	1		2	2		16			14	2	0	20							
食品	7	1	7	4	1	0		0			3			3			3							
飲料・飼料																								
繊維	4	1	3	1	1			1	0		1			1	0		2							
木材	16	1	15	15	1	0		0	1		0			0	0		1							
家具	0	0	0	0	0	0		0			0			0	0		0							
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0		0			0			0	0		0							
印刷	0	0	0	0	0	0		0			0			0	0		0							
化学	2		2								2			2			2							
石油・石炭																								
プラスチック	1	0	0	0	0	0		0			0			0			0							
ゴム	0	0	0								0			0			0							
皮革																								
窯業・土石	3	0	3	2	0	0		0			1			1	0		2							
鉄鋼	12	0	11	9	1	1		1	1		3			2	1		4							
非鉄金属	1	0	1								1			1			1							
金属	12	6	6	4	0	0		0	0		2			2	0		3							
はん用機器	2	2	1								1			1			1							
生産用機器	0	0	0								0			0			0							
業務用機器	1	0	0	0	0	0		0			0			0	0		0							
電子部品	6	0	6	4	0	0		0			1			1	0		1							
電気機器	0	0	0								0			0			0							
情報通信機器	0	0	0								0			0			0							
輸送機器	1	1	0								0			0			0							
その他	0	0	0								0			0			0							
電気・水道業	509	77	432	155	92	46	45	46	45	0	277	0	30	247	0	0	369	76	76					
電気業	460	77	383	106	87	46	41	46	41	0	277	0	30	247	0	0	364	76	76					
上水道業	0	0	0	0	0	0		0			0			0			0							
下水道業	49		49	49	5			5									5							
運輸業	1		1	1							1			1			1							
卸・小売業	1		1	1							1			1			1							
サービス業	0	0	0	0	0	0		0			0			0			0							
解体・破砕前処理業	5	1	4	4	4	2		2			0			0			0							
その他の業種*	1	0	1								1			1	0		1							

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマスター業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-6 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔能登中部地域〕＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量											再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)				
	委託直接最終処分量				委託中間処分量				委託中間処理後量				自己処分 (O1)	処理主体の内訳 委託処分 (O2)							
	(K) (O-L)	(処理主体の内訳) 業者 自治体		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(L)	(処理主体の内訳) 業者 自治体		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(M)				(M1)			(M2)			
合計	438	6	6	0	4	1	432	430	3	139	293	423	420	4	526	85	76	9	616	0	
農業	13						13	13				10	10		69						69
畜産業	0						0	0				0	0		36						36
建設業	107	2	2	0	2	0	105	105	0	104	2	103	101	2	110	4	4	4			111
製造業	20	4	4	1	3	1	16	14	2	9	7	14	13	1	14	5	5	5			25
食品	3						3	1	2	2	1	3	3	0	3	0	0	0			4
飲料・飼料																					
繊維	2	0	0		0		2	2	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0			2
木材	1	1	1		1		0	0		0	0	0	0		1	1	1	1			1
家具	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
パルプ・紙	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
印刷	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
化学	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0	0	0			1
石油・石炭																					
プラスチック	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			1
ゴム	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
皮革																					
窯業・土石	2	0	0		0		1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1			1
鉄鋼	4	2	2		1		2	2	0	2	0	2	1	0	2	2	2	2			2
非鉄金属	1						1	1		1	0	1	0		0	0	0	0			1
金属	3	0	0		0		2	2	0	2	2	2	2	0	2	2	2	2			8
はん用機器	1						1	1		1	1	1	1	0	1	1	1	1			2
生産用機器	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
業務用機器	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
電子部品	1	0	0		0		1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0			1
電気機器	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
情報通信機器	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
輸送機器	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
その他	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
電気・水道業	293	0	0		0		292	292	0	11	282	291	291	0	291	76	76	0			368
電気業	288	0	0		0		288	288	0	8	280	288	288	0	288	76	76	0			365
下水道業	0						0	0		0		0	0		0	0	0	0			0
下水道業	5						5	5	3	2	3	3	3	0	3	0	0	0			3
運輸業	1						1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0			1
卸・小売業	1						1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0			1
サービス業	0						0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			0
解体・破砕前処理業	2	0	0		0		2	2	0	2	2	2	2	0	4	0	0	0			5
その他の業種※	1	0	0		0		1	1	0	1	0	0	0		0	0	0	0			0

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-7 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔能登北部地域〕＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B-C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量						自己未処理量						自己最終処分量					
				自己中間処理量			自己中間処理後の処理内訳			自己未処理の処理内訳			自己最終処分量			自己最終処分量					
				(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(E2+G2)		
																				(E)	(E1)
合計	190	1	189	113	70	67	3	0	76	75	1	79									
農業	89		89	75	60	60	13		13			13									
畜業	7		7	2	2	2			0			0									
建設業	65	0	65	6	6	5	1	0	59		1	60									
製造業	4	0	4	1	0	0	0	0	2		0	3									
食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
木材	1	1	1	0	1	1	0	0	1		0	1									
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
電子部品	2	0	2	1	0	0	0	0	1		0	1									
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
電気・水道業	24	0	24	23	2	0	2	0	0		0	2									
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
下水道業	23	0	23	23	2	0	2	0	0		0	2									
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
卸・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
解体・破砕前処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0									
その他の業種*	1	1	1	0	0	0	0	0	0		0	0									

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表5-7 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）〔能登北部地域〕＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量															再生利用量				最終処分量			その他量			資源化量
	(K) (O-L)	委託直接最終処分量					委託中間処分量					委託中間処理後量					(R) (E1-G1+M1)	(0) (1+O+M2)	(01) (02)	(J) (E5+G6)	(S) (B+R)					
		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(M1)	(M2)												
		県内	県外	事業者	自治体		県内	県外	事業者	自治体	再生利用量	最終処分量														
		(0)									(M)	(N)			(1)	(2)										
合計	79	1	1	0	1	0	78	77	1	75	3	73	72	1	139	2	2	2	139							
農業	13				13		0	0				11	11		70				70							
畜産業	0				0		0	0				0	0		2				2							
建設業	60	1	1	0	59	0	58	1	58	1	57	1	62	2	62	2	2	2	62							
製造業	3	0	0	0	3	0	2	1	2	2	0	2	0	0	2	0	0	0	3							
食品	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
飲料・飼料	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
繊維	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
木材	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0		1	0	0	0	1							
家具																										
パルプ・紙																										
印刷																										
化学																										
石油・石炭																										
プラスチック																										
ゴム																										
皮革																										
窯業・土石	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
鉄鋼	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
非鉄金属																										
金属	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
はん用機器	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
生産用機器																										
業務用機器																										
電子部品	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1							
電気機器																										
情報通信機器																										
輸送機器																										
その他																										
電気・水道業	2	0	0	0	2	2	1	1	2	2	0	2	0	0	2	0	0	0	2							
電気業	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
上水道業	0				0														0							
下水道業	2				2		1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1							
運輸業	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
卸・小売業	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
サービス業	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
解体・破砕前処理業	0				0		0	0	0	0	0	0	0		0				0							
その他の業種*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							

(注1)「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-1 発生量及び処理・処分量（燃え殻 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量							
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)				
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)			自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)
合計	38	6	32	0	0	0	0	32	30	2	0	32	30	30			
農業																	
鉱業																	
建設業																	
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
食品																	
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
繊維																	
木材																	
家具																	
パルプ・紙																	
印刷																	
化学																	
石油・石炭																	
プラスチック																	
ゴム																	
皮革																	
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
非鉄金属																	
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
はん用機器																	
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
業務用機器																	
電子部品																	
電気機器																	
情報通信機器																	
輸送機器																	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
電気・水道業	38	6	32					32	30	2	0	32	30	30			
電気業	38	6	32					32	30	2	0	32	30	30			
上下水道業																	
下水道業																	
運送業																	
卸・小売業																	
サービス業																	
解体・破碎前処理業																	
その他の業種※																	

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-1 発生量及び処理・処分量(燃え殻 業種別) <平成23年度>

(その2)

(単位:千t/年)

業種	委託処理量		委託直接最終処分量				委託中間処理量					委託中間処理後量			再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	(K) (O-L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(0)	(O1)	(O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)					
			県内	県外		業者	自治体		県内	県外							再生利用量	最終処分量	自己処分	委託処分	
合計	2	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	30	30	0	0	8		
農業																					
畜産業																					
建設業																					
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
食品																					
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維																					
木材																					
家具																					
パルプ・紙																					
印刷																					
化学																					
石油・石炭																					
プラスチック																					
ゴム																					
皮革																					
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非鉄金属																					
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
はん用機器																					
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
業務用機器																					
電子部品																					
電気機器																					
情報通信機器																					
輸送機器																					
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気・水道業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
電気業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
下水道業																					
下水道業																					
運輸業																					
卸・小売業																					
サービス業																					
解体・破碎前処理業																					
その他の業種※																					

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマン業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-2 発生量及び処理・処分量（汚泥 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B+C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量										自己未処理量					搬出量			自己最終処分量				
				自己中間処理後量					自己中間処理後の処理内訳					再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	自己未処理の処理内訳			再生利用量 (H1+K+J)	自己最終 処分量 (E2+G2)	(処理先地域の内訳)					
				発生量 (E)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)			委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H1+K+J)	(I)	県内	県外
合計	1,427	56	1,371	1,336	97	40	4	41	12	0	35	0	30	4	4	92	4	4								
農業																										
畜産	206		206	206	38																					
建設業	16		16													16										
製造業	247	1	246	232	24	0		16	7						14	0				38						
食品	5		5	4	0			0							2	0				2						
飲料・飼料	0		0	0	0			0							0	0				0						
繊維	57		57	56	5			5	0						1	0				5						
木材																										
家具	0		0												0	0				0						
パルプ・紙	84		84	84	8			4	3						0	0				8						
印刷	1		1	1	0			0							0	0				0						
化学	12	0	12	11	1			1							1					2						
石油・石炭																										
プラスチック	0		0												0	0				0						
ゴム																										
皮革																										
窯業・土石	18		18	14	3	0		1	2						4					6						
鉄鋼	11		11	11	2			2							0	0				2						
非鉄金属	0		0												0	0				0						
金属	10	1	9	7	1			0	0						3	0				3						
はん用機器	14		14	13	2			1	1						1					3						
生産用機器	7		7	5	0			0							1	0				2						
業務用機器	0		0												0	0				0						
電子部品	21	0	21	21	3	0		3							0	0				3						
電気機器	0		0												0	0				0						
情報通信機器	0		0	0	0			0							0	0				0						
輸送機器	5		5	5	0			0	0						0	0				1						
その他	0		0												0	0				0						
電気・水道業	956	56	900	898	35	2	4	25	5	0	2				2					35						
電気業	91	56	36	36	4			0							4					4						
水道業	27		27	27	4	2		2	0	0	0				0					2						
下水道業	838		838	836	27	0		23	5		2				2					29						
運輸業	1		1	0	0			0			1				1	0				1						
卸・小売業	1		1								1				1	0				1						
サービス業	1		1	0	0			0			1				1	0				1						
解体・破砕前処理業																										
その他の業種*	1		1								1				1	0				1						

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表6-2 発生量及び処理・処分量（汚泥 業種別）＜平成23年度＞

(その2)

(単位: 千 t/年)

業種	委託処理量																				再生利用量 (E1+G1+M1) (R)	最終処分量 (O) (I+O+M2)	その他量 (J) (E5+G6)	資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)					委託中間処理量 (処理主体の内訳)					委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)													
	(K) (O-L)	業者		(処理先地域の内訳)		(L)	業者		(処理先地域の内訳)		(M)	再生利用量		(M2) 最終処分量	(O1) 自己処分	(O2) 委託処分								
		(0)	(1)	県内	県外		(0)	(1)	(1)	(2)		(E1+G1+M1) (R)	(O)				(O1)	(O2)						
合計	88	17	8	8	15	2	71	56	15	51	20	46	40	6	81	26	4	22	0	137				
農業																								
建設業	16	1	1	0	1	0	15	15	14	0	11	10	0	0	38	1	1	1		38	10			
製造業	38	10	7	3	8	2	28	28	12	16	21	20	2	2	20	12	12	12	0	21	21			
食品	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1			
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
繊維	5	0	0	0	0	0	5	5	1	4	4	3	0	0	3	1	1	1		3	3			
木材																								
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
パルプ・紙	8	3	0	3	3	0	4	4	3	2	4	4	0	4	4	3	3	3	0	4	4			
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
化学	2						2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0		1	1			
石油・石炭																								
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
ゴム																								
皮革																								
窯業・土石	6	3	3	0	3	1	3	3	3	1	3	3	0	4	4	3	3	3	0	4	4			
鉄鋼	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0			
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
金属	3	0	0	0	0	0	3	3	1	3	3	2	1	2	2	1	1	1		3	3			
はん用機器	3	1	1	1	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1		0	0			
生産用機器	2	0	0	0	0	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1		0	0			
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
電子部品	3						3	3	0	1	2	3	0	3	3	0	0	0		3	3			
電気機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
情報通信機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
輸送機器	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
電気・水道業	31	5	0	5	5		26	11	15	23	3	12	9	3	11	12	4	8	0	67	67			
電気業	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	56	56			
下水道業	2	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	0	2	4	4	0	0	0	0	0			
下水道業	29	5	0	5	5		24	9	15	21	3	10	7	3	7	8	8	0	0	4	4			
運送業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0		1	1			
卸・小売業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
サービス業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
解体・破碎前処理業																								
その他の業種※	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0			

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-3 発生量及び処理・処分量（廃油 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	自己中間処理後量										自己未処理量				自己最終処分量			
	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量		自己中間処理後量		自己未処理量		自己未処理量		自己最終処分量		自己最終処分量				
				排出量 (D)	再生利用量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)		
						自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)						委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)
(B+C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)			
合計	24	4	20	4	0	0	0	16	0	16	16	0	0	0	16			
農業																		
畜産	0	0	0															
建設業	0	0	0															
製造業	17	3	14	4	0	0	0	10	0	10	10	0	0	10				
食品	1	1	0					0	0	0	0	0	0	0				
飲料・飼料	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
繊維	1	0	1					1	0	1	1	0	0	1				
木材																		
家具	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
パルプ・紙	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
印刷	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
化学	8	1	7	4	0	0	0	3	0	3	3	0	0	3				
石油・石炭	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
プラスチック	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
鉄鋼	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
非鉄金属	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
金属	1	0	1					1	0	1	1	0	0	1				
はん用機器	1	0	1					1	0	1	1	0	0	1				
生産用機器	2	0	2					2	0	2	2	0	0	2				
業務用機器	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
電子部品	2	1	1					1	0	1	1	0	0	1				
電気機器	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
情報通信機器	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
輸送機器	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
その他	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
電気・水道業	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
電気業	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
下水道業																		
下水道業	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
運輸業	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
卸・小売業	3	0	3					2	0	2	2	0	0	2				
サービス業	2	0	2					2	0	2	2	0	0	2				
解体・破砕前処理業	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0				
その他の業種*	1	0	1					1	0	1	1	0	0	1				

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表6-4 発生量及び処理・処分量（廃酸 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量						
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)		再生利用量 (H1)	自己最終 処分量 (H2)	(処理先地域の内訳)				
						委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)			その他量 (E5)	委託中間 処理量 (G3)			委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内	県外	
(B+C)	(E)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(H1)	(H2+G2)	
合計	11	2	9	0	0	0	0	0	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
農業																		
鉱業																		
建設業																		
製造業	11	2	9	0	0	0	0	0	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
木材																		
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルプ・紙																		
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石油・石炭																		
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄鋼	3	3	3	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
非鉄金属																		
金属	3	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品	2	0	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他																		
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気業																		
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業																		
運輸業																		
卸・小売業																		
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解体・破碎前処理業																		
その他の業種※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-4 発生量及び処理・処分量(廃酸 業種別) <平成23年度>  
(その2)

(単位: 千 t /年)

業種	委託処理量				委託中間処理量						委託最終処分量			委託最終処分量				最終処分量		再生利用量		処理主体の内訳		その他量		資源化量
	(K) (0-L)	(K) (0-L)	(K) (0-L)	(K) (0-L)	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	再生利用量 (M1)	委託処理後の 最終処分量 (M2)	(O)	(O1)	(O2)	(R)	(E1+G1+M1)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)	(E1+G1+M1)	(O)	(O1)	(O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)	
合計	9	9	9	9	9	9	9	6	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5
農業																										
畜産業																										
建設業																										
製造業	9	9	9	9	9	9	6	3	3	3	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
食料品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
飲料・飼料	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維																										0
木材																										
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
パルプ・紙																										
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石油・石炭																										0
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴム																										
皮革																										
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉄鋼	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非鉄金属																										
金属	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電子部品	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他																										
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気業																										
上水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
下水道業																										
下水道業																										
運輸業																										
卸・小売業																										
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
解体・破砕前処理業																										
その他の業種※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-5 発生量及び処理・処分量（廃アルカリ 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量				
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(自己未処理の処理内訳)			(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)								
合計	14	0	14	9	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	5	0	0
農業																			
畜産業																			
建設業	0		0								0								
製造業	14		14	9	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	5	0	0
食品	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲料・飼料	0		0																
繊維																			
木材																			
家具	0		0								0								
パルプ・紙																			
印刷	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学	10		10	9	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0
石油・石炭																			
プラスチック	0		0	0							0						0	0	0
ゴム																			
皮革																			
窯業・土石																			
鉄鋼																			
非鉄金属																			
金属	0		0								0						0	0	0
はん用機器	0		0								0						0	0	0
生産用機器	1		1								1						1	0	0
業務用機器	0		0								0						0	0	0
電子部品	2		2								2						2	0	0
電気機器																			
情報通信機器	0		0								0						0	0	0
輸送機器	0		0								0						0	0	0
その他																			
電気・水道業	0		0								0						0	0	0
電気業																			
上下水道業	0		0								0						0	0	0
下水道業																			
運送業	0		0								0						0	0	0
卸・小売業	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0
サービス業	0		0								0						0	0	0
解体・破砕前処理業	0		0								0						0	0	0
その他の業種※	0		0								0						0	0	0

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマスターサービス業、その他の業種であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-5 発生量及び処理・処分量（廃アルカリ 業種別）＜平成23年度＞  
 (その2)

業種	委託処理量											最終処分量			再生利用量		その他量		資源化量 (S) (B+R)				
	委託直接最終処分量			委託中間処分量			委託中間処理後量					再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (O) (I+O+M2)	自己処分 (O1)	処理主体の内訳 委託処分 (O2)	その他量 (J) (E5+G5)							
	(K) (O-L)		(O)	(L)		(M)		(N)		(M2)													
	業者	自治体	(O)	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)		(O2)	(J)		
合計	5		5	5		5	5	3	2	3	3	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	
農産物																							
建設業	0		0	0		0	0	0															
製造業	5		5	5		5	5	3	1	3	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0
食品・飲料	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木材																							
家具	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルプ・紙																							
印刷	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学	1		1	1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石油・石炭																							
プラスチック	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム																							
皮革																							
窯業・土石																							
鉄鋼																							
非鉄金属																							
金属	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
はん用機器	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生産用機器	1		1	1		1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務用機器	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品	2		2	2		2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
電気機器																							
情報通信機器	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送機器	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他																							
電気・水道業	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気業																							
上水道業	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業																							
運送業	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸・小売業	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解体・破砕前処理業	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の業種※	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-6 発生量及び処理・処分量（廃プラスチック類 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量			
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)				(G)				(H)					
					再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	(自己未処理の処理内訳)		再生利用量 (H1)	(自己最終処分量)						
						自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)		委託直接最終処分量 (E4)	その他 (E5)		自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他 (G5)	自己最終処分量 (H1)	委託中間処理量 (H2)	委託直接最終処分量 (H3)
(E)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(H2)	(H3)	(H4)	(I)	(I2+G2)			
合計	46	5	41	2	1	0	0	0	0	39	38	2	2	40				
農業	0	0	0							0	0			0				
鉱業	0	0	0							0	0			0				
建設業	9		9	0	0	0	0	0	0	9	9	1	1	9				
製造業	28	5	22	2	1	0	0	0	21	20	1	1	21					
食品	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1					
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
繊維	8	2	6	0	0	0	0	0	5	5	0	0	5					
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
化学	2	0	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2					
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
プラスチック	4	1	3	1	0	0	0	0	3	2	0	0	3					
ゴム	0	0	0						0	0	0		0					
皮革																		
窯業・土石	1	0	1						1	1	0	0	1					
鉄鋼	0	0	0						0	0	0	0	0					
非鉄金属	0	0	0						0	0	0	0	0					
金属	0	0	0						0	0	0	0	0					
はん用機器	0	0	0						0	0	0	0	0					
生産用機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1					
業務用機器	1	0	1						1	1	0	0	1					
電子部品	4	1	3	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3					
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
情報通信機器	0	0	0						0	0	0	0	0					
輸送機器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1					
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1					
電気・水道業	0	0	0						0	0	0	0	0					
電気業	0	0	0						0	0	0	0	0					
下水道業																		
下水道業																		
運輸業	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1					
卸・小売業	2		2						2	2			2					
サービス業	2		2						2	2			2					
解体・破砕前処理業	1		1						1	1			1					
その他の業種*	3		3	0					3	3	0	0	3					

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表6-6 発生量及び処理・処分量(廃プラスチック類 業種別) <平成23年度>

(その2)

(単位:千t/年)

業種	委託処理量												再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量				(R) (E1+G1+M1)	(0) (I+O+M2)	(01) (O1)	(02) (O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
	(K) (O-L)	(0)	業者 自治体	県内 県外	(L)	業者 自治体	県内 県外	(M)	(M1) 再生利用量	(M2) 最終処分量	(0)	(01)							(02)		
合計	40	2	2	0	1	1	38	37	1	27	11	30	27	4	5	5	5	33	0		
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
建設業	9	1	1	0	1	0	9	9	0	7	1	7	6	1	2	2	2	6	0		
製造業	21	1	1	0	20	0	20	20	0	13	8	16	15	1	2	2	2	21	0		
食品	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繊維	5	0	0	0	5	0	5	5	0	3	2	4	4	0	1	1	1	6	0		
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
化学	2	0	0	0	2	0	2	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0		
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
プラスチック	3	0	0	0	0	0	3	3	1	2	0	3	2	0	0	0	0	4	0		
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
窯業・土石	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0		
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
生産用機器	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0		
業務用機器	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
電子部品	3	0	0	0	3	0	3	3	1	1	1	2	2	0	0	0	0	4	0		
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
輸送機器	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0		
その他	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0		
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
運輸業	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0		
卸・小売業	2	0	0	0	2	0	2	2	0	2	0	2	2	0	0	0	0	2	0		
サービス業	2	0	0	0	2	0	2	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0		
解体・破碎前処理業	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0		
その他の業種※	3	0	0	0	3	0	3	2	0	3	0	2	1	0	1	1	1	1	0		

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。

(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-7 発生量及び処理・処分量（紙くず業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量					
				(D)	(自己中間処理後の処理内訳)			(E)	(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)			
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)
合計	21	9	11	1	1	1	0	0	0	0	11	11	0	0	11		
農業																	
鉱業																	
建設業	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3		
製造業	18	9	9	1	1	1					8	8			8		
食品																	
飲料・飼料																	
繊維																	
木材																	
家具																	
パルプ・紙	6	3	3	1	1	1					2	2			2		
印刷	12	7	6								6	6			6		
化学																	
石油・石炭																	
プラスチック																	
ゴム																	
皮革																	
窯業・土石																	
鉄鋼																	
非鉄金属																	
金属																	
はん用機器																	
生産用機器																	
業務用機器																	
電子部品																	
電気機器																	
情報通信機器																	
輸送機器																	
その他																	
電気・水道業																	
電気業																	
上下水道業																	
下水道業																	
運輸業																	
卸・小売業																	
サービス業																	
解体・破砕前処理業																	
その他の業種*	0	0	0								0	0			0		

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマスターの合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-7 発生量及び処理・処分量（紙くず 業種別）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分 業種	委託処理量											最終処分量			再生利用量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量			(O)	(R) (E1+G1+M1) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
	(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(M1) 再生利用量 最終処分量	(M2) 処理内訳 最終処分量								
	(K) (O-L)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)											
合計	11	0	0	11	0	10	0	10	0	10	0	10	0	0	0	20			
農業																			
畜産業																			
建設業	3	0	0	3	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	2			
製造業	8			8		8		8		8		8		0	0	18			
食品品																			
飲料・飼料																			
繊維																			
木材																			
家具																			
パルプ・紙	2			2		2		2		2		2		0	0	6			
印刷	6			6		5		6		6		6		6		12			
化学																			
石油・石炭																			
プラスチック																			
ゴム																			
皮革																			
窯業・土石																			
鉄鋼																			
非鉄金属																			
金属																			
はん用機器																			
生産用機器																			
業務用機器																			
電子部品																			
電気機器																			
情報通信機器																			
輸送機器																			
その他																			
電気・水道業																			
電気業																			
上水道業																			
下水道業																			
運輸業																			
卸・小売業																			
サービス業																			
解体・破碎前処理業																			
その他の業種※	0			0		0		0		0		0		0		0			

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。

(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-8 発生量及び処理・処分量（木くず業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量				
				(D)	自己中間処理後量		(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
					(E)	再生利用量 (E1)			自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)			委託直接最終処分量 (E4)	その他 (E5)		
合計	80	3	76	19	4	2	1	1	1	57	0	56	2	59		
農業																
畜産																
建設業	56	0	56	3	2	2	1	0		53	0	52	1	54		
製造業	24	3	20	16	1	0	1	1		4		4	0	5		
食品	0	0	0							0		0		0		
飲料・飼料	0	0	0							0		0		0		
繊維	0	0	0							0		0		0		
木材	21	3	17	15	1	0	0	1		2		2	0	3		
家具	1	1	1	1	0	0	0	0		0		0		0		
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		
印刷	0	0	0	0						0		0		0		
化学	0	0	0							0		0		0		
石油・石炭	0	0	0							0		0		0		
プラスチック	0	0	0							0		0		0		
ゴム	0	0	0							0		0		0		
皮革	0	0	0							0		0		0		
窯業・土石	0	0	0							0		0		0		
鉄鋼	0	0	0							0		0		0		
非鉄金属	0	0	0							0		0		0		
金属	0	0	0							0		0		0		
はん用機器	0	0	0							0		0		0		
生産用機器	1	0	1	0	0	0	0	0		1		1		1		
業務用機器	0	0	0							0		0		0		
電子部品	0	0	0							0		0		0		
電気機器	0	0	0							0		0		0		
情報通信機器	0	0	0							0		0		0		
輸送機器	0	0	0							0		0		0		
その他	0	0	0							0		0		0		
電気・水道業	0	0	0							0		0		0		
電気業	0	0	0							0		0		0		
下水道業																
下水道業																
運輸業	0	0	0							0		0		0		
卸・小売業	0	0	0							0		0		0		
サービス業																
解体・破砕前処理業																
その他の業種※	0	0	0							0		0		0		

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-8 発生量及び処理・処分量（木くず 業種別）＜平成23年度＞  
(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量			委託中間処理量							委託直接最終処分量		委託先地域の内訳				委託先地域の内訳			資源化量									
	(K) (0-L)	(0)		(L)	(M)		(N)	(O)		(P)	(Q)	(R)	(S)		(T)	(U)	(V)	(W)	(X)										
		(K)	(L)		(M)	(N)		(O)	(P)				(Q)	(R)							(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)
合計	59	2	2	0	2	57	56	1	53	4	47	46	1	48	3	3	3	3	51										
農林業																													
建設業																													
製造業	54	1	1	1	1	52	51	1	49	3	43	42	1	44	2	2	2	44											
食品・飲料	5	1	1	0	1	4	4	0	4	0	4	3	0	3	1	1	1	7											
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
家具	3	1	1	0	1	2	2	0	2	0	2	2	0	2	1	1	1	5											
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
生産用機器	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0											
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
卸・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
解体・破碎前処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
その他の業種※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-9 発生量及び処理・処分量（繊維くず 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t/年)

区 業 種	自己中間処理後量					自己未処理量					自己最終処分量						
	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量		再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)			他 県内	県外	
				(D)	(E)		再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処分量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	委託中間 処分量 (G3)			委託直接 最終処分量 (G4)
(B+C)	(E)	(D+G)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)			
合計	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	
農業																	
畜業																	
建設業	0			0					0					0			
製造業	1	0	1	0	0	0			1		1						
食品品																	
飲料・飼料																	
繊維	1	0	1	0	0	0			1		1						
木材																	
家具																	
パルプ・紙																	
印刷																	
化学																	
石油・石炭																	
プラスチック																	
ゴム																	
皮革																	
窯業・土石																	
鉄鋼																	
非鉄金属																	
金属																	
はん用機器																	
生産用機器																	
業務用機器																	
電子部品																	
電気機器																	
情報通信機器																	
輸送機器																	
その他																	
電気・水道業																	
電気業																	
上水道業																	
下水道業																	
運輸業																	
卸・小売業																	
サービス業																	
解体・破砕前処理業																	
その他の業種※																	

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。

(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-9 発生量及び処理・処分量（繊維くず 業種別）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分	委託処理量			委託中間処理量						委託直接最終処分量		委託中間処理後量			最終処分量		再生利用量		その他量		資源化量				
	業種	(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)			業者	(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R)	(0)	処理主体の内訳		(E1+G1+H1)	(01)	(02)	(J)	(S)					
		委託直接最終処分量			委託中間処理量					委託中間処理後量				最終処分量								再生利用量		その他量	
		(K)	(L)	(O)	(L)	(M)	(N)			(M1)	(M2)			(P)	(Q)							(R)	(S)	(T)	(U)
(O-L)	(L)	(O)	(L)	(M)	(N)	(M1)	(M2)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)							
合計	2	0	0	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1					
農業																									
鉱業																									
建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
製造業	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
食料品																									
飲料・飼料																									
繊維	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
木材																									
家具																									
パルプ・紙																									
印刷																									
化学																									
石油・石炭																									
プラスチック																									
ゴム																									
皮革																									
窯業・土石																									
鉄鋼																									
非鉄金属																									
金属																									
はん用機器																									
生産用機器																									
業務用機器																									
電子部品																									
電気機器																									
情報通信機器																									
輸送機器																									
その他																									
電気・水道業																									
電気業																									
上水道業																									
下水道業																									
運輸業																									
卸・小売業																									
サービス業																									
解体・破砕前処理業																									
その他の業種※																									

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマンの合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。

(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-10 発生量及び処理・処分量（動植物性残さ 業種別）＜平成23年度＞

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処分量				自己未処理量				自己最終処分量						
				(D)	(E)			(G)	(H)	(I)			(J)					
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	(自己中間処理後の処理内訳) 委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)		自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳) 委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	
合計	14	4	11	2	1	0	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8		
農業																		
畜産業																		
建設業																		
製造業	14	4	11	2	1	0	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8		
食品	12	4	9	2	1	0	0	7	0	6	0	7	0	6	0	7		
飲料・飼料	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繊維																		
木材																		
家具																		
パルプ・紙																		
印刷																		
化学	2	0	2					2		2		2		2		2		
石油・石炭																		
プラスチック																		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石																		
鉄鋼																		
非鉄金属																		
金属																		
はん用機器																		
生産用機器																		
業務用機器																		
電子部品																		
電気機器																		
情報通信機器																		
輸送機器																		
その他																		
電気・水道業																		
電気業																		
上下水道業																		
下水道業																		
運輸業																		
卸・小売業																		
サービス業																		
解体・破砕前処理業																		
その他の業種※																		

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表6-10 発生量及び処理・処分量（動植物性残さ 業種別）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区分	委託処理量 (K) (O-L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						委託中間処理後量			最終処分量			再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	その他量			資源化量 (S) (B+R)
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		自己処分		処理主体の内訳		(J) (E5-G5)	(S) (B+R)						
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量	(O1)	(O2)										
		(O)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)	(O1)	(O2)	(O)	(O1)	(O2)	(J)	(S)										
合計	8		8	6	2	5	3	7	7	0			8			0				0				11
農畜業																								
建設業																								
製造業	8		8	6	2	5	3	7	7	0			8			0								11
食品	7		7	4	2	5	2	5	5	0			6			0								10
飲料・飼料	0		0	0		0		0	0	0			0			0								0
繊維																								
木材																								
家具																								
パルプ・紙																								
印刷																								
化学	2		2	2		1	1	2	2	0			2			0								2
石油・石炭																								
プラスチック																								
ゴム																								
皮革																								
窯業・土石																								
鉄鋼																								
非鉄金属																								
金属																								
はん用機器																								
生産用機器																								
業務用機器																								
電子部品																								
電気機器																								
情報通信機器																								
輸送機器																								
その他																								
電気・水道業																								
電気業																								
上水道業																								
下水道業																								
運輸業																								
卸・小売業																								
サービス業																								
解体・破碎前処理業																								
その他の業種※																								

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-11 発生量及び処理・処分量（動物系固形不要物 業種別）＜平成23年度＞  
(その1)

(単位：千t/年)

区 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量					
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)			再生利用量 (G)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(処理先地域の内訳)		
					委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)			県内	県外	
																	(E)
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業																	
畜産業																	
建設業																	
製造業																	
食品・飲料																	
繊維																	
木材																	
家具																	
パルプ・紙																	
印刷																	
化学																	
石油・石炭																	
プラスチック																	
ゴム																	
皮革																	
窯業・土石																	
鉄鋼																	
非鉄金属																	
金属																	
はん用機器																	
生産用機器																	
業務用機器																	
電子部品																	
電気機器																	
情報通信機器																	
輸送機器																	
その他																	
電気・水道業																	
電気業																	
下水道業																	
下水道業																	
運輸業																	
卸・小売業																	
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解体・破砕前処理業																	
その他の業種※																	

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマの合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-11 発生量及び処理・処分量（動物系固形不要物 業種別）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量											資源化量 (S) (B+R)		
	委託直接最終処分量			委託中間処理量				委託中間処理後量					再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (O) (I+O+M2)
	(処理先地域の内訳)		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		処理主体の内訳			
	業者	自治体		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量	自己処分		委託処分	
	(K)	(H-L)	(L)	(M)	(N1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(J)		(E5+G5)	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
農業														
畜業														
建設業														
製造業														
食料品														
飲料・飼料														
繊維														
木材														
家具														
パルプ・紙														
印刷														
化学														
石油・石炭														
プラスチック														
ゴム														
皮革														
窯業・土石														
鉄鋼														
非鉄金属														
金属														
はん用機器														
生産用機器														
業務用機器														
電子部品														
電気機器														
情報通信機器														
輸送機器														
その他														
電気・水道業														
電気業														
上水道業														
下水道業														
運輸業														
卸・小売業														
サービス業	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
解体・破碎前処理業														
その他の業種※														

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービスマスターサービス業とされているため、合計と一致しないものがある。

(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。

(注3) 「J」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-12 発生量及び処理・処分量（ゴムくず 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量						
				再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	(自己未処理の処理内訳)		搬出量 (H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)					
					自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	県内	県外
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
農業																
畜業																
建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食品																
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維																
木材																
家具																
パルプ・紙																
印刷																
化学																
石油・石炭																
プラスチック																
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革																
窯業・土石																
鉄鋼																
非鉄金属																
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
はん用機器																
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器																
輸送機器																
その他																
電気・水道業																
電気業																
上下水道業																
下水道業																
運送業																
卸・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業																
解体・破砕前処理業																
その他の業種※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-12 発生量及び処理・処分量（ゴムくず 業種別）＜平成23年度＞  
 (その2)

業種	委託処理量												委託中間処理量			委託中間処理後量			再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量			(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)			(委託処理後の処理内訳)			(R) (E1+G1+M1)			(O) (I+O+M2)			(J) (E5+G5)					
	(K) (O-L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)		(J) (E5+G5)										
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量		自己処分	委託処分											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
農業																											
鉱業																											
建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
食品品																											
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
繊維																											
木材																											
家具																											
パルプ・紙																											
印刷																											
化学																											
石油・石炭																											
プラスチック																											
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
皮革																											
窯業・土石																											
鉄鋼																											
非鉄金属																											
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
はん用機器																											
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
電気機器																											
情報通信機器																											
輸送機器																											
その他																											
電気・水道業																											
電気業																											
上水道業																											
下水道業																											
運輸業																											
卸・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
サービス業																											
解体・破碎前処理業																											
その他の業種※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-13 発生量及び処理・処分量（金属くず 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B+C)	自己中間処理後量			自己未処理量					自己最終処分量								
		有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	(自己中間処理後の処理内訳)			(自己未処理の処理内訳)				搬出量 (H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)					
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)		委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	(1) (E2+G2)	県内	県外
合計	105	65	40	0	0	0	0	0	0	39	39	0	40					
農業																		
畜産業																		
建設業	16	1	15	0	0	0	0	0	15	15	0	0	15					
製造業	80	61	20	0	0	0	0	0	20	20	0	0	20					
食品																		
食料品																		
飲料・飼料																		
繊維																		
木材																		
家具																		
パルプ・紙																		
印刷																		
化学																		
石油・石炭																		
プラスチック																		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石																		
鉄鋼																		
非鉄金属																		
金属																		
はん用機器																		
生産用機器																		
業務用機器																		
電子部品																		
電気機器																		
情報通信機器																		
輸送機器																		
その他																		
電気・水道業																		
電気業																		
上下水道業																		
下水道業																		
運輸業																		
卸・小売業																		
サービス業																		
解体・破砕前処理業																		
その他の業種*																		

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマスター業、サービスマスター業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-13 発生量及び処理・処分量（金属くず 業種別）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量										委託中間処理量				委託最終処分量				委託最終処分量				再生利用量		最終処分量				その他量		資源化量
	(K) (0-L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(N1)	(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	処理主体の内訳		(S) (B+R)												
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量				(O1)	(O2)													
																				(0)	(0)										
合計	40	0	0	0	0	39	39	0	29	10	39	39	1	39	1	1	1	1	1	104											
農業																															
畜産業																															
建設業	15	0	0	0	0	15	15	0	10	5	15	15	0	15	0	0	0	0	0	16											
製造業	20	0	0	0	0	20	20	0	14	6	20	19	0	19	0	0	0	0	0	80											
食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
繊維	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1											
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1											
ゴム																															
皮革																															
窯業・土石	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1											
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9											
非鉄金属	4	0	0	0	0	4	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	0	0	0	5											
金属	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	20											
はん用機器	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	15											
生産用機器	3	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	17											
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
電子部品	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2											
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1											
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
輸送機器	4	0	0	0	0	4	4	0	3	0	4	3	0	3	0	0	0	0	0	6											
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
上下水道業																															
下水道業																															
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
卸・小売業	2	0	0	0	0	2	2	0	1	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	2											
サービス業	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1											
解体・破砕前処理業	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4											
その他の業種※	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1											

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-14 発生量及び処理・処分量（ガラス陶磁器くず 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量			
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(自己未処理の処理内訳)		(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)	
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)								その他 (E5)	再生利用量 (G1)
合計	35	0	35	2	2	1	2	2	33	4	29	34						
農業																		
鉱業																		
建設業	21	0	21	0	0		0	21		1	20	21						
製造業	13	0	13	2	2	1	2	11		3	8	13						
食品	0	0	0					0		0	0	0						
飲料・飼料	0	0	0	0	0			0		0	0	0						
繊維	0	0	0					0		0	0	0						
木材	0	0	0					0		0	0	0						
家具	0	0	0					0		0	0	0						
パルプ・紙																		
印刷																		
化学	0	0	0					0		0	0	0						
石油・石炭																		
プラスチック																		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	12	0	12	2	2	1	2	9		3	6	11						
鉄鋼	0	0	0					0		0	0	0						
非鉄金属	0	0	0					0		0	0	0						
金属	1	0	1					1		1	1	1						
はん用機器	0	0	0					0		0	0	0						
生産用機器	0	0	0					0		0	0	0						
業務用機器	0	0	0					0		0	0	0						
電子部品	0	0	0					0		0	0	0						
電気機器	0	0	0					0		0	0	0						
情報通信機器	0	0	0					0		0	0	0						
輸送機器	0	0	0					0		0	0	0						
その他	0	0	0					0		0	0	0						
電気・水道業	0	0	0					0		0	0	0						
電気業	0	0	0					0		0	0	0						
下水道業																		
下水道業																		
運輸業	0	0	0					0		0	0	0						
卸・小売業	0	0	0					0		0	0	0						
サービス業	0	0	0					0		0	0	0						
解体・破砕前処理業	0	0	0					0		0	0	0						
その他の業種*	1	0	1					1		0	1	0						

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表6-14 発生量及び処理・処分量（ガラス陶磁器くず 業種別）＜平成23年度＞

業種	(K) (O-L)	委託直接最終処分量								委託中間処理量								委託中間処理後量		最終処分量				再生利用量		その他量				資源化量										
		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		再生利用量		(M)	(M1)	(M2)	(O)	(O1)	(O2)	(R)	(E1+G1+M1)	(J)	(S)	(B+R)														
		県内	県外	自治体	業者	県内	県外	自治体	業者	県内	県外	自治体	業者	(L)	(L)												(M)	(M1)	(M2)		(O)	(O1)	(O2)	(R)	(E1+G1+M1)	(J)	(S)	(B+R)		
		(0)	(0)	4	0	4	0	30	30	0	27	4	30	25	5	26	9	9	26	9	9	9	26	9	9	26	9	26												
		建設業	21	1	1	0	1	0	20	20	18	2	20	16	4	16	5	5	16	5	5	5	16																	
製造業	13	3	3	0	3	0	10	10	8	1	10	9	1	9	4	4	9	4	4	4	9																			
食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
窯業・土石	11	3	3	0	3	0	8	8	8	0	8	7	1	8	3	3	7	1	8	3	3																			
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
金属	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0																			
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
卸・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
解体・破砕前処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
その他の業種※	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0																			

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療・福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-15 発生量及び処理・処分量（鉱さい 業種別）＜平成23年度＞  
（その1）

業種	（単位：千t/年）												
	自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量			搬出量 (H) (I+K+J)			
	発生量 (A) (B+C)	排出量 (C) (D+G)	有償物量 (B)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)
合計	16	12	5	0	0	0	0	0	11	9	2	2	12
農業													
建設業													
製造業	16	12	5	0	0	0	0	0	11	9	2	2	12
食品													
飲料・飼料	0	0	0						0	0			0
繊維													
木材													
家具													
パルプ・紙													
印刷													
化学													
石油・石炭													
プラスチック													
ゴム													
皮革													
窯業・土石													
鉄鋼	7	6	2						6	5	1	1	6
非鉄金属	5	1	3						1	0	0	0	1
金属	0	0	0						0	0	0	0	0
はん用機器	0	0	0						0	0	0	0	0
生産用機器	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3
業務用機器	0	0	0						0	0			0
電子部品													
電気機器													
情報通信機器													
輸送機器	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
その他													
電気・水道業	0	0	0						0	0	0	0	0
電気業	0	0	0						0	0	0	0	0
下水道業													
下水道業													
運送業													
卸・小売業													
サービス業													
解体・破碎前処理業													
その他の業種※													

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業、宿泊業・飲食業、教育・医療・福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-15 発生量及び処理・処分量（鉱さい 業種別）＜平成23年度＞  
 (その2)

(単位：千t/年)

業種	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量 (E5+G6) (J) (S) (B+R)	資源化量
	(K) (O-L)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+H1) (I+O+M2)	処理主体の内訳		(0) (1+O+M2)	(01) (02)	(J) (S) (B+R)			
		(処理先地域の内訳)			(処理先地域の内訳)			(M1) 再生利用量 最終処分量	(01) 自己処分		(02) 委託処分							
		業者 自治体	県内 県外		業者 自治体	県内 県外												
合計	12	2	0	2	9	9	9	9	8	1	8	3	3	3	0	13		
農業																		
鉱業																		
建設業																		
製造業	12	2	0	2	9	9	9	9	8	1	8	3	3	3	0	13		
食料品																		
飲料・飼料	0				0	0	0	0	0		0				0	0		
繊維																		
木材																		
家具																		
パルプ・紙																		
印刷																		
化学																		
石油・石炭																		
プラスチック																		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石																		
鉄鋼	6	1	0	1	5	5	5	5	4	1	4	2	2	2	5			
非鉄金属	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	4			
金属	0				0	0	0	0	0		0				0			
はん用機器	0				0	0	0	0	0		0				0			
生産用機器	3	0	0	0	3	3	3	3	3	0	3	0	0	0	0	3		
業務用機器	0				0	0	0	0	0		0				0			
電子部品																		
電気機器																		
情報通信機器																		
輸送機器	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0		
その他																		
電気・水道業	0	0	0	0											0			
電気業	0	0	0	0											0			
上水道業																		
下水道業																		
下水道業																		
運輸業																		
卸・小売業																		
サービス業																		
解体・破碎前処理業																		
その他の業種※																		

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-16 発生量及び処理・処分量（がれき類 業種別）＜平成23年度＞  
 (その1)

区 業 種	発生量 (A) (B-C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D-G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量				
				(D)	(E)			(G)	(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)		
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)				自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他量 (G5)	県内	県外
						(E)	(E3)									
合計	844		844	92	76	16	753	744	9	769						
農業																
建設業	841		841	91	75	16	750	741	9	766						
製造業	1		1	0	0		1	1	0	1						
食品																
飲料・飼料																
繊維	0		0				0	0	0	0						
木材	0		0				0	0	0	0						
家具	0		0				0	0	0	0						
パルプ・紙																
印刷																
化学																
石油・石炭																
プラスチック																
ゴム																
皮革																
窯業・土石	1		1	0	0		1	1		1						
鉄鋼																
非鉄金属	0		0				0	0		0						
金属	0		0				0	0		0						
はん用機器	0		0				0	0		0						
生産用機器	0		0				0	0		0						
業務用機器																
電子部品	0		0				0	0		0						
電気機器	0		0				0	0		0						
情報通信機器	0		0				0	0		0						
輸送機器	0		0				0	0		0						
その他	0		0				0	0		0						
電気・水道業	2		2				2	2		2						
電気業	2		2				2	2		2						
下水道業																
下水道業																
運輸業																
卸・小売業	0		0				0	0		0						
サービス業																
解体・破碎前処理業																
その他の業種※	0		0				0	0		0						

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-16 発生量及び処理・処分量（がれき類 業種別）＜平成23年度＞  
 (その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量														再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量						(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	(O1) (01)	(O2) (02)	(J) (E5+G5)				
	(K) (O-L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)										
	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	業者 自治体	県内 県外	業者 自治体	県内 県外	(E1+G1+M1)	(I+O+M2)	(O1)	(O2)	(J)				
合計	769	9	9	0	760	757	3	756	4	760	751	9	826	18	18					826			
農業																							
鉱業																							
建設業	766	9	9	0	757	754	3	753	4	757	748	9	823	18	18					823			
製造業	1	0	0	0	1	1		1	0	1	1	0	1	0	0					1			
食品																							
飲料・飼料																							
繊維	0	0	0	0	0	0		0		0	0									0			
木材	0	0	0	0																0			
家具	0	0	0	0																0			
パルプ・紙																							
印刷																							
化学																							
石油・石炭																							
プラスチック																							
ゴム																							
皮革																							
窯業・土石	1				1	1		1		1	1		1							1			
鉄鋼																							
非鉄金属	0				0	0		0		0	0		0							0			
金属	0	0	0	0	0	0		0		0	0		0							0			
はん用機器	0				0	0		0		0	0		0							0			
生産用機器	0	0	0	0	0	0		0		0	0		0							0			
業務用機器																							
電子部品	0				0	0		0		0	0		0							0			
電気機器	0				0	0		0		0	0		0							0			
情報通信機器	0				0	0		0		0	0		0							0			
輸送機器	0				0	0		0		0	0		0							0			
その他	0				0	0		0		0	0		0							0			
電気・水道業	2	0	0	0	2	2		2		2	2		2							2			
電気業	2	0	0	0	2	2		2		2	2		2							2			
下水道業																							
下水道業																							
運輸業																							
卸・小売業	0				0	0		0		0	0		0							0			
サービス業																							
解体・破碎前処理業																							
その他の業種※	0				0	0		0		0	0		0							0			

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-17 発生量及び処理・処分量（動物のふん尿 業種別）＜平成23年度＞

区 業 種	発生量 (A) (B-C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量				
				自己中間処理後量 (D)	(自己中間処理後の処理内訳)			再生利用量 (G)	(自己未処理の処理内訳)			搬出量 (H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)		
					自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他量 (G5)	県内	県外
合計	238		238	203	161	161	35	35	35	35	35				
農業	238		238	203	161	161	35	35	35	35					
鉱業															
建設業															
製造業															
食品															
飲料・飼料															
繊維															
木材															
家具															
パルプ・紙															
印刷															
化学															
石油・石炭															
プラスチック															
ゴム															
皮革															
窯業・土石															
鉄鋼															
非鉄金属															
金属															
はん用機器															
生産用機器															
業務用機器															
電子部品															
電気機器															
情報通信機器															
輸送機器															
その他															
電気・水道業															
電気業															
上水道業															
下水道業															
運輸業															
卸・小売業															
サービス業															
解体・破砕前処理業															
その他の業種※															

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマンの合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-17 発生量及び処理・処分量（動物のふん尿 業種別）＜平成23年度＞  
 (その2)

(単位：千t/年)

区分 業種	委託処理量				委託中間処理量				委託最終処分量				委託中間処理後量			再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量			
	(K)		(O-L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)		
	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)					
	(K)	(O-L)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(L)				
合計	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	189	189	189	
農業	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	189	189	189	
畜産業																											
建設業																											
製造業																											
食品・飲料																											
繊維																											
木材																											
家具																											
パルプ・紙																											
印刷																											
化学																											
石油・石炭																											
プラスチック																											
ゴム																											
皮革																											
窯業・土石																											
鉄鋼																											
非鉄金属																											
金属																											
はん用機器																											
生産用機器																											
業務用機器																											
電子部品																											
電気機器																											
情報通信機器																											
輸送機器																											
その他																											
電気・水道業																											
電気業																											
上水道業																											
下水道業																											
運送業																											
卸・小売業																											
サービス業																											
解体・破碎前処理業																											
その他の業種※																											

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
 (注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
 (注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表6-18 発生量及び処理・処分量（ばいじん 業種別）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量			
				自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		自己最終 処分量 (G2)	再生利用量 (G1)	(自己未処理の処理内訳)		搬出量 (H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)		
						自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)		自己最終 処分量 (G3)	委託中間 処理量 (G4)	委託直接 最終処分量 (G5)
合計	331	15	316	70	84	43	41	246	0	245	1	0	329	43	43
農業															
鉱業															
建設業															
製造業	1		1					1		0	1		1		
食品															
飲料・飼料	0		0					0		0	0		0		
繊維	0		0					0		0			0		
木材															
家具															
パルプ・紙	1		1					1		1	1		1		
印刷															
化学															
石油・石炭															
プラスチック															
ゴム															
皮革															
窯業・土石															
鉄鋼															
非鉄金属	0		0					0		0			0		
金属															
はん用機器															
生産用機器															
業務用機器															
電子部品															
電気機器															
情報通信機器															
輸送機器															
その他															
電気・水道業	330	15	315	70	84	43	41	244	0	244	0	0	328	43	43
電気業	330	15	315	70	84	43	41	244	0	244	0	0	328	43	43
上下水道業															
下水道業															
運送業															
卸・小売業															
サービス業															
解体・破碎前処理業															
その他の業種※															

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業・生活関連サービス業・サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業・情報通信業・宿泊業・飲食業・教育・医療・福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。



表6-18 発生量及び処理・処分量（ばいじん 業種別）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量										委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (O) (I+O+M2)	処理主体の内訳		その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量			委託中間処理量			委託中間処理後量			業外	県内	自治体	(M)	(M1)	(M2)	(O)	(O1)	(O2)						
	(K) (O-L)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)													(処理先地域の内訳)			
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者												自治体	県内		
合計	286	1	1	1	286	286	7	279	286	285	0	285	44	43	1	0	301							
農業																								
鉱業																								
建設業																								
製造業	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0							
食品																								
飲料・飼料	0	0	0	0																				
繊維	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
木材																								
家具																								
パルプ・紙	1	1	1	1									1											
印刷																								
化学																								
石油・石炭																								
プラスチック																								
ゴム																								
皮革																								
窯業・土石																								
鉄鋼																								
非鉄金属	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
金属																								
はん用機器																								
生産用機器																								
業務用機器																								
電子部品																								
電気機器																								
情報通信機器																								
輸送機器																								
その他																								
電気・水道業	285				285	285	7	278	285	285	285	285	43	43	0	0	300							
電気業	285				285	285	7	278	285	285	285	285	43	43	0	0	300							
下水道業																								
下水道業																								
運輸業																								
卸・小売業																								
サービス業																								
解体・破碎前処理業																								
その他の業種※																								

(注1) 「サービス業」は、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、サービスマスターサービス業、サービス業の合計値であり、※欄の「その他の業種」は、漁業、情報通信業、宿泊業、飲食業、教育、医療、福祉の合計値である。  
(注2) 本表は千トン表示で四捨五入しているため、合計と一致しないものがある。  
(注3) 「0」表示は、1t以上、500t未満であることを示す。

表7-1 種類別の中間処理・最終処分量(石川県全体)

(単位:t)

	平成21年度			平成22年度			平成23年度			増減(H23-H22)		
	処分量計			処分量計			処分量計			処分量計		
	中間処理	最終処分		中間処理	最終処分		中間処理	最終処分		中間処理	最終処分	
総計	1,807,045	1,698,075	108,971	1,713,298	1,577,753	135,545	1,797,747	1,637,734	160,013	84,449	59,981	24,468
産業廃棄物計	1,784,558	1,675,587	108,971	1,685,099	1,549,554	135,545	1,771,140	1,611,127	160,013	86,041	61,573	24,468
燃え殻	8,339	924	7,415	8,488	866	7,622	9,922	731	9,191	1,434	-135	1,569
汚泥	69,288	59,039	10,248	79,293	66,420	12,873	94,319	71,323	22,996	15,026	4,903	10,123
廃油	22,730	22,730	—	26,322	26,322	—	24,325	24,325	—	-1,997	—	—
廃酸	5,913	5,913	—	6,719	6,719	—	7,317	7,317	—	598	598	—
廃アルカリ	22,967	22,967	—	30,894	30,894	—	24,261	24,261	—	-6,633	-6,633	—
廃プラスチック類	57,588	45,406	12,182	80,942	59,988	20,954	79,792	67,973	11,819	-1,150	7,985	-9,135
紙くず	5,901	5,552	349	5,247	4,674	573	4,524	4,243	281	-723	-431	-292
木くず	68,583	67,297	1,286	73,801	72,598	1,203	94,007	92,316	1,691	20,205	19,717	488
繊維くず	1,383	1,034	349	1,676	1,267	409	2,128	1,696	432	452	429	23
動植物性残さ	3,019	2,905	114	2,903	2,840	63	2,814	2,792	22	-89	-48	-41
動物系固形不要物	266	266	—	253	253	—	210	210	—	-43	-43	—
ゴムくず	77	17	60	47	2	45	202	2	200	155	155	—
金属くず	28,453	25,918	2,535	23,986	21,796	2,190	24,096	22,040	2,056	110	244	-134
方ラス陶磁器くず	43,271	19,525	23,746	45,628	24,330	21,298	50,788	27,339	23,449	5,160	3,009	2,151
鉱さい	2,663	1,913	750	3,182	40	3,142	2,157	86	2,071	-1,025	46	-1,071
かたき類	1,372,862	1,334,860	38,001	1,229,802	1,180,641	49,161	1,272,557	1,207,656	64,901	42,756	27,016	15,740
動物のふん尿	35,389	35,389	—	35,949	35,949	—	35,432	35,432	—	-517	-517	—
動物の死体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ばいじん	7,239	6,766	473	5,903	4,475	1,428	15,113	12,841	2,272	9,210	8,366	844
13号廃棄物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
混合廃棄物	28,629	17,167	11,462	24,065	9,481	14,584	27,176	8,544	18,632	3,111	-937	4,048
特別管理産業廃棄物計	22,487	22,487	—	28,199	28,199	—	26,607	26,607	—	-1,592	-1,592	—
引火性廃油	8,496	8,496	—	8,741	8,741	—	8,155	8,155	—	-586	-586	—
腐食性廃酸	5,133	5,133	—	5,872	5,872	—	6,318	6,318	—	446	446	—
腐食性廃アルカリ	4,458	4,458	—	7,926	7,926	—	6,518	6,518	—	-1,408	-1,408	—
感染性産業廃棄物	2,315	2,315	—	2,956	2,956	—	2,899	2,899	—	-57	-57	—
特定有害鉱さい	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特定有害廃石綿等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特定有害ばいじん	—	—	—	9	9	—	—	—	—	-9	-9	—
特定有害燃え殻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特定有害廃油	154	154	—	273	273	—	318	318	—	45	45	—
特定有害汚泥	99	99	—	81	81	—	64	64	—	-17	-17	—
特定有害廃酸	797	797	—	1,262	1,262	—	1,376	1,376	—	114	114	—
特定有害廃アルカリ	1,036	1,036	—	1,078	1,078	—	959	959	—	-119	-119	—
13号特定有害廃棄物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
混合廃棄物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注1)石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分量の実績を示す。

表7-2 種類別、処理方法別の中間処理量(石川県全体)

(単位:t)

中間処理量 計													
	総計	破碎・切断	中和	選別	堆肥化	焼却	混練	油水分離	圧縮	脱水・乾燥	混合	安定処理	その他
産業廃棄物 計	1,637,734	1,337,802	45,642	51,276	40,145	36,487	15,229	19,370	22,324	14,515	7,377	14,107	33,461
燃え殻	731						731						
汚泥	71,323				3,631	5,004	13,343	109		14,507		14,107	20,622
廃油	24,325					2,649	44	19,144			2,418		70
廃酸	7,317		7,019			298							
廃アルカリ	24,261		23,498			760					3		
廃プラスチック類	67,973	37,318		7,674		9,232	160		13,368				221
紙くず	4,243	946		791		812			1,693				
木くず	92,316	78,869		4,924		8,517	1		5				
繊維くず	1,696	67		341		1,288							
動植物性残さ	2,792				1,082	1,588	81				41		
動物系固形不燃物	210					210							
ゴムくず	2					2							
金属くず	22,040	13,664		3,487		41	35		4,813				
ガラス陶磁器くず	27,339	14,299		12,092		24	64		860				
鉱さい	86						86						
がれき類	1,207,656	1,192,326		15,323			7						
動物のふん尿	35,432				35,432								
動物の死体													12,195
ばいじん	12,841						646						
13号廃棄物													
混合廃棄物	8,544	313		6,644		3			1,584				
特別管理産業廃棄物 計	26,607		15,125			6,058	31	117		8	4,915		353
引火性廃油	8,155					3,176		117			4,862		
腐食性廃酸	6,318		6,286			32							
腐食性廃アルカリ	6,518		6,504			14							
感染性産業廃棄物	2,899					2,546							353
特定有害鉱さい													
特定有害廃石棉等													
特定有害ばいじん													
特定有害燃え殻													
特定有害廃油	318					265					53		
特定有害汚泥	64					25	31			8			
特定有害廃酸	1,376		1,376										
特定有害廃アルカリ	959		959										
13号特定有害廃棄物													
混合廃棄物													

注1)石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績を示す。

表7-3 産業廃棄物の処理状況(種類別、県内地域及び県外からの処分量)(石川県全体)

(単位:t)

	合計	県内→県内		県外→県内	
		金沢市→県内	県所管地域→県内	金沢市→県内	県外→県内
総計	1,797,747	1,620,766	1,054,781	565,985	176,981
産業廃棄物計	1,771,140	1,613,206	1,048,980	564,226	157,934
燃え殻	9,922	6,077	2,845	3,232	3,845
汚泥	94,319	63,544	44,548	18,996	30,775
廃油	24,325	6,217	5,059	1,157	18,108
廃酸	7,317	1,732	1,566	166	5,585
廃アルカリ	24,261	2,187	2,036	151	22,074
廃プラスチック類	79,792	58,539	29,057	29,057	21,253
紙くず	4,524	4,144	2,270	1,874	379
木くず	94,007	92,239	57,421	34,818	1,767
繊維くず	2,128	1,760	936	824	368
動植物性残さ	2,814	2,251	1,589	662	563
動物系固形不要物	210	210	2	208	2
ゴムくず	202	2	2	2	200
金属くず	24,096	22,028	10,816	11,212	2,068
ガラス陶磁器くず	50,788	38,656	17,397	21,259	12,132
鉱さい	2,157	105	105	105	2,052
かれき類	1,272,557	1,254,815	818,877	435,939	17,742
動物のふん尿	35,432	35,432	35,388	44	
動物の死体					
ばいじん	15,113	13,426	12,415	1,011	1,687
13号廃棄物					
混合廃棄物	27,176	9,841	6,651	3,191	17,335
特別管理産業廃棄物計	26,607	7,560	5,801	1,759	19,047
引火性廃油	8,155	2,665	2,548	117	5,490
腐食性廃酸	6,318	1,088	1,071	17	5,230
腐食性廃アルカリ	6,518	915	812	103	5,603
感染性産業廃棄物	2,899	2,606	1,140	1,466	293
特定有害鉱さい					
特定有害廃石綿等					
特定有害ばいじん					
特定有害燃え殻	318	31	29	2	287
特定有害廃油	64	36	27	9	28
特定有害汚泥	1,376	166	130	36	1,210
特定有害廃酸	959	53	44	9	906
特定有害廃アルカリ					
13号特定有害廃棄物					
混合廃棄物					

注1)石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績を示す。

表7-4 産業廃棄物の処理状況(種類別、県内地域及び県外からの中間処理量)(石川県全体)

(単位:t)

	合計	県内→県内		県外→県内	
		金沢市→県内	県所管地域→県内	金沢市→県内	県外→県内
総計	1,637,734	1,524,582	1,014,406	510,176	113,152
産業廃棄物計	1,611,127	1,517,022	1,008,605	508,417	94,105
燃え殻	731	313	298	15	418
汚泥	71,323	53,768	35,727	18,041	17,555
廃油	24,325	6,217	5,059	1,157	18,108
廃酸	7,317	1,732	1,566	166	5,585
廃アルカリ	24,261	2,187	2,036	151	22,074
廃プラスチック類	67,973	54,913	26,925	26,925	13,060
紙くず	4,243	3,955	2,253	1,702	287
木くず	92,316	90,741	56,156	34,585	1,574
繊維くず	1,696	1,650	925	725	46
動物性残渣	2,792	2,250	1,588	662	542
動物系固形不要物	210	210	2	208	2
ゴムくず	2	2	2	2	2
金属くず	22,040	20,403	10,552	9,851	1,637
ガラス陶磁器くず	27,339	26,370	13,866	12,504	969
鉱さい	86	50	50	50	36
かれき類	1,207,656	1,196,594	796,388	400,207	11,062
動物のふん尿	35,432	35,432	35,388	44	44
動物の死体					
ばいじん	12,841	12,622	12,377	245	219
13号廃棄物					
混合廃棄物	8,544	7,612	6,384	1,229	932
特別管理産業廃棄物計	26,607	7,560	5,801	1,759	19,047
引火性廃油	8,155	2,665	2,548	117	5,490
腐食性廃酸	6,318	1,088	1,071	17	5,230
腐食性廃アルカリ	6,518	915	812	103	5,603
感染性産業廃棄物	2,899	2,606	1,140	1,466	293
特定有害鉱さい					
特定有害廃石綿等					
特定有害ばいじん					
特定有害燃え殻					
特定有害廃油	318	31	29	2	287
特定有害汚泥	64	36	27	9	28
特定有害廃酸	1,376	166	130	36	1,210
特定有害廃アルカリ	959	53	44	9	906
13号特定有害廃棄物					
混合廃棄物					

注1)石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績を示す。

表7-5 産業廃棄物の処理状況(種類別、県内地域及び県外からの最終処分量)(石川県全体)

(単位:t)

	合計	県内→県内		県外→県内	
		金沢市→県内	県所管地域→県内	金沢市→県内	県外→県内
総計	160,013	55,809	40,375	55,809	63,829
産業廃棄物計	160,013	55,809	40,375	55,809	63,829
燃え殻	9,191	3,217	2,547	3,217	3,427
汚泥	22,996	955	8,821	955	13,220
廃油					
廃酸					
廃アルカリ					
廃プラスチック類	11,819	2,557	1,069	2,557	8,193
紙くず	281	172	17	172	92
木くず	1,691	233	1,265	233	193
繊維くず	432	99	11	99	322
動植物性残さ	22	1	1	1	21
動物系固形不要物					
ゴムくず	200				200
金属くず	2,056	1,361	264	1,361	431
ガラス陶磁器くず	23,449	8,755	3,531	8,755	11,163
鉱さい	2,071	55	55	55	2,016
がれき類	64,901	35,732	22,489	35,732	6,680
動物のふん尿					
動物の死体					
ばいじん	2,272	766	38	766	1,468
13号廃棄物					
混合廃棄物	18,632	1,962	267	1,962	16,403
特別管理産業廃棄物計					
引火性廃油					
腐食性廃酸					
腐食性廃アルカリ					
感染性産業廃棄物					
特定有害鉱さい					
特定有害廃石綿等					
特定有害ばいじん					
特定有害燃え殻					
特定有害廃油					
特定有害汚泥					
特定有害廃酸					
特定有害廃アルカリ					
13号特定有害廃棄物					
混合廃棄物					

注1)石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績を示す。

表7-6 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の処分量)(石川県全体)(その1)

(単位:t)

	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
総計	176,981				203						472	1,775
産業廃棄物 計	157,934				203						472	1,775
燃え殻	3,845											
汚泥	30,775				129							
廃油	18,108											
廃酸	5,585											
廃アルカリ	22,074				74						86	642
廃プラスチック類	21,253											
紙くず	379											
木くず	1,767											
繊維くず	368											
動植物性残さ	563											
動物系固形不要物												
ゴムくず	200										86	
金属くず	2,068										86	
ガラス陶磁器くず	12,132										214	467
鉱さい	2,052											
かれき類	17,742											
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	1,687											
13号廃棄物												
混合廃棄物	17,335											666
特別管理産業廃棄物 計	19,047											
引火性廃油	5,490											
腐食性廃酸	5,230											
腐食性廃アルカリ	5,603											
感染性産業廃棄物	293											
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油	287											
特定有害汚泥	28											
特定有害廃酸	1,210											
特定有害廃アルカリ	906											
13号特定有害廃棄物												
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-6 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の処分量)(石川県全体)(その2)

(単位:t)

	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
総計	3,039	155	2,995	14,624	47,410	--	35,715	221	10,134	5,248	350	7,997
産業廃棄物 計	3,039	155	2,995	13,932	42,905	--	33,759	221	9,627	5,233	348	7,996
燃え殻				16	489	--	3,011		15	255		45
汚泥	2,907			2,489	12,210	--	9,803		59	20		64
廃油				1,930	5,159	--	2,242		564	10		
廃酸				536	2,657	--	1,253		27	2		
廃アルカリ				1,102	1,781	--	1,374		60	2		
廃プラスチック類	44	15	699	1,312	6,266	--	4,985		2,741	45		1,386
紙くず		8	32	25	144	--	163			6		1
木くず		8	32	8	910	--	792			16		1
繊維くず		15	65	15	233	--	33			6		1
動植物性残さ					462	--	54					
動物系固形不要物						--						
ゴムくず					99	--	15					
金属くず	44	9		9	1,623	--	168		14	5		94
ガラス陶磁器くず	44	100	455	4,775	491	--	1,631		1,710	1,332		25
鉱さい				31		--	309			724		
かれき類				958	9,886	--	5,340		65	1,443	30	20
動物のふん尿						--						
動物の死体				4	430	--	1,249					4
ばいじん						--						
13号廃棄物						--						
混合廃棄物			1,712	722	65	--	1,336	221	4,372	1,367	318	6,355
特別管理産業廃棄物 計				692	4,505	--	1,956		507	15	2	1
引火性廃油				308	2,862	--	1,389		398			
腐食性廃酸				43	874	--	277		30		2	
腐食性廃アルカリ				267	312	--	96		79			
感染性産業廃棄物					103	--	154			15		1
特定有害鉱さい						--						
特定有害廃石綿等						--						
特定有害ばいじん						--						
特定有害燃え殻				20	255	--	12					
特定有害廃油				1	3	--	9					
特定有害汚泥				53	84	--	18					
特定有害廃酸					12	--	1					
特定有害廃アルカリ						--						
13号特定有害廃棄物						--						
混合廃棄物						--						

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。



表7-6 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の処分量)(石川県全体)(その3)

(単位:t)

	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
総計	3,978	33,906	7,899	475	244	18	120					
産業廃棄物 計	3,978	24,199	6,571	428	7	18	73					
燃え殻		14										
汚泥		1,970	1,027	37	7	17	36					
廃油	725	4,806	2,476	159			37					
廃酸		1,061	49									
廃アルカリ	1,208	16,182	221	70								
廃プラスチック類	1,055	5	1,810	162								
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ		47										
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	5	11										
ガラス陶磁器くず	887		988					1				
鉱さい												
かれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物	98	103										
特別管理産業廃棄物 計		9,707	1,328	47	237		47					
引火性廃油		145	311	30			47					
腐食性廃酸		3,998	6									
腐食性廃アルカリ		4,838	11									
感染性産業廃棄物		3		17								
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油												
特定有害汚泥			12									
特定有害廃酸		715	103									
特定有害廃アルカリ		8	885									
13号特定有害廃棄物												
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-6 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の処分量)(石川県全体)(その4)

(単位:t)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
総計	3											
産業廃棄物 計												
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類												
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず												
ガラス陶磁器くず												
鉱さい												
かれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物												
特別管理産業廃棄物 計	3											
引火性廃油												
腐食性廃酸												
腐食性廃アルカリ												
感染性産業廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油												
特定有害汚泥	3											
特定有害廃酸												
特定有害廃アルカリ												
13号特定有害廃棄物												
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-7 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の中間処理量)(石川県全体)(その1)

(単位:t)

	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
総計	113,152				203							
産業廃棄物 計	94,105				203							
燃え殻	418											
汚泥	17,555				129							
廃油	18,108											
廃酸	5,585											
廃アルカリ	22,074				74							
廃プラスチック類	13,060											
紙くず	287											
木くず	1,574											
繊維くず	46											
動植物性残さ	542											
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	1,637											
ガラス陶磁器くず	969											
鉱さい	36											
かれき類	11,062											
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	219											
13号廃棄物												
混合廃棄物	932											
特別管理産業廃棄物 計	19,047											
引火性廃油	5,490											
腐食性廃酸	5,230											
腐食性廃アルカリ	5,603											
感染性産業廃棄物	293											
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油	287											
特定有害汚泥	28											
特定有害廃酸	1,210											
特定有害廃アルカリ	906											
13号特定有害廃棄物												
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-7 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の中間処理量)(石川県全体)(その2)

(単位:t)

	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
総計		2		7,939	38,211	--	21,215		3,571	89	2	150
産業廃棄物 計		2		7,247	33,706	--	19,259		3,064	74		149
燃え殻					329	--	75					
汚泥				2,489	5,691	--	6,074		59	19		
廃油				1,930	5,159	--	2,242		564	10		
廃酸				536	2,657	--	1,253		27	2		
廃アルカリ				1,102	1,781	--	1,374		60	2		
廃プラスチック類				956	5,400	--	4,232		2,135	39		57
紙くず				10	118	--	159					
木くず					790	--	784					
繊維くず					44	--	2					
動植物性残さ					441	--	54					
動物系固形不要物						--						
ゴムくず						--						
金属くず				1	1,378	--	141		14			92
ガラス陶磁器くず		2		183	157	--	465		160	2		
鉱さい						--	36					
かれき類					9,696	--	1,366					
動物のふん尿						--						
動物の死体						--						
ばいじん						--	219					
13号廃棄物						--						
混合廃棄物				40	65	--	782		45			
特別管理産業廃棄物 計				692	4,505	--	1,956		507	15	2	1
引火性廃油				308	2,862	--	1,389		398			
腐食性廃酸				43	874	--	277		30		2	
腐食性廃アルカリ				267	312	--	96		79			
感染性産業廃棄物					103	--	154			15		1
特定有害鉱さい						--						
特定有害廃石綿等						--						
特定有害ばいじん						--						
特定有害燃え殻						--						
特定有害廃油				20	255	--	12					
特定有害汚泥				1	3	--	9					
特定有害廃酸				53	84	--	18					
特定有害廃アルカリ					12	--	1					
13号特定有害廃棄物						--						
混合廃棄物						--						

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-7 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の中間処理量)(石川県全体)(その3)

(単位:t)

	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
総計	1,933	33,803	5,175	475	244	17	120					
産業廃棄物 計	1,933	24,096	3,847	428	7	17	73					
燃え殻		14										
汚泥		1,970	1,027	37	7	17	36					
廃油	725	4,806	2,476	159			37					
廃酸		1,061	49									
廃アルカリ	1,208	16,182	221	70								
廃プラスチック類		5	74	162								
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ		47										
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず		11										
ガラス陶磁器くず												
鉱さい												
かれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物												
特別管理産業廃棄物 計		9,707	1,328	47	237		47					
引火性廃油		145	311	30			47					
腐食性廃酸		3,998	6									
腐食性廃アルカリ		4,838	11									
感染性産業廃棄物		3		17								
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油			12									
特定有害汚泥		715	103									
特定有害廃酸		8	885									
特定有害廃アルカリ												
13号特定有害廃棄物												
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-7 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の中間処理量)(石川県全体)(その4)

(単位:t)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
総計	3											
産業廃棄物 計												
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類												
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず												
ガラス陶磁器くず												
鉱さい												
かれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物												
特別管理産業廃棄物 計	3											
引火性廃油												
腐食性廃酸												
腐食性廃アルカリ												
感染性産業廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油												
特定有害汚泥												
特定有害廃酸												
特定有害廃アルカリ												
13号特定有害廃棄物	3											
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-8 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の最終処分量)(石川県全体)(その1)

(単位:t)

	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
総計	63,829										472	1,775
産業廃棄物 計	63,829										472	1,775
燃え殻	3,427											
汚泥	13,220											
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	8,193										86	642
紙くず	92											
木くず	193											
繊維くず	322											
動植物性残さ	21											
動物系固形不要物												
ゴムくず	200										86	
金属くず	431										86	
ガラス陶磁器くず	11,163										214	467
鉱さい	2,016											
かれき類	6,680											
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	1,468											
13号廃棄物												
混合廃棄物	16,403											666
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油												
腐食性廃酸												
腐食性廃アルカリ												
感染性産業廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油												
特定有害汚泥												
特定有害廃酸												
特定有害廃アルカリ												
13号特定有害廃棄物												
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-8 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の最終処分量)(石川県全体)(その2)

(単位:t)

	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
総計	3,039	153	2,995	6,685	9,199	--	14,500	221	6,563	5,159	348	7,847
産業廃棄物 計	3,039	153	2,995	6,685	9,199	--	14,500	221	6,563	5,159	348	7,847
燃え殻				16	160	--	2,936		15	255		45
汚泥	2,907				6,519	--	3,729			1		64
廃油						--						
廃酸						--						
廃アルカリ						--						
廃プラスチック類	44	15	699	356	866	--	753		606	6		1,329
紙くず		8	32	15	26	--	4			6		1
木くず		8	32	8	120	--	8			16		1
繊維くず		15	65	15	189	--	31			6		1
動植物性残さ					21	--						
動物系固形不要物						--						
ゴムくず					99	--	15					
金属くず	44	9		8	245	--	27			5		2
ガラス陶磁器くず	44	98	455	4,592	334	--	1,166		1,550	1,330		25
鉱さい				31		--	273			724		
かれき類				958	190	--	3,974			1,443		20
動物のふん尿						--						
動物の死体						--						
ばいじん				4	430	--	1,030					4
13号廃棄物						--						
混合廃棄物			1,712	682		--	554	221	4,327	1,367	318	6,355
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油						--						
腐食性廃酸						--						
腐食性廃アルカリ						--						
感染性産業廃棄物						--						
特定有害鉱さい						--						
特定有害廃石綿等						--						
特定有害ばいじん						--						
特定有害燃え殻						--						
特定有害廃油						--						
特定有害汚泥						--						
特定有害廃酸						--						
特定有害廃アルカリ						--						
13号特定有害廃棄物						--						
混合廃棄物						--						

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。



表7-8 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の最終処分量)(石川県全体)(その3)

(単位:t)

	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
総計	2,045	103	2,724			1						
産業廃棄物 計	2,045	103	2,724			1						
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	1,055		1,736									
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	5											
ガラス陶磁器くず	887		988			1						
鉱さい												
かれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物	98	103										
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油												
腐食性廃酸												
腐食性廃アルカリ												
感染性産業廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油												
特定有害汚泥												
特定有害廃酸												
特定有害廃アルカリ												
13号特定有害廃棄物												
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

表7-8 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の最終処分量)(石川県全体)(その4)

(単位:t)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
総計												
産業廃棄物 計												
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類												
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず												
ガラス陶磁器くず												
鉱さい												
かれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物												
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油												
腐食性廃酸												
腐食性廃アルカリ												
感染性産業廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油												
特定有害汚泥												
特定有害廃酸												
特定有害廃アルカリ												
13号特定有害廃棄物												
混合廃棄物												

注1) 石川県知事許可及び金沢市長許可に係る処分業者の実績のみを示す。

# 調 査 票 一 式

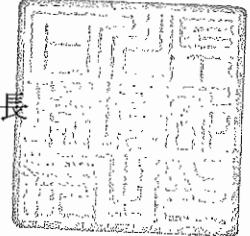


廃対第4501号

平成24年11月1日

調査対象事業者 各位

石川県環境部長



廃棄物排出量実態調査について（依頼）

日頃から、廃棄物の適正処理につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の廃棄物処理を取り巻く状況は、各種リサイクル法の整備による循環型社会への転換、廃棄物処理法の改正による規制強化等大きく変化しております。

このため、県では、廃棄物の排出、処理等の現状を的確に把握し、廃棄物に関する施策等の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施することとし、その業務を一般財団法人日本環境衛生センターに委託することとしました。

つきましては、誠に勝手ながらその調査対象に貴事業所を選定させていただきましたので、ご多忙の折り恐縮ではありますが、本調査の趣旨をご理解いただき、別紙記入要領に基づいて調査票にご記入の上、同封の返信用封筒により、平成24年11月30日（金）までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容につきましては、会社名や個人名を公表したり、この調査の目的以外に利用することはありませんので、念のため申し添えます。

また、記入方法等にご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

調査票は、以下の（一財）日本環境衛生センターのホームページからダウンロードすることも可能です。

調査機関 一般財団法人日本環境衛生センター環境工学部調査課 寺内  
〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町 11-15  
TEL: (044) 287-3280  
<http://www.jesc.or.jp/info/hik/download.html>

調査主体 石川県環境部廃棄物対策課審査グループ 内川  
〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地  
TEL: (076) 225-1472

# 産業廃棄物実態調査票(平成23年度実績)【その1】

調査票番号

右記の<記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい

事業所の概要		(業種)	
事業所名	事業内容	事業所の形態	
所在地	記入者 (部署、氏名)	貴事業所の形態に対する番号に○を付けて下さい。	
代表者(事業所長)氏名	電話番号	1. 工場・作業所・鉱業所 2. 開発研究所 3. 事務所 4. その他( )	
記入年月日	製造品出荷額等(製造業のみ記入)	事業所の形態	
平成 年 月 日	平成23年4月1日～平成24年3月31日現在の製造品出荷額等(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。	事業所の形態	
	千 百 十 千 百 十 千 百 十 万 円 / 年	事業所の形態	
	億 千 百 十 千 百 十 万 円 / 年	事業所の形態	
	人	事業所の形態	



平成23年度の1年間に廃棄物等は発生しましたか。該当する番号に○を付けて下さい。  
※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。

1. 発生した。 2. 発生しなかった。

次へ

上記の「事業所の概要」を記入し、ご返送下さい。

平成23年度に事業所から発生した廃棄物等は平成22年度と比較して、どの様に変化しましたか。該当する番号に○を付けて下さい。

1. 大きく増加した。 2. やや増加した。 3. 変化していない。  
4. やや減少した。 5. 大きく減少した。 6. その他・不明。

上記で1又は5と回答された方は、その理由をご記入下さい

貴事業所から発生した廃棄物を事業所内で焼却していますか。該当する番号に○をつけて下さい。

1. 焼却している(熱利用していない) 2. 焼却している(熱利用している) 0. 焼却していない

貴事業所から発生した産業廃棄物等(汚泥)を事業所で脱水していますか。該当する番号に○をつけて下さい。

1. 脱水している 0. 脱水していない

裏面の調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について記入してください。

裏面へ

## <記入注意事項>

1. 全般的事項
  - 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物、特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物が対象となります。
  - 本調査の対象期間は平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)です。
  - 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答え下さい。そのため、貴事業所以外に貴社の本社、工場等があってもそれは調査の対象となりません。
  - 調査票(その2)に貴事業所から発生する廃棄物等の状況について、記入して下さい。
  - 廃棄物等が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票(その1)の「事業所の概要」欄をご回答の上、ご返送下さい。
  - 調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。  
<https://www.jesc.or.jp/info/hik/download.html>
2. 調査票(その1)
  - 従業員数は平成24年3月31日現在としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の従業員数を記入して下さい。
  - 製造品出荷額等とは、「製造品出荷額」、「加工費収入額」、「修理料収入額」、「製造工程から出たくず及び廃物」の出荷額と「その他の収入額」の合計で、消費税等の国内消費税を含んだ額です。ただし、調査票が送付された事業所の形態が本社事務のみ、事務所、営業所、配送センター及び販売所等であって、実際に製造、加工及び修理等を行っていない場合は、「ゼロ」を記入して下さい。
  - 製造品出荷額等は、平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の金額を記入してください。
3. 調査票(その2・裏面)
  - 自ら再生利用したもの、他者に売却したもの、無償で引渡しているものも対象となります。
  - 一般廃棄物は、記入不要です。
  - 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい。
  - 同じ廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。
  - 発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。

# 産業廃棄物実態調査票(平成23年度実績)【その2】

形式1

- 別紙、「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入して下さい。
- 「自社で発生した副産物・産業廃棄物、有償・無償引渡物」全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。

**①事業所で発生した廃棄物の名称**  
 事業所で白紙使用している名称で記入して下さい。(別紙、「廃棄物分類表」に示した具体例を参照)  
 同じ種類の廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。

**②廃棄物の分類番号**  
 別紙、「廃棄物分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。

**③年間の発生量(中間処理する前の量)**  
 各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

**④自社での中間処理方法**  
 自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

**⑤中間処理後の量**  
 中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

**⑥処理・処分方法**  
 再生(自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物)した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

**⑦処理・処分先又は再生利用先の名称等**  
 処理・処分(⑥に該当する)等を行った先の名称を記入して下さい。

**⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地**  
 処理・処分(⑦に該当する)等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

**⑨委託中間処理の方法**  
 ⑥の「処理・処分方法」で「U」に回答された場合(中間処理を委託)は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

**⑩委託中間処理後の再生利用・処分方法**  
 委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んで下さい。

1. 再生利用・リサイクルしている。
2. 埋立処分している。

**⑪資源化の用途**  
 ⑥の「処理・処分方法」で「V1, V2, W1, X1, R6」又は前欄⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

区分 F2	行番	①廃棄物の名称			②分類番号			③年間の発生量			④中間処理方法			⑤処理・処分方法			⑥処理・処分先又は再生利用先の名称			⑦処理・処分先又は再生利用先の所在地			⑧委託中間処理			⑨資源化用途			
		自社で発生した副産物等の発生量			④方法番号			⑤方法番号			⑥方法番号			⑦方法番号			⑧方法番号			⑨方法番号			⑩方法番号						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3

自社での中間処理														
④方法番号	⑤方法番号	⑥方法番号	⑦方法番号	⑧方法番号	⑨方法番号	⑩方法番号	⑪方法番号	⑫方法番号	⑬方法番号	⑭方法番号	⑮方法番号	⑯方法番号	⑰方法番号	⑱方法番号
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

区分 F2	行番	①廃棄物の名称			②分類番号			③年間の発生量			④中間処理方法			⑤処理・処分方法			⑥処理・処分先又は再生利用先の名称			⑦処理・処分先又は再生利用先の所在地			⑧委託中間処理			⑨資源化用途			
		自社で発生した副産物等の発生量			④方法番号			⑤方法番号			⑥方法番号			⑦方法番号			⑧方法番号			⑨方法番号			⑩方法番号						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3

- ④中間処理方法コード表**
- A: 焼却
  - B: 脱水
  - C: 天日乾燥
  - D: 有機乾燥
  - E: 油水分離
  - F: 中和
  - G: 破砕
  - H: 分級
  - I: 圧縮
  - J: 溶融
  - K: 切斷
  - L: 焼成
  - M: 堆肥化(発酵)
  - N: 菌回収
  - O: カカド固型化
  - P: 乾熱還元
  - Q: 煮沸
  - R: オリーブ
  - S: 薬物消費
  - T: 金属回収
  - U: 非鉄金属回収
  - V: 濃縮
  - W: 油化
  - X: 粘度調整・混合
  - Y: 分別・選別
  - Z: その他
- (真体別に記入して下さい)

- ⑥処理・処分方法コード表**
- V1: 自社で再利用した。
  - V2: 焼却(または焼成)して処分した。
  - Z1: 自社で保蔵している。
  - Q1: 自社の処分場へ埋立処分した。
  - U1: 処理業者へ委託した。
  - X1: 処理業者へ委託した。
  - S1: 処理業者で直接埋立処分した。

- ⑧委託中間処理方法コード表**
- J: 溶融
  - K: 切斷
  - L: 焼成
  - M: 堆肥化(発酵)
  - N: 菌回収
  - O: カカド固型化
  - P: 乾熱還元
  - Q: 煮沸
  - R: オリーブ
  - S: 薬物消費
  - T: 金属回収
  - U: 非鉄金属回収
  - V: 濃縮
  - W: 油化
  - X: 粘度調整・混合
  - Y: 分別・選別
  - Z: その他
- (真体別に記入して下さい)

- ⑨委託中間処理方法コード表**
- J: 溶融
  - K: 切斷
  - L: 焼成
  - M: 堆肥化(発酵)
  - N: 菌回収
  - O: カカド固型化
  - P: 乾熱還元
  - Q: 煮沸
  - R: オリーブ
  - S: 薬物消費
  - T: 金属回収
  - U: 非鉄金属回収
  - V: 濃縮
  - W: 油化
  - X: 粘度調整・混合
  - Y: 分別・選別
  - Z: その他
- (真体別に記入して下さい)

- ⑩資源化用途コード表**
- 10: 鉄鋼原料
  - 20: 非鉄金属等原料
  - 30: 燃料
  - 31: 木炭
  - 41: 飼料
  - 42: 肥料・堆肥
  - 50: 土壌改良材
  - 51: 再生木材・合板
  - 60: ハルブ・紙原料
  - 70: ガラス原料
  - 80: フラスアップ原料
  - 90: ゼメックス原料
  - 91: 再生油・再生溶剤
  - 92: 中和剤
  - 93: 高炉還元剤・コークス炉化学原料
  - 98: その他
- (⑩の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい)

# 産業廃棄物実態調査票(平成23年度実績)【その1】

調査票番号	
-------	--

右記の<記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい

事業所名			
所在地			
代表者(事業所長)氏名	記入者 (御姓、氏名)		
記入年月日	平成	年	月 日
	-	-	-

県内元請工事の有無  
貴社が元請施工者として請負い平成23年度に完成した県内の工事はありますか(出来高工事を含む)。該当する番号に○を付けて下さい。

1. 元請工事あり  次へ

2. 元請工事なし  次へ

上記の「事業所の概要」を記入し、ご返送下さい。

元請完成工事高 (平成23年度、消費税を含む)			
貴社が元請施工者として請負い平成23年度に完成した県内工事の年間元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。			
千	百	十	万
億	億	億	万
円	円	円	円
			万円/年

※共同企業体(JV)による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入して下さい。

平成23年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。該当する番号に○を付けて下さい。  
※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。

1. 発生した。  次へ

2. 発生しなかった。  次へ

上記の「事業所の概要」「工事実績」を記入し、ご返送下さい。

裏面の調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

## <記入注意事項>

### 1. 全般的事項

- 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物・特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物が対象となります。
- 本調査の対象期間は平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)です。
- 調査票(その2)には、貴社が石川県で施工した全ての元請工事(出来高工事含む)から発生する産業廃棄物、副産物について記入してください。共同企業体(JV)による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物を一括記入して下さい。

○調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。  
<http://www.jesc.or.jp/info/hik/download.html>

### 2. 調査票(その1)

○元請完成工事高は、平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入してください。

### 3. 調査票(その2・裏面)

- 自ら再生利用したもの、他者に売却したものの、無償で引渡しているものも対象となります。
- 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい。
- 同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。
- 発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。



# 産業廃棄物実態調査票(平成23年度実績)【その2】

- 別紙、「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入して下さい。
- 自社で発生した副産物・産業廃棄物、有償・無償引渡物、全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。

**①事業所で発生した廃棄物の名称**  
 興事業所で白粉使用している名称で記入して下さい。(別紙、「廃棄物分類表」に示した具体例を参照)  
 同じ種類の廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。

**②廃棄物の分類番号**  
 別紙、「廃棄物分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。

**③年間の発生量(中間処理する前の量)**  
 各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

**④自社での中間処理方法**  
 自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

**⑤中間処理後の量**  
 中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

**⑥処理・処分方法**  
 再生(自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物)した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

**⑦処理・処分先又は再生利用先の名称等**  
 処理・処分(○に該当する)等を行った先の名称を記入して下さい。

**⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地**  
 処理・処分(○に該当する)等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

**⑨委託中間処理の方法**  
 ⑥の「処理・処分方法」で「U」に回答された場合(中間処理を委託)は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

**⑩委託中間処理後の再生利用・処分方法**  
 委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んで下さい。

- 再生利用・リサイクルしている。
- 埋立処分している。

**⑪資源化の用途**  
 ⑥の「処理・処分方法」で「V1, V2, W1, X1, R6」又は前欄 ⑩で「1」を回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

区分 F2	行番	①廃棄物の名称				②分類番号				③年間の発生量				④中間処理								
		自社で発生した廃棄物等の発生量				⑤方法番号				⑥処理・処分方法				⑦処理・処分先又は再生利用先の名称				⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地				
		百	十	千	万	百	十	千	万	百	十	千	万	⑧方法番号	1次	2次	3次	⑩資源化用途	⑪資源化用途			
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	⑧方法番号	1次	2次	3次	⑩資源化用途	⑪資源化用途			
1		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
2	記	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
3		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
4		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
5	入	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
6		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
7		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
8	欄	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
9		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
10		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
11		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
12		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
13		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
14		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									
15		kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t	kg	t	m <sup>3</sup>	t									

④処理・処分方法コード表													
＜自己処理＞													
＜市町村・一部事務組合へ委託処理(み収集を含む)＞													
＜その他＞													
R 1 : 市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。													
R 5 : 市町村等が設置する焼却場へ搬入した。													
R 6 : 市町村等が設置するリサイクル施設に搬入した。													
Z 9 : その他													
[ 具体例に ]													

⑤委託中間処理方法コード表													
＜市町村・一部事務組合へ委託処理(み収集を含む)＞													
＜その他＞													
R 1 : 市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。													
R 5 : 市町村等が設置する焼却場へ搬入した。													
R 6 : 市町村等が設置するリサイクル施設に搬入した。													
Z 9 : その他													
[ 具体例に ]													

**④中間処理方法コード表**

A: 焼却 J: 溶融 R: オリーブ  
 B: 脱水 K: 切削 S: 乗物消費  
 C: 天日乾燥 L: 焼成 T: 金属回収  
 D: 機械乾燥 M: 堆肥化(発酵) U: 非鉄金属回収  
 E: 油水分離 N: 銅回収 V: 濃縮  
 F: 中和 O: カラート固型化 W: 油化  
 G: 破砕 P: 乾熱処理 X: 粒度調整・混合  
 H: 分級 Q: 蒸餾 Y: 分別・選別  
 I: 圧縮 Z: その他

⑩の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

**⑥処理・処分方法コード表**

U: 委託中間処理  
 V1: 自社で再利用した。  
 V2: 焼却(または焼成)した。  
 W1: 蒸却(または蒸留)した。  
 Q1: 自社の処分場で埋立処分した。

⑩の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

**⑨委託中間処理方法コード表**

J: 溶融 R: オリーブ  
 K: 切削 S: 乗物消費  
 L: 焼成 T: 金属回収  
 M: 堆肥化(発酵) U: 非鉄金属回収  
 N: 銅回収 V: 濃縮  
 O: カラート固型化 W: 油化  
 P: 乾熱処理 X: 粒度調整・混合  
 Q: 蒸餾 Y: 分別・選別  
 Z: その他

⑩の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

**⑪資源化用途コード表**

10: 鉄鋼原料  
 20: 非鉄金属等原料  
 30: 燃料  
 41: 飼料  
 42: 肥料・堆肥  
 50: 土木・建設資材  
 60: ハルブ・紙原料

70: ガラス原料  
 80: フラスアップ原料  
 90: セメント原料  
 91: 再生油・再生溶剤  
 92: 中和剤  
 93: 高炉還元剤  
 98: その他

⑩の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

石川県  
医療機関

# 産業廃棄物実態調査票(平成23年度実績)【その1】

調査票番号

右記の<記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい

事業所名		事業内容	
所在地		診療科目	
代表者(事業所長)氏名	記入者(部署、氏名)	病床数	
記入年月日	電話番号	- -	
従業員数		- -	
事業所の概要		事業所の平成24年3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。	
人		床	



平成23年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたが、該当する番号に○を付けて下さい。  
※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。

1. 発生した。      2. 発生しなかった。



上記の「事業所の概要」を記入し、ご返送下さい。



## <記入注意事項>

1. 全般的事項
  - 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物、特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物)、有償あるいは無償で引渡ししている副産物が対象となります。
  - 本調査の対象期間は平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)です。
  - 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答え下さい。そのため、貴事業所以外に関連施設等があっても、それは調査の対象となりません。
  - 調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について、記入して下さい。
  - 産業廃棄物等が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票(その1)の「事業所の概要」欄をご回答の上、ご返送下さい。
  - 調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。  
<https://www.jesc.or.jp/info/hhk/download.html>
2. 調査票(その1)
  - 従業員数、病床数は平成24年3月31日現在としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の従業員数、病床数を記入して下さい。
3. 調査票(その2・裏面)
  - 自ら再生利用したもの、他者に売却したもの、無償で引渡しているものも対象となります。
  - 一般廃棄物は、記入不要です。
  - 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい。
  - 同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。
  - 発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。

裏面の調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

裏面へ



産業廃棄物処理実績調査票（その1）

形式7

調査票番号

事業所名	金沢市から許可を受けている事業内容に○を付けてください。			
所在地	1. 収集運搬 2. 中間処理 3. 最終処分			
施設所在地	平成23年度の処理実績について○を付けてください(金沢市内の施設)			
代表者氏名	記入者 <small>サイン</small> (部署、氏名)	記入者 (サイン)	電話番号	1. 実績あり 2. 実績なし
記入年月日	平成	年	月	日

1. 本調査の対象期間は平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の1年間です。
2. 貴事業所が金沢市内に保有する施設で中間処理、最終処分した産業廃棄物・特別管理産業廃棄物についてご記入ください。
3. 処分を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。
4. 調査の対象期間中に産業廃棄物を何も委託しなかった場合は、上記の「事業所の概要」を記入して返送して下さい。
5. 調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。  
<http://www.jesc.or.jp/info/hik/download.html>
6. 石川県及び金沢市の両方から許可を受けている事業所につきましては、金沢市内の施設で中間処理、最終処分した産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の実績についてのみご記入ください。

○廃棄物の量は、トンで記入してください。容量 (m<sup>3</sup>やリットル) で把握しているときは、下記の参考表又は実測値等によりトンに換算してください。

<参考>

廃棄物の種類	換算比重 (t/m <sup>3</sup> )	廃棄物の種類	換算比重 (t/m <sup>3</sup> )
燃え殻	1.14	木くず	0.55
汚泥	1.10	繊維くず	0.12
廃油	0.90	ゴムくず	0.52
廃酸	1.25	金属くず	1.13
廃アルカリ	1.13	紙くず	1.93
廃プラスチック類	0.35	がれき類	1.48
紙くず	0.30	ばいじん	1.26

感染性廃棄物の専用容器1リットル当たり	0.0003
---------------------	--------

金沢市：産業廃棄物処分業

### 産業廃棄物処理実績調査票（その2）

○下記記入例を参考に、平成23年度に貴処理施設で受託処理した産業廃棄物・特別管理産業廃棄物について、都道府県ごと・廃棄物の種類ごとの処分状況を記入してください。

【記入例】

	排出地域 (都道府県)	産業廃棄物・特別管理産業 廃棄物の種類	処分方法	処理量 (トン換算)
1	金沢市	汚泥	脱水	7 5 0
2	県内(金沢市以外)	がれき類	破砕	2 5 2 0
3	福井県	廃プラスチック類	埋立	2 2 3
4	富山県	引火性廃油(特管)	焼却	1 3 6

※排出地域は、排出事業者の本社・事務所の所在地ではなく、廃棄物が実際に排出された所在地の都道府県を記入してください。

※排出地域が石川県内の場合は、金沢市と県内（金沢市以外）と区分して記入してください。

【記入欄】

	排出地域 (都道府県)	産業廃棄物・特別管理産業 廃棄物の種類	処分方法	処理量 (トン換算)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

【記入欄】 記入欄が足りない場合は、コピーして使用してください。

	排出地域 (都道府県)	産業廃棄物・特別管理産業 廃棄物の種類	処分方法	処理量 (トン換算)
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				

※排出地域は、排出事業者の本社・事務所の所在地ではなく、廃棄物が実際に排出された所在地の都道府県を記入してください。

※排出地域が石川県内の場合は、金沢市と県内（金沢市以外）と区分して記入してください。

# 産業廃棄物処理実績調査票（その3）

形式7

○下記記入例を参考に、平成23年度に貴処理施設で受託処理した産業廃棄物・特別管理産業廃棄物について、処理施設の種類ごとの処分状況を記入してください。

【記入例】

処理施設の種類	廃棄物の種類	年間処理量 (トン換算)	処理後の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物						
			種類	排出量 (トン換算)	委託先地域 (都道府県)	処理方法	委託量 (トン換算)		
1 破砕施設	がれき類	3 5 2 2		3 5 1 7	再生合材として商品化(自社)				
				5	金沢市	埋立		5	
2 焼却施設	廃プラスチック	4 2 4	燃え殻	3 8	富山県	埋立		3 0	
	木くず	2 3 1					県内(金沢市以外)	埋立	
3 埋立処分場	がれき類	1 8 3	埋立処分(自社)						
	廃プラスチック	3 1 6							
4 溶融施設	シュレッダーダスト	5 2 0	スラグ	3 6	土木資材として商品化(自社)				
	汚泥	2 1 7							
	廃プラスチック	8 8							
5 脱水施設	汚泥	1 2 5 0	汚泥	7 2 2	福井県	固化処理		7 2 2	

※委託先地域は、委託処理業者の本社・事務所の所在地ではなく、廃棄物が実際に処理された所在地の都道府県を記入してください。  
 ※委託先地域が石川県内の場合は、金沢市と県内（金沢市以外）と区分して記入してください。

【記入欄】

記入欄が足りない場合は、コピーして使用してください。

処理施設の種類	廃棄物の種類	年間処理量 (トン換算)	処理後の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物					
			種類	排出量 (トン換算)	委託先地域 (都道府県)	処理方法	委託量 (トン換算)	
1								
2								
3								
4								
5								

※委託先地域は、委託処理業者の本社・事務所の所在地ではなく、廃棄物が実際に処理された所在地の都道府県を記入してください。  
 ※委託先地域が石川県内の場合は、金沢市と県内（金沢市以外）と区分して記入してください。







# <調査票の記入要領・記入例>

形式 2

## 調査対象期間

- この調査対象期間は、平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の1年間です。この期間中の廃棄物等の発生と処理・処分の状況を質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

## 調査対象とする事業所と廃棄物

- この調査では、**廃材で加工した廃棄物等**から発生した廃棄物等だけが記入の対象となります。
- 廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「**廃棄物分類表**」を掲げておられますので参考にして下さい。

## 発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「**焼却**」、「**脱水**」等の処理を行う前の「**名称**」と「**数量**」をお答え下さい。
- 自社で焼却している場合**、発生した廃棄物は「**焼却前のもの**」です。（記入例Cを参考にして下さい）  
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合は「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」、**燃やす前の名称**とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。
- 自社で脱水している場合**の発生した廃棄物は「**脱水前のもの**」です。（記入例Eを参考にして下さい）  
汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。

## 調査票(その2)の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考にしてください。

本紙の裏面の「**廃棄物分類表**」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず○をつけて下さい。

区分	F 行	2 書	① 廃棄物の名称	② 分類番号	③ 年間発生量				単位
					百	十	千	万	
記入例：A			1 鉄筋くず	1 2 1 0					kg
記入例：B			2 木くず	0 8 0 1					m <sup>3</sup>
記入例：C			3 廃プラスチック	0 6 1 0					m <sup>3</sup>
記入例：D			4 廃プラスチック	0 6 1 0					kg
記入例：E			入 5 ベントナイト汚泥	0 2 2 2					m <sup>3</sup>
記入例：F			6 コンクリートのがれき	1 5 1 0					m <sup>3</sup>
			7						kg
			8						m <sup>3</sup>

## 記入例：A

- 工事現場から鉄筋くずが年間9 t発生したが、すべて、金沢市の樹△産業に売却した。
- 相手先では、鉄鋼材として再生利用している。

## 記入例：B

- 工事現場から建設くずが年間に2 t車で30 t発生したが、すべて満杯発生した。
- 1 t当たりの重量が1 t程度であるため、重量に換算すると、30 tである。
- これは、羽咋市にある○○商店に料金を払って処理を委託した。
- 相手先では、破砕チップ化し、燃料として再生利用している。

## 記入例：C

- 工事現場から廃プラスチックが年間10 t発生した。
- すべて自社の焼却炉で焼却した。その灰の量は年間1 t程度であり、志賀町にある樹×○の処分場で埋立処分した。

## 記入例：D

- 工事現場から廃プラスチックが年間5 m<sup>3</sup>発生した。
- これは、珠洲市にある樹×○の処分場に委託した。
- 委託先では焼却処理し埋立処分している。

## 記入例：E

- 工事現場からベントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水した。
- 脱水後の汚泥量は、100 t（含水率70%）であった。
- 脱水前の量は、計量していないので正確ではないが、脱水前の含水率が95%であるため計算すると600 tとなる。
- 処理後の汚泥は、樹×○に運輸を委託し、岐阜県飛騨市に管理型処分地を保有する樹×○で埋立処分した。
- 計算式 100 t × (100 - 70) ÷ (100 - 95) = 600 t

## 記入例：F

- 工事現場からコンクリートのがれき等が10 tダンブで12台発生した。重量に換算すると120 t程度である。
- これは、川北町に破砕プラントを保有する樹×○に中間処理を委託した。△△樹では破砕後、骨材として再生利用している。

## 記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

## ④ 処理・処分方法コード表

- ＜自己処理＞
- A：焼却
- B：脱水
- C：天日乾燥
- D：機械乾燥
- E：中乾
- F：中乾
- G：焼却
- H：分級
- I：分級
- J：選別
- K：切断
- L：溶融（セメント原料用）
- M：溶融（その他）
- N：溶融（その他）
- O：リサイクル型処理
- P：乾燥機
- Q：乾燥機
- R：乾燥機
- S：乾燥機
- T：乾燥機
- U：乾燥機
- V：乾燥機
- W：油化
- X：知照開示・埋立
- Y：その他
- Z：その他

## ⑤ 中間処理方法コード表

- ＜自己処理＞
- A：焼却
- B：脱水
- C：天日乾燥
- D：機械乾燥
- E：中乾
- F：中乾
- G：焼却
- H：分級
- I：分級
- J：選別
- K：切断
- L：溶融（セメント原料用）
- M：溶融（その他）
- N：溶融（その他）
- O：リサイクル型処理
- P：乾燥機
- Q：乾燥機
- R：乾燥機
- S：乾燥機
- T：乾燥機
- U：乾燥機
- V：乾燥機
- W：油化
- X：知照開示・埋立
- Y：その他
- Z：その他

## ⑥ 委託・処分方法コード表

- ① 液漏化用途コード表
- 10：鉄屑原料
- 20：鉄屑原料
- 30：鉄屑
- 31：鉄屑
- 41：鉄屑
- 42：鉄屑
- 43：鉄屑
- 51：再生木材
- 60：パルプ、紙原料
- 70：ガラス原料
- 80：ガラス原料
- 81：再生木材
- 90：パルプ、紙原料
- 91：再生木材
- 92：パルプ、紙原料
- 93：再生木材
- 98：その他

## ⑦ 液漏化用途コード表

- ① 液漏化用途コード表
- 10：鉄屑原料
- 20：鉄屑原料
- 30：鉄屑
- 31：鉄屑
- 41：鉄屑
- 42：鉄屑
- 43：鉄屑
- 51：再生木材
- 60：パルプ、紙原料
- 70：ガラス原料
- 80：ガラス原料
- 81：再生木材
- 90：パルプ、紙原料
- 91：再生木材
- 92：パルプ、紙原料
- 93：再生木材
- 98：その他

## ⑧ 処理後の処分方法

- 1 再利用・再生利用している
- 2 埋立処分している

④ 処理・処分方法コード表	⑤ 中間処理方法コード表	⑥ 委託・処分方法コード表	⑦ 液漏化用途コード表	⑧ 処理後の処分方法	⑨ 処理・処分先又は再生利用先 の名称等	⑩ 処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑪ 方法番号 1次 2次 3次 処理 処理 処理	⑫ 液漏化用途
W	1			1	樹×○	金沢 市		10
U	1			1	樹×○	羽咋 市		30
S	1			1	樹×○	志賀 市		10
U	1			1	樹×○	珠洲 市		10
S	1			1	樹×○	岐阜県 飛騨 市		10
U	1			1	樹×○	川北 町		50
				1				10
				1				10

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入して下さい。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入して下さい。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不定期の回収業者等です住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下さい。

本紙の裏面の「**廃棄物分類表**」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず○をつけて下さい。

廃棄物等分類表

産業廃棄物

種 類	分類番号	具 体 例
汚泥の泥状物	0211	排水処理汚泥、ビルビット汚泥(し尿を含むものは除く)
有機性汚泥	0222	建設高含水率汚泥、バントナイト汚泥、選別制糞汚泥(建設用土は除く)
一般廃油	0311	重機等の潤滑油、エンジンオイル、機軸油、グリス、切削油、給線油
溶剤	0320	アルコール類、ケトン、洗剤油
固形油	0330	アスファルト、タールビツ字類
油	0340	タンクスラッジ、オイルスラッジ、オートラップ汚泥、油性スカム
油付着物等	0350	油の腐み付着物、油紙くず、吸油材、吸油材、クレンジング剤、アンダーコートくず、廃塗料(液状)、インクくず、廃ニス
廃無機性の酸性質廃液	0401	廃液で酸性を呈するもの
廃アルコール性質廃液	0501	廃液でアルコール性を呈するもの 【熱可塑性】ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂 【熱硬化性】フェノール樹脂(バークライト)、エポキシ樹脂、エポキシ樹脂、メラニオン樹脂、クレタ樹脂 【合成繊維】ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、 【その他】プラスチック製品くず、プラスチック容器、発泡スチロール、ビニールシート、フィルム、プラスチックフィルム、セルロイド、繊維強化プラスチック(FRP)、塗料くず(固形)、接着剤くず、合成ゴムくず、塩ビ管
廃プラスチック類	0610	
廃タイヤ	0620	廃タイヤ
石含有産業廃棄物(非飛散性)	0630	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量の0.1%を超えて含有するもの
紙	0701	建材の包装紙、建設現場から排出される紙くず
木	0801	木くず、おがくず、かんなくず、バーク類、竹、ハニヤ、ベニヤボード類、伐採木、伐採材
織	0900	羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセタード混紡繊維(天然繊維が主体のもの)
ゴムくず(天然ゴム)	1100	天然ゴムくず
鉄くず	1210	鉄くず、スクラップ(主体が鉄製の場合)、プリヤくず、トタンくず、空き缶(鉄製のもの)
非鉄くず	1220	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶
混合金属くず	1230	自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
ガラスくず	1310	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスワール
陶磁器くず	1320	かわら、土管、陶管、タイル
石膏ボード	1330	石膏ボードくず
石綿含有産業廃棄物(非飛散性)	1350	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量の0.1%を超えて含有するもの
がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴うもの)	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	1520	アスファルトコンクリートの破片
	1530	鉄骨鋼筋の砂利、骨材、石材、れんが、スレート、タイル、断熱材
	1540	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量の0.1%を超えて含有するもの
混合物	2100	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類のみを含む混合物で分別ができない廃棄物
	2200	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類以外の廃棄物を含む混合物で分別できない廃棄物
廃自動車	3000	廃自動車、廃二輪車
廃電気機械器具	3100	プリント配線板、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、パソコン、電話機、自動販売機、蛍光灯など
廃電池類	3500	鉛蓄電池(バッテリー)、乾電池
複合材	3600	2つ以上の異なる素材が一体的に組み合わさっている製品の廃棄物

廃棄物等分類表

特別管理産業廃棄物

種 類	分類番号	具 体 例
引火性廃油	0318	揮発油類(燃えやすい廃油、カソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)
腐食性廃液	0408	水素イオン濃度指数(pH)が2.0以下の廃液
腐食性廃アルカリ	0508	水素イオン濃度指数(pH)が12.5以上の廃液
特定有害廃棄物汚泥	0229	特定有害物質を含む汚泥
特定有害廃棄物汚油	0319	特定有害物質を含む廃油
特定有害廃棄物廃液	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害廃棄物廃アルカリ	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
特定有害廃棄物廃石膏	1538	吹き付け石膏(アスベスト)、石膏含有保温材
廃PCB	7419	廃PCB等、PCB汚染物、PCB処理物

※機密性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

# <調査票の記入要領・記入例>

## 調査対象期間

●この調査の調査期間は、平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の1年間です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

## 調査対象とする事業所と廃棄物

●この調査では、廃棄物が発生した事業所内で発生した廃棄物だけが記入の対象となります。  
●廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「廃棄物分類表」を掲げておきますので参考にしてください。

## 発生量について

●発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答え下さい。  
○**自社で焼却している場合**、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。（記入例Bを参考にしてください）  
本くま、紙くま、廃プラスチック等を焼却している場合は「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」、  
燃や市前の名称とその分類番号となります。なお、焼却灰の灰の量が「⑤中間処理量」となります。  
○**自社で脱水している場合**の発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。  
汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の  
重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。  
**<式>**：（脱水前の汚泥発生量）×（100%－脱水後の含水率%）÷（100%－脱水前の含水率%）

## 調査票(その2)の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考にしてください。

**① 廃棄物の名称**

本紙の裏面の「廃棄物分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

**② 分類番号**

区分	1	2	3	4	5	6	7	8
記1	2018							
記2	2018							
記3	4002							
記4	5002							
記5	6110							

**③ 年間発生量**

区分	百	十	千	百	十	一	単位
記1	1	2	0	0			kg t
記2	3	7	0	0			m <sup>3</sup> t
記3	4	0	0				kg t
記4	3	0	0				m <sup>3</sup> t
記5	0	6	1	0			kg t

**④ 方法番号**

1次	2次	3次	処理	処理	処理	単位
A						kg t

**⑤ 中間処理量**

1次	2次	3次	処理	処理	処理	単位
						kg t
						m <sup>3</sup> t
						kg t
						m <sup>3</sup> t

## 記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する感染性廃棄物、産業廃棄物、有機あるいは無機で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニュアル伝票等を参考に記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

**④ 中間処理方法コード表**

<自己処理>

A：焼却  
B：圧縮  
C：圧入  
D：圧入  
E：圧入  
F：圧入  
G：圧入  
H：圧入  
I：圧入  
J：圧入  
K：圧入  
L：圧入  
M：圧入  
N：圧入  
O：圧入  
P：圧入  
Q：圧入  
R：圧入  
S：圧入  
T：圧入  
U：圧入  
V：圧入  
W：圧入  
X：圧入  
Y：圧入  
Z：その他

**⑥ 処理・処分方法コード表**

<自己処理>

V1：自社で再処理した  
W1：委託先で再処理した  
Z1：自社で再処理した  
Q1：自社で再処理した  
H1：委託先で再処理した  
I1：委託先で再処理した  
J1：委託先で再処理した  
K1：委託先で再処理した  
L1：委託先で再処理した  
M1：委託先で再処理した  
N1：委託先で再処理した  
O1：委託先で再処理した  
P1：委託先で再処理した  
Q1：委託先で再処理した  
R1：委託先で再処理した  
S1：委託先で再処理した  
T1：委託先で再処理した  
U1：委託先で再処理した  
V1：委託先で再処理した  
W1：委託先で再処理した  
X1：委託先で再処理した  
Y1：委託先で再処理した  
Z1：委託先で再処理した

**⑩ 資源化用途コード表**

10：資源化  
20：資源化  
30：資源化  
40：資源化  
50：資源化  
60：資源化  
70：資源化  
80：資源化  
90：資源化  
98：その他

**⑪ 処理後の処分方法**

1. 再利用・再生利用している  
2. 埋立処分している

⑧ 処理・処分方法の名称等	⑨ 処理・処分先が再生利用先の所在地	⑩ 資源化用途
U1100産業	かほく市	1 2
S1111工業(株)	羽咋市	1 2
U11(株)OX	新潟県 新潟市	1 2
U11(株)OX	新潟県 新潟市	1 2
U11口商店	志賀市	1 2

※ここでは、中間処理・再生利用や最終処分先の名称を記入してください。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入してください。

## 記入例:A

- 当病院では、感染性産業廃棄物が年間1200リットル発生した。
- 院内では処理せず、かほく市に処理施設を保有する〇〇産業に委託し、焼却処理してもらった。
- 焼却後の燃え殻は埋立処分していることである。

## 記入例:B

- 当病院では、感染性産業廃棄物が年間3700kg発生した。
- 院内の焼却炉で焼却し、その灰は250kgであった。
- 灰は、羽咋市に管理型の処分場を保有する△△工業(株)に委託し、埋立処分してもらった。

## 記入例:C

- レントゲン定着廃液が年間400kg発生し、定期的に取りに来る(株)OX(新潟県新潟市)に処理を委託している。
- (株)OXでは、廃液から銀を回収しているようである。
- レントゲン現像廃液も年間300kg発生し同業者に処理を委託している。
- 業者で中和処理後、脱水をして埋立処分をしている。

## 記入例:D

- 当病院では、廃プラスチックが年間80kg発生した。
- 院内では処理せず志賀町に処理施設を保有する口商店に委託し、焼却処理してもらった。
- 焼却後の燃え殻は埋立処分していることである。

## 廃棄物分類表（その1）

表1：感染性廃棄物の分類表

種 類	分類番号	具 体 例
感染性廃棄物	2 0 1 8	血液、血清、血漿、体液（精液を含む）、血液等が付着した鋭利なもの（注射針、メス、試験管、シャーレ、ガラスくず等）、血液等が付着した実験・手術用手袋等、病原微生物に関連した試験・検査等に用いられたもの（試験管、シャーレ等）、汚染物が付着した廃プラスチック類等

※感染性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している産業廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

表2：非感染性廃棄物分類表（産業廃棄物）

種 類	分類番号	具 体 例
有機性汚泥	0 2 1 1	検査室や実験室などの排水処理施設から発生する汚泥（し尿を含む浄化槽汚泥は除く）
廃 油	0 3 1 1	冷凍機やポンプなどの潤滑油
	0 3 1 2	入院患者の給食に使った食用油（天ぷら油等）
	0 3 2 0	アルコール類、ケトン、洗浄油
	0 3 4 0	タンクストラッジ、オイルストラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム
	0 3 5 0	油の滲みだワエス、油紙くず、廃吸油材
廃 酸	0 4 0 1	ホルマリン、その他の酸性の廃液
	0 4 0 2	レントゲン写真定着廃液
	0 5 0 1	検査廃液、その他のアルカリ性の廃液
	0 5 0 2	レントゲン写真現像液
廃プラスチック類	0 6 1 0	合成樹脂製の器具、レントゲンフィルム、ビニールチューブ、その他の合成樹脂製のもの
ゴムくず	1 1 0 0	天然ゴムの器具類、ディスプレイの手袋など
金 属  く ず	1 2 1 0	鉄くず、スクラップ（主体が鉄製の場合）、プリキくず、トタンくず、空き缶（鉄製のもの）
	1 2 2 0	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶
	1 2 3 0	自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1 3 1 0	白熱電球、密ガラス、びん類、ガラスウール、ガラス食器、光学レンズ、理化学用ガラス器具、薬品ビン
	1 3 2 0	キズ用石膏、陶磁器の器具、その他の陶磁器製のもの
紙おむつ	9 0 8 0	紙おむつ（感染性でない判断したもの）
混 合 物	2 1 0 0	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類のみを含む混合物で分別ができない廃棄物
	2 2 0 0	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類以外の廃棄物を含む混合物で分別ができない廃棄物
混 合 廃 棄 物	3 0 0 0	廃自動車、廃二輪車
	3 1 0 0	プリント配線板、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、パソコン、電話機、自動販売機、蛍光灯など
	3 5 0 0	鉛蓄電池（バッテリー）、乾電池
	3 6 0 0	2つ以上の異なる素材が一体的に組み合わされている製品の廃棄物

## 廃棄物分類表（その2）

表3：非感染性廃棄物分類表（特別管理産業廃棄物）

種 類	分類番号	具 体 例
引火性廃油	0 3 1 8	揮発油類（ガソリン、灯油、軽油、シンナー、キシレン、エーテル）
腐食性廃酸	0 4 0 8	水素イオン濃度指数〔pH〕が2.0以下の廃液
腐食性廃アルカリ	0 5 0 8	水素イオン濃度指数〔pH〕が12.5以上の廃液
産 特 定 有 害 廃 棄 物	0 2 1 9	特定有害物質を含む汚泥
	0 3 1 9	特定有害物質を含む廃油
	0 4 0 9	特定有害物質を含む酸性廃液
	0 5 0 9	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
	1 6 0 9	特定有害物質を含むばいじん
廃 P C B	7 4 1 9	廃PCB等、POB汚染物、POB処理物